

令和4年8月24日

道路局 国道・技術課

橋梁等の2021年度(令和3年度)点検結果をとりまとめ ～道路メンテナンス年報(2巡目の3年目)の公表～

- 2013年度の道路法改正等を受け、2014年度より道路管理者は全ての橋梁、トンネル、道路附属物等について、5年に1度の点検が義務付けられています。2018年度に1巡目点検が完了し、2019年度から2巡目点検が実施されています。
- また、道路の舗装については、今後の効率的な修繕に向け、舗装の現状を把握することを目的に、国土交通省では2016年度に舗装点検要領を策定し、2021年度に1巡目点検が完了しました。
- 今般、2021年度までの点検や診断結果、措置状況等を「道路メンテナンス年報」としてとりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 舗装の1巡目点検結果及び修繕実施状況 **新規** (p1～5)

- 国土交通省と47都道府県と20政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路について、2017年度～2021年度における点検結果及び修繕実施状況を集計しました。
- 2021年にて舗装の1巡目点検が終了し、国土交通省では100%(約59,000km)、都道府県・政令市では66%(約89,000km)の点検を実施済みです。
- 点検の結果、判定区分Ⅲ(修繕段階)の舗装の延長は、国土交通省:約7,000km、都道府県・政令市:約11,000kmで、このうち修繕等措置に着手した割合は、国土交通省:17%(約1,300km)、都道府県・政令市:19%(約2,000km)と舗装の修繕が低水準となっております。

2. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検・修繕実施状況(p6～18)

- 2巡目(2019年度～2021年度:3ヵ年)の点検実施状況は、橋梁:61%、トンネル:53%、道路附属物等:60%と、1巡目点検よりも着実に進捗しています。
- 1巡目点検で早期又は緊急に措置を講ずべき状態(判定区分Ⅲ・Ⅳ)の橋梁における地方公共団体の修繕等措置の着手率は65%、完了率は46%と低水準となっています。(2021年度末時点)
<参考>国土交通省:着手率91%、完了率53% 高速道路会社:着手率81%、完了率60%
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとしていますが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていない橋梁は約3割あります。

3. 全国道路施設点検データベースにて老朽化対策の見える化を実施中(p19)

- 道路施設の老朽化やその対策状況のさらなる見える化を図るため、「全国道路施設点検データベース～損傷マップ～」にて道路施設の点検結果や措置状況等を地図上で公開中です。
【公開URL】<https://road-structures-map.mlit.go.jp/>
- より詳細な点検データ等については、「全国道路施設点検データベース」より有料公開を行っており、研究機関や民間企業等による技術開発の促進による維持管理の効率化・高度化を目指しています。
【公開URL】<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>
- データについては順次更新を行い2021年度末時点のデータについても今後公開予定です。
道路メンテナンス年報は、以下のWebページにてご覧いただけます。

https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_index.html

<問い合わせ先>

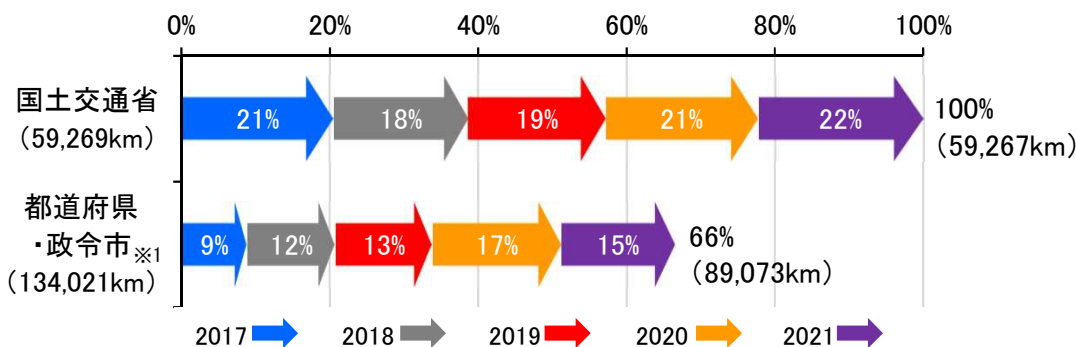
国土交通省道路局 国道・技術課 道路メンテナンス企画室 課長補佐 谷、小林(内線 37892、37863)

(代表) 03-5253-8111 (直通) 03-5253-8494 (FAX) 03-5253-1620

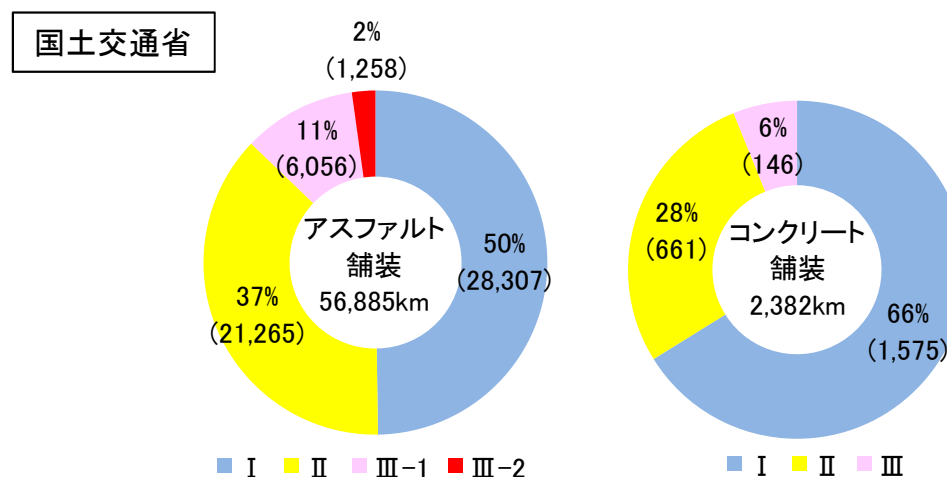
舗装の点検の実施状況

- 国土交通省が管理する道路及び47都道府県と20政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路について、2017年度～2021年度における点検状況を整理した。
- 舗装点検については2021年度に1巡目点検が完了し、国土交通省が管理する道路では約100%、都道府県・政令市※1が管理する道路では約66%で点検を実施済み。
- 判定区分Ⅲ（修繕段階）の割合は、アスファルト舗装で国土交通省：約13%、都道府県・政令市※1：約12%、コンクリート舗装で国土交通省：約6%、都道府県・政令市：約4%

■ 舗装の点検実施率（延べ車線延長※2）※3



■ 舗装の判定区分の割合 (km)



※四捨五入の関係で、年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

判定区分（アスファルト舗装・コンクリート舗装）

<アスファルト舗装>

判定区分	説明
I	健全
II	表層機能保持段階
III	修繕段階
III-1	表層等修繕
III-2	路盤打換等

<コンクリート舗装>

判定区分	説明
I	健全
II	補修段階
III	修繕段階

※1: 都道府県・政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路を対象としている。
 ※2: 2022年3月末時点の延長のうち、供用後5年以内を除く。また一部の自治体では管理延長等をもとに算出。
 ※3: 高速道路会社についてはサービス水準を高く設定しており、独自の厳しい基準で点検を実施していることから、国の舗装点検要領にあてはめることができないため集計していない。

※四捨五入の関係で、合計値と一致しない場合がある。

道路メンテナンス年報における舗装の集計方法

- 道路の舗装延長は約130万キロあり、重要物流道路などの重交通を担う道路(分類A・B)から生活道路まで幅広く、生活道路の舗装は損傷の進行が極めて遅いのに対して、重交通を担う道路では寿命が短い。
 - 重交通を担う道路において、路盤損傷に伴う表層修繕の繰り返しにより生じるコスト(ライフサイクルコスト、工事規制等による社会的影響等)を最小限にするため、早期の予防保全への移行を目指す。
- ⇒ **重交通を担う道路である分類A・Bに焦点を当てて見える化を図る。**

特性	分類	主な道路 (イメージ)	管理基準 ※1 ()内は直轄の基準	点検頻度	健全性の診断 ※2	車線延長 ※3
<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路等 (高速走行など求められるサービスの水準が高い道路) 	A	高速道路	<ul style="list-style-type: none"> ひび割れ率: 15~20% (20%以上) わだち掘れ量: 20~25mm (25mm以上) IRI: 3.5mm/m (3.5mm/m以上) 	道路管理者が5年に1回以上適切に実施	<ul style="list-style-type: none"> I (健全): 損傷レベルが小 II (表層機能保持段階): 損傷レベルが中 	<ul style="list-style-type: none"> 計: 約 41,100 km (高速管理: 約 33,600 km) (直轄管理: 約 5,000 km) (地方管理: 約 2,500 km)
<ul style="list-style-type: none"> ・損傷の進行が早い道路等 (例えば大型車交通量が多い道路) 重要物流道路または 大型車1,000台・方向以上/日(目安) 	B	直轄国道 補助国道・県道	<ul style="list-style-type: none"> ひび割れ率: 20~40% (40%以上) わだち掘れ量: 20~40mm (40mm以上) IRI: 8mm/m (8mm/m以上) 		<ul style="list-style-type: none"> (修繕段階): 損傷レベルが大 III-1表層等修繕 (路盤以下の層が健全) III-2路盤打換等 (路盤以下の層も損傷) 	<ul style="list-style-type: none"> 計: 約 185,800 km (直轄管理: 約 54,300 km) (地方管理: 約 131,500 km)
<ul style="list-style-type: none"> ・損傷の進行が緩やかな道路等 (例えば大型車交通量が少ない道路) 	C	政令市一般市道		更新時期や地域特性等に応じて道路管理者が適切に点検計画を作成する	<ul style="list-style-type: none"> I (健全): 損傷レベルが小 II (表層機能保持段階): 損傷レベルが中 	<ul style="list-style-type: none"> 計: 約 340,000 km
<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路等 (損傷の進行が極めて遅く占用工事等の影響がなければ長寿命) 幅員5.5m未満の道路 	D	市町村道			<ul style="list-style-type: none"> III (修繕段階): 損傷レベルが大 	<ul style="list-style-type: none"> 計: 約 750,000 km
合計						<ul style="list-style-type: none"> 計: 約 1,300,000 km

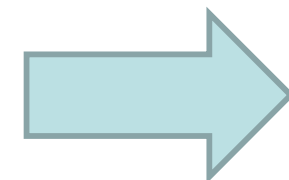
※1 一部の地方管理道路については、独自の管理基準を設定している場合がある
 ※2 コンクリート舗装の健全性の診断は、分類A~D共通して、判定区分Ⅰ~Ⅲで判定
 ※3 車線延長は一部センサデータ等による推計値を含む

舗装の修繕等措置の実施状況

- 1巡目(2017年度～2021年度)の点検で修繕段階にあると判定されたアスファルト舗装(判定区分Ⅲ)のうち、修繕着手の割合は、国土交通省:17%、都道府県・政令市*:19%
- 修繕段階にあると判定されたコンクリート舗装(判定区分Ⅲ)のうち、修繕着手の割合は、国土交通省:7%、都道府県・政令市*:7%

■アスファルト舗装における修繕実施状況(km)

管理者	措置が必要な延長(A)	措置に着手済の延長(B)	うち完了(C)	未着手延長	点検年度	2021年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)					
						0%	20%	40%	60%	80%	100%
国土交通省	7,314	1,262 (17%)	1,162 (16%)	6,052 (83%)	2017	26%	27%				
					2018	24%	25%				
					2019	17%	18%				
					2020	10%	12%				
					2021	5%	5%				
都道府県 ・政令市*	10,900	2,023 (19%)	1,722 (16%)	8,877 (81%)	2017	29%	32%				
					2018	27%	28%				
					2019	14%	18%				
					2020	12%	16%				
					2021	5%	8%				
合計	18,215	3,285(18%)	2,884(16%)	14,930(82%)							



アスファルト舗装の
判定区分Ⅲ-1・Ⅲ-2
内訳は次ページ

■コンクリート舗装における修繕実施状況(km)

管理者	措置が必要な延長(A)	措置に着手済の延長(B)	うち完了(C)	未着手延長	点検年度	2021年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)					
						0%	20%	40%	60%	80%	100%
国土交通省	146	10 (7%)	6 (4%)	136 (93%)	2017	11%	11%				
					2018	0.2%	1%				
					2019	10%	14%				
					2020	4%	13%				
					2021	0%	0%				
都道府県 ・政令市*	47	3 (7%)	3 (7%)	43 (93%)	2017	12%	12%				
					2018	0%	0%				
					2019	26%	26%				
					2020	0%	0%				
					2021	1%	1%				
合計	193	14(7%)	10(5%)	179(93%)							

※:都道府県・政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路を対象としている。

舗装の修繕等措置の実施状況(アスファルト舗装詳細)

- 修繕段階にあると判定されたアスファルト舗装について、表層等修繕が必要と判定された箇所(判定区分Ⅲ-1)のうち、修繕に着手した割合は、国土交通省:18%、都道府県・政令市*:14%
- 路盤打換等が必要と判定された箇所(判定区分Ⅲ-2)のうち、修繕に着手した割合は、国土交通省:15%、都道府県・政令市*:32%

■アスファルト舗装判定区分Ⅲ-1における修繕実施状況(km)

管理者	措置が必要な延長(A)	措置に着手済の延長(B)	うち完了(C)	未着手延長	点検年度	2021年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)					
						0%	20%	40%	60%	80%	100%
国土交通省	6,056	1,068 (18%)	988 (16%)	4,988 (82%)	2017	24%	25%				
					2018	26%	28%				
					2019	18%	19%				
					2020	10%	12%				
					2021	5%	6%				
都道府県 ・政令市*	7,995	1,080 (14%)	1,040 (13%)	6,915 (86%)	2017	26%	27%				
					2018	20%	20%				
					2019	12%	12%				
					2020	9%	9%				
					2021	5%	7%				
合計	14,051	2,148(15%)	2,028(14%)	11,903(85%)		完了済		着手済			

■アスファルト舗装判定区分Ⅲ-2における修繕実施状況(km)

管理者	措置が必要な延長(A)	措置に着手済の延長(B)	うち完了(C)	未着手延長	点検年度	2021年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)					
						0%	20%	40%	60%	80%	100%
国土交通省	1,258	194 (15%)	174 (14%)	1,064 (85%)	2017	33%	35%				
					2018	14%	15%				
					2019	13%	15%				
					2020	13%	16%				
					2021	3%	4%				
都道府県 ・政令市*	2,905	943 (32%)	682 (23%)	1,963 (68%)	2017	37%	45%				
					2018	46%	50%				
					2019	23%	38%				
					2020	22%	34%				
					2021	5%	11%				
合計	4,163	1,137(27%)	856(21%)	3,027(73%)		完了済		着手済			

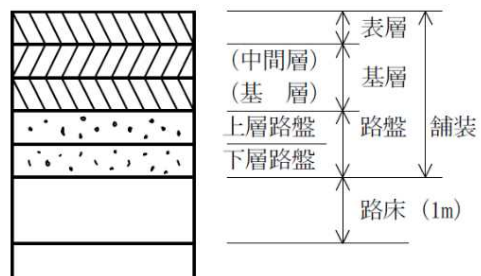
※: 都道府県・政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路を対象としている。

舗装の損傷事例

<アスファルト舗装>

判定区分Ⅲ：修繕段階

損傷レベル大：ひび割れやわだち掘れ、縦断凹凸等が生じており、表層あるいは路盤を含めた舗装打ち換え等の修繕措置が必要な状態



ひび割れ



わだち掘れ



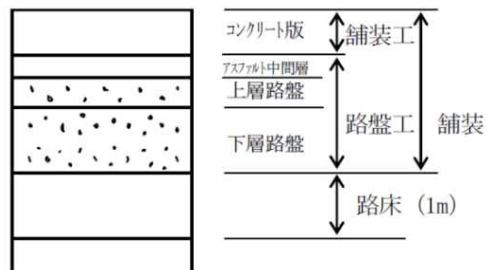
縦断凹凸

<アスファルト舗装の構成と各層の名称>

<コンクリート舗装>

判定区分Ⅲ：修繕段階

損傷レベル大：コンクリート版において、版央付近又はその前後に横断ひび割れが全幅員にわたっていて、一枚の版として輪荷重を支える機能が失われている可能性が高いと考えられる状態、または、目地部に段差が生じたりコンクリート版の隅角部に角欠けへの進展が想定されるひび割れが生じているなど、コンクリート版と路盤の間に隙間が存在する可能性が高いと考えられる状態



<コンクリート舗装の構成と各層の名称>

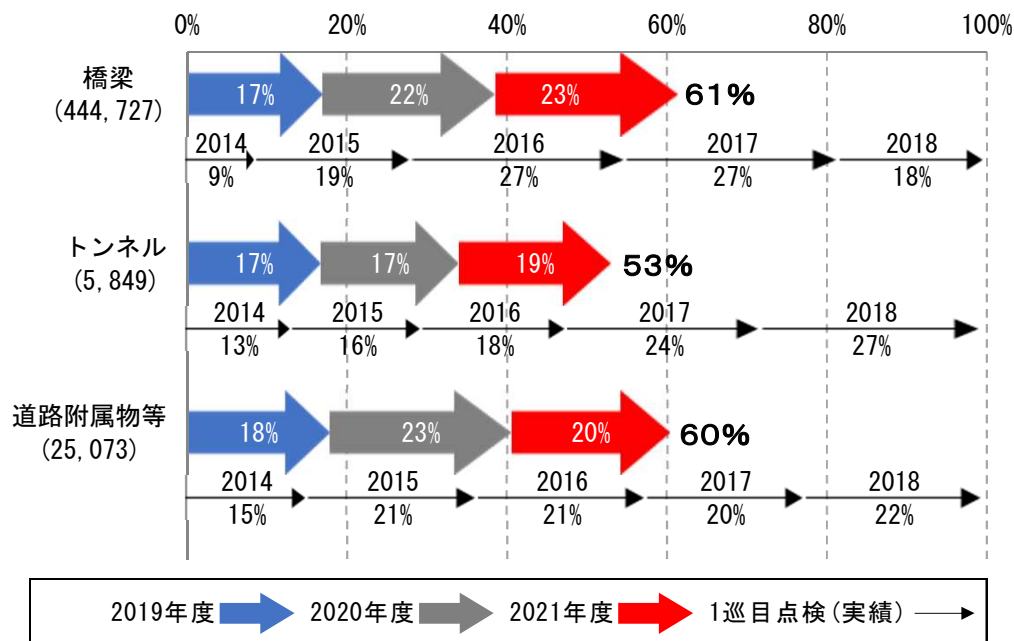


橋梁、トンネル等の点検実施状況・点検結果 2巡目(2019～2021年度)

- 全道路管理者の2巡目(2019～2021年度)の点検実施状況は、橋梁:61%、トンネル:53%、道路附属物等※:60%
- 1巡目(2014～2018年度)の3年度目終了時と比較して、点検が進捗している。
- 全道路管理者の2019～2021年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態(判定区分Ⅲ・Ⅳ)の割合は、橋梁:8%、トンネル:31%、道路附属物等:12%

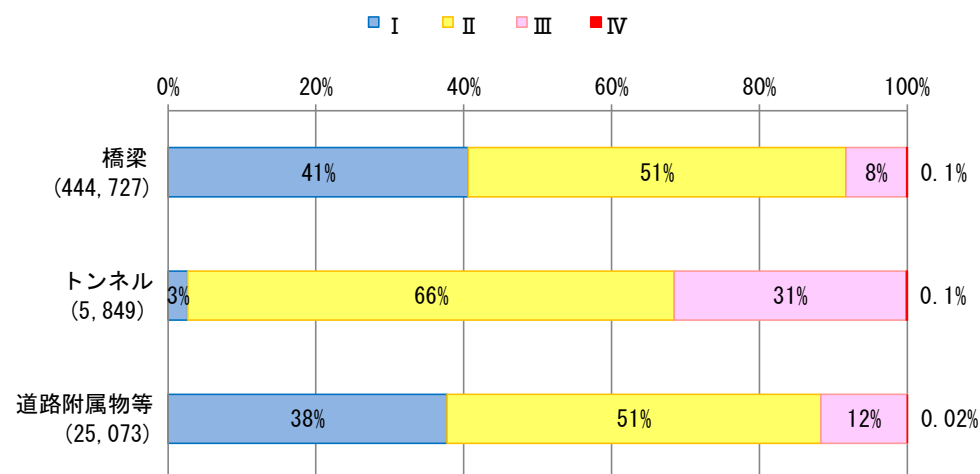
※道路附属物等:シェッド、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等

2巡目(2019～2021年度)の点検実施状況



※()内は、2019～2021年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

2巡目(2019～2021年度)の点検結果



※()内は、2019～2021年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

判定区分	状態
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

橋梁の損傷事例

判定区分Ⅲ

早期措置段階「構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態」



国管理 床版鉄筋露出
※床版：橋の裏側



地方自治体管理 主桁腐食



地方自治体管理 支承腐食

判定区分Ⅳ

緊急措置段階「構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態」



国管理 主桁腐食・欠損



地方自治体管理 床版鉄筋露出



地方自治体管理 橋脚洗掘

橋梁、トンネル等の点検結果・修繕等措置状況の集計について

	1巡目点検施設の 修繕等措置の実施状況 (2014年度～2018年度)	2巡目点検施設の 修繕措置等の実施状況 (2019年度～2021年度)	2021年度末時点における 点検結果に対する修繕等 措置の実施状況
点検結果の対象	1巡目(2014年度～2018年度)に点検を行った施設の点検結果	2巡目3年目まで(2019年度～2021年度)に点検を行った施設の点検結果	これまでに一度でも点検を行った施設の最新の点検結果
措置状況の対象	1巡目の点検結果に対して、現時点で修繕等措置を実施した状況	2巡目の点検結果に対して、現時点で修繕等措置を実施した状況	最新の点検結果に対して、現時点で修繕等措置を実施した状況
集計意図	次回定期点検まで(5年以内)に修繕等措置を講ずべきとしている。 <u>1巡目点検に対する修繕措置の進捗</u>	<u>2巡目点検の進捗と修繕措置の現状</u>	<u>最新の判定結果(現在判定Ⅰ～Ⅳがいくつあるのか)</u>
対象ページ	P9、10	P11、12	P13～16

1巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳの橋梁の修繕等措置の実施状況

- 1巡目(2014年度～2018年度)の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2021年度末時点で国土交通省:91%、高速道路会社:81%、地方公共団体:65%、完了した割合は、国土交通省:53%、高速道路会社:60%、地方公共団体:46%
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとしているが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていない橋梁は約3割ある。

管理者	措置が必要な施設数(A)	措置に着手済の施設数(B)	未着手施設数	2021年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)		(参考)2020年度末時点		
				点検年度	0% 20% 40% 60% 80% 100%	措置に着手済の施設数	うち完了	
国土交通省	3,402	3,107 (91%)	295 (9%)	2014	83%	100%	2,845 (83%)	1,439 (42%)
				2015	79%	100%		
				2016	65%	100%		
				2017	26%	84%		
				2018	21%	76%		
高速道路会社	2,539	2,068 (81%)	471 (19%)	2014	85%	100%	1,669 (66%)	1,137 (45%)
				2015	90%	100%		
				2016	78%	100%		
				2017	55%	82%		
				2018	24%	48%		
地方公共団体	62,694	40,611 (65%)	22,083 (35%)	2014	64%	77%	34,419 (55%)	21,912 (35%)
				2015	56%	72%		
				2016	48%	66%		
				2017	34%	57%		
				2018	28%	53%		
都道府県 政令市等	20,393	16,385 (80%)	4,008 (20%)	2014	72%	86%	14,156 (69%)	8,437 (41%)
				2015	65%	86%		
				2016	57%	81%		
				2017	42%	74%		
				2018	39%	77%		
市区町村	42,301	24,226 (57%)	18,075 (43%)	2014	58%	70%	20,263 (48%)	13,475 (32%)
				2015	52%	66%		
				2016	44%	61%		
				2017	31%	48%		
				2018	22%	40%		
合計	68,635	45,786(67%)	22,849(33%)		47%	67%	38,933(57%)	24,488(36%)

↑: 2021年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース

2014年度点検実施(7年経過):100%、2015年度点検実施(6年経過):100%、2016年度点検実施(5年経過):100%、2017年度点検実施(4年経過):80%、2018年度点検実施(3年経過):60%

完了済

着手済

1巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳのトンネルの修繕等措置の実施状況

- 1巡目(2014年度～2018年度)の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2021年度末時点で国土交通省:96%、高速道路会社:95%、地方公共団体:85%、完了した割合は、国土交通省:81%、高速道路会社:88%、地方公共団体:62%
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとしているが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていないトンネルは約1割ある。

管理者	措置が必要な施設数(A)	措置に着手済の施設数(B)	未着手施設数	2021年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)						(参考)2020年度末時点			
				点検年度	0%	20%	40%	60%	80%	100%	措置に着手済の施設数	うち完了	
国土交通省	513	495 (96%)	18 (4%)	2014				100%			100%	463 (90%)	359 (70%)
				2015				95%			100%		
				2016				81%			100%		
				2017				62%			92%		
				2018				40%			84%		
高速道路会社	692	657 (95%)	35 (5%)	2014				95%			100%	624 (90%)	551 (80%)
				2015				98%			100%		
				2016				98%			100%		
				2017				73%			92%		
				2018				57%			68%		
地方公共団体	3,205	2,728 (85%)	477 (15%)	2014				76%			88%	2,422 (76%)	1,535 (48%)
				2015				75%			91%		
				2016				75%			93%		
				2017				60%			89%		
				2018				44%			72%		
都道府県 政令市等	2,342	2,210 (94%)	132 (6%)	2014				84%			94%	2,001 (85%)	1,287 (55%)
				2015				77%			93%		
				2016				78%			96%		
				2017				65%			96%		
				2018				58%			91%		
市区町村	863	518 (60%)	345 (40%)	2014				62%			77%	421 (49%)	248 (29%)
				2015				61%			72%		
				2016				56%			75%		
				2017				35%			60%		
				2018				27%			50%		
合計	4,410	3,880(88%)	530(12%)					68%			88%	3,059(80%)	2,445(55%)

↑: 2021年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース

2014年度点検実施(7年経過):100%、2015年度点検実施(6年経過):100%、2016年度点検実施(5年経過):100%、2017年度点検実施(4年経過):80%、2018年度点検実施(3年経過):60%

完了済

着手済

2巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳの橋梁の修繕等措置の実施状況

- 2巡目(2019年度～2021年度)の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2021年度末時点で国土交通省:37%、高速道路会社:28%、地方公共団体:30%、完了した割合は、国土交通省:4%、高速道路会社:7%、地方公共団体:8%

管理者	措置が必要な施設数(A)	措置に着手済の施設数(B)	未着手施設数	2021年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)							
				点検年度	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
国土交通省	2,395	895 (37%)	1,500 (63%)	2019	9%			60%			
				2020	4%			43%			
				2021	1%		12%				
高速道路会社	1,663	459 (28%)	1,204 (72%)	2019	12%			39%			
				2020	8%			31%			
				2021	1%		14%				
地方公共団体	32,893	9,916 (30%)	22,977 (70%)	2019	15%			40%			
				2020	8%			32%			
				2021	2%		19%				
	都道府県 政令市等	10,901	3,911 (36%)	6,990 (64%)	2019	15%			48%		
					2020	9%			39%		
					2021	2%		22%			
市区町村	21,992	6,005 (27%)	15,987 (73%)	2019	15%			36%			
				2020	8%			29%			
				2021	2%		18%				
合計	36,951	11,270(30%)	25,681(70%)								

完了済 着手済

2巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳのトンネルの修繕等措置の実施状況

- 2巡目(2019年度～2021年度)の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2021年度末時点で国土交通省:69%、高速道路会社:55%、地方公共団体:58%、完了した割合は、国土交通省:6%、高速道路会社:17%、地方公共団体:11%

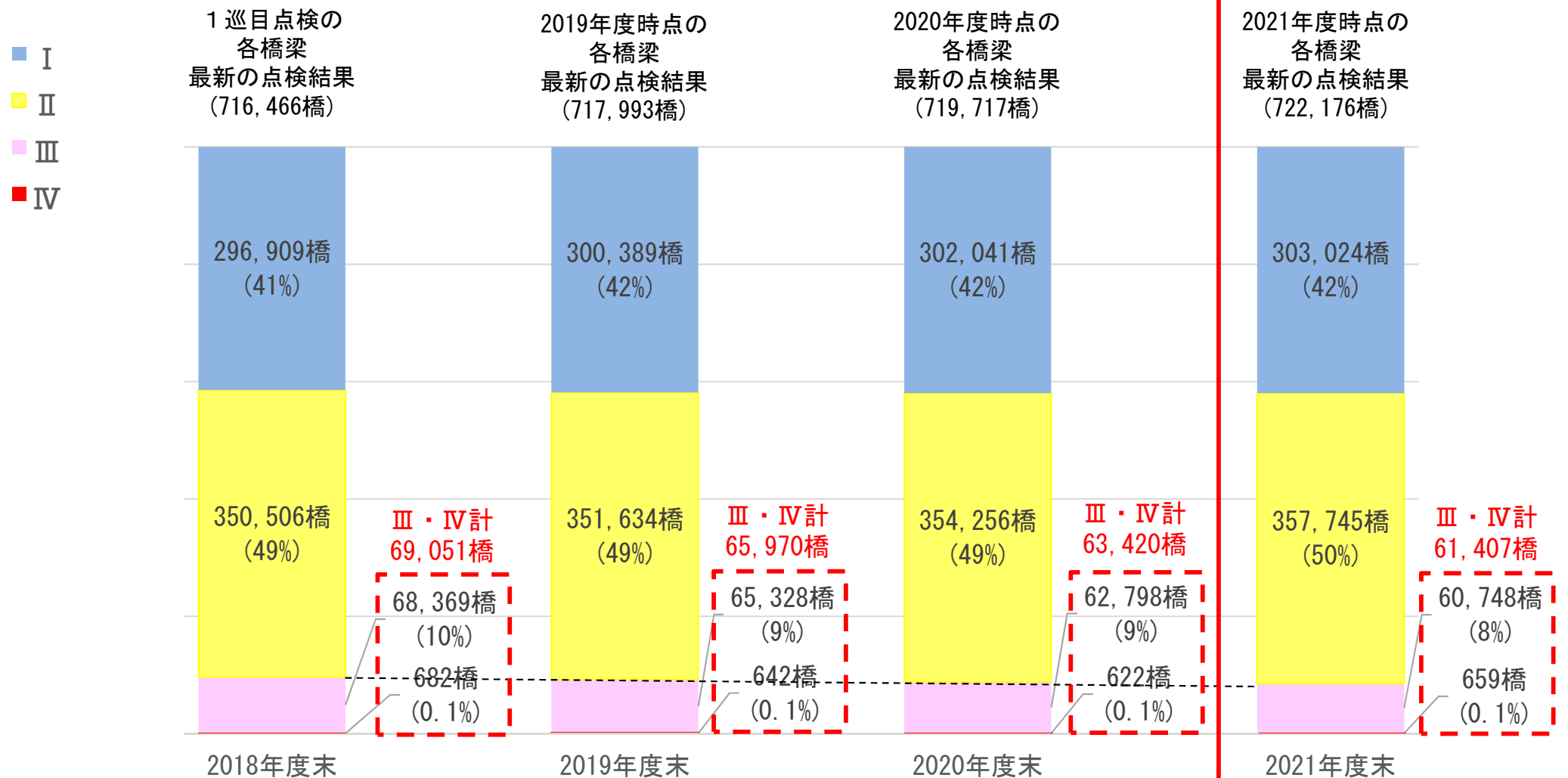
管理者	措置が必要な施設数(A)	措置に着手済の施設数(B)	未着手施設数	2021年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)							
				点検年度	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
国土交通省	293	203 (69%)	90 (31%)	2019	13%				80%		
				2020	5%				65%		
				2021	0%				59%		
高速道路会社	242	132 (55%)	110 (45%)	2019	23%				59%		
				2020	8%				50%		
				2021	19%				53%		
地方公共団体	1,307	757 (58%)	550 (42%)	2019	29%				80%		
				2020	8%				66%		
				2021	1%				37%		
	都道府県 政令市等	1,117	680 (61%)	437 (39%)	2019	32%				86%	
					2020	8%				68%	
2021					2%				39%		
市区町村	190	77 (41%)	113 (59%)	2019	15%				57%		
				2020	9%				43%		
				2021	0%				24%		
合計	1,842	1,092(59%)	750(41%)								

完了済

着手済

2021年度末時点での橋梁の判定区分毎の施設数と割合

- 2021年度末時点での点検結果では判定区分の割合は、Ⅰ：42%、Ⅱ：50%、Ⅲ：8%、Ⅳ：0.1%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁は61,407橋であった。
- 1巡目点検結果から推移を見ると年々判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁数は着実に減少している。



※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。
 ※判定Ⅳの施設については、早急に通行止めや通行規制等の緊急措置を行っている。

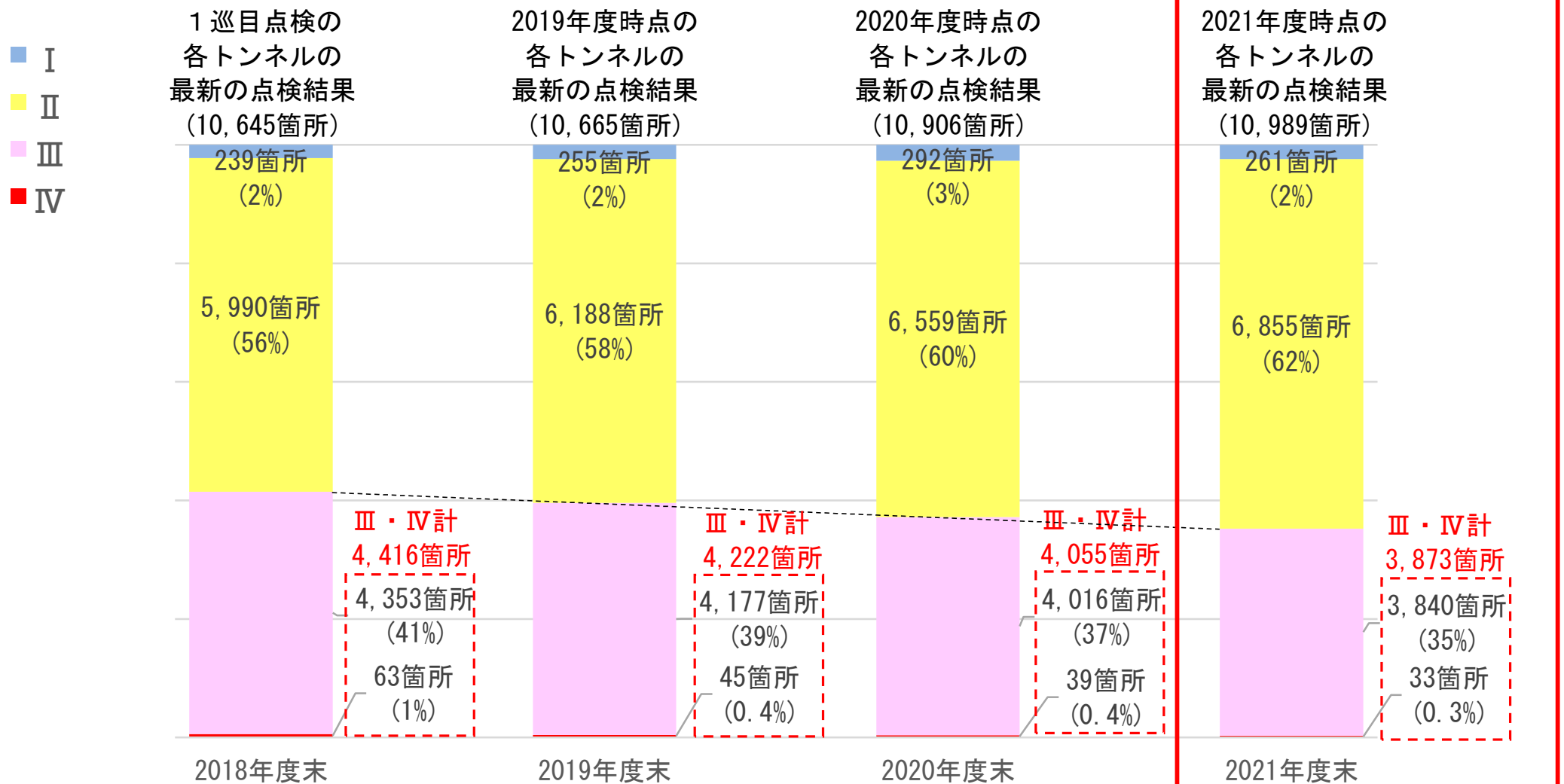
2021年度末時点の点検にて判定区分Ⅲ、Ⅳの橋梁の修繕等措置実施状況

○ 2021年度末時点の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省:54%、高速道路会社:43%、地方公共団体:41%、完了した割合は、国土交通省:12%、高速道路会社:21%、地方公共団体:18%

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)	うち完了(C)	未着手 施設数
国土交通省	3,857	2,072 (54%)	470 (12%)	1,785 (46%)
高速道路会社	2,878	1,248 (43%)	615 (21%)	1,630 (57%)
地方公共団体	54,672	22,322 (41%)	9,678 (18%)	32,350 (59%)
都道府県 政令市等	18,540	9,697 (52%)	4,046 (22%)	8,843 (48%)
市区町村	36,132	12,625 (35%)	5,632 (16%)	23,507 (65%)
合計	61,407	25,642(42%)	10,763(18%)	35,765(58%)

2021年度末時点でのトンネルの判定区分毎の施設数と割合

- 2021年度末時点での点検結果では判定区分の割合は、Ⅰ：2%、Ⅱ：62%、Ⅲ：35%、Ⅳ：0.3%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネルは3,873箇所であった。
- 1巡目点検結果から推移を見ると年々判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネルは着実に減少している。



※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。
 ※判定Ⅳの施設については、早急に通行止めや通行規制等の緊急措置を行っている。



2021年度末時点の点検にて判定区分Ⅲ、Ⅳのトンネルの修繕等措置実施状況

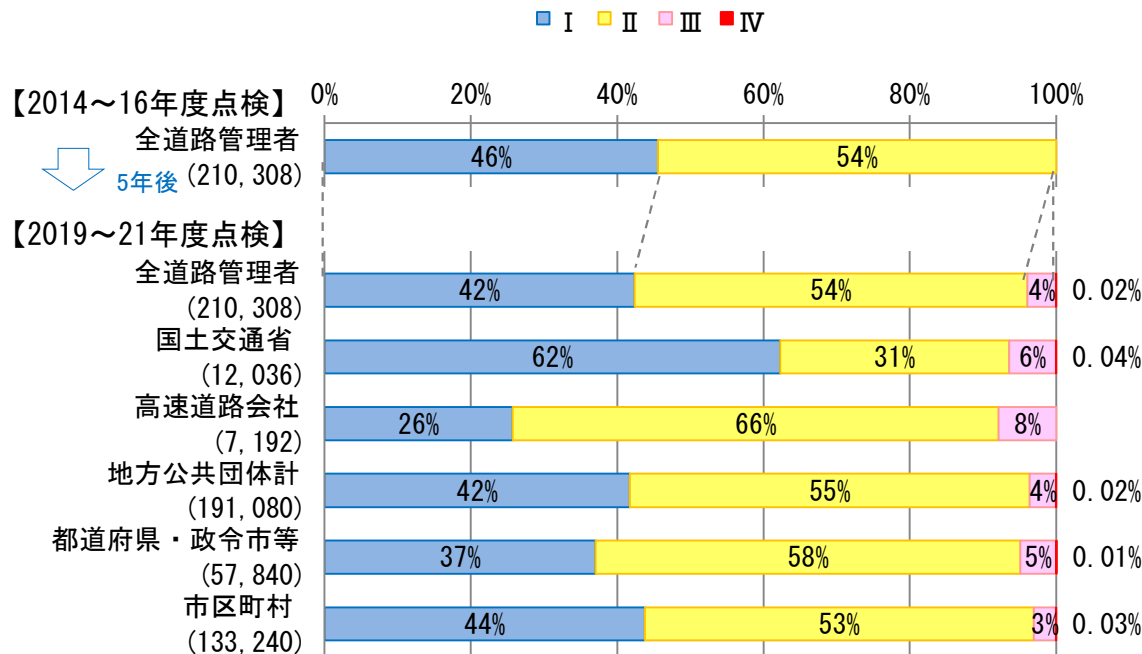
- 2021年度末時点の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省:76%、高速道路会社:72%、地方公共団体:69%、完了した割合は、国土交通省:23%、高速道路会社:48%、地方公共団体:33%

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)	うち完了(C)	未着手 施設数
国土交通省	450	343 (76%)	103 (23%)	107 (24%)
高速道路会社	491	353 (72%)	238 (48%)	138 (28%)
地方公共団体	2,932	2,033 (69%)	967 (33%)	899 (31%)
都道府県 政令市等	2,165	1,651 (76%)	785 (36%)	514 (24%)
市区町村	767	382 (50%)	182 (24%)	385 (50%)
合計	3,873	2,729(70%)	1,308(34%)	1,144(30%)

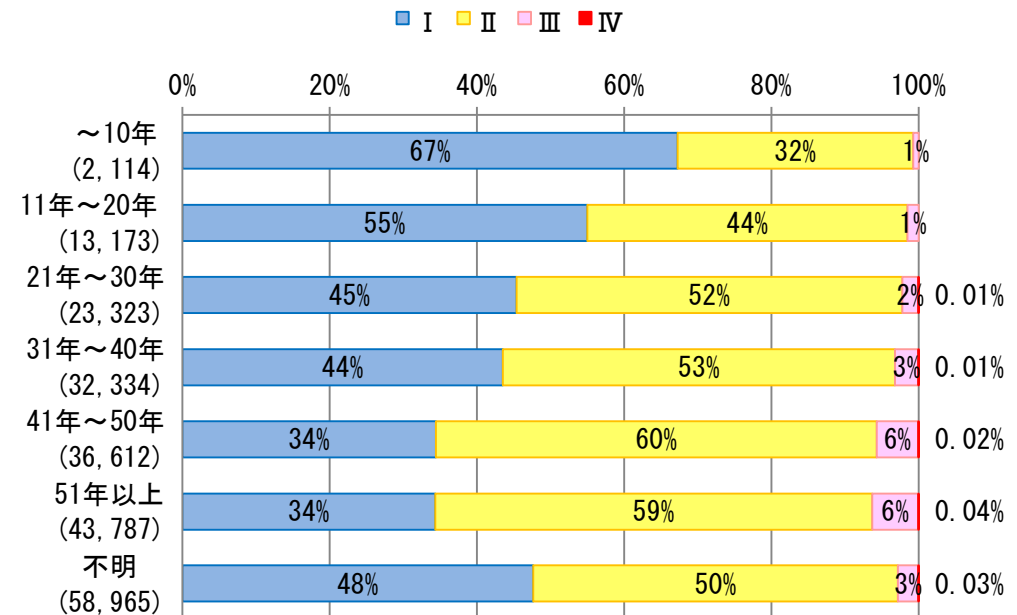
1巡目から2巡目点検における判定区分Ⅰ・Ⅱの遷移状況(橋梁) 国土交通省

- 1巡目の2014年度～2016年度点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態(区分Ⅰ・Ⅱ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度～2021年度点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ・Ⅳ)へ遷移した橋梁の割合は全道路管理者合計で4%
- 建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっている。

道路管理者別の遷移状況



建設後経過年数別の遷移状況 (全道路管理者合計)



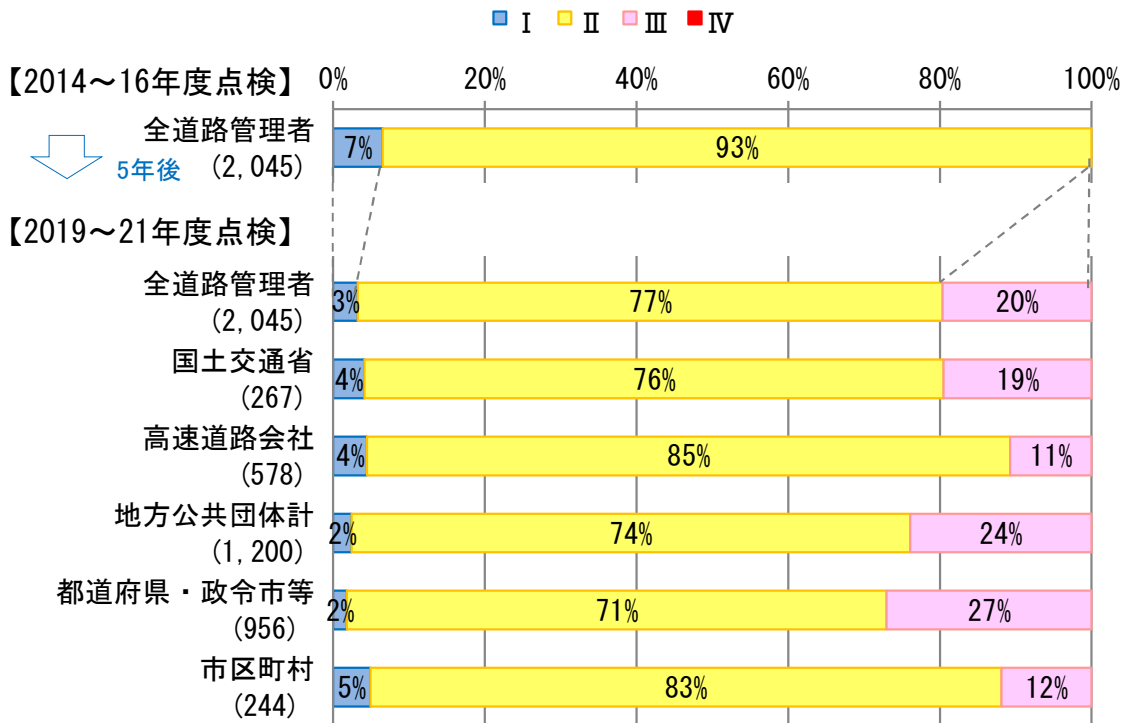
※()内は、1巡目点検(2014年度～2016年度)の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなった橋梁のうち、修繕等の措置を講じないまま5年後の2019年度～2021年度に点検を実施した橋梁の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

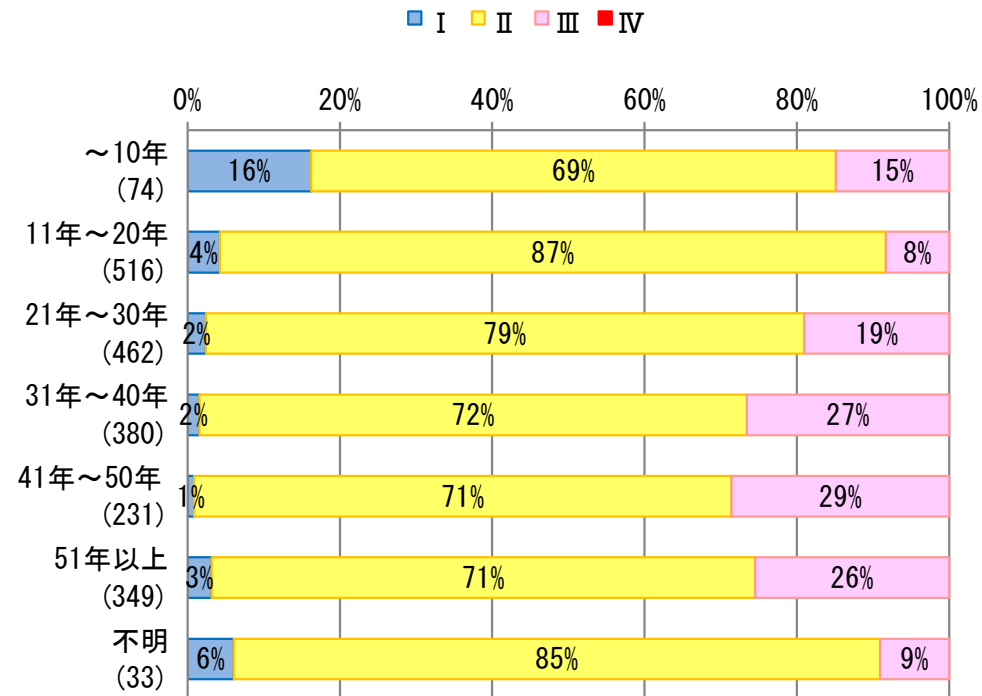
1巡目から2巡目点検における判定区分Ⅰ・Ⅱの遷移状況(トンネル)

- 1巡目の2014年度～2016年度点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態(区分Ⅰ・Ⅱ)と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度～2021年度点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ・Ⅳ)へ遷移したトンネルの割合は全道路管理者合計で20%
- 建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっている。

道路管理者別の遷移状況



建設後経過年数別の遷移状況 (全道路管理者合計)



※()内は、1巡目点検(2014年度～2016年度)の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなったトンネルのうち、修繕等の措置を講じないまま5年後の2019年度～2021年度に点検を実施したトンネルの合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

全国道路施設点検データベースにて老朽化対策の見える化

- 老朽化対策のさらなる見える化を図るため、「全国道路施設点検データベース～損傷マップ～」にて橋梁、トンネル、道路附属物等の諸元や点検結果、措置状況等を地図上で公開中。
- より詳細な点検データ等については、「全国道路施設点検データベース」により有料公開を行っており、研究機関や民間企業等による技術開発の促進による維持管理の効率化・高度化を目指しています。
- データについては順次更新を行い2021年度末時点のデータについても今後公開予定。

全国道路施設点検データベース～損傷マップ～

【全国道路施設点検データベース～損傷マップ～（閲覧画面）】

施設アイコンをクリックで諸元・点検データ等の表示が可能

施設・管理者ごとの表示や、対策状況・判定区分で色分け表示が可能

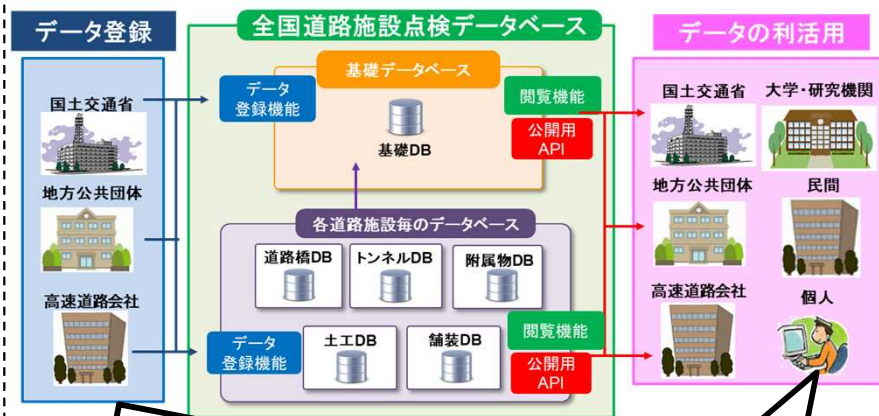
概要情報	
種類	道路橋
施設名称	多摩川大橋
フリカナ	(多摩)大橋
路線名	国道1号
管理者区分	国
管理者名	関東地方整備局
管理事務所名	横浜国道事務所
都道府県	東京都
市町村	大田区
位置(緯度)	35.55729
位置(経度)	139.69654
架設年度	1949
橋長(m)	435.8
幅員(m)	25.8
点検実施年度	2019
判定区分	Ⅲ
措置状況	措置完了済み

【公開URL】 <https://road-structures-map.mlit.go.jp/>



全国道路施設点検データベース

【全国道路施設点検データベース（イメージ）】



道路管理者がデータを登録

データの利用は誰もが可能
(有料・要申請)

【公開URL】

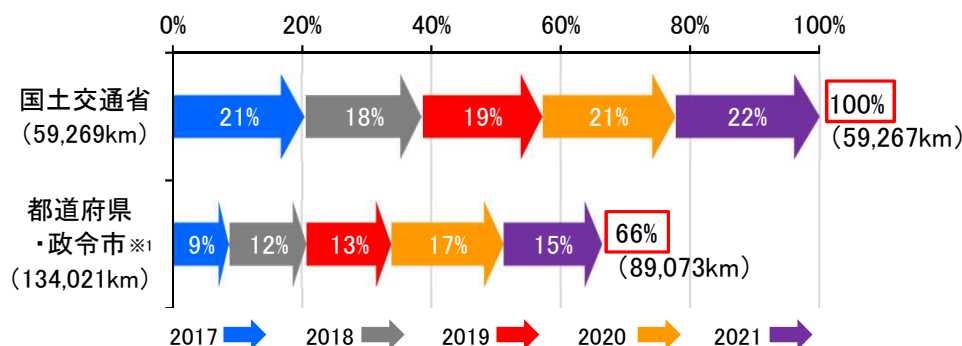
<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>



道路メンテナンス年報(2021年度)の概要

- 舗装は1巡目点検が終了。国土交通省と都道府県・政令市ともに、修繕等が必要な延長の着手率が低水準。
- 橋梁・トンネル・道路附属物等について、2巡目の点検は着実に進捗。
- 橋梁について、地方公共団体の修繕が必要な橋梁の措置着手・完了率が低水準。

■ 舗装の1巡目の点検結果



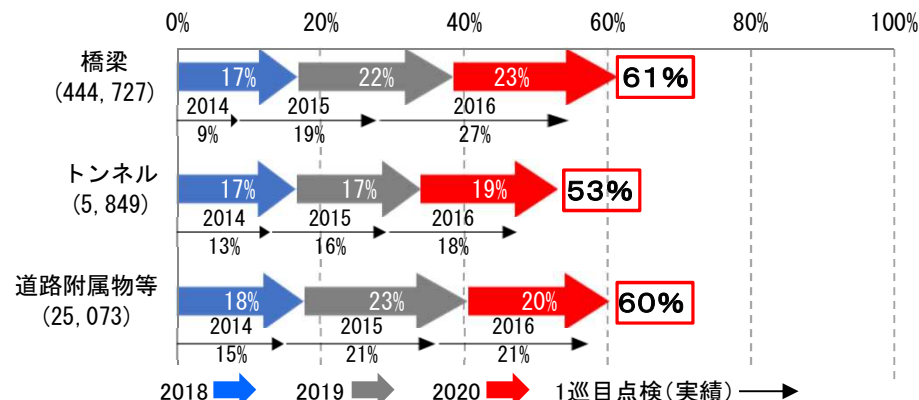
1巡目点検(2017~2021年)が終了
 国土交通省:100%、都道府県・政令市:66%の延長を点検

■ 舗装の修繕等措置状況

管理者	措置が必要な延長※2	措置に着手済みの延長	
		うち完了	
国土交通省	7,460	1,272 (17%)	1,168 (16%)
都道府県・政令市	10,947	2,026 (19%)	1,725 (16%)

国土交通省・都道府県・政令市ともに修繕等の措置が必要な延長に対して、措置が約2割と低水準

■ 橋梁・トンネル・道路附属物等の2巡目点検実施状況



2巡目の点検実施状況は1巡目よりも着実に進捗

■ 1巡目点検で修繕が必要とされた橋梁の修繕等措置状況

管理者	措置が必要な施設数※3	措置に着手済みの施設数		点検後5年以上経過した施設数	
		うち完了		うち未着手数※4	
国土交通省	3,402	3,107 (91%)	1,805 (53%)	1,928	0 (0%)
高速道路会社	2,539	2,068 (81%)	1,533 (60%)	1,172	0 (0%)
地方公共団体	62,694	40,611 (65%)	28,589 (46%)	38,678	11,353 (29%)

地方公共団体の措置着手・完了率が低水準であり、5年以上経過後も約3割の橋梁に未着手

※1: 地方公共団体の舗装については都道府県・政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路を対象としている。

※2: 判定区分Ⅰ～Ⅲのうち、判定区分Ⅲ(修繕段階)の延長。

※3: 判定区分Ⅰ～Ⅳのうち、判定区分Ⅲ(早期措置段階)及び判定区分Ⅳ(緊急措置段階)の橋梁数

※4: 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとされている

(参考)道路メンテナンス年報の公表

○国土交通省では、国民・道路利用者の皆様に道路インフラや老朽化対策の現状をご理解いただくため、点検の実施状況や結果等を調査し、「道路メンテナンス年報」としてとりまとめて公表。

■ 道路メンテナンス年報公表に関する経緯

○ 笹子トンネル天井板落下事故[2012.12]

○ 道路法の改正[2013.6] : 点検基準の法定化(橋梁・トンネル・道路附属物等)

○ 定期点検に関する省令・告示 施行[2014.7] : 5年に1回、近接目視による点検開始

○ 道路メンテナンス年報公表[2015.11~(毎年)]

【主な掲載内容】・橋梁、トンネル、道路附属物等の点検結果及び修繕等措置の実施状況

・舗装の点検結果及び修繕等措置の実施状況

・小規模附属物・土工構造物の点検結果及び修繕等措置の実施状況 等

道路メンテナンス年報

国土交通省 道路局

2022年8月

目次

1. 道路メンテナンス年報について	1
(1) 概要	1
(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について	1
2. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果	2
(1) 2巡目（2019～2021年度）の点検結果	2
(2) 判定区分Ⅰ・Ⅱの施設の5年後の判定区分Ⅲ・Ⅳへの遷移状況	14
(3) 2021年度末時点での判定区分毎の施設数と割合	17
(4) 2021年度末時点の点検結果	20
3. 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況	32
(1) 1巡目点検施設における修繕等措置の実施状況	32
(2) 2巡目点検施設における修繕等措置の実施状況	35
(3) 2021年度末時点の点検施設における修繕等措置の実施状況	38
(4) 各都道府県における道路管理者毎の老朽化対策状況	41
(5) 全国道路施設点検データベース（損傷マップ）	42
(6) 判定区分Ⅳの施設の措置状況	43
4. 予防保全への移行状況	44
5. 舗装の点検結果及び修繕等措置の実施状況	45
(1) 概要	45
(2) 点検結果（国土交通省、都道府県・政令市）	47
(3) 修繕の実施状況（国土交通省、都道府県・政令市）	49
6. 小規模附属物・土工構造物の点検結果及び修繕等措置の実施状況	51
(1) 小規模附属物.....	51
(2) 土工構造物	55
7. 橋梁・トンネルの現状	59
(1) 橋梁の現状	59
(2) トンネルの現状.....	68
8. 地方公共団体におけるメンテナンスに向けた取り組み	77
(1) 道路メンテナンス会議の開催	77
(2) 地域一括発注の状況.....	77
(3) 直轄診断・修繕代行.....	78
(4) 研修の実施状況.....	79
(5) 橋梁管理に携わる土木技術者数.....	79
(6) 個別施設計画の策定状況（2021年度末時点）	80
(7) 道路メンテナンス事業補助の活用状況.....	83
(8) 点検実施者の保有資格等	84

（9）点検・修繕における新技術の活用検討・活用の状況.....	85
（10）集約・撤去・機能縮小等の検討状況.....	91
（11）新技術活用事例及び集約・撤去事例集.....	92
※巻末資料.....	93
（1）道路附属物等の点検実施状況と点検結果の内訳.....	93
（2）緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果の内訳.....	100
（3）橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分Ⅳの施設リスト（2014～2021年度）.....	105
（4）橋梁・トンネルの建設年度別施設数.....	138

1. 道路メンテナンス年報について

(1) 概要

- 国土交通省では、国民・道路利用者の皆様に道路インフラの現状及び老朽化対策についてご理解頂くため、点検の実施状況や結果等を「道路メンテナンス年報」としてとりまとめています。
- 橋梁・トンネル・道路附属物等※については、2014～2018年度における1巡目点検（以降、1巡目点検）が完了し、2019年度より2巡目の点検に着手しています。
- 今回は、下記についてとりまとめました。
 - 2巡目（2019～2021年度）及び2021年度末時点の点検結果
 - 国土交通省が管理する道路及び47都道府県と20政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路における舗装の1巡目（2017～2021年度）の点検結果
 - 国土交通省及び地方公共団体における小規模附属物の2017～2021年度の点検結果、土工構造物の2018～2021年度の点検結果
- 結果の詳細は、以下のホームページにてご覧いただけます。
https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_index.html
- また、道路インフラの老朽化対策状況の更なる見える化を図るため、
 - ・各都道府県における道路管理者毎の老朽化対策状況（橋梁、トンネル、道路附属物等の判定区分や措置状況等）を視覚化した情報を以下に公開しています。
 URL：https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_r03.html
 - ・橋梁・トンネル・道路附属物等の諸元や点検結果、措置状況等を地図上で閲覧できる「全国道路施設点検データベース（損傷マップ）」を以下に公開しています。
 URL：<https://road-structures-map.mlit.go.jp/>
 - ・より詳細な点検データ等については、「全国道路施設点検データベース」において有料で公開しております。
 URL：<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>
- この調査結果は、点検結果を踏まえた今後の措置方針の立案等に活用します。

<p style="text-align: center;">道路の老朽化の現状はどうなっているのだろうか。</p> <p style="font-size: small;">→ 地域毎のデータ、経年的な変化等、様々な観点から我が国の道路施設の老朽化の実態を把握することができます。</p>	<p style="text-align: center;">今後どのように措置していくのか。</p> <p style="font-size: small;">→ 各道路管理者は、自らの管理施設の老朽化の実態を踏まえ、今後の措置方針を立案していくこととなります。</p>
---	--

※道路附属物等：シェッド・大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等

(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について

全ての道路管理者は、2013年の道路法改正等を受け、2014年7月より5年に1回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

健全性の診断は、以下の4段階に区分します。

	区分	状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

2. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果

(1) 2巡目(2019~2021年度)の点検結果

1) 全道路管理者

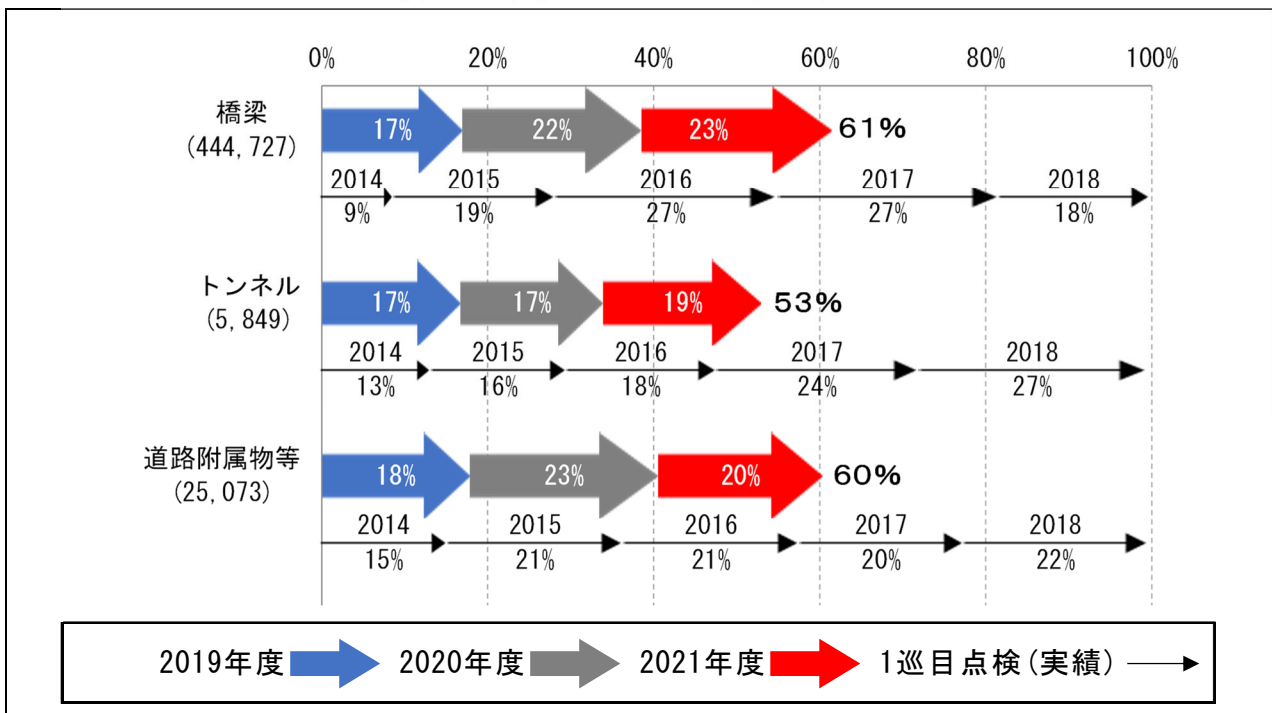
- 2巡目(2019~2021年度)の累積点検実施率は、橋梁 61%、トンネル 53%、道路附属物等 60%と着実に進捗しています。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 41%、Ⅱ 51%、Ⅲ 8%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 66%、Ⅲ 31%、Ⅳ 0.1%、道路附属物等：Ⅰ 38%、Ⅱ 51%、Ⅲ 12%、Ⅳ 0.02%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある(次頁以降も同様)。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2巡目(2019~2021年度)の点検実施率(全道路管理者合計)



※()内は、2019~2021年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

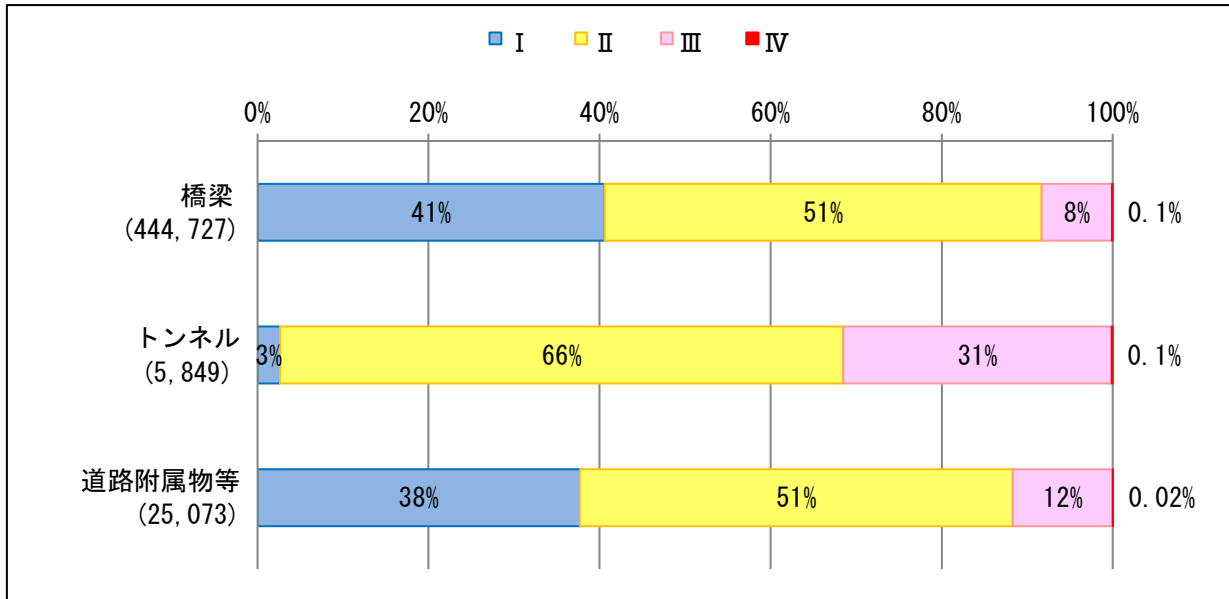
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	728,603	723,705	444,727	61% (55%)
トンネル	11,476	11,032	5,849	53% (48%)
道路附属物等	42,549	41,548	25,073	60% (58%)

2022.3末時点

※1:2022年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

※2:点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1巡目(2014~2016年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(全道路管理者合計)



※()内は、2019～2021 年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	444,727	180,511	227,265	36,592	359
		41%	51%	8%	0.1%
トンネル	5,849	154	3,853	1,834	8
		3%	66%	31%	0.1%
道路附属物等	25,073	9,453	12,691	2,923	6
		38%	51%	12%	0.02%

2022.3 末時点

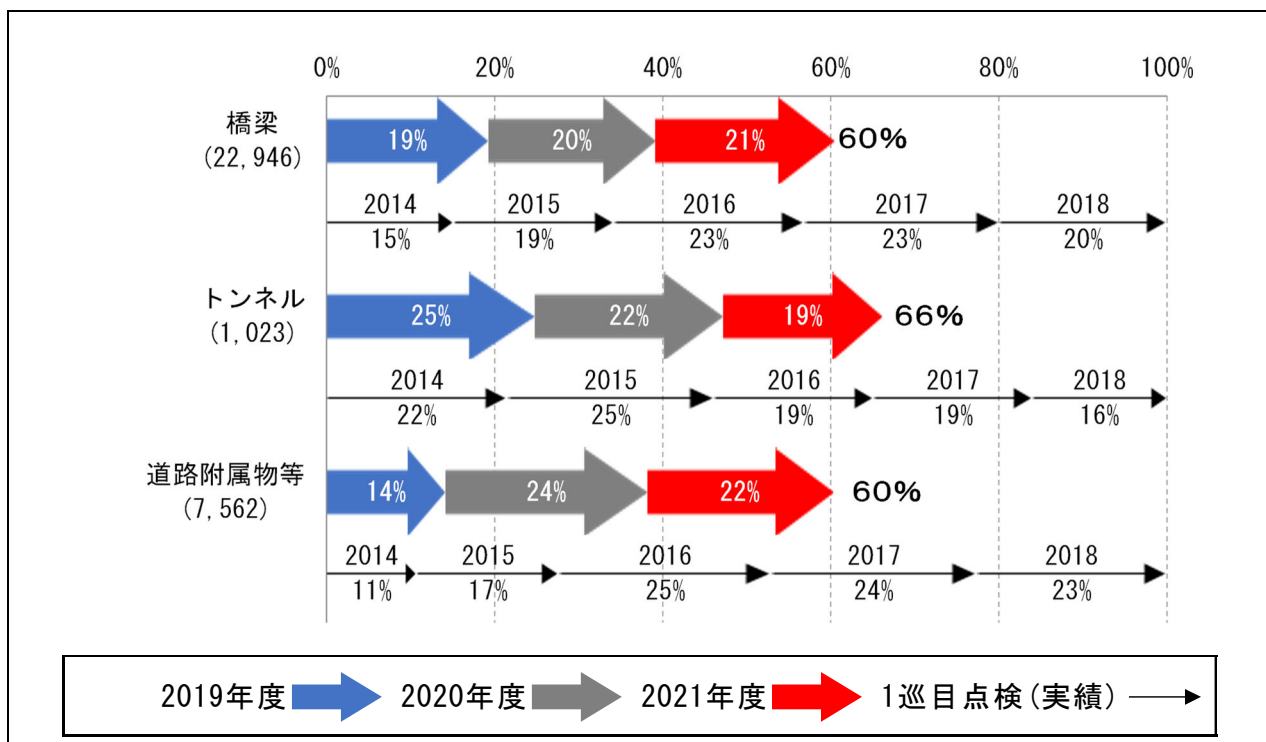
2)国土交通省

- 2 巡目（2019～2021 年度）の累積点検実施率は、橋梁 60%、トンネル 66%、道路附属物等 60%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 56%、Ⅱ 34%、Ⅲ 10%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 69%、Ⅲ 29%、道路附属物等：Ⅰ 32%、Ⅱ 52%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.01%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目(2019～2021 年度)の点検実施率(国土交通省)



※()内は、2019～2021 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

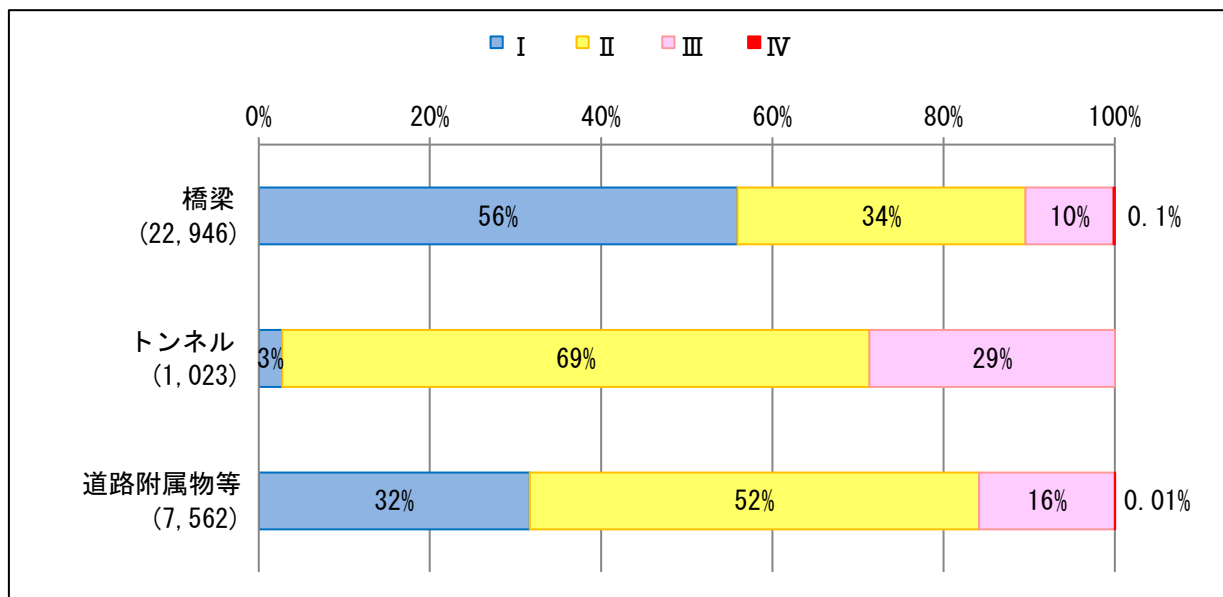
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	38,912	37,970	22,946	60% (57%)
トンネル	1,729	1,547	1,023	66% (65%)
道路附属物等	12,869	12,546	7,562	60% (53%)

2022.3 末時点

※1:2022 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目(2014～2016 年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(国土交通省)



※()内は、2019～2021 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		I	II	III	IV
橋梁	22,946	12,835	7,716	2,363	32
		56%	34%	10%	0.1%
トンネル	1,023	28	702	293	0
		3%	69%	29%	0%
道路附属物等	7,562	2,393	3,969	1,199	1
		32%	52%	16%	0.01%

2022.3 末時点

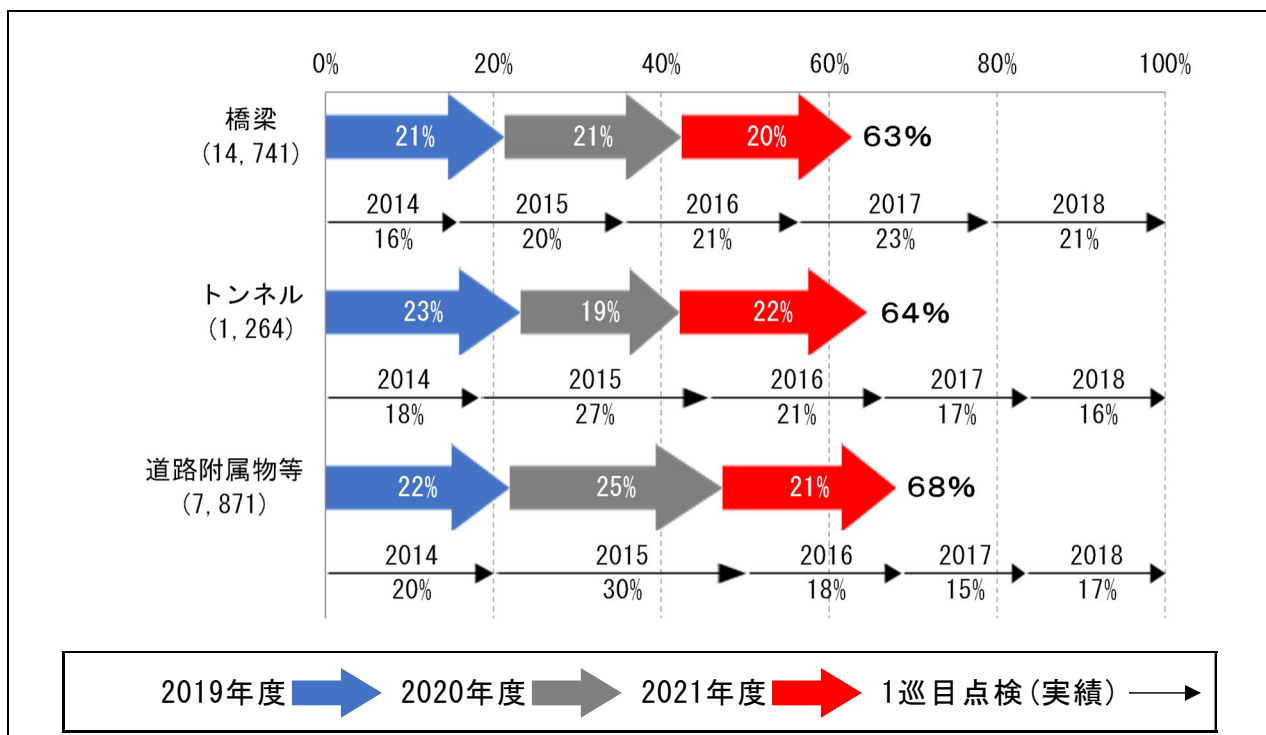
3) 高速道路会社

- 2 巡目（2019～2021 年度）の累積点検実施率は、橋梁 63%、トンネル 64%、道路附属物等 68%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 21%、Ⅱ 68%、Ⅲ 11%、トンネル：Ⅰ 5%、Ⅱ 76%、Ⅲ 19%、道路附属物等：Ⅰ 62%、Ⅱ 36%、Ⅲ 2%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2021 年度）の点検実施率（高速道路会社）



※()内は、2019～2021 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

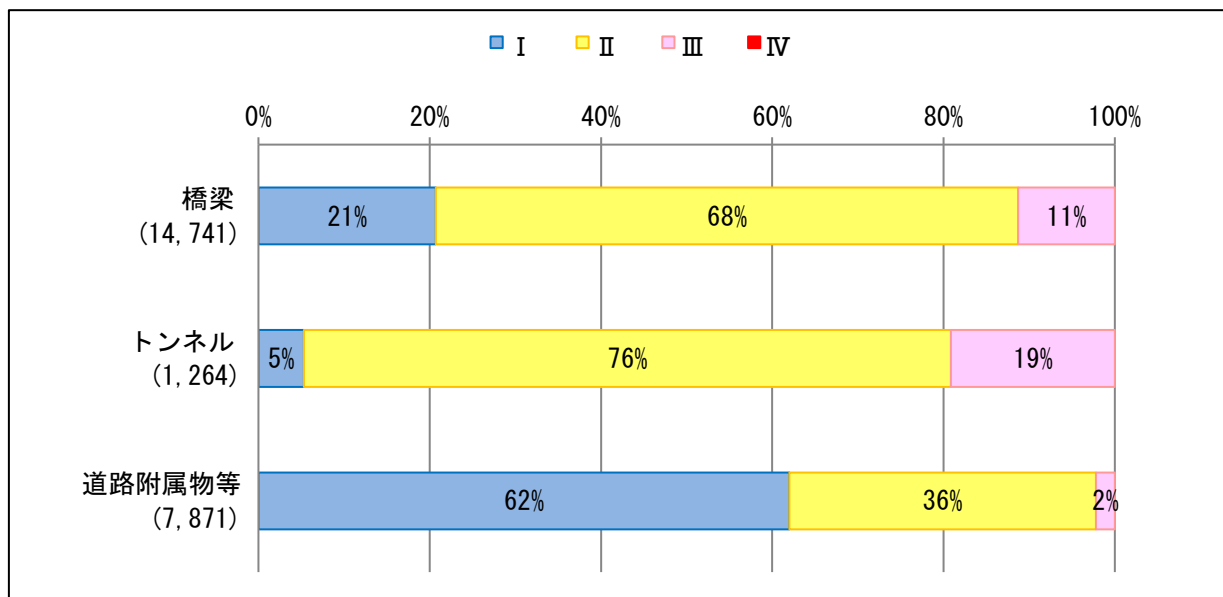
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	24,182	23,510	14,741	63% (56%)
トンネル	2,064	1,960	1,264	64% (66%)
道路附属物等	12,098	11,581	7,871	68% (69%)

2022.3 末時点

※1:2022 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目(2014～2016 年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(高速道路会社)



※()内は、2019～2021 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		I	II	III	IV
橋梁	14,741	3,053	10,025	1,663	0
		21%	68%	11%	0%
トンネル	1,264	67	955	242	0
		5%	76%	19%	0%
道路附属物等	7,871	4,879	2,818	174	0
		62%	36%	2%	0%

2022.3 末時点

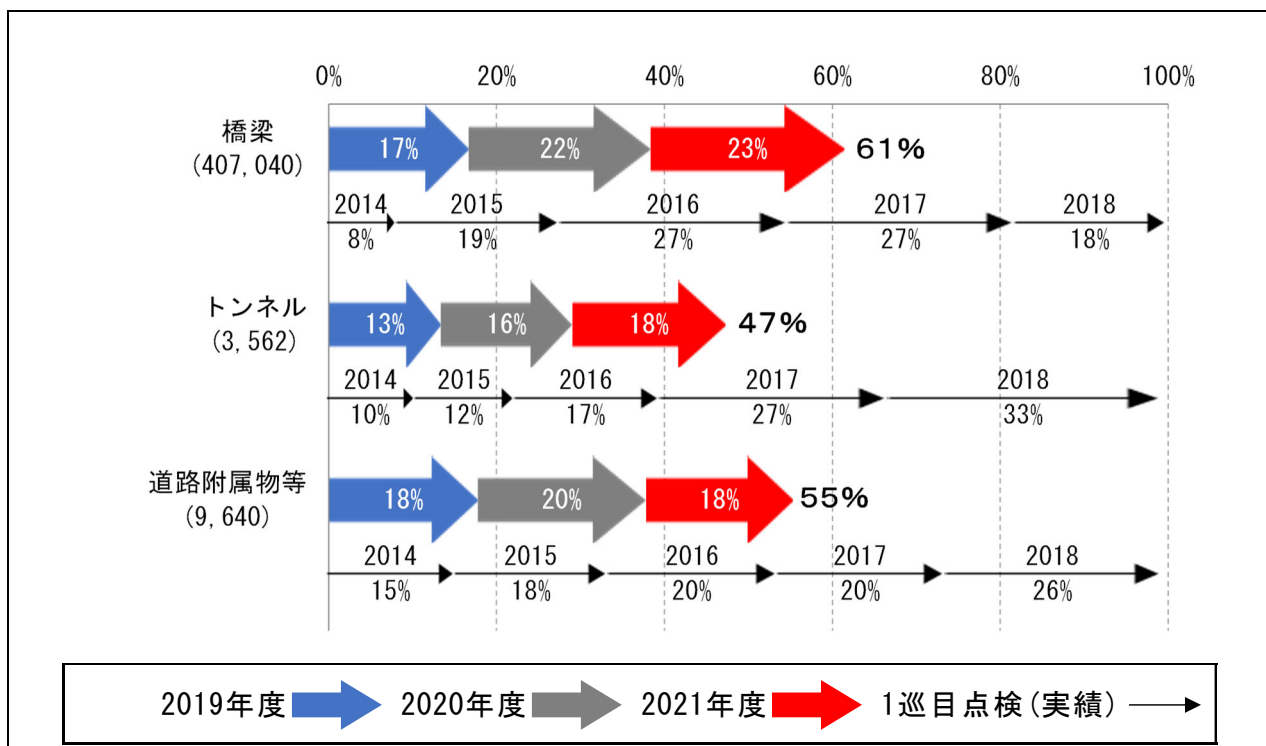
4) 地方公共団体

- 2 巡目（2019～2021 年度）の累積点検実施率は、橋梁 61%、トンネル 47%、道路附属物等 55%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 40%、Ⅱ 51%、Ⅲ 8%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 62%、Ⅲ 36%、Ⅳ 0.2%、道路附属物等：Ⅰ 23%、Ⅱ 61%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.05%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2021 年度）の点検実施率（地方公共団体）



※()内は、2019～2021 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

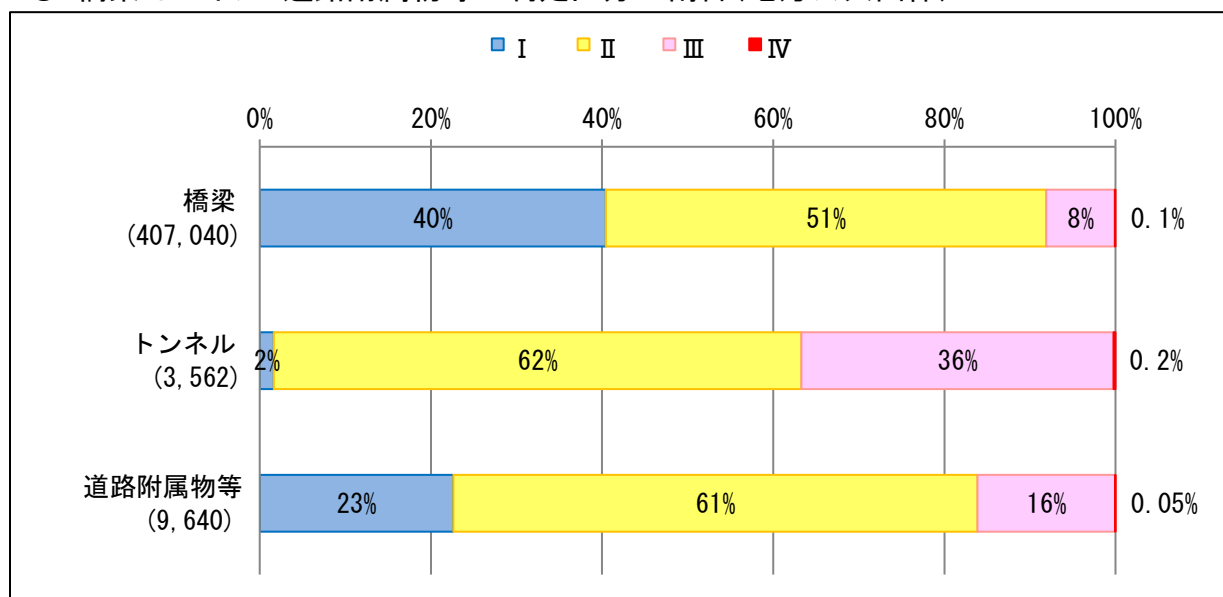
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	665,509	662,225	407,040	61% (55%)
トンネル	7,683	7,525	3,562	47% (39%)
道路附属物等	17,582	17,421	9,640	55% (54%)

2022.3 末時点

※1: 2022 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目（2014～2016 年度）における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(地方公共団体)



※()内は、2019～2021 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		I	II	III	IV
橋梁	407,040	164,623	209,524	32,566	327
		40%	51%	8%	0.1%
トンネル	3,562	59	2,196	1,299	8
		2%	62%	36%	0.2%
道路附属物等	9,640	2,181	5,904	1,550	5
		23%	61%	16%	0.05%

2022.3 末時点

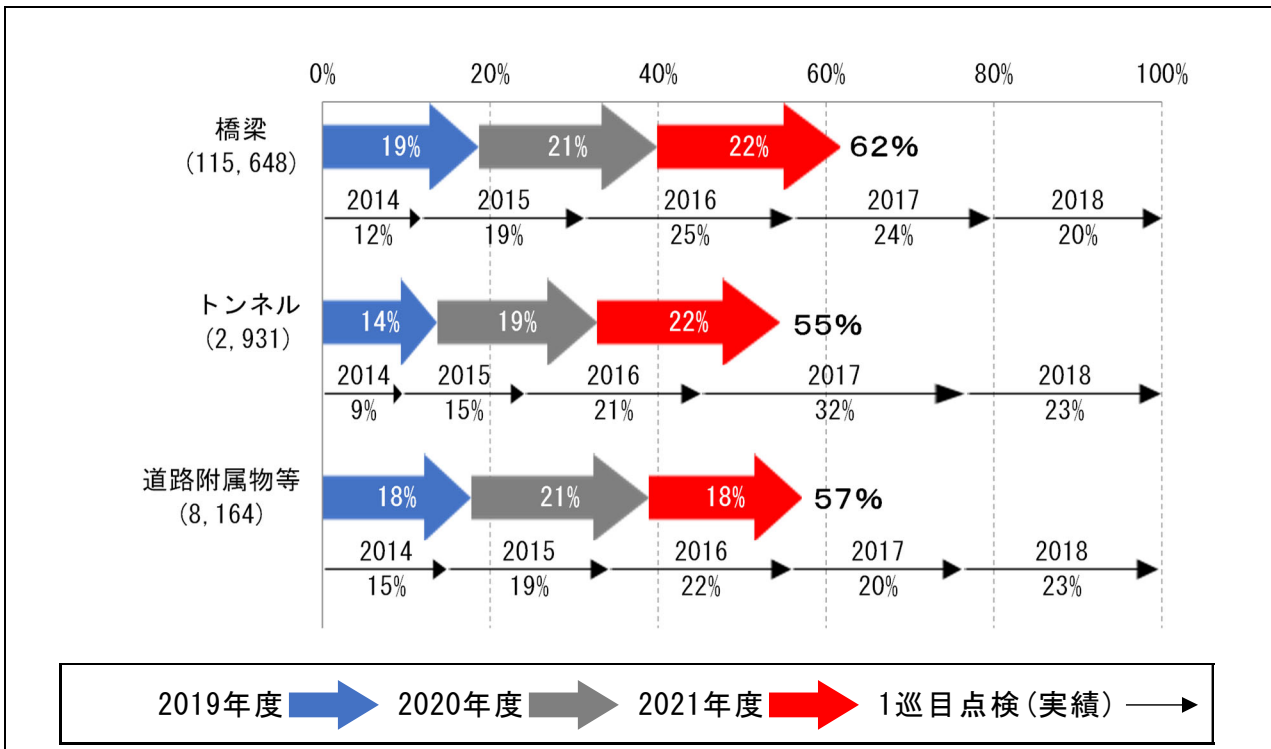
5) 都道府県・政令市等

- 2 巡目（2019～2021 年度）の累積点検実施率は、橋梁 62%、トンネル 55%、道路附属物等 57%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 37%、Ⅱ 54%、Ⅲ 9%、Ⅳ 0.02%、トンネル：Ⅰ 1%、Ⅱ 61%、Ⅲ 38%、道路附属物等：Ⅰ 23%、Ⅱ 61%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.05%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2021 年度）の点検実施率（都道府県・政令市等）



※()内は、2019～2021 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

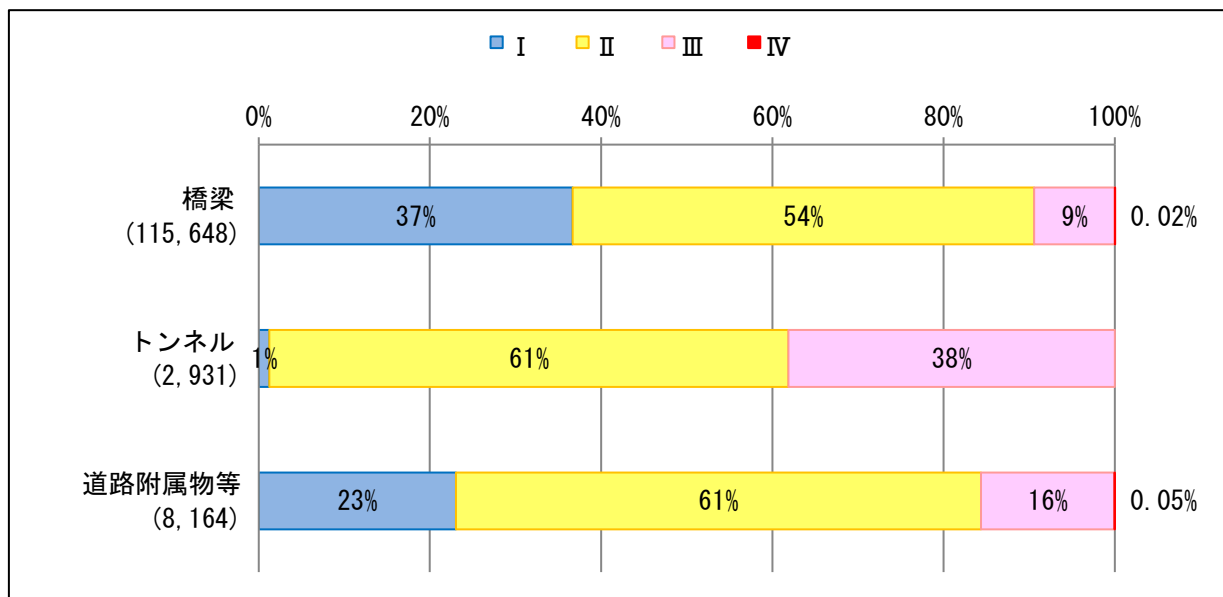
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	188,471	187,323	115,648	62% (56%)
トンネル	5,517	5,374	2,931	55% (45%)
道路附属物等	14,398	14,294	8,164	57% (56%)

2022.3 末時点

※1: 2022 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目(2014～2016 年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(都道府県・政令市等)



※()内は、2019～2021 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		I	II	III	IV
橋梁	115,648	42,407	62,340	10,879	22
		37%	54%	9%	0.02%
トンネル	2,931	37	1,777	1,117	0
		1%	61%	38%	0%
道路附属物等	8,164	1,882	5,005	1,273	4
		23%	61%	16%	0.05%

2022.3 末時点

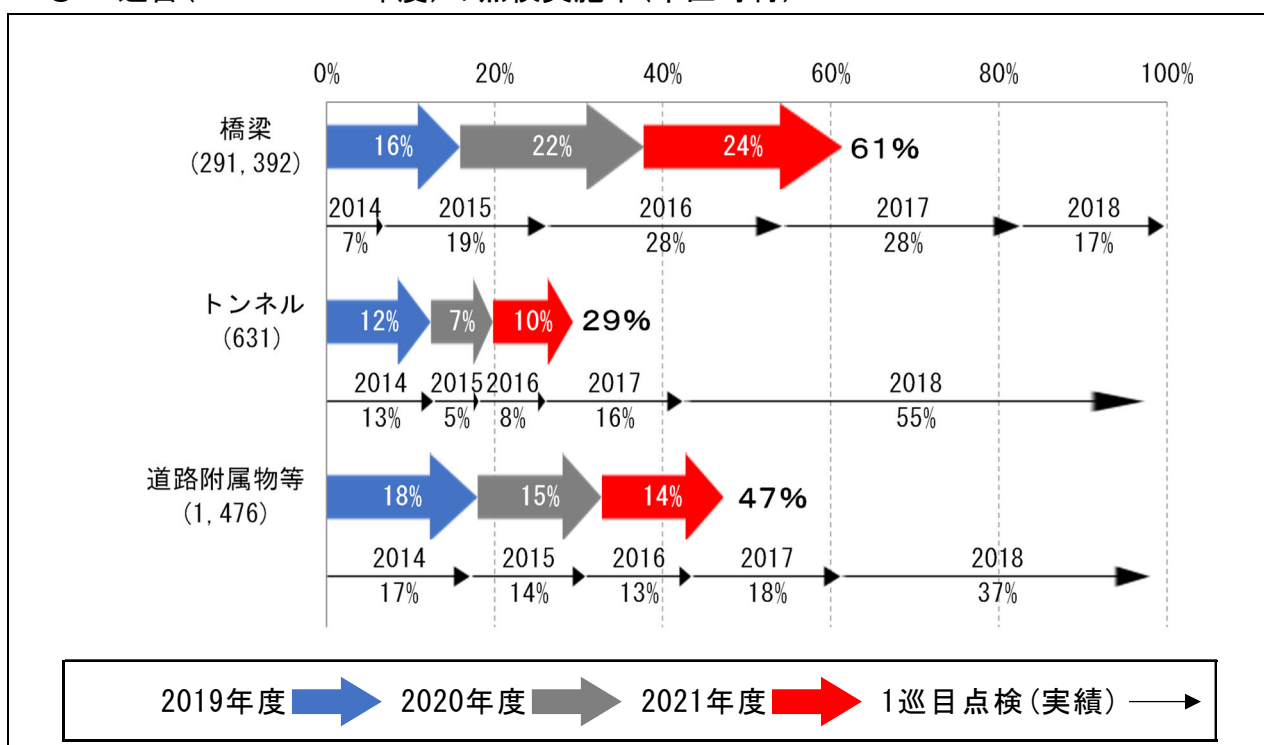
6) 市区町村

- 2 巡目（2019～2021 年度）の累積点検実施率は、橋梁 61%、トンネル 29%、道路附属物等 47%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 42%、Ⅱ 51%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 66%、Ⅲ 29%、Ⅳ 1%、道路附属物等：Ⅰ 20%、Ⅱ 61%、Ⅲ 19%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2021 年度）の点検実施率(市区町村)



※()内は、2019～2021 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

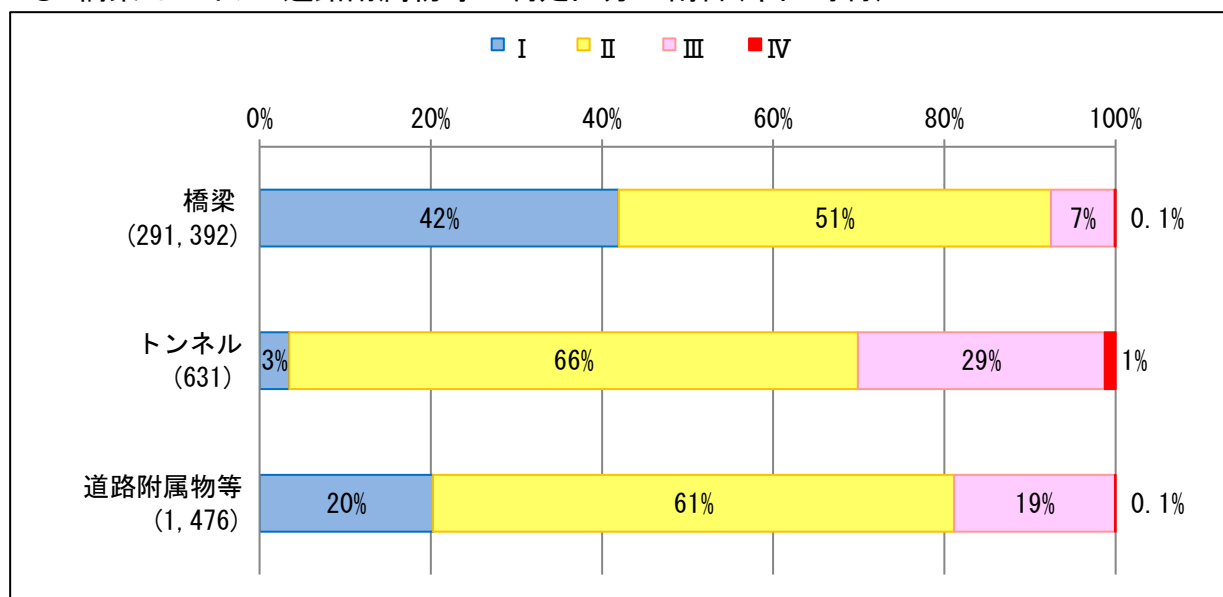
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	477,038	474,902	291,392	61% (54%)
トンネル	2,166	2,151	631	29% (26%)
道路附属物等	3,184	3,127	1,476	47% (44%)

2022.3 末時点

※1: 2022 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目(2014～2016 年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(市区町村)



※()内は、2019～2021 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	291,392	122,216	147,184	21,687	305
		42%	51%	7%	0.1%
トンネル	631	22	419	182	8
		3%	66%	29%	1%
道路附属物等	1,476	299	899	277	1
		20%	61%	19%	0.1%

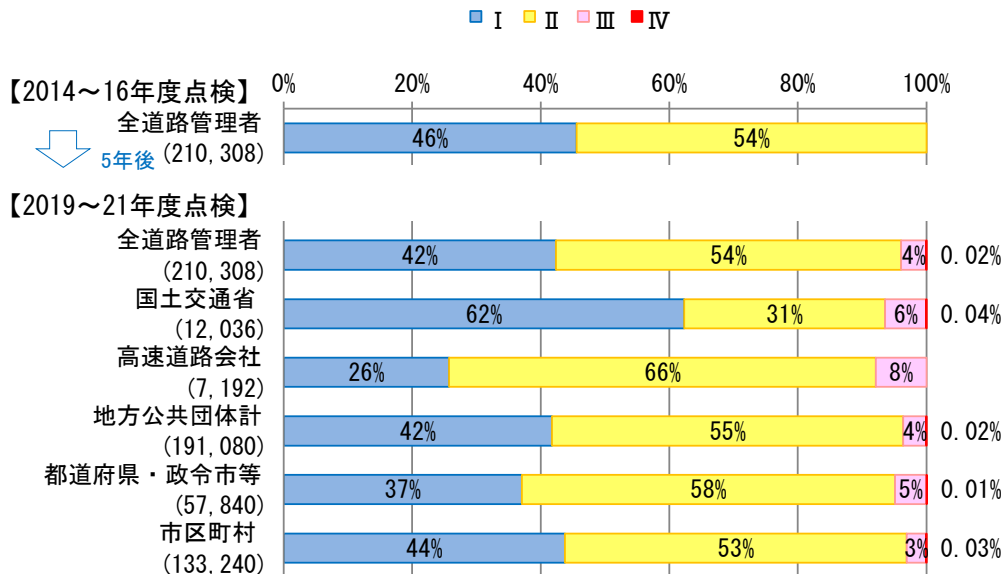
2022.3 末時点

(2) 判定区分Ⅰ・Ⅱの施設の5年後の判定区分Ⅲ・Ⅳへの遷移状況

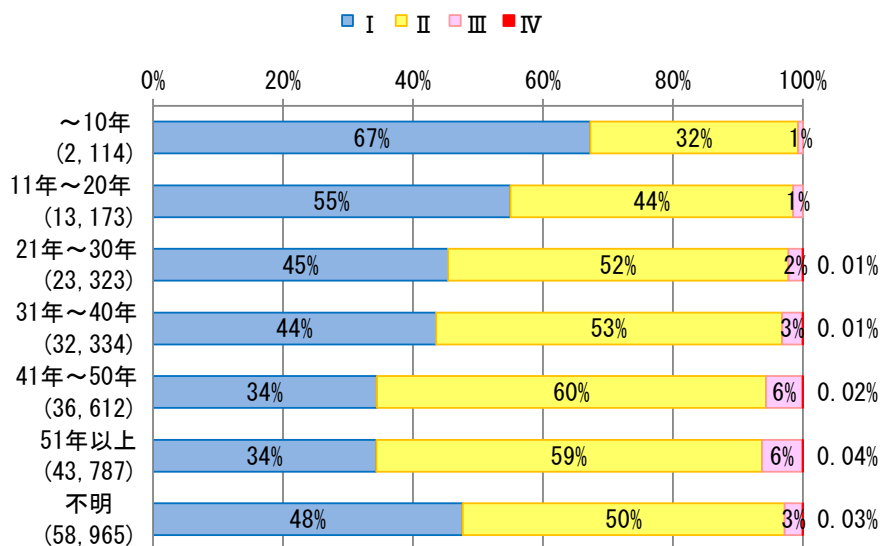
1) 橋梁

- 1 巡目の 2014 年度～2016 年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（区分Ⅰ・Ⅱ）と判定された橋梁のうち、修繕等の措置を講じないまま、5 年後の 2019 年度～2021 年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した橋梁の割合は全道路管理者合計で 4% です。
- 建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)



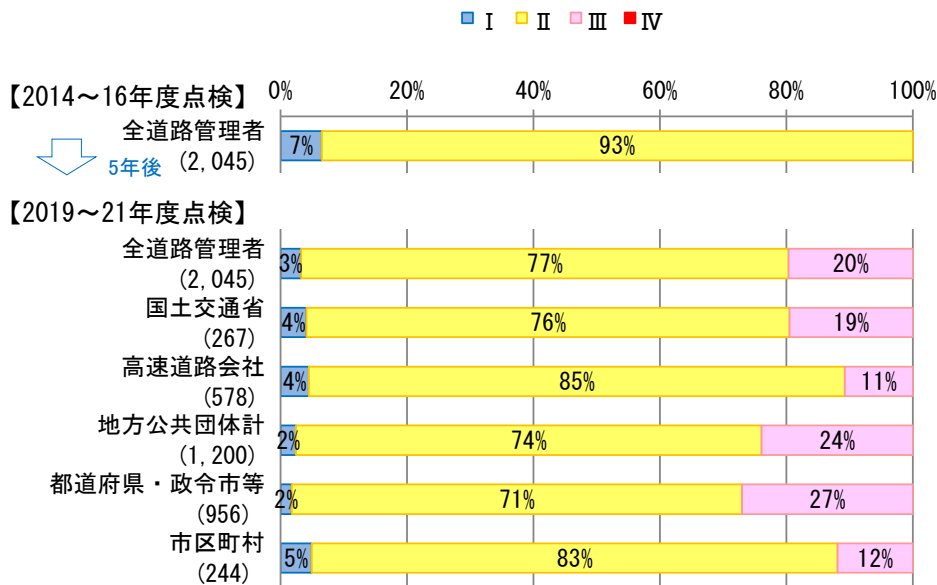
※()内は、1 巡目(2014 年度～2016 年度)の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなった橋梁数のうち、修繕等の措置を講じないまま 5 年後の 2019 年度～2021 年度に点検を実施した橋梁の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

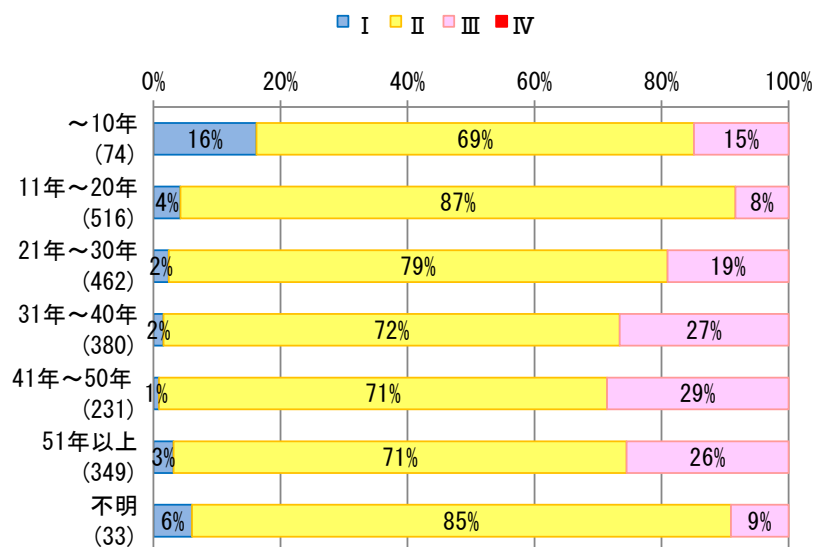
2)トンネル

- 1 巡目の 2014 年度～2016 年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（区分Ⅰ・Ⅱ）に判定されたトンネルのうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度～2021年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移したトンネルの割合は全道路管理者合計で20%です。
- 建設後経過年数が21年以上となるトンネルでは、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)

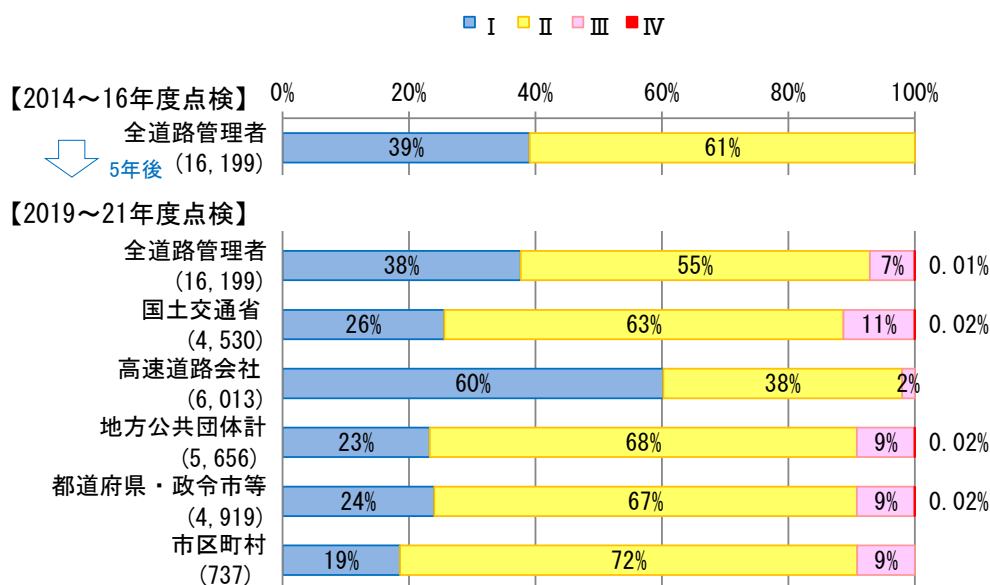


※()内は、1 巡目(2014 年度～2016 年度)の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなったトンネル数のうち、修繕等の措置を講じないまま5年後の2019年度～2021年度に点検を実施したトンネルの合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

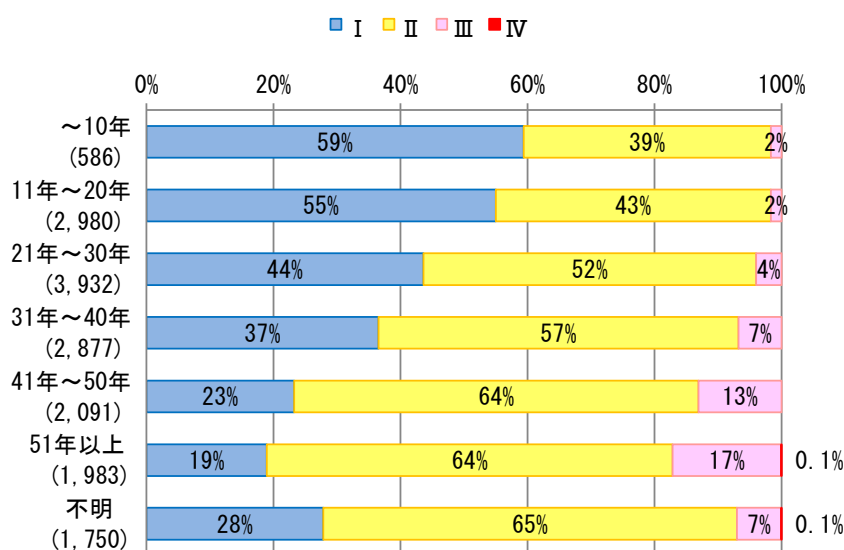
3) 道路附属物等

- 1 巡目の 2014 年度～2016 年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（区分Ⅰ・Ⅱ）に判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置を講じないまま、5 年後の 2019 年度～2021 年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した道路附属物等の割合は全道路管理者合計で 7%です。
- 建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)

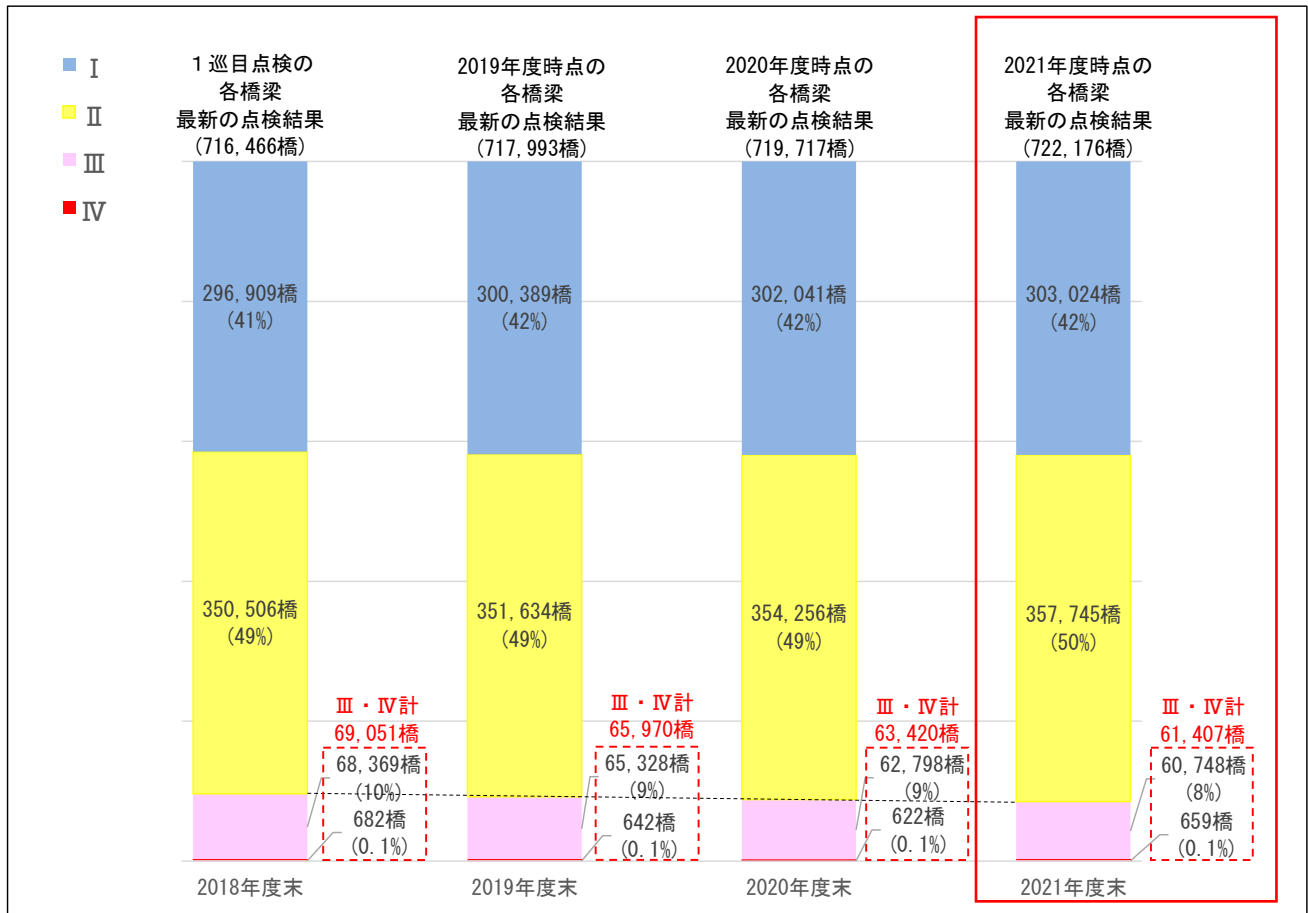


※()内は、1 巡目(2014 年度～2016 年度)の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなった道路附属物等の施設数のうち、修繕等の措置を講じないまま 5 年後の 2019 年度～2021 年度に点検を実施した道路附属物等の合計。
※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

(3)2021 年度末時点での判定区分毎の施設数と割合

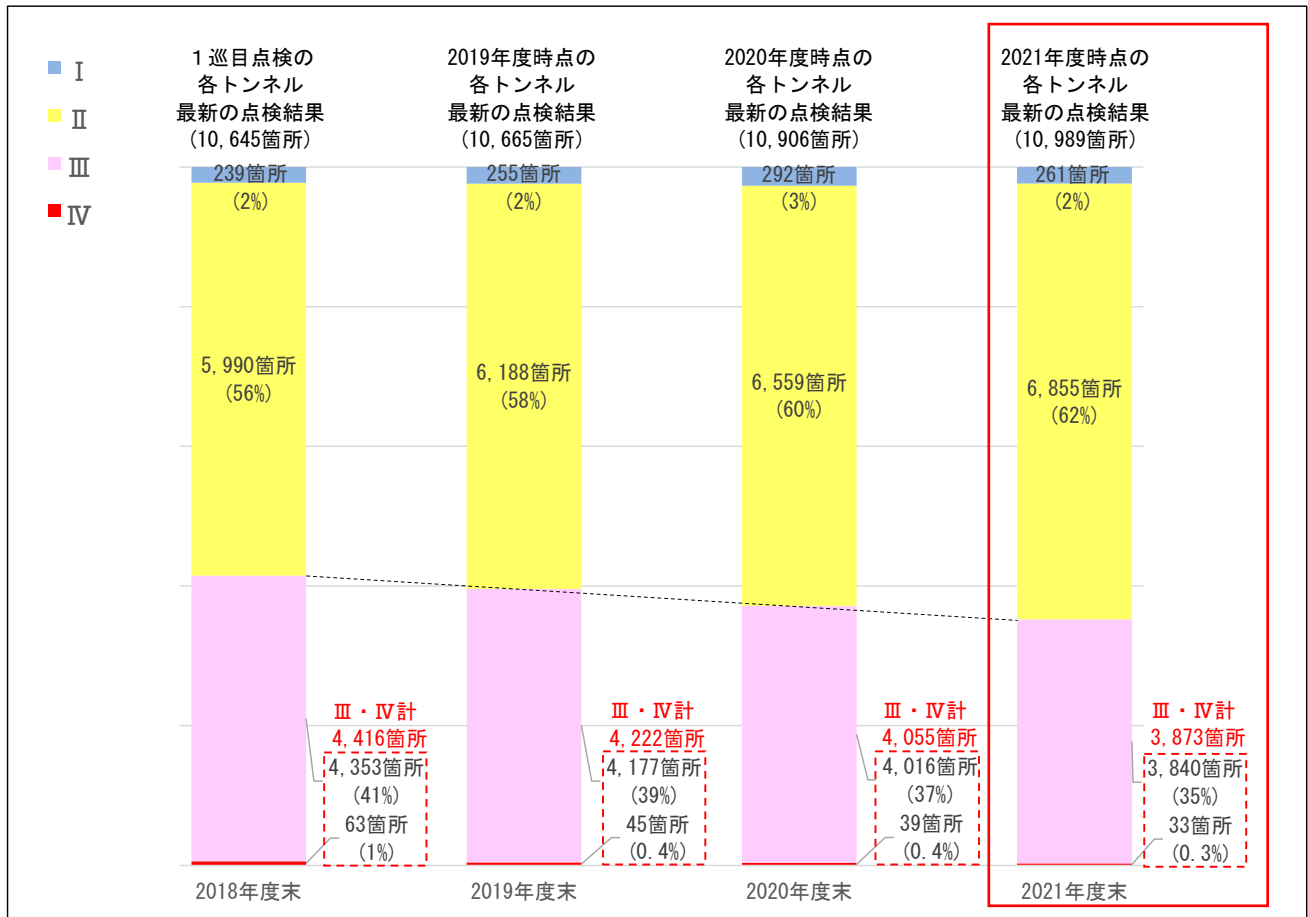
1) 橋梁

- 2021 年度末時点での点検結果では判定区分の割合は、I 42%、II 50%、III 8%、IV 0.1%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁は61,407 橋であった。
- 1 巡目点検結果から推移をみると、年々判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁数は着実に減少している。



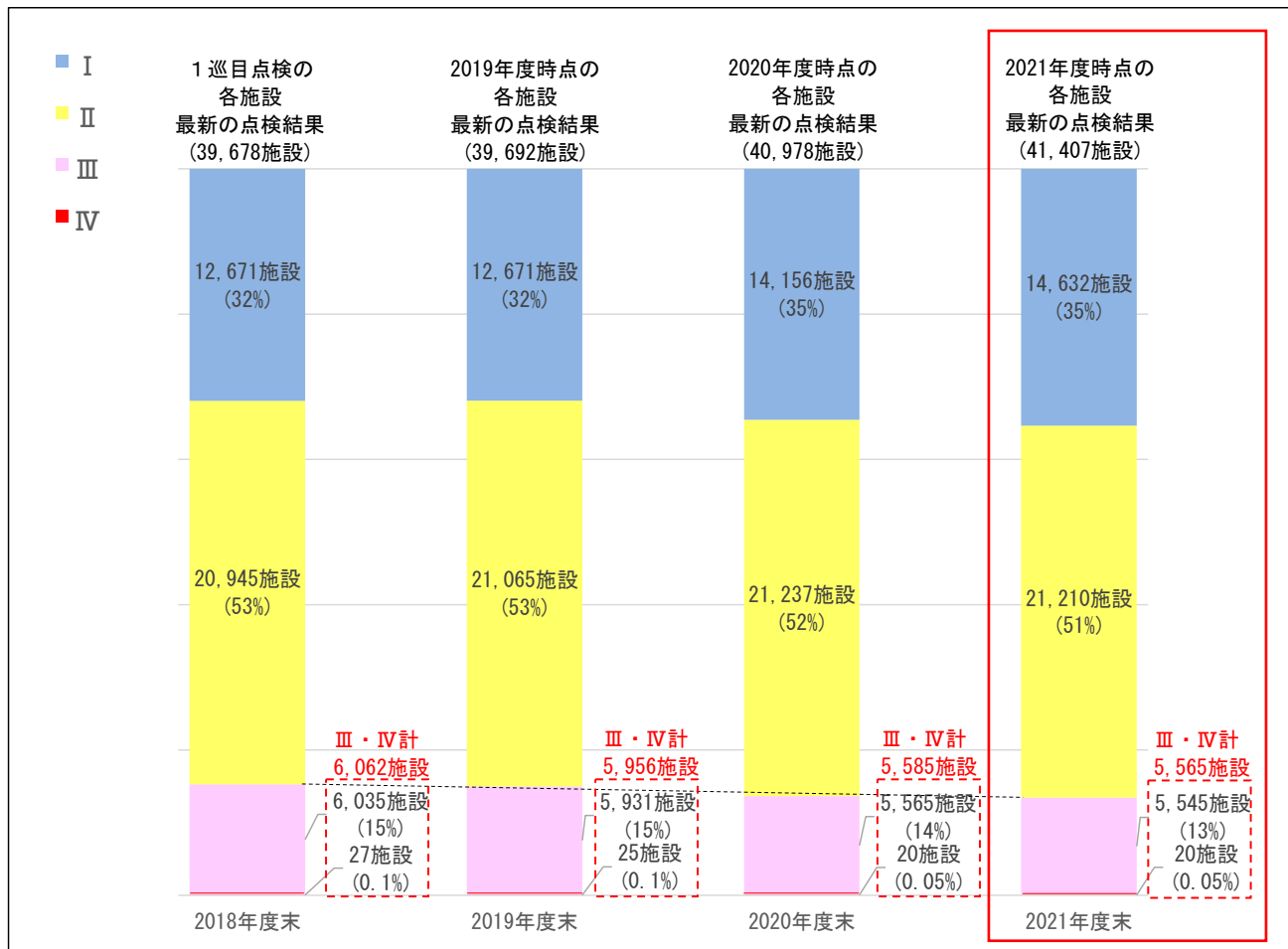
2)トンネル

- 2021年度末時点での点検結果では判定区分の割合は、I 2%、II 62%、III 35%、IV 0.3%であり、修繕等が必要な判定区分III・IVのトンネルは3,873箇所であった。
- 1巡目点検結果から推移をみると、年々判定区分III・IVのトンネル数は着実に減少している。



3) 道路附属物等

- 2021年度末時点での点検結果では判定区分の割合は、I 35%、II 51%、III 13%、IV 0.05%であり、修繕等が必要な判定区分III・IVの道路附属物等は5,565施設であった。
- 1巡目点検結果から推移をみると、年々判定区分III・IVの道路附属物等数は着実に減少している。



(4)2021 年度末時点の点検結果

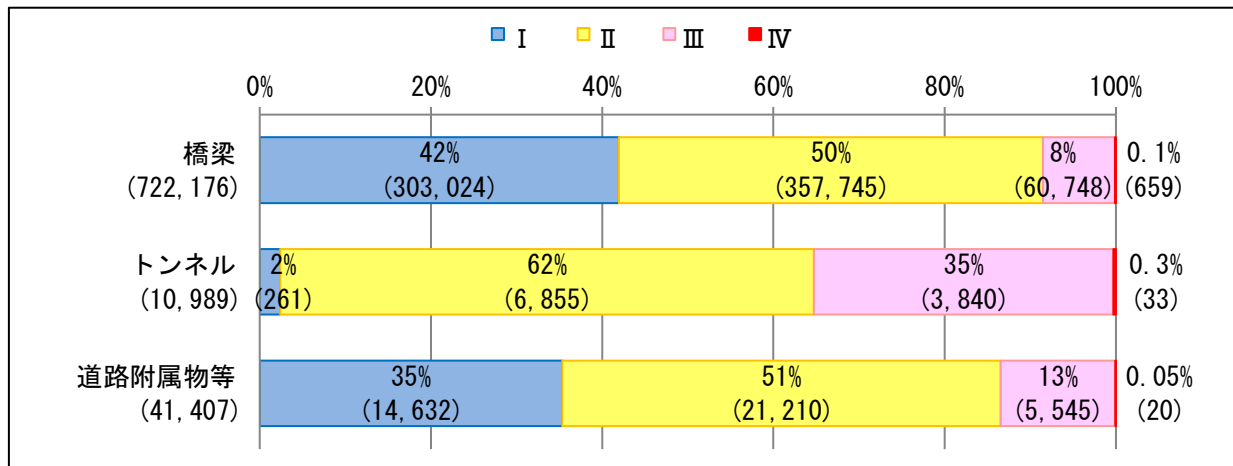
1)全道路管理者

○ 2021 年度末時点の点検結果における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 42%、Ⅱ 50%、Ⅲ 8%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 62%、Ⅲ 35%、Ⅳ 0.3%、道路附属物等：Ⅰ 35%、Ⅱ 51%、Ⅲ 13%、Ⅳ 0.05%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(全道路管理者合計)

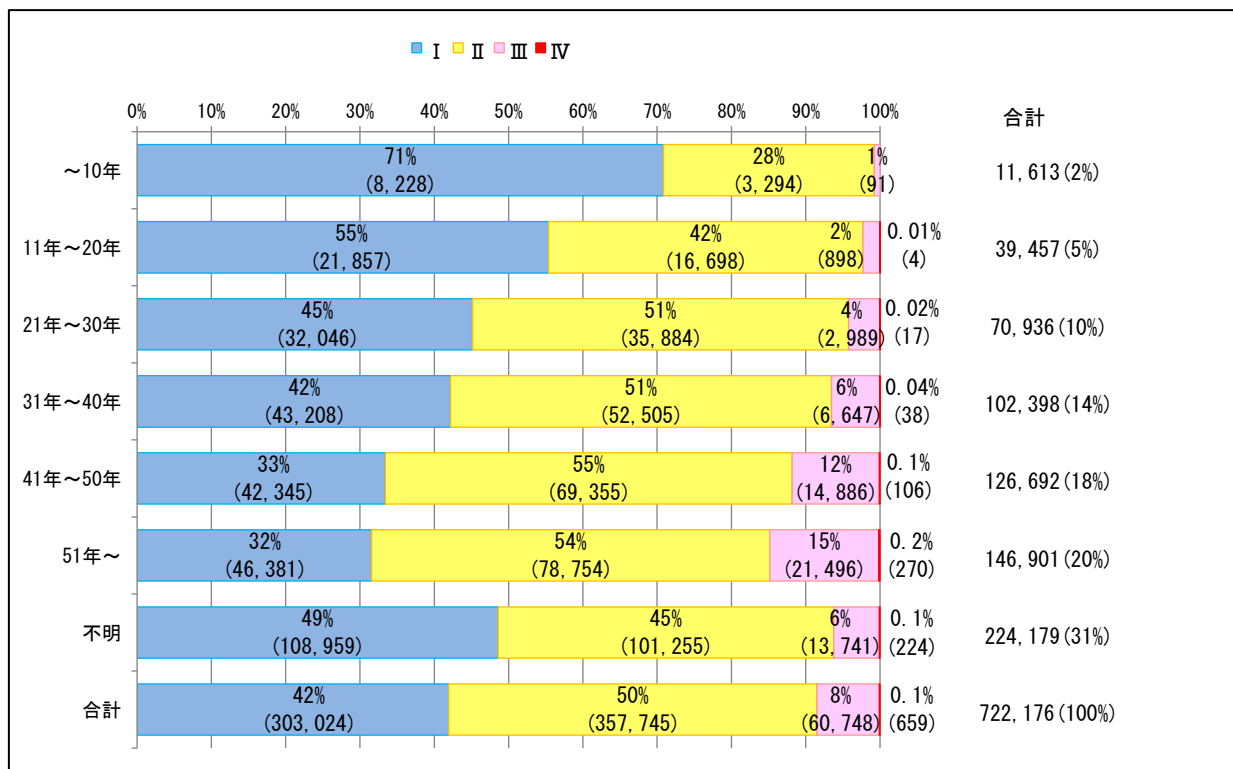


2022.3 末時点

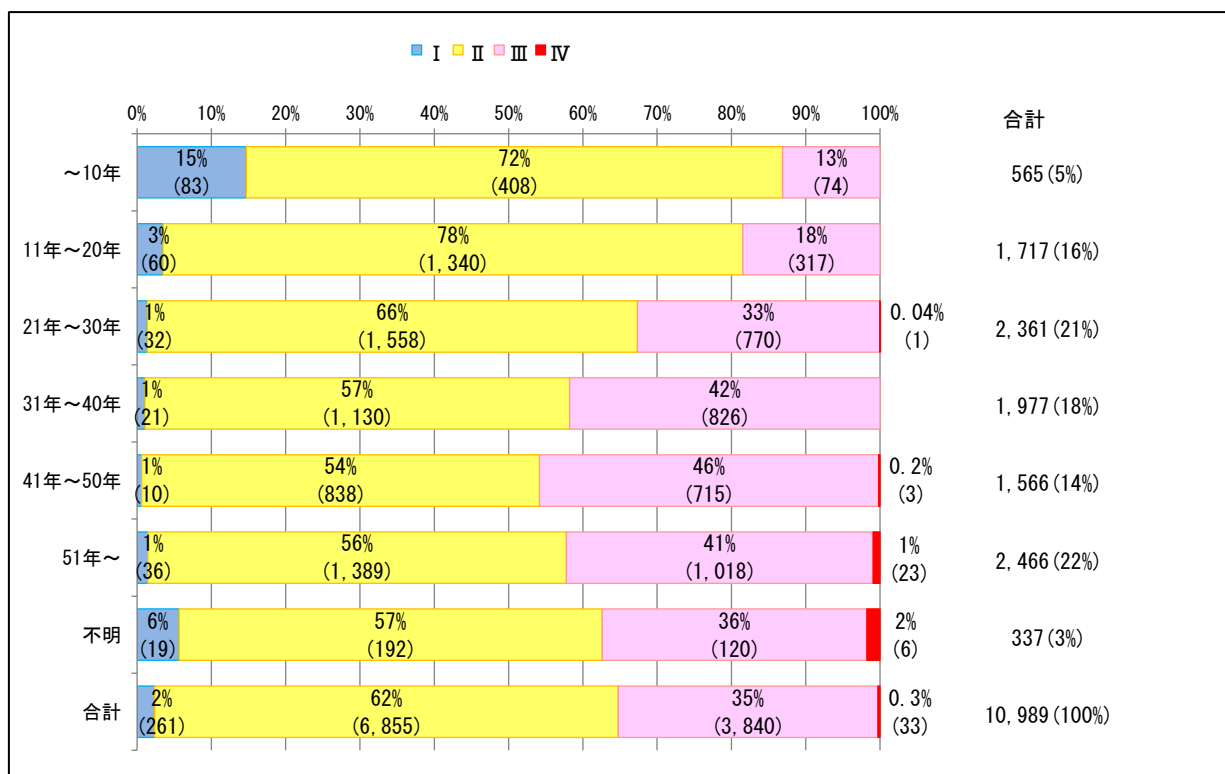
※()内は、2022 年 3 月末時点の施設数のうち、2014~2021 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

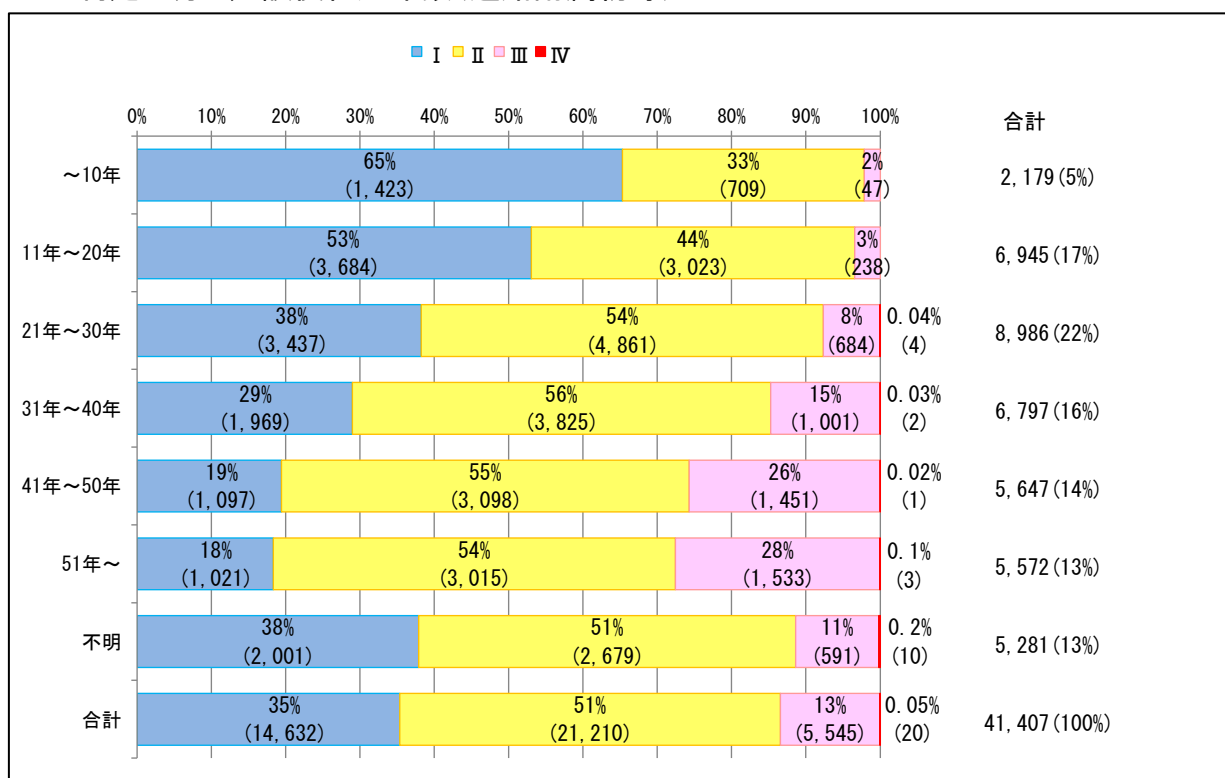
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



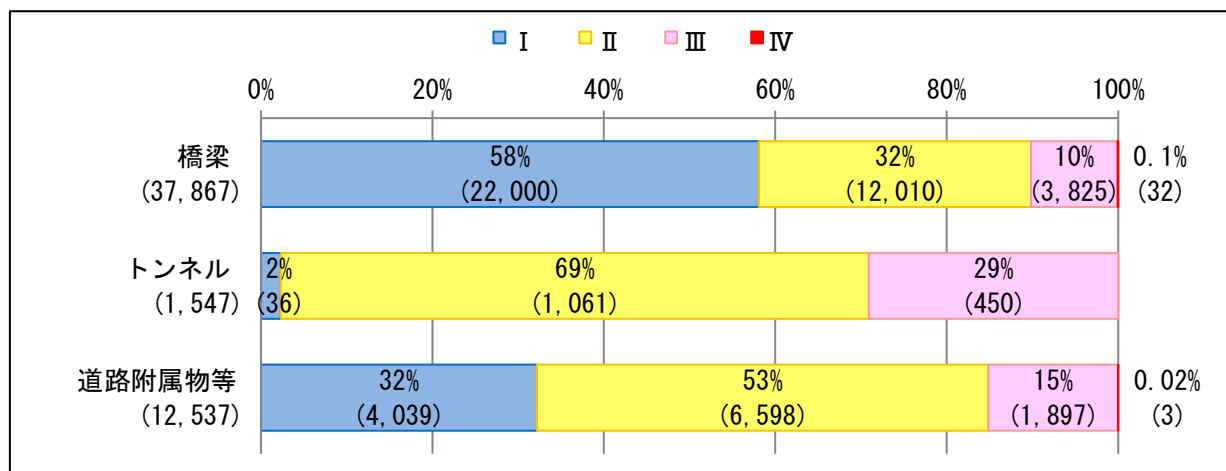
2) 国土交通省

- 2021 年度末時点の点検結果における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 58%、Ⅱ 32%、Ⅲ 10%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 69%、Ⅲ 29%、道路附属物等：Ⅰ 32%、Ⅱ 53%、Ⅲ 15%、Ⅳ 0.02%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

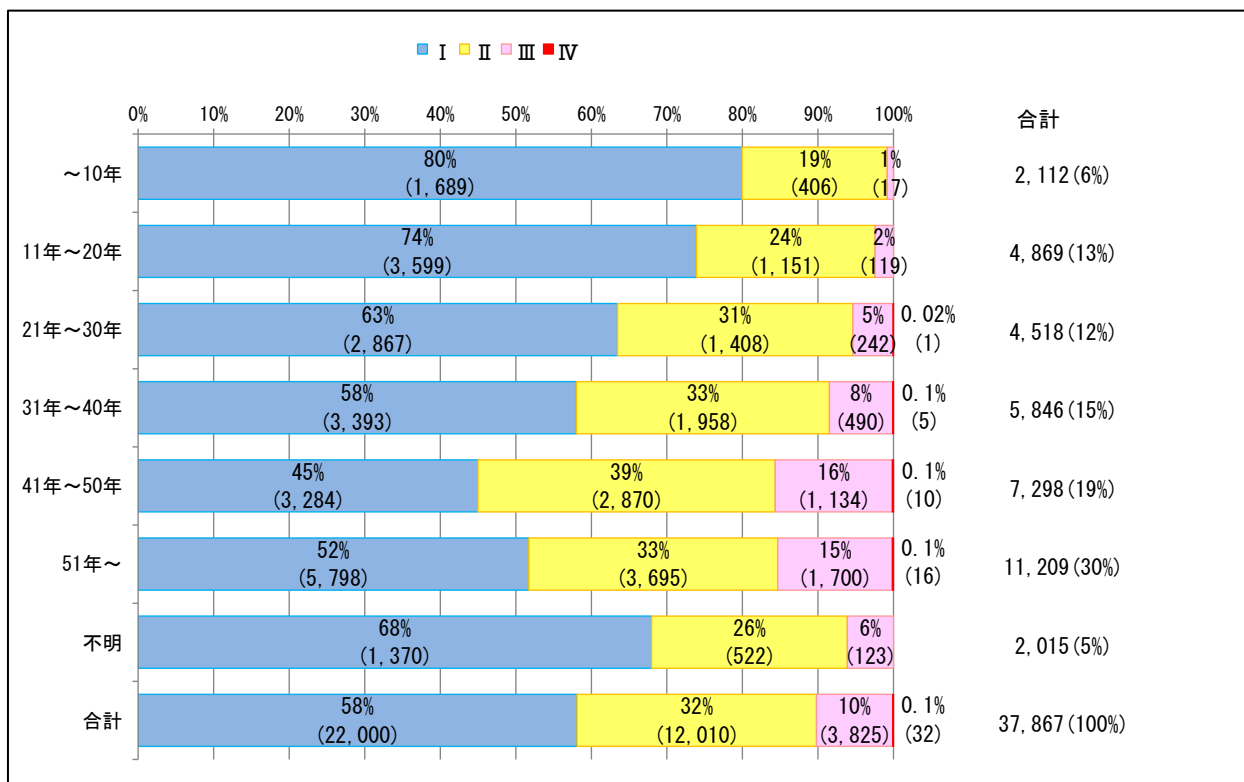
○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(国土交通省)



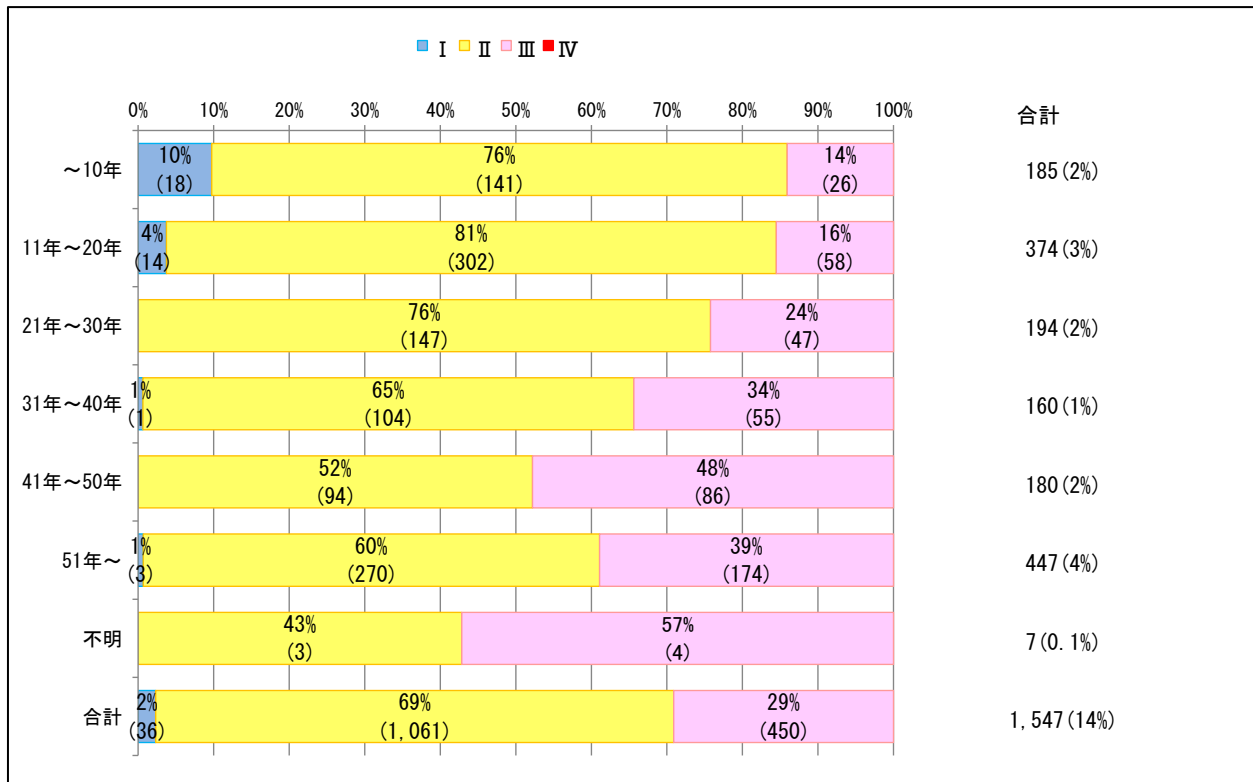
2022.3 末時点

※()内は、2022 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2021 年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

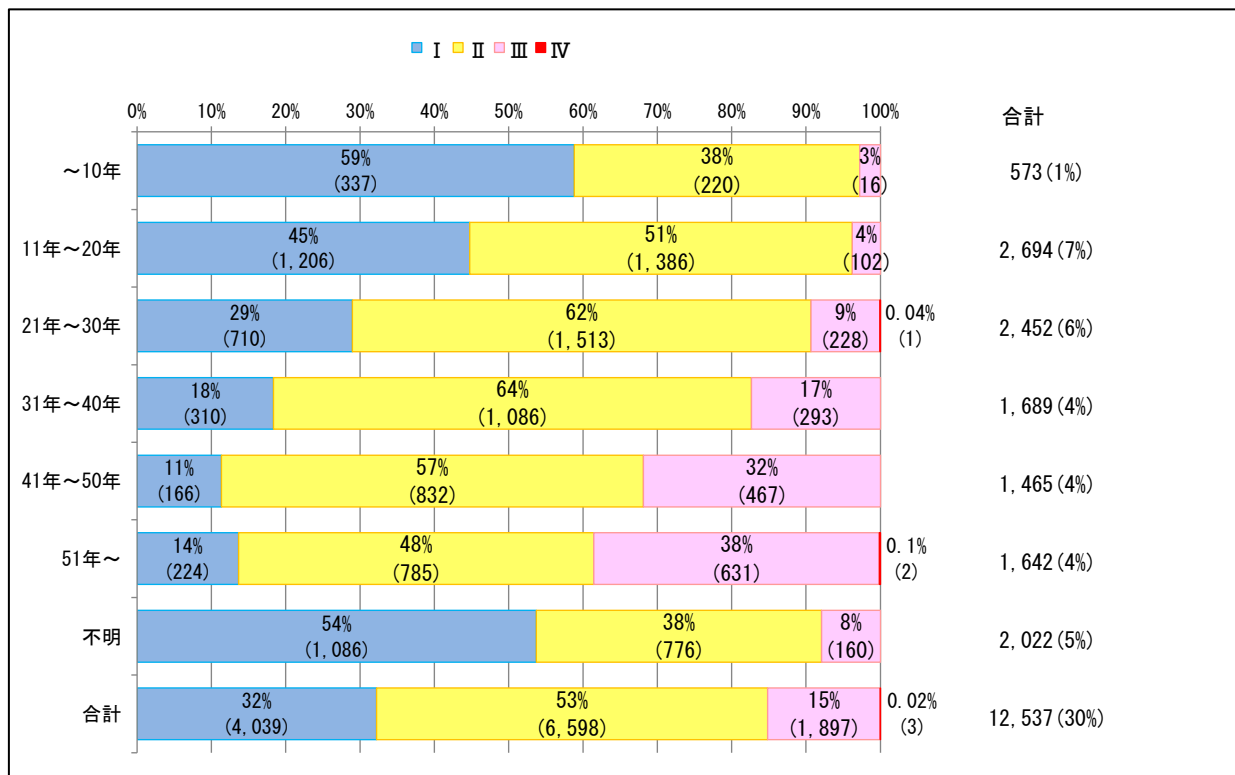
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



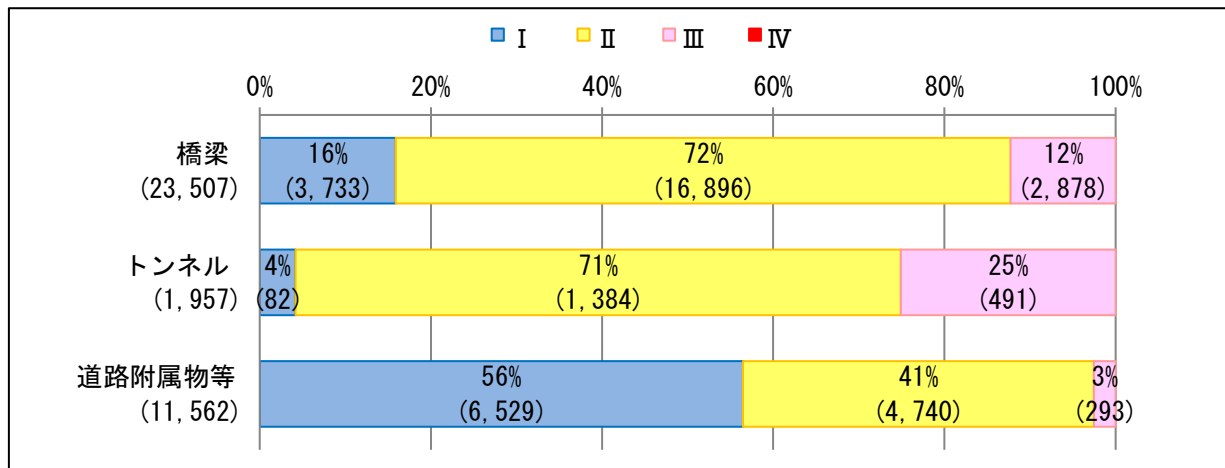
3) 高速道路会社

○ 2021年度末時点の点検結果における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 16%、Ⅱ 72%、Ⅲ 12%、トンネル：Ⅰ 4%、Ⅱ 71%、Ⅲ 25%、道路附属物等：Ⅰ 56%、Ⅱ 41%、Ⅲ 3%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(高速道路会社)

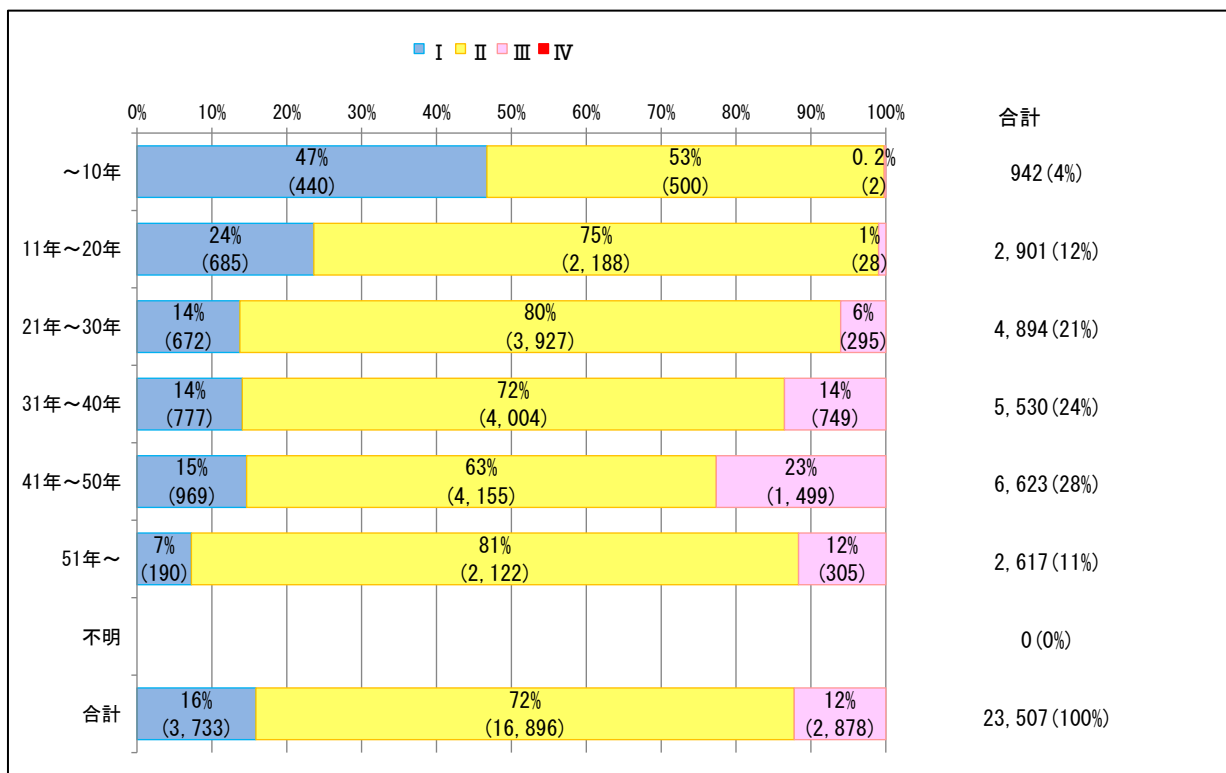


2022.3末時点

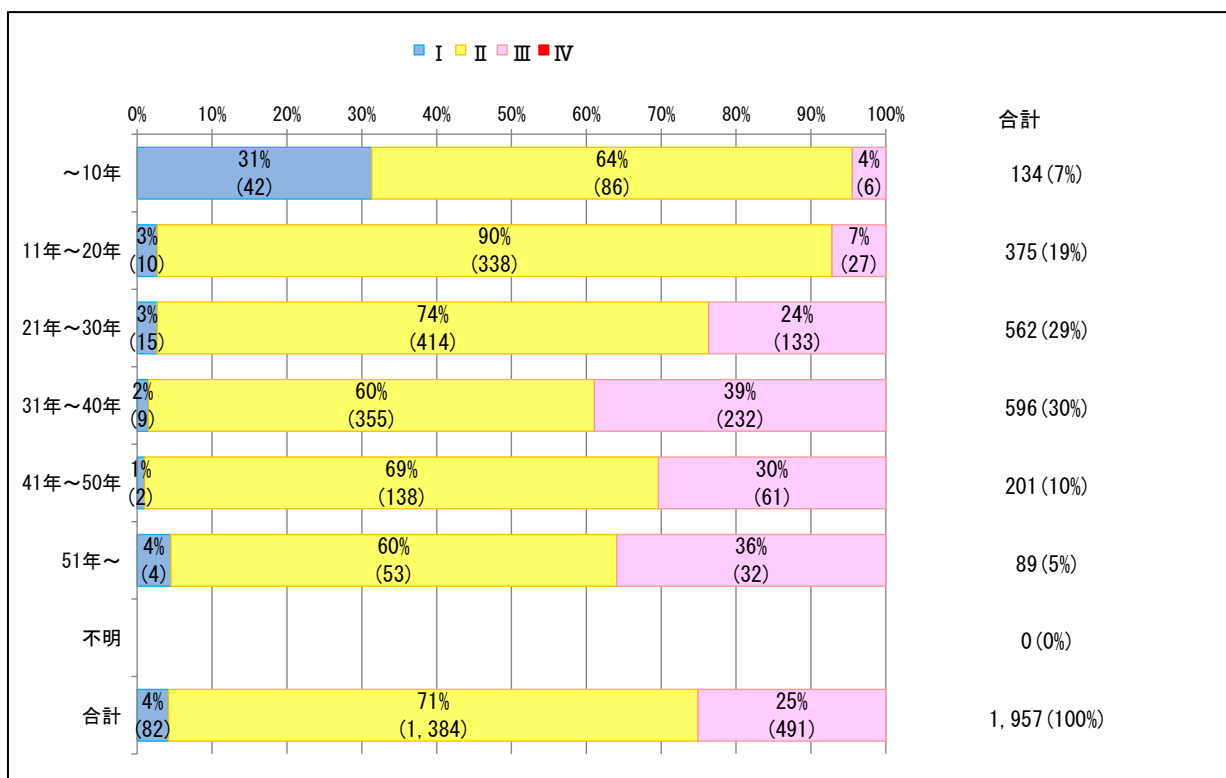
※()内は、2022年3月末時点の施設数のうち、2014~2021年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

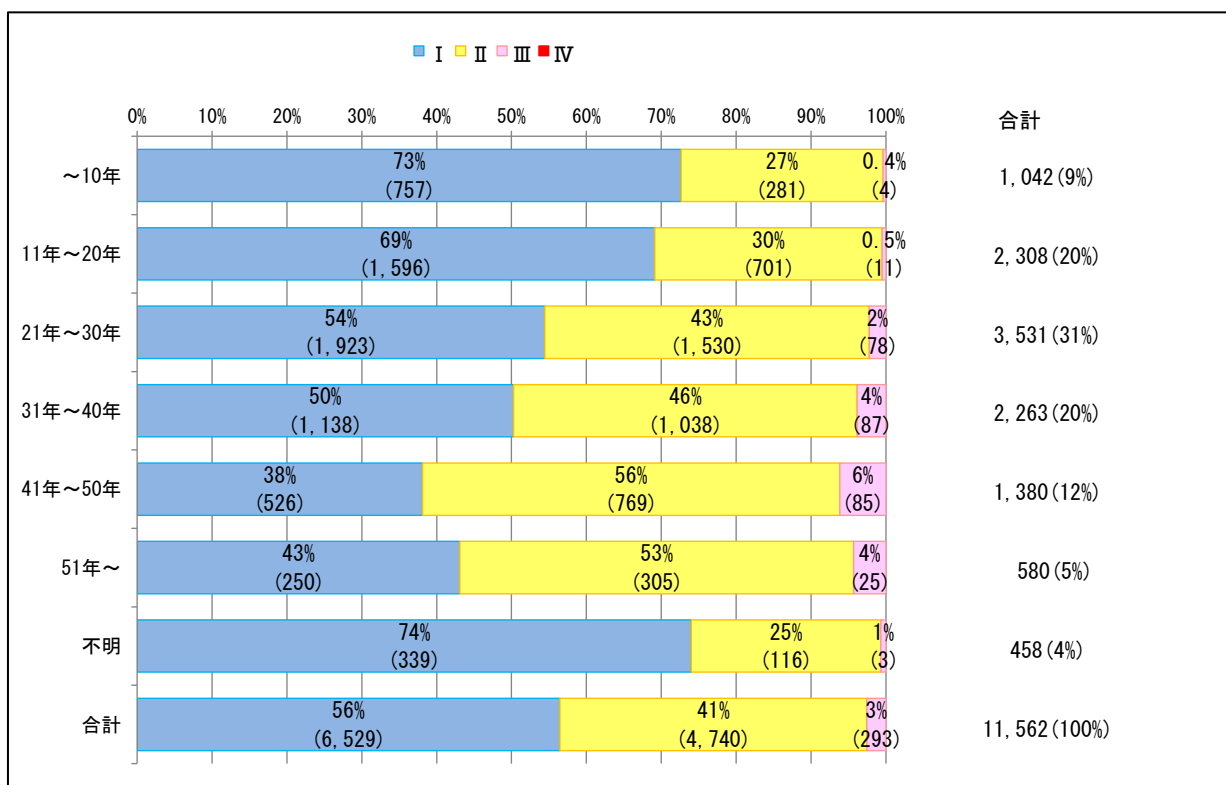
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



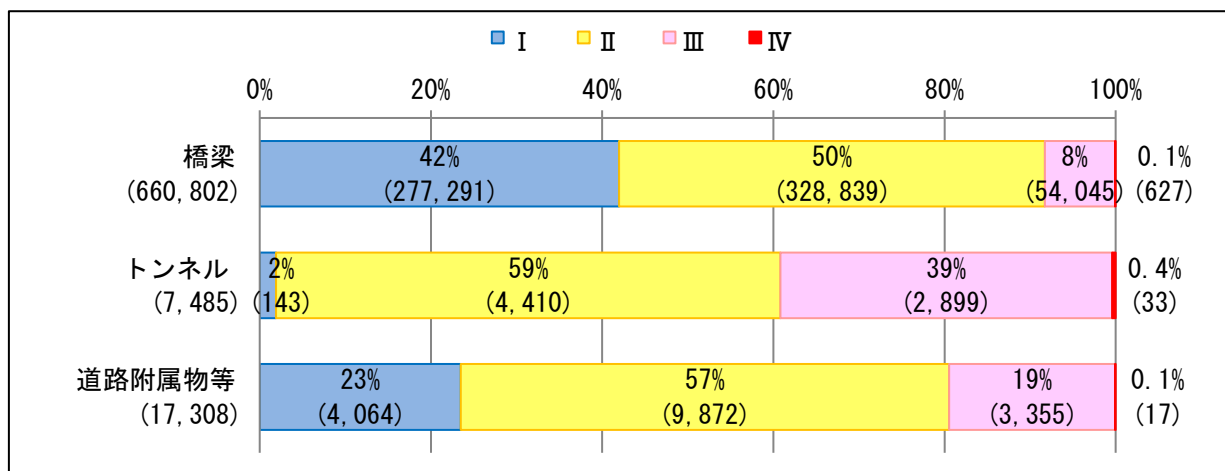
4) 地方公共団体

○ 2021 年度末時点の点検結果における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 42%、Ⅱ 50%、Ⅲ 8%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 59%、Ⅲ 39%、Ⅳ 0.4%、道路附属物等：Ⅰ 23%、Ⅱ 57%、Ⅲ 19%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(地方公共団体)

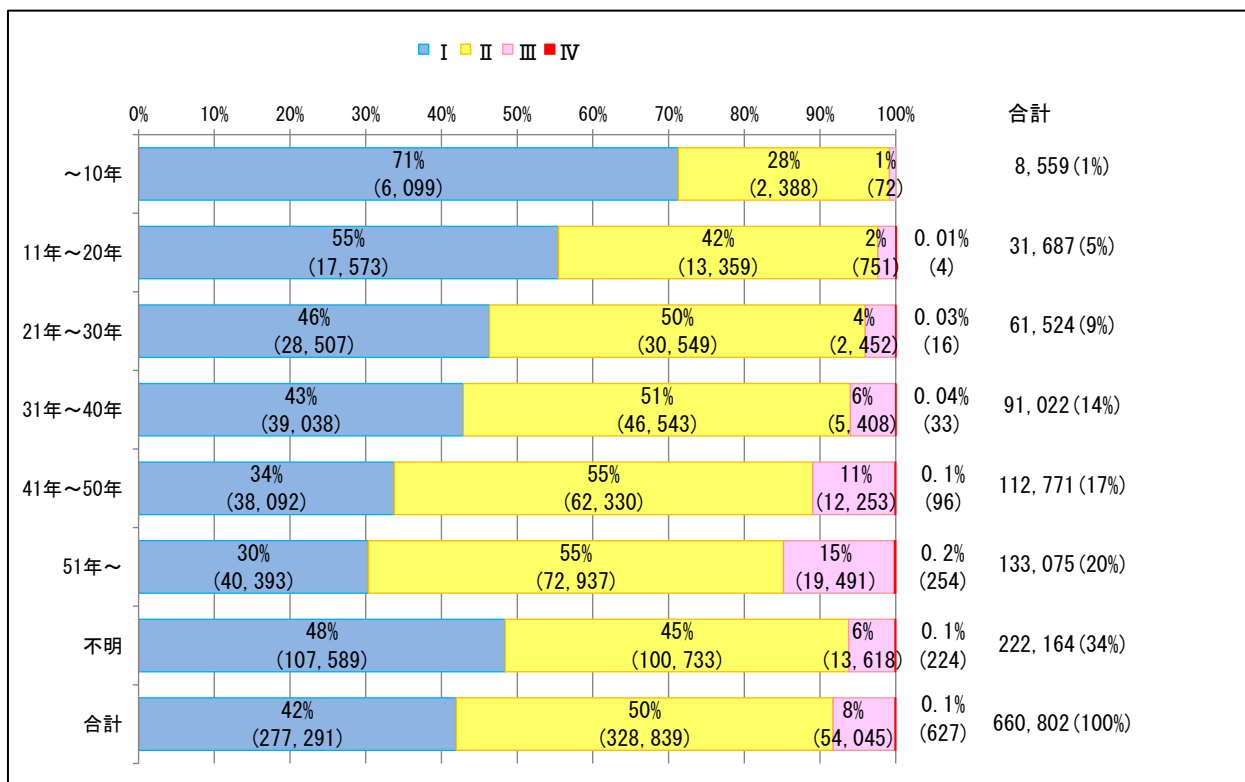


2022.3 末時点

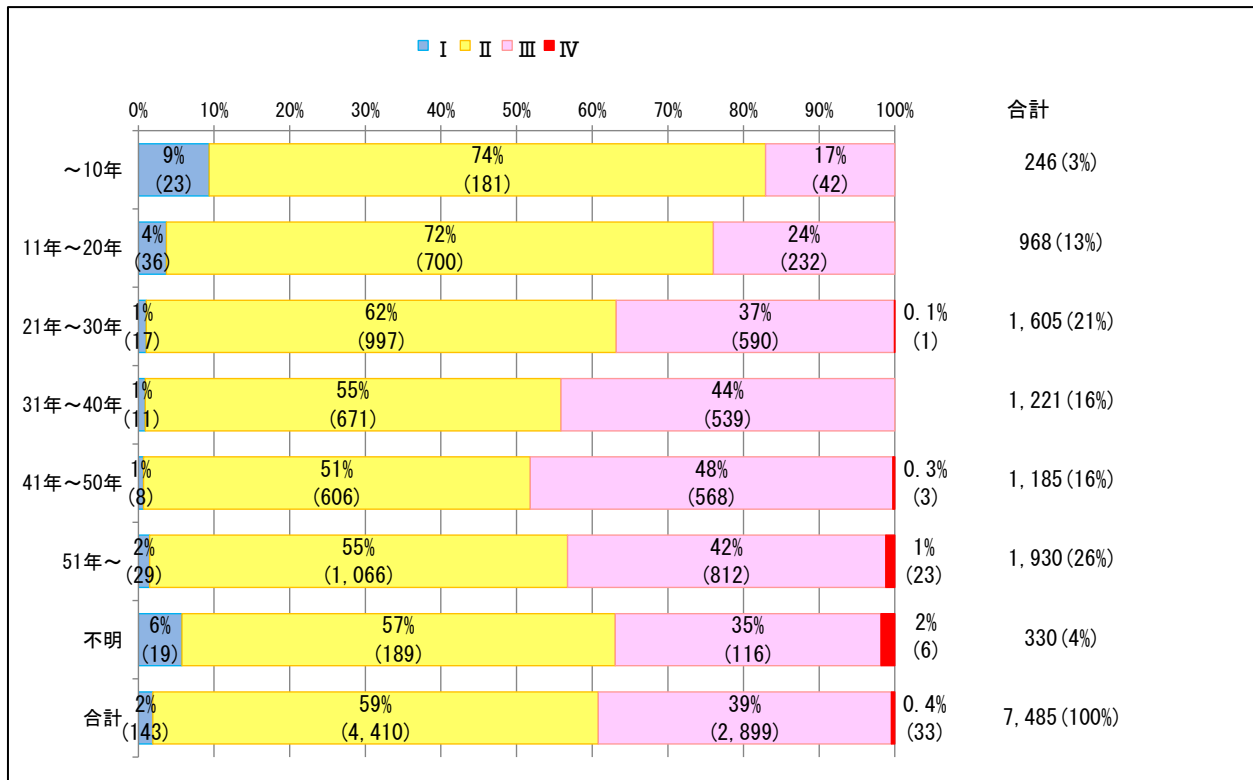
※()内は、2022 年 3 月末時点の施設数のうち、2014~2021 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

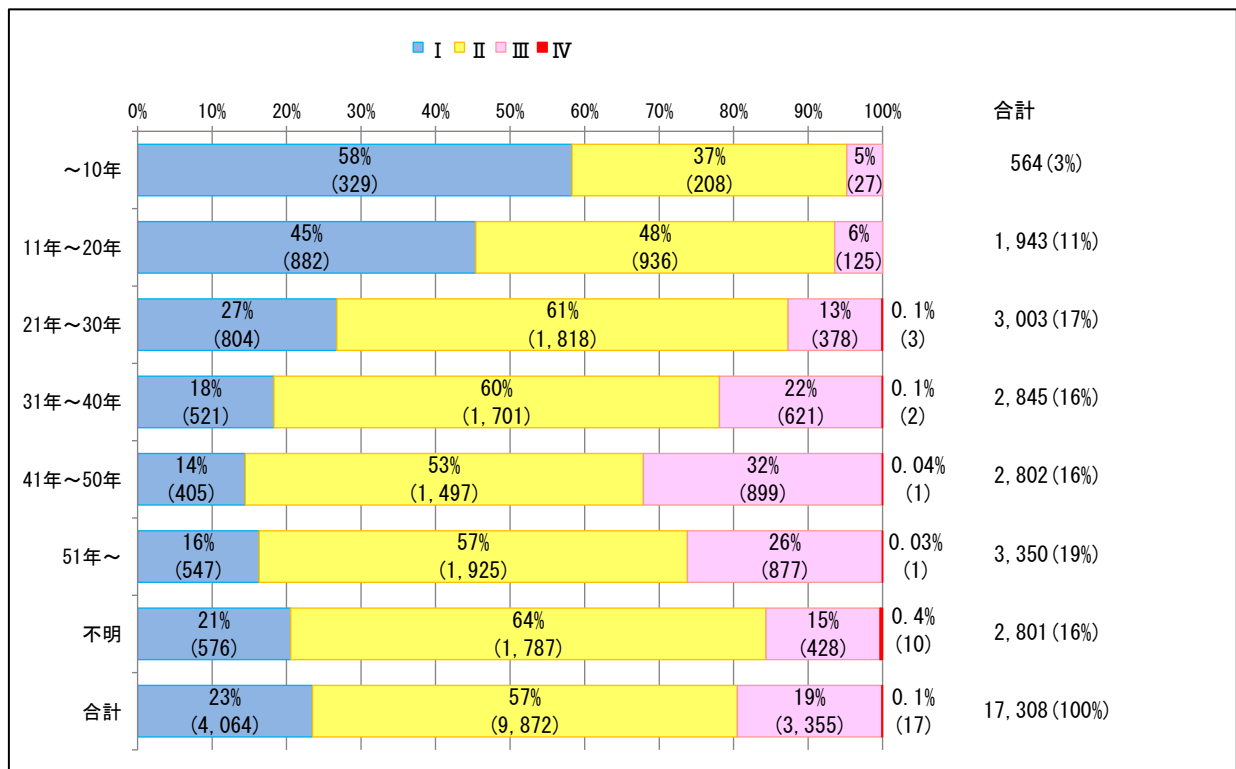
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



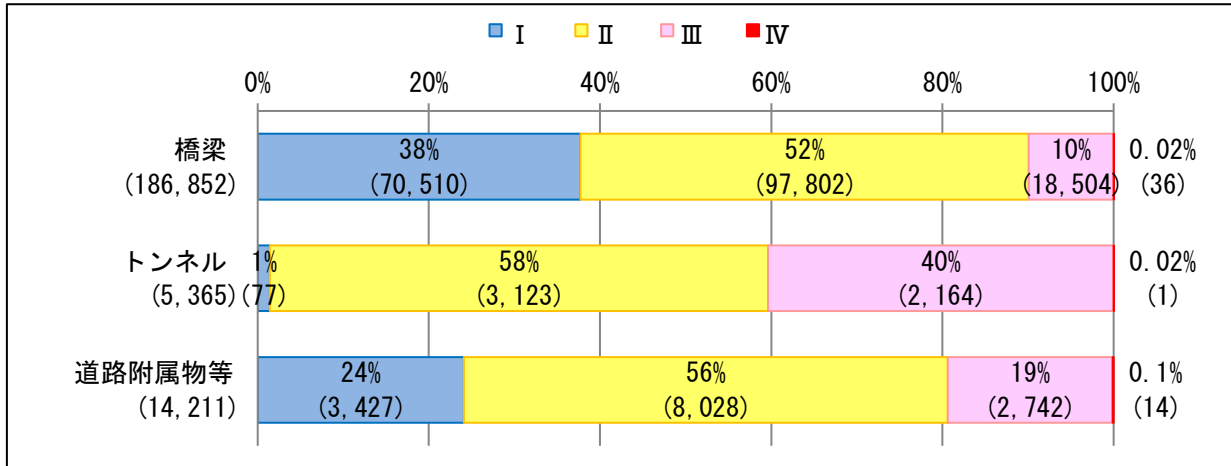
5) 都道府県・政令市等

- 2021 年度末時点の点検結果における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 38%、Ⅱ 52%、Ⅲ 10%、Ⅳ 0.02%、トンネル：Ⅰ 1%、Ⅱ 58%、Ⅲ 40%、Ⅳ 0.02%、道路附属物等：Ⅰ 24%、Ⅱ 56%、Ⅲ 19%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(都道府県・政令市等)

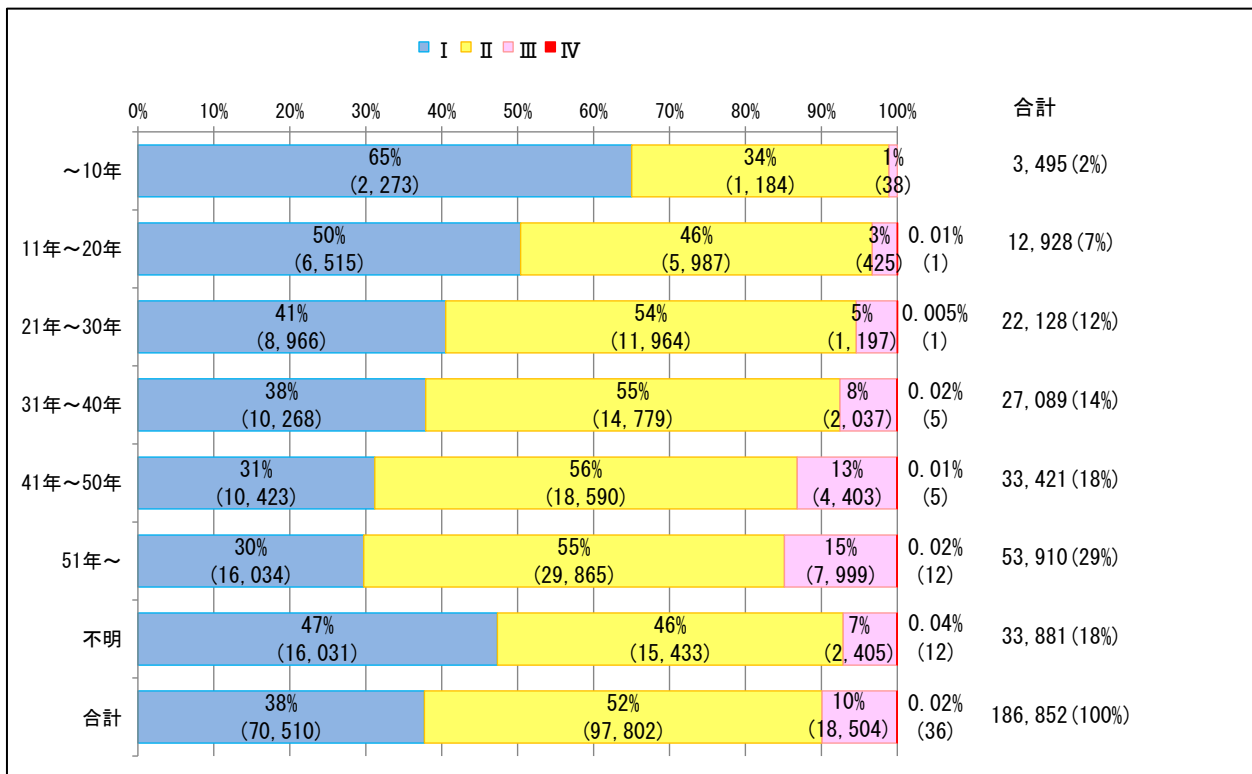


2022.3 末時点

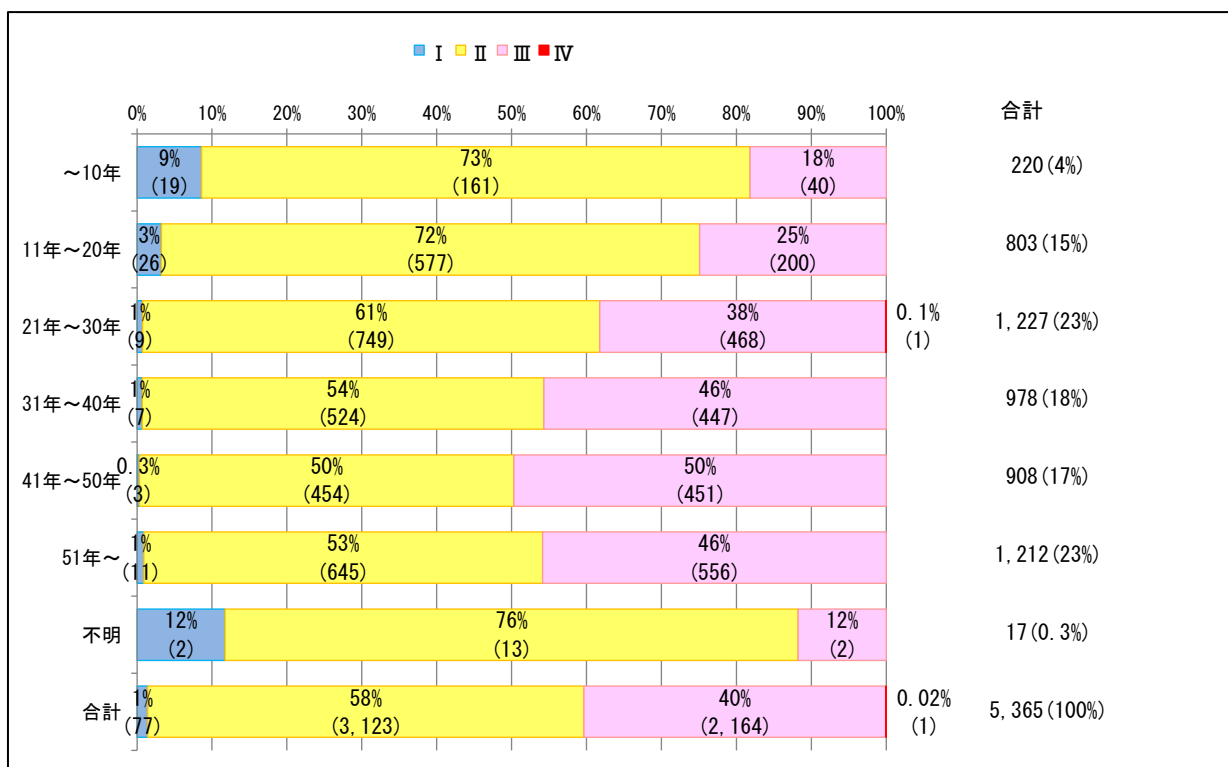
※()内は、2022 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2021 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

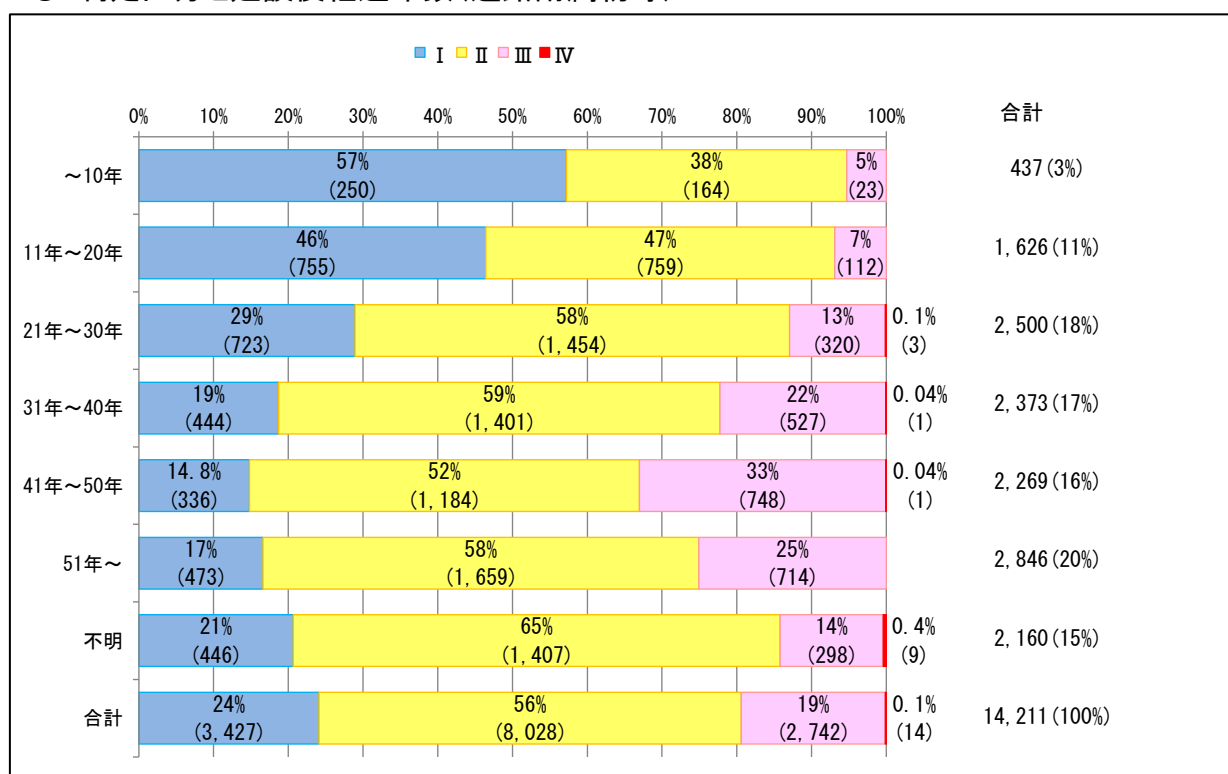
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



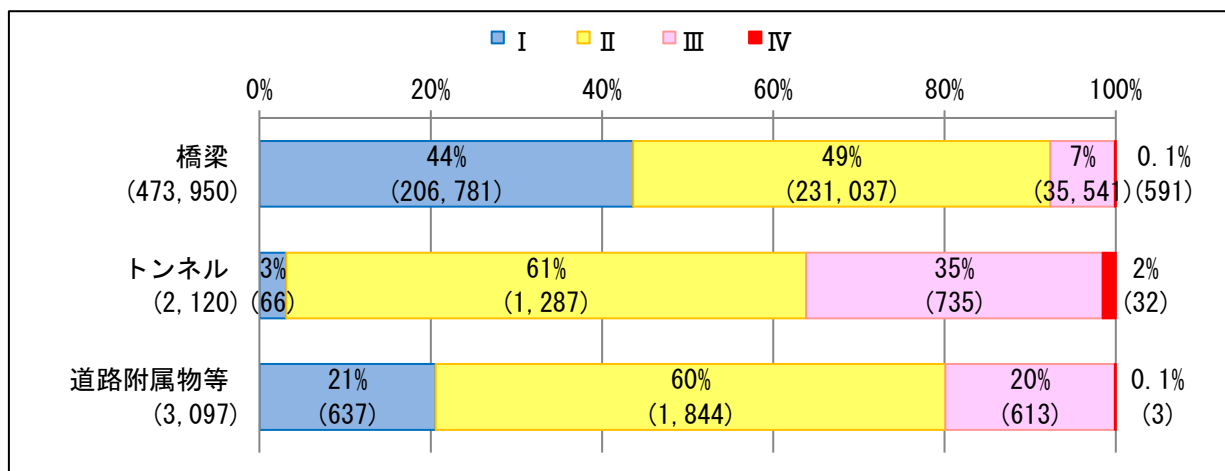
6) 市区町村

- 2021 年度末時点の点検結果における判定区分の割合は、橋梁：I 44%、II 49%、III 7%、IV 0.1%、トンネル：I 3%、II 61%、III 35%、IV 2%、道路附属物等：I 21%、II 60%、III 20%、IV 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(市区町村)

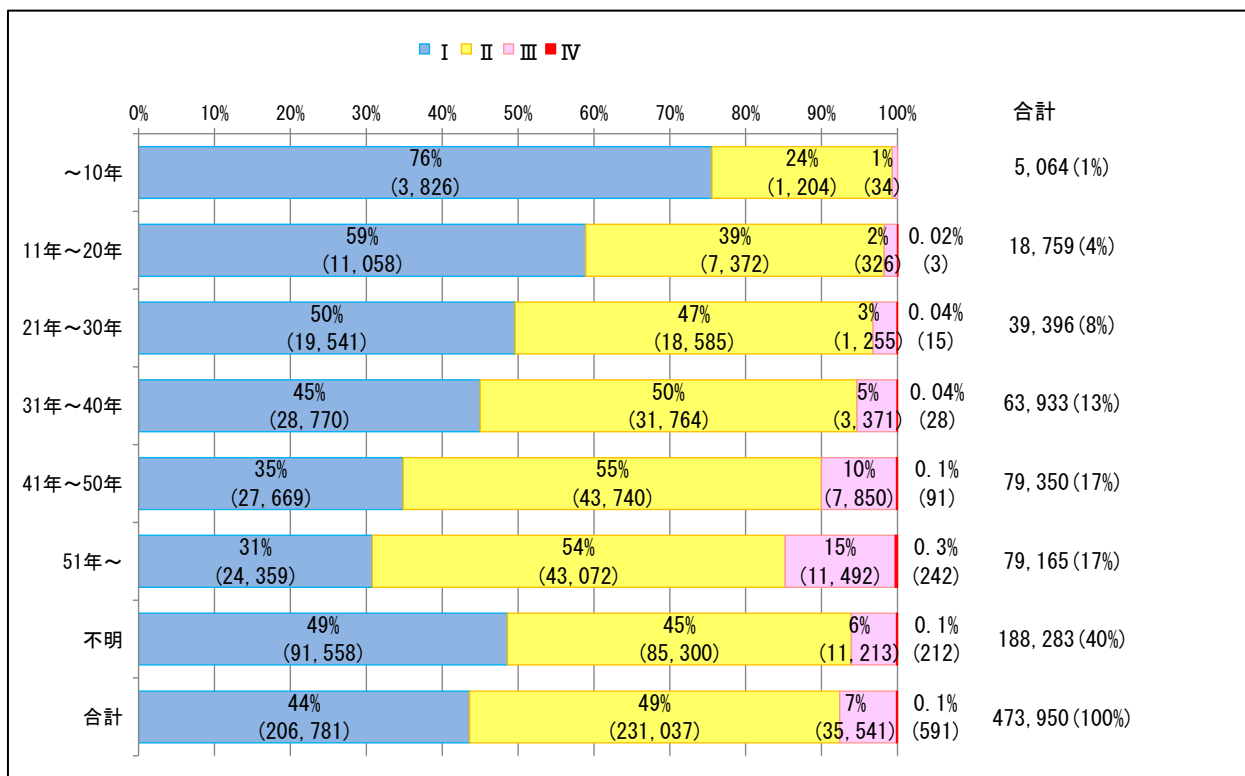


2022.3 末時点

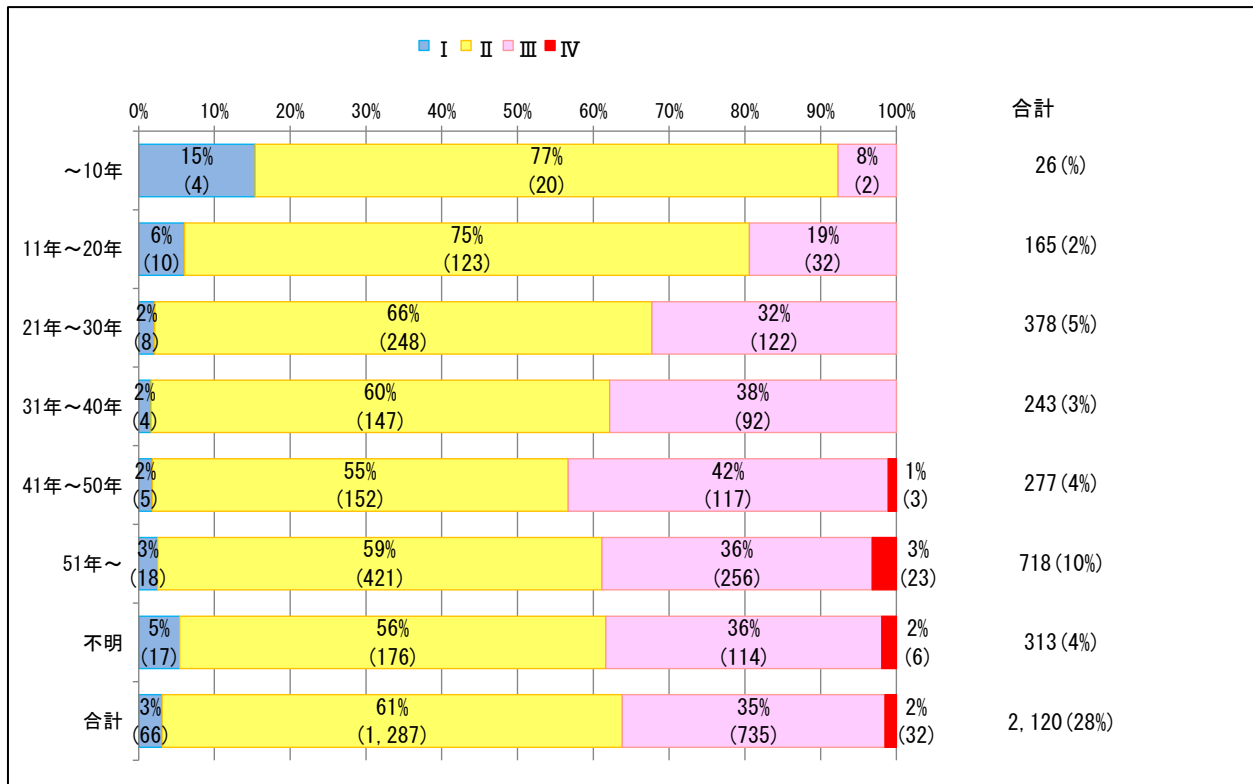
※()内は、2022 年 3 月末時点の施設数のうち、2014~2021 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

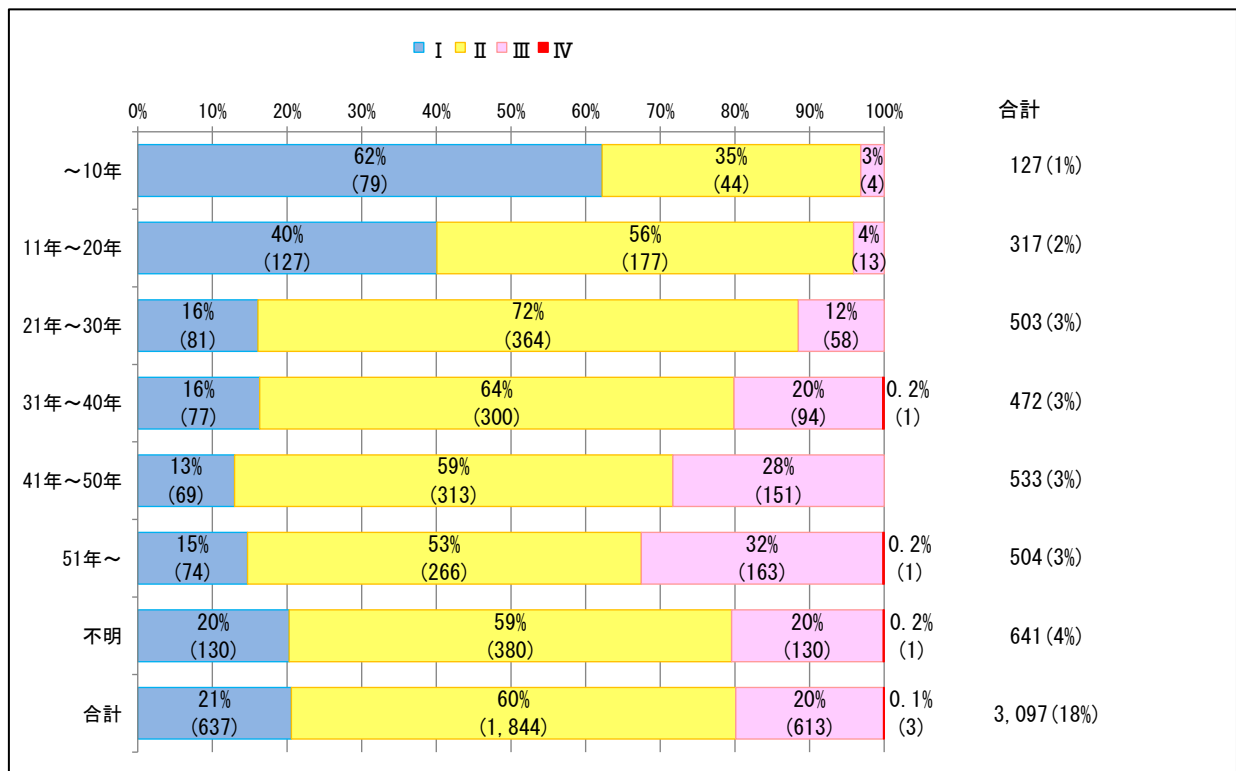
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



3. 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況

(1) 1巡目点検施設における修繕等措置の実施状況

① 橋梁

- 1巡目（2014年度～2018年度）の点検で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2021年度末時点で、国土交通省 91%、高速道路会社 81%、地方公共団体 65%です。
- 完了した割合は、国土交通省 53%、高速道路会社 60%、地方公共団体 46%です。
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで（5年以内）に措置を講ずべきとしていますが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていない橋梁は約3割あります。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C※2 (C/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)		想定されるペース※3
					0%	100%	0%	100%	
国土交通省	3,402	3,107 (91%)	1,805 (53%)	2014	83%	100%	83%	100%	
				2015	79%	100%	79%	100%	
				2016	65%	100%	65%	100%	
				2017	26%	84%	26%	84%	
				2018	21%	76%	21%	76%	
高速道路会社	2,539	2,068 (81%)	1,533 (60%)	2014	85%	100%	85%	100%	
				2015	90%	100%	90%	100%	
				2016	78%	100%	78%	100%	
				2017	55%	82%	55%	82%	
				2018	24%	48%	24%	48%	
地方公共団体計	62,694	40,611 (65%)	28,589 (46%)	2014	64%	77%	64%	77%	
				2015	56%	72%	56%	72%	
				2016	48%	66%	48%	66%	
				2017	34%	57%	34%	57%	
				2018	28%	53%	28%	53%	
都道府県・政令市等	20,393	16,385 (80%)	11,168 (55%)	2014	72%	86%	72%	86%	
				2015	65%	86%	65%	86%	
				2016	57%	81%	57%	81%	
				2017	42%	74%	42%	74%	
				2018	39%	77%	39%	77%	
市区町村	42,301	24,226 (57%)	17,421 (41%)	2014	58%	70%	58%	70%	
				2015	52%	66%	52%	66%	
				2016	44%	61%	44%	61%	
				2017	31%	48%	31%	48%	
				2018	22%	40%	22%	40%	
合計	68,635	45,786 (67%)	31,927 (47%)		47%	67%			

2022.3末時点

※1:1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:2巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、1巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

※3:2021年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

②トンネル

- 1巡目（2014年度～2018年度）の点検で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2021年度末時点で、国土交通省 96%、高速道路会社 95%、地方公共団体 85%です。
- 完了した割合は、国土交通省 81%、高速道路会社 88%、地方公共団体 62%です。
- 判定区分Ⅲ・Ⅳであるトンネルは次回点検まで（5年以内）に措置を講ずべきとしていますが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていないトンネルは約1割あります。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C※2 (C/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)		想定されるペース※3
					0%	20%	40%	60%	
国土交通省	513	495 (96%)	413 (81%)	2014	100%	100%	100%	100%	100%
				2015	95%	100%	100%	100%	100%
				2016	81%	100%	100%	100%	100%
				2017	62%	92%	100%	100%	100%
				2018	40%	84%	100%	100%	100%
高速道路会社	692	657 (95%)	612 (88%)	2014	95%	100%	100%	100%	100%
				2015	98%	100%	100%	100%	100%
				2016	98%	100%	100%	100%	100%
				2017	73%	92%	100%	100%	100%
				2018	57%	68%	100%	100%	100%
地方公共団体計	3,205	2,728 (85%)	1,991 (62%)	2014	76%	88%	100%	100%	100%
				2015	75%	91%	100%	100%	100%
				2016	75%	93%	100%	100%	100%
				2017	60%	89%	100%	100%	100%
				2018	44%	72%	100%	100%	100%
都道府県・政令市等	2,342	2,210 (94%)	1,656 (71%)	2014	84%	94%	100%	100%	100%
				2015	77%	93%	100%	100%	100%
				2016	78%	96%	100%	100%	100%
				2017	65%	96%	100%	100%	100%
				2018	58%	91%	100%	100%	100%
市区町村	863	518 (60%)	335 (39%)	2014	62%	77%	100%	100%	100%
				2015	61%	72%	100%	100%	100%
				2016	56%	75%	100%	100%	100%
				2017	35%	60%	100%	100%	100%
				2018	27%	50%	100%	100%	100%
合計	4,410	3,880 (88%)	3,016 (68%)		68%	88%			

2022.3末時点

※1:1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:2巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、1巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

※3:2021年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

③道路附属物等

- 1巡目（2014年度～2018年度）の点検で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2021年度末時点で、国土交通省 77%、高速道路会社 94%、地方公共団体 76%です。
- 完了した割合は、国土交通省 42%、高速道路会社 87%、地方公共団体 53%です。
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである道路附属物等は次回点検まで（5年以内）に措置を講ずべきとしていますが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていない道路附属物等は約2割あります。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C※2 (C/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)		想定されるペース※3
					0%	100%	0%	100%	
国土交通省	1,681	1,291 (77%)	698 (42%)	2014	68%	93%	68%	93%	
				2015	55%	87%	55%	87%	
				2016	48%	87%	48%	87%	
				2017	32%	67%	32%	67%	
				2018	16%	57%	16%	57%	
高速道路会社	413	389 (94%)	360 (87%)	2014	92%	100%	92%	100%	
				2015	96%	100%	96%	100%	
				2016	92%	100%	92%	100%	
				2017	85%	91%	85%	91%	
				2018	59%	72%	59%	72%	
地方公共団体計	3,955	3,003 (76%)	2,111 (53%)	2014	77%	89%	77%	89%	
				2015	55%	74%	55%	74%	
				2016	59%	79%	59%	79%	
				2017	48%	75%	48%	75%	
				2018	38%	69%	38%	69%	
都道府県・政令市等	3,251	2,540 (78%)	1,757 (54%)	2014	79%	91%	79%	91%	
				2015	54%	74%	54%	74%	
				2016	61%	82%	61%	82%	
				2017	49%	76%	49%	76%	
				2018	39%	74%	39%	74%	
市区町村	704	463 (66%)	354 (50%)	2014	70%	84%	70%	84%	
				2015	63%	74%	63%	74%	
				2016	51%	60%	51%	60%	
				2017	43%	66%	43%	66%	
				2018	35%	51%	35%	51%	
合計	6,049	4,683 (77%)	3,169 (52%)		52%	77%	52%	77%	

2022.3末時点

※1:1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:2巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、1巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

※3:2021年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

(2) 2巡目点検施設における修繕等措置の実施状況

① 橋梁

- 2巡目（2019年度～2021年度）の点検で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2021年度末時点で、国土交通省 37%、高速道路会社 28%、地方公共団体 30%です。
- 完了した割合は、国土交通省 4%、高速道路会社 7%、地方公共団体 8%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)		想定されるペース※2
					0%	100%	0%	100%	
国土交通省	2,395	895 (37%)	106 (4%)	2019	9%	60%			
				2020	4%	43%			
				2021	1%	12%			
高速道路会社	1,663	459 (28%)	110 (7%)	2019	12%	39%			
				2020	8%	31%			
				2021	1%	14%			
地方公共団体計	32,893	9,916 (30%)	2,627 (8%)	2019	15%	40%			
				2020	8%	32%			
				2021	2%	19%			
都道府県・政令市等	10,901	3,911 (36%)	894 (8%)	2019	15%	48%			
				2020	9%	39%			
				2021	2%	22%			
市区町村	21,992	6,005 (27%)	1,733 (8%)	2019	15%	36%			
				2020	8%	29%			
				2021	2%	18%			
合計	36,951	11,270 (30%)	2,843 (8%)		8%	30%			

2022.3末時点

※1: 2巡目（2019年度～2021年度）の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2: 2021年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

②トンネル

- 2巡目（2019年度～2021年度）の点検で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルの修繕等の措置に着手した割合は、2021年度末時点で、国土交通省 69%、高速道路会社 55%、地方公共団体 58%です。
- 完了した割合は、国土交通省 6%、高速道路会社 17%、地方公共団体 11%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	措置着手率 (B/A)		措置完了率 (C/A)		想定されるペース※2
					0%	20%	40%	60%	
国土交通省	293	203 (69%)	19 (6%)	2019	13%	80%			
				2020	5%	65%			
				2021	0%	59%			
高速道路会社	242	132 (55%)	42 (17%)	2019	23%	59%			
				2020	8%	50%			
				2021	19%	53%			
地方公共団体計	1,307	757 (58%)	143 (11%)	2019	29%	80%			
				2020	8%	66%			
				2021	1%	37%			
都道府県・政令市等	1,117	680 (61%)	129 (12%)	2019	32%	86%			
				2020	8%	68%			
				2021	2%	39%			
市区町村	190	77 (41%)	14 (7%)	2019	15%	57%			
				2020	9%	43%			
				2021	0%	24%			
合計	1,842	1,092 (59%)	204 (11%)		11%	59%			

2022.3末時点

※1:2巡目(2019年度～2021年度)の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:2021年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

③道路附属物等

- 2巡目（2019年度～2021年度）の点検で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等の修繕等の措置に着手した割合は、2021年度末時点で、国土交通省 44%、高速道路会社 33%、地方公共団体 53%です。
- 完了した割合は、国土交通省 6%、高速道路会社 25%、地方公共団体 12%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)		想定されるペース※2
					0%	100%	0%	100%	
国土交通省	1,200	524 (44%)	71 (6%)	2019	14%	63%	6%	49%	
				2020	6%	49%	1%	27%	
				2021	1%	27%			
高速道路会社	174	58 (33%)	43 (25%)	2019	55%	61%	18%	25%	
				2020	18%	25%	4%	19%	
				2021	4%	19%			
地方公共団体計	1,555	830 (53%)	190 (12%)	2019	23%	73%	10%	54%	
				2020	10%	54%	2%	28%	
				2021	2%	28%			
都道府県・政令市等	1,277	692 (54%)	144 (11%)	2019	21%	72%	9%	56%	
				2020	9%	56%	2%	30%	
				2021	2%	30%			
市区町村	278	138 (50%)	46 (17%)	2019	33%	78%	15%	45%	
				2020	15%	45%	1%	24%	
				2021	1%	24%			
合計	2,929	1,412 (48%)	304 (10%)		10%	48%			

2022.3末時点

※1:2巡目(2019年度～2021年度)の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:2021年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

(3)2021 年度末時点の点検施設における修繕等措置の実施状況

①橋梁

- 2021 年度末時点の点検で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2021 年度末時点で、国土交通省 54%、高速道路会社 43%、地方公共団体 41%です。
- 完了した割合は、国土交通省 12%、高速道路会社 21%、地方公共団体 18%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数		未着手 施設数 (A - B)
		B (B / A)	うち完了 C (C / A)	
国土交通省	3,857	2,072 (54%)	470 (12%)	1,785 (46%)
高速道路会社	2,878	1,248 (43%)	615 (21%)	1,630 (57%)
地方公共団体	54,672	22,322 (41%)	9,678 (18%)	32,350 (59%)
都道府県・ 政令市等	18,540	9,697 (52%)	4,046 (22%)	8,843 (48%)
市区町村	36,132	12,625 (35%)	5,632 (16%)	23,507 (65%)
合計	61,407	25,642 (42%)	10,763 (18%)	35,765 (58%)

2022.3 末時点

※1:2021 年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

②トンネル

- 2021 年度末時点の点検で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2021 年度末時点で、国土交通省 76%、高速道路会社 72%、地方公共団体 69%です。
- 完了した割合は、国土交通省 23%、高速道路会社 48%、地方公共団体 33%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数		未着手 施設数 (A - B)
		B (B / A)	うち完了 C (C / A)	
国土交通省	450	343 (76%)	103 (23%)	107 (24%)
高速道路会社	491	353 (72%)	238 (48%)	138 (28%)
地方公共団体	2,932	2,033 (69%)	967 (33%)	899 (31%)
都道府県・ 政令市等	2,165	1,651 (76%)	785 (36%)	514 (24%)
市区町村	767	382 (50%)	182 (24%)	385 (50%)
合計	3,873	2,729 (70%)	1,308 (34%)	1,144 (30%)

2022.3 末時点

※1:2021 年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

③道路附属物等

- 2021 年度末時点の点検で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2021 年度末時点で、国土交通省 51%、高速道路会社 53%、地方公共団体 62%です。
- 完了した割合は、国土交通省 13%、高速道路会社 43%、地方公共団体 27%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数		未着手 施設数 (A - B)
		B (B/A)	うち完了 C (C/A)	
国土交通省	1,900	964 (51%)	240 (13%)	936 (49%)
高速道路会社	293	155 (53%)	127 (43%)	138 (47%)
地方公共団体	3,372	2,078 (62%)	907 (27%)	1,294 (38%)
都道府県・ 政令市等	2,756	1,758 (64%)	744 (27%)	998 (36%)
市区町村	616	320 (52%)	163 (26%)	296 (48%)
合計	5,565	3,197 (57%)	1,274 (23%)	2,368 (43%)

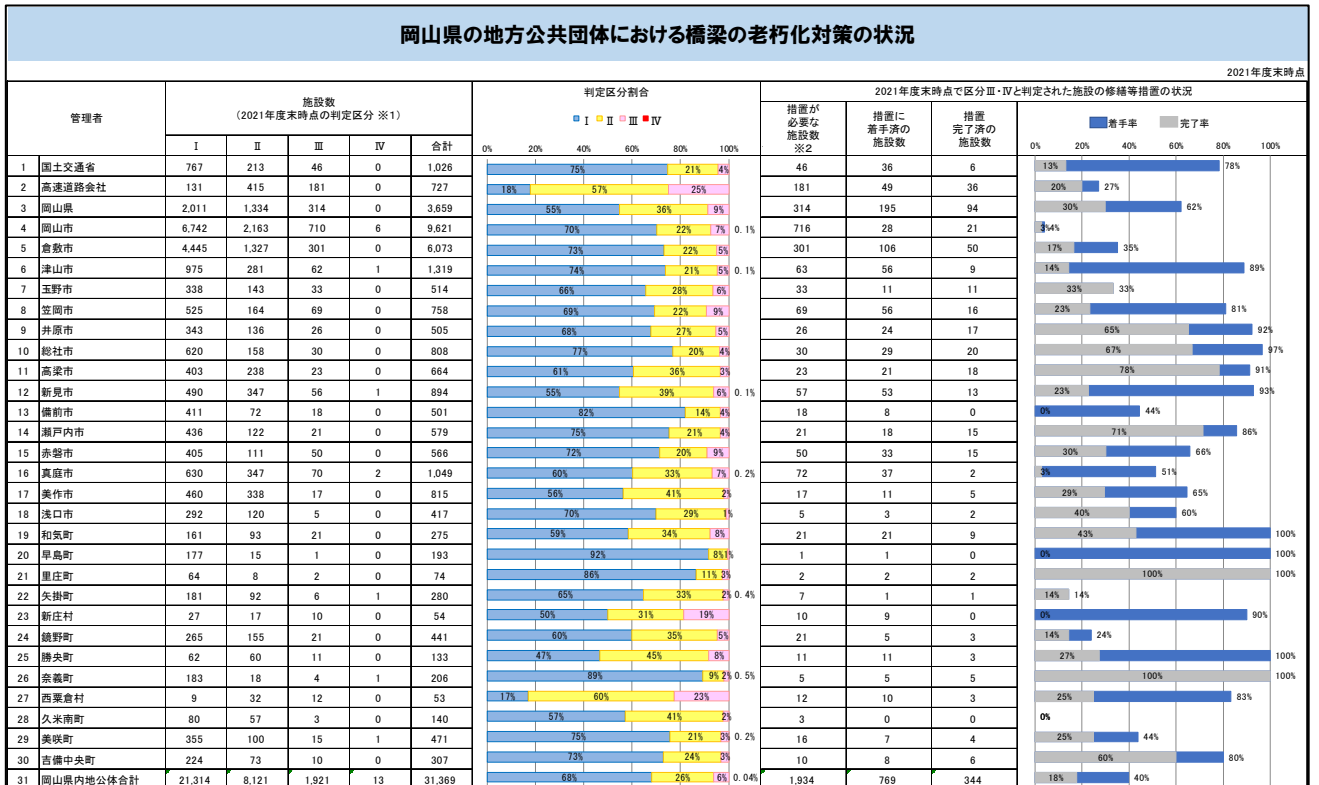
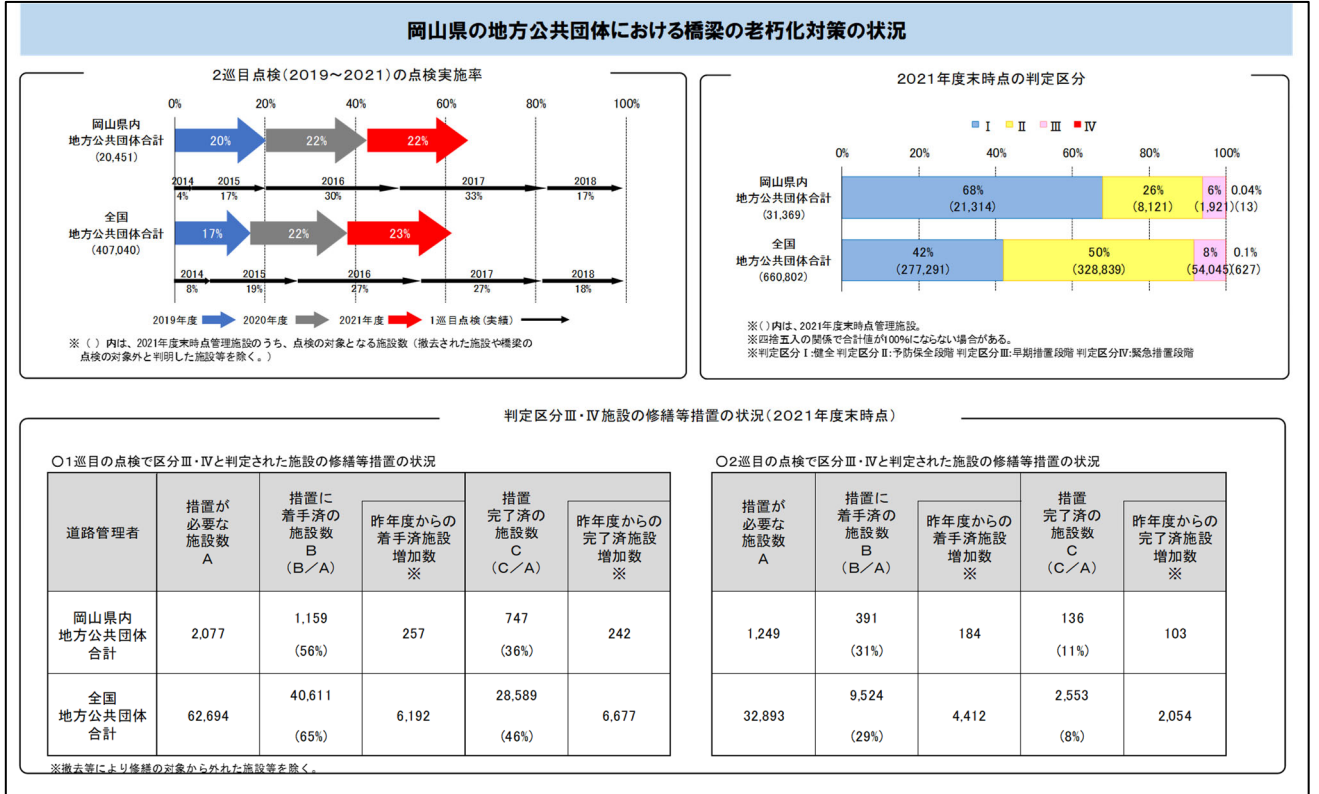
2022.3 末時点

※1:2021 年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

(4) 各都道府県における道路管理者毎の老朽化対策状況

- 各都道府県における道路管理者毎（国土交通省、高速道路会社、都道府県、市区町村）の老朽化対策状況（橋梁、トンネル、道路附属物等の判定区分や措置状況等）を視覚化した情報を公開中。

https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_r03.html



(5) 全国道路施設点検データベース(損傷マップ)

- 老朽化対策のさらなる見える化を図るため、「全国道路施設点検データベース～損傷マップ～」にて橋梁、トンネル、道路附属物等の諸元や点検結果、措置状況等を地図上で公開中。

<https://road-structures-map.mlit.go.jp/>

- より詳細な点検データ等については、「全国道路施設点検データベース」により有料公開を行っており、研究機関や民間企業等による技術開発の促進による維持管理の効率化・高度化を目指しています。

<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>

- データについては順次更新を行い2021年度末時点のデータも今後公開予定。

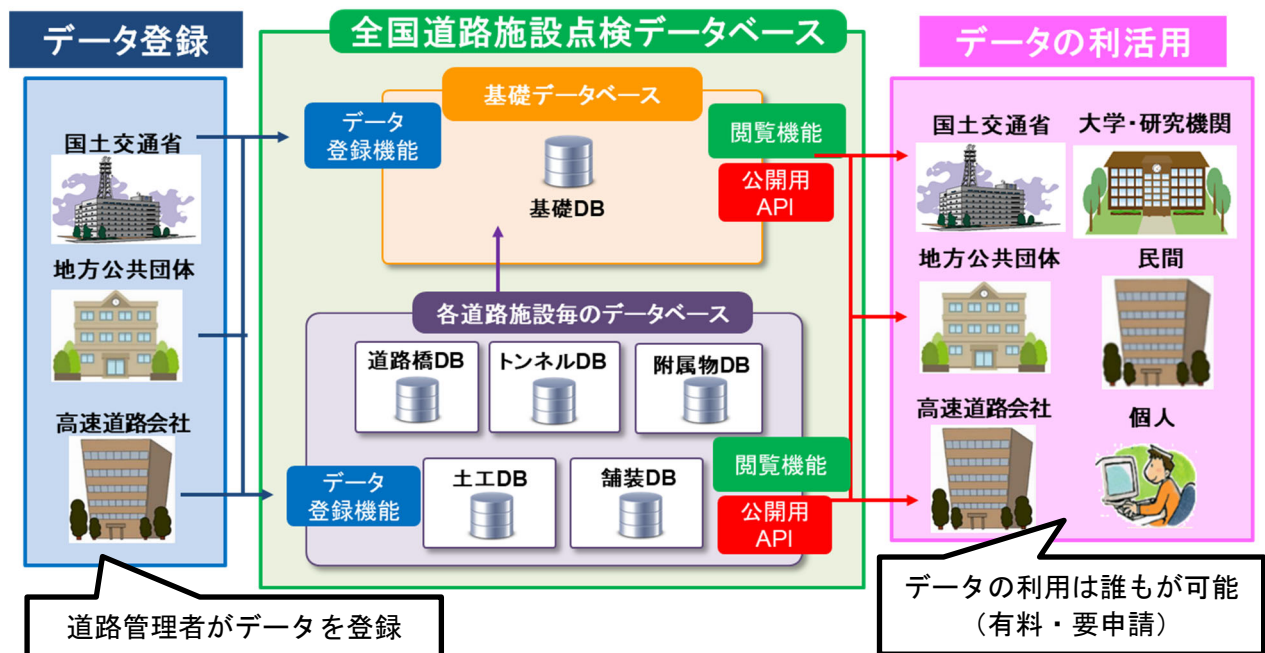


○ 全国道路施設点検データベース～損傷マップ～(閲覧画面)

施設アイコンをクリックで
諸元・点検データ等の表示が可能

施設・管理者ごとの表示や、
対策状況・判定区分で
色分け表示が可能

○ 全国道路施設点検データベース(イメージ)



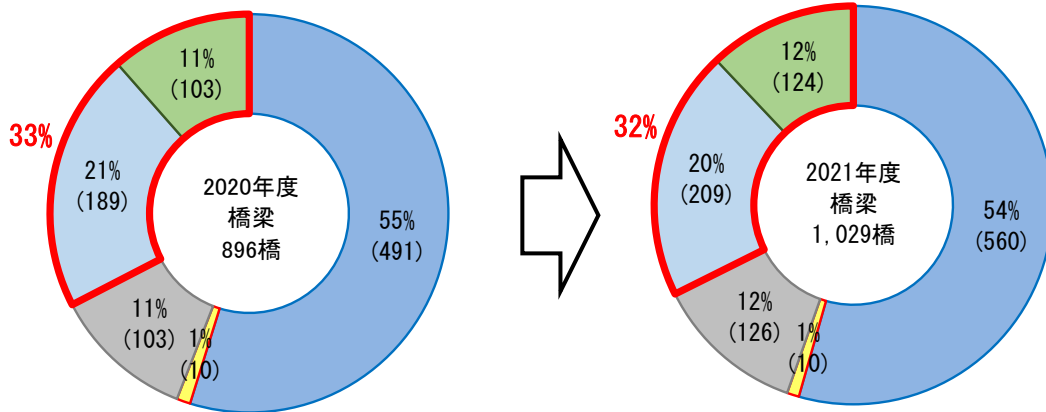
(6) 判定区分Ⅳの施設の措置状況

○ 2021年度末までに緊急に措置を講ずべき状態（区分Ⅳ）と判定された施設の措置状況のうち、撤去・廃止の割合は、2021年度末時点で、橋梁：32%、トンネル：51%、道路附属物等：38%です。

※道路管理者毎の内訳及びⅣ判定の施設リストは巻末資料(3)を参照。

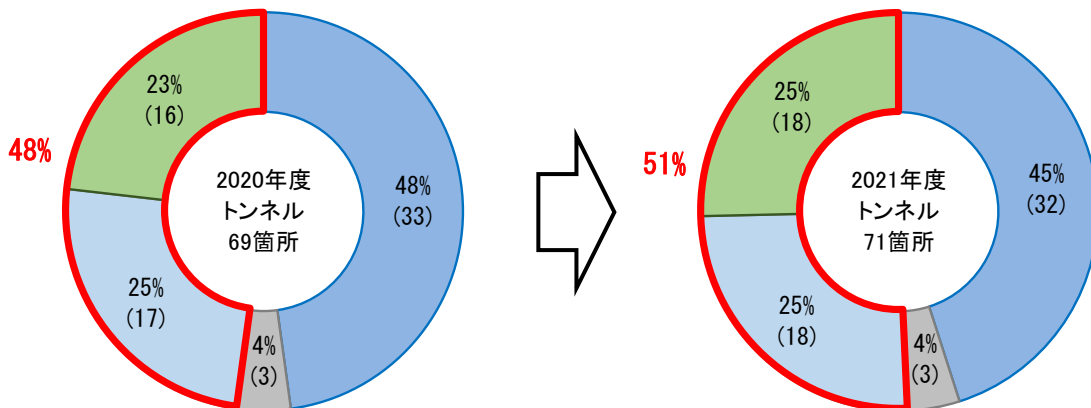
○ 判定区分Ⅳの橋梁の措置状況(完了済・予定のものを含む)

■ 修繕・架替 ■ 機能転換 ■ 対応未定 ■ 撤去・廃止 ■ 撤去・廃止済



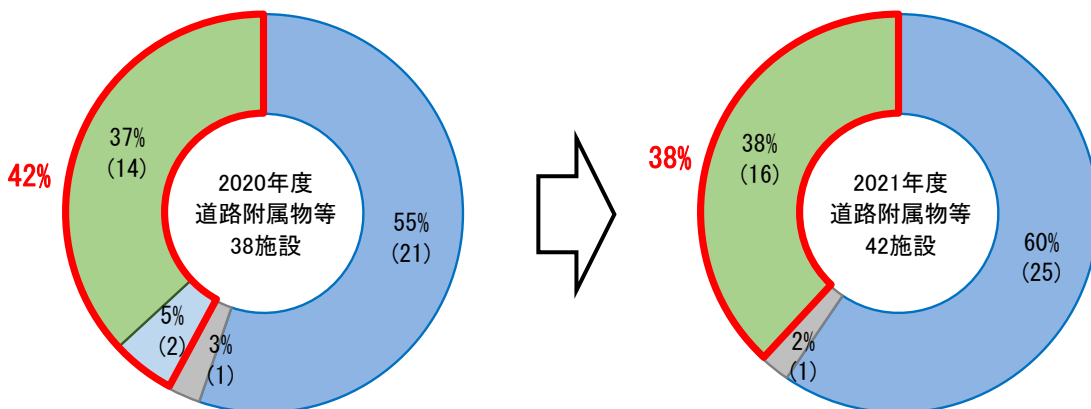
○ 判定区分Ⅳのトンネルの措置状況(完了済・予定のものを含む)

■ 修繕 ■ 対応未定 ■ 廃止 ■ 撤去・廃止済



○ 判定区分Ⅳの道路附属物等の措置状況(完了済・予定のものを含む)

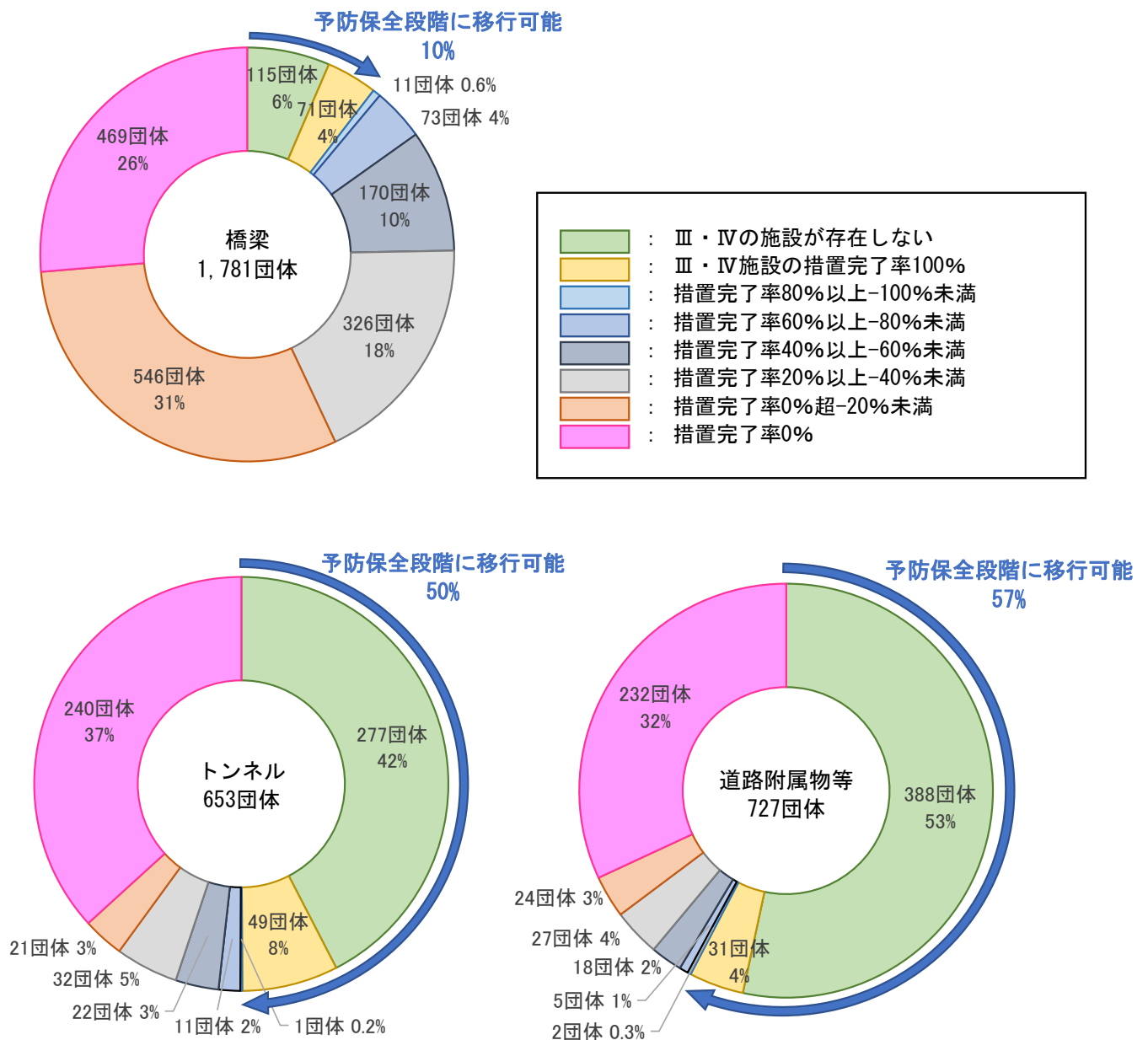
■ 修繕 ■ 対応未定 ■ 廃止 ■ 撤去・廃止済



4. 予防保全への移行状況

- 橋梁の修繕等の措置が予防保全段階に移行可能と考えられる地方公共団体（判定区分Ⅲ・Ⅳの施設が存在しない、または修繕等の措置が完了している団体）は、2021年度末時点で10%に留まっており、措置完了率が20%未満の団体が半数以上を占めています。

○ 地方公共団体の予防保全への移行状況



※団体数は、2021年度末時点の点検対象施設（管理施設のうち、供用後5年以内などを除いた施設）を管理する都道府県、政令市、市区町村の合計。

※措置完了率は、2021年度末時点で判定区分Ⅲ又はⅣと判定された施設の修繕等の措置が完了した割合。

5. 舗装の点検結果及び修繕等措置の実施状況

(1) 概要

舗装については、各道路管理者により、道路の役割や性格、修繕実施の効率性、ストック量、管理体制の視点から管内の道路を分類し、その分類に基づき点検などを行っています。今年度より、地方公共団体の管理する重要物流道路などの重交通を担う道路である分類A・Bに焦点をあてて集計しています。

<道路の分類のイメージ>

特性	分類	主な道路 (イメージ)	管理基準※ ¹ ()内は直轄の基準	点検頻度	健全性の診断※ ²	車線延長※ ³
・高速道路等 (高速走行など 求められるサー ビス水準が高い道路)	A	高速道路※ ⁴	ひび割れ率: 15~20% (20%以上)	道路管理者が5 年に1回以上適 切に実施	分類A・Bの 判定区分	計:約 41,100km ・高速管理: 約 33,600km ・直轄管理: 約 5,000km ・地方管理: 約 2,500km
			わだち掘れ量: 20~25mm (25mm 以上)			
・損傷の進行が 早い道路等 (例えば大型車交 通量が多い道路) 重要物流道路又は 大型車 1,000 台・方 向以上/日(目安)	B	直轄国道	ひび割れ率: 20~40% (40%以上)	更新時期や地 域特性等に応じ て道路管理者 が適切に点検 計画を作成	分類C・Dの 判定区分	計:約 185,800km ・直轄管理 約 54,300km ・地方管理 約 131,500km
			わだち掘れ量: 20~40mm (40mm 以上)			
・損傷の進行が 緩やかな道路等 (例えば大型車交 通量が少ない道 路)	C	補助国道・県道	IRI: 3.5mm/m (3.5mm/m以上)	更新時期や地 域特性等に応じ て道路管理者 が適切に点検 計画を作成	分類C・Dの 判定区分	計:約 340,000km
			ひび割れ率: 20~40% (40%以上)			
・生活道路等 (損傷の進行が 極めて遅く占用 工事等の影響 がなければ長 寿命) 幅員 5.5m 未満 の道路	D	政令市一般市道	ひび割れ率: 20~40% (40%以上)	更新時期や地 域特性等に応じ て道路管理者 が適切に点検 計画を作成	分類C・Dの 判定区分	計:約 750,000km
			わだち掘れ量: 20~40mm (40mm 以上)			
合計						計:約 1,300,000km

※1 一部の地方管理道路については、独自の管理基準を設定している場合がある。

※2 コンクリート舗装の健全性の診断は、分類A~D共通して、判定区分 I~IIIで判定

※3 車線延長は一部センサデータ等による推計値を含む。

※4 高速道路会社についてはサービス水準を高く設定しており、独自の厳しい基準で点検を実施していることから、国の舗装点検要領にあてはめることができないため集計していない。

国土交通省の管理する道路の舗装は、2017年度より舗装点検要領（2017年3月 国土交通省 道路局 国道・防災課）に基づき、5年に1回の頻度で目視を基本とする点検を実施しています。

舗装の健全性の診断は、以下の通り区分します。

<アスファルト舗装>

区分		状態
I	健全	損傷レベル小：管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、舗装表面が健全な状態
II	表層機能保持段階	損傷レベル中：管理基準に照らし、劣化の程度が中程度
III	修繕段階	損傷レベル大：管理基準に照らし、それを超過している又は早期の超過が予見される状態
	III-1 表層等修繕	表層の供用年数が使用目標年数を超える場合（路盤以下の層が健全であると想定される場合）
	III-2 路盤打換等	表層の供用年数が使用目標年数未満である場合（路盤以下の層が損傷していると想定される場合）

<コンクリート舗装>

区分		状態
I	健全	損傷レベル小：目地部に目地材が充填されている状態を保持し、路盤以下への雨水の浸入や目地溝に土砂や異物が詰まることができないと想定される状態であり、ひび割れも認められない状態
II	補修段階	損傷レベル中：目地部の目地材が飛散等しており、路盤以下への雨水の浸入や目地溝に土砂や異物が詰まる恐れがあると想定される状態、目地部で角欠けが生じている状態
III	修繕段階	損傷レベル大：コンクリート版において、版央付近又はその前後に横断ひび割れが全幅員にわたっていて、一枚の版として輪荷重を支える機能が失われている可能性が高いと考えられる状態、または、目地部に段差が生じたりコンクリート版の隅角部に角欠けへの進展が想定されるひび割れが生じているなど、コンクリート版と路盤の間に隙間が存在する可能性が高いと考えられる状態

国土交通省以外の道路管理者は、舗装点検要領（2016年10月 国土交通省 道路局（技術的助言））等を参考に、適切に管理を行っています。

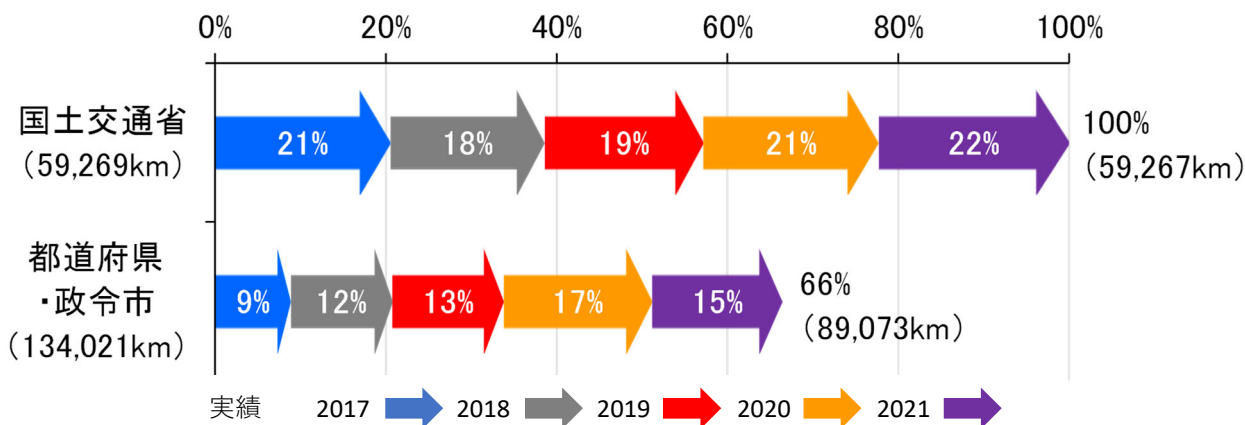
(2) 点検結果(国土交通省、都道府県・政令市)

- 舗装点検については 2021 年度に 1 巡目点検が完了し、国土交通省が管理する道路では約 100%、都道府県・政令市が管理する道路^{※1}では約 66%で点検を実施済みです。
- 判定区分Ⅲ（修繕段階）の割合（延べ車線延長^{※2}ベース）は、アスファルト舗装では国土交通省が 13%、都道府県・政令市が 12%、コンクリート舗装では国土交通省が 6%、都道府県・政令市が 4%となっています。

※1 都道府県・政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路が対象。

※2 延べ車線延長：点検対象となる車線延長の合計。2022 年 3 月末時点の延長のうち、供用後 5 年以内を除く。また一部の自治体では管理延長等をもとに算出。

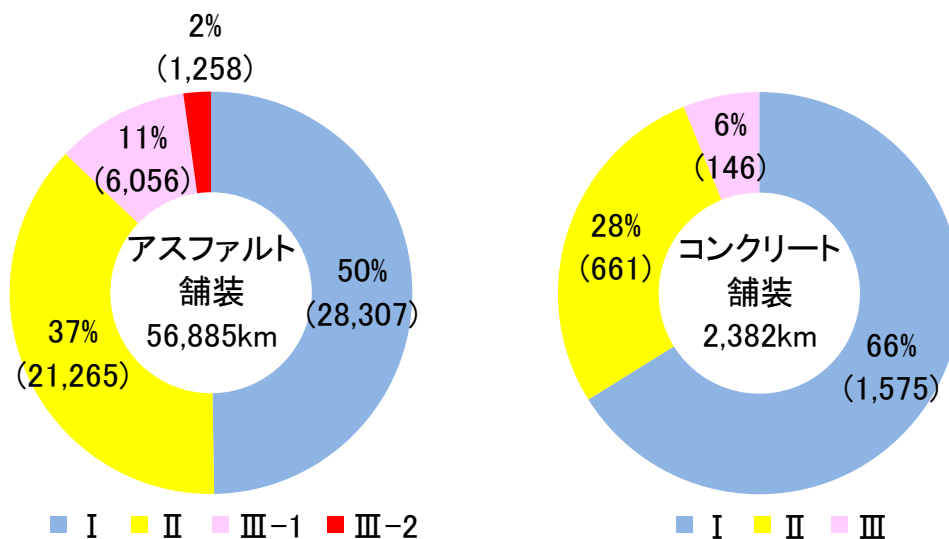
○ 点検実施率(延べ車線延長ベース)



2022. 3 末時点

※()内は、2017~2021 年度に点検を実施した車線延長の合計。

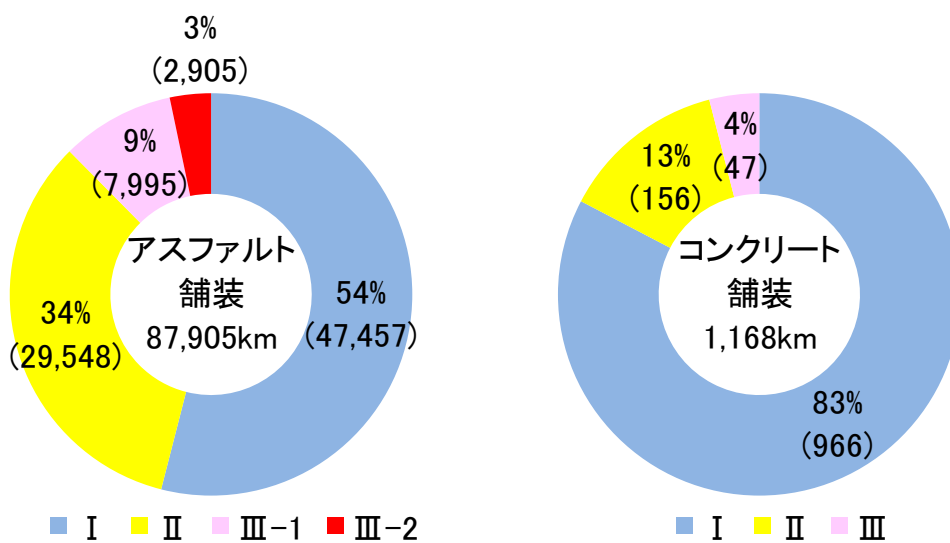
○ 国土交通省の判定区分の割合



2022. 3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。

○ 都道府県・政令市の判定区分の割合



2022.3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。

(3) 修繕の実施状況(国土交通省、都道府県・政令市)

- 1 巡目(2017 年度～2021 年度)の点検で修繕段階(区分Ⅲ)にあると判定されたアスファルト舗装のうち、修繕等措置に着手した割合は、国土交通省で 17%、都道府県・政令市^{※1}で 19%です。
- コンクリート舗装では、国土交通省で 7%、都道府県・政令市^{※1}で 7%です。

※1 都道府県・政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路が対象。

アスファルト舗装における判定区分Ⅲの修繕の実施状況

管理者	修繕が必要な延長(km) (A)	修繕に着手済の延長(km) (B) (B/A)	修繕完了の延長(km) (C) (C/A)	点検実施年度						
					0%	20%	40%	60%	80%	100%
国土交通省	7,314	1,262 (17%)	1,162 (16%)	2017	26%	27%				
				2018	24%	25%				
				2019	17%	18%				
				2020	10%	12%				
				2021	5%	5%				
都道府県・政令市	10,900	2,023 (19%)	1,722 (16%)	2017	29%	32%				
				2018	27%	28%				
				2019	14%	18%				
				2020	12%	16%				
				2021	5%	8%				
合計	18,215	3,285 (18%)	2,884 (16%)							

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある

2022.3 末時点

コンクリート舗装における判定区分Ⅲの修繕の実施状況

管理者	修繕が必要な延長(km) (A)	修繕に着手済の延長(km) (B) (B/A)	修繕完了の延長(km) (C) (C/A)	点検実施年度						
					0%	20%	40%	60%	80%	100%
国土交通省	146	10 (7%)	6 (4%)	2017	11%	11%				
				2018	0.2%	1%				
				2019	10%	14%				
				2020	4%	13%				
				2021	0%	0%				
都道府県・政令市	47	3 (7%)	3 (7%)	2017	12%	12%				
				2018	0%	0%				
				2019	26%	26%				
				2020	0%	0%				
				2021	1%	1%				
合計	193	14 (7%)	10 (5%)							

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある

2022.3 末時点

- 修繕段階（区分Ⅲ）にあると判定されたアスファルト舗装のうち、表層等修繕が必要と判定された箇所（区分Ⅲ-1）の修繕等措置に着手した割合は、国土交通省で18%、都道府県・政令市^{※1}で14%です。
- 路盤打換等が必要と判定された箇所（区分Ⅲ-2）の修繕等措置に着手した割合は、国土交通省で15%、都道府県・政令市^{※1}で32%です。

※1 都道府県・政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路が対象。

アスファルト舗装における判定区分Ⅲ-1の修繕の実施状況

管理者	修繕が必要な延長(km) (A)	修繕に着手済の延長(km) (B) (B/A)	修繕完了の延長(km) (C) (C/A)	点検実施年度						
					0%	20%	40%	60%	80%	100%
国土交通省	6,056	1,068 (18%)	988 (16%)	2017	24%	25%				
				2018	26%	28%				
				2019	18%	19%				
				2020	10%	12%				
				2021	5%	6%				
都道府県・政令市	7,995	1,080 (14%)	1,040 (13%)	2017	26%	27%				
				2018	20%	20%				
				2019	12%	12%				
				2020	9%	9%				
				2021	5%	7%				
合計	14,051	2,148 (15%)	2,028 (14%)							

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある

2022.3末時点

アスファルト舗装における判定区分Ⅲ-2の修繕の実施状況

管理者	修繕が必要な延長(km) (A)	修繕に着手済の延長(km) (B) (B/A)	修繕完了の延長(km) (C) (C/A)	点検実施年度						
					0%	20%	40%	60%	80%	100%
国土交通省	1,258	194 (15%)	174 (14%)	2017	33%	35%				
				2018	14%	15%				
				2019	13%	15%				
				2020	13%	16%				
				2021	3%	4%				
都道府県・政令市	2,905	943 (32%)	682 (23%)	2017	37%	45%				
				2018	46%	50%				
				2019	23%	38%				
				2020	22%	34%				
				2021	5%	11%				
合計	4,163	1,137 (27%)	856 (21%)							

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある

2022.3末時点

6. 小規模附属物・土工構造物の点検結果及び修繕等措置の実施状況

(1) 小規模附属物

1) 概要

小規模附属物については、門型標識を除く道路標識及び照明施設等の支柱や支柱取付部等について点検を行っています。

国土交通省では、附属物（標識、照明施設等）点検要領（2014年6月 国土交通省道路局 国道・防災課）に基づき、概ね10年に1回を目安として近接目視による詳細点検及び、5年に1回を目安として外観目視を基本とする中間点検を実施しています。

小規模附属物の損傷度の診断は、以下の通り区分します。

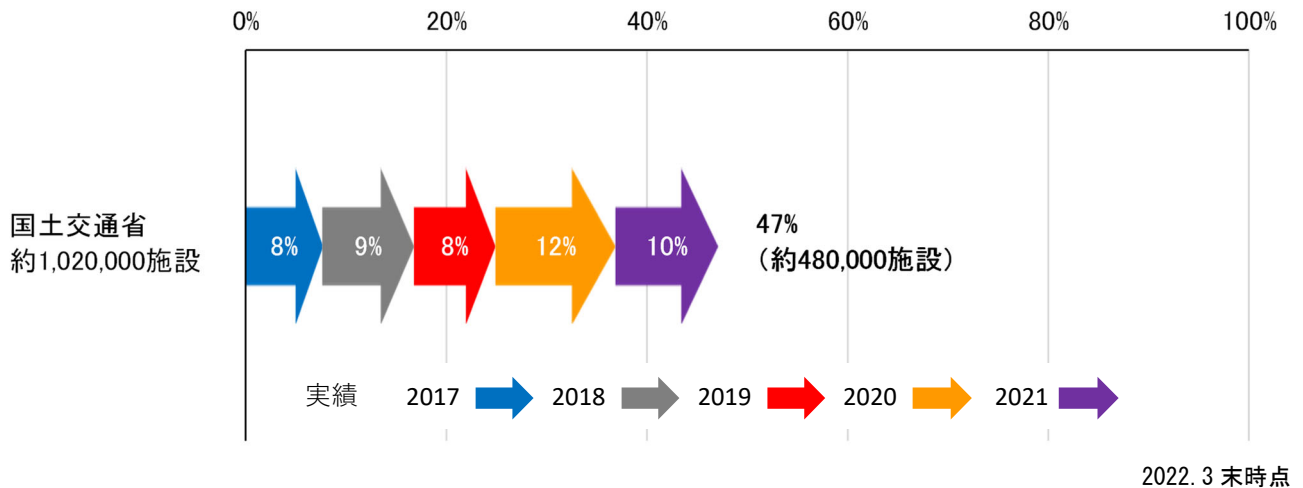
区分	状態
a	損傷が認められない
c	損傷が認められる
e	損傷が大きい

国土交通省以外の道路管理者は、小規模附属物点検要領（2017年3月 国土交通省道路局）（技術的助言）等を参考に、適切に管理を行っています。

2) 点検結果(国土交通省)

- 国土交通省では、2017 年度より小規模附属物点検を行っており、2021 年度末時点の近接目視による詳細点検の実施率は約 47%となっています。
- 国土交通省の損傷度の判定区分の割合は、a 63%、c 32%、e 5%です。

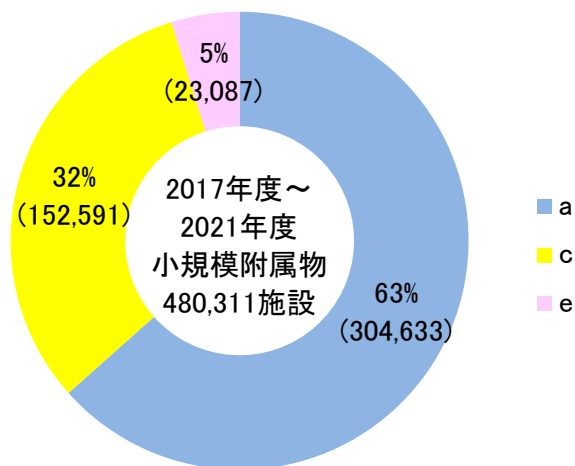
○ 国土交通省の点検実施率(詳細点検)



※()内は、2017～2021 年度に点検を実施した施設数の合計。

○ 国土交通省の判定区分の割合

小規模附属物点検結果 損傷度の判定区分



2022.3 末時点

3) 修繕の実施状況(国土交通省)

○ 国土交通省が管理する小規模附属物で、損傷度の判定区分 e の修繕着手率は 10%、完了率は 8%です。

判定区分c、e の修繕の実施状況(国土交通省)

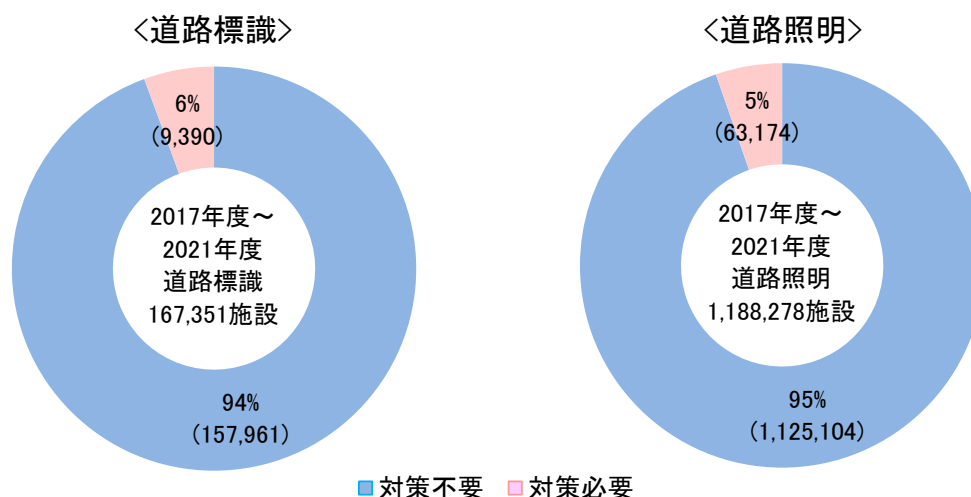
小規模 附属物	修繕が 必要な 施設数 (A)	修繕に 着手済の 施設数 (B) (B/A)	修繕 完了の 施設数 (C) (C/A)	点検 実施 年度						
					0%	20%	40%	60%	80%	100%
c	152,591	1,726 (1%)	1,570 (1%)	2017	0.4%	1%				
				2018	1%	2%				
				2019	0.7%	1%				
				2020	1%	1%				
				2021	2%	2%				
e	23,087	2,369 (10%)	1,866 (8%)	2017	9%	14%				
				2018	9%	10%				
				2019	16%	20%				
				2020	8%	9%				
				2021	2%	3%				
合計	175,678	4,095 (2%)	3,436 (2%)							

2022.3 末時点

4) 地方公共団体の点検・修繕の実施状況

- 国土交通省では、地方公共団体に対する技術的助言として 2016 年度に小規模附属物点検要領を示しています。
- 2017～2021 年度に地方公共団体が点検を実施した施設数は、道路標識：167,351 施設、道路照明：1,188,278 施設となっています。
- 要対策の施設数は、道路標識で 9,390 施設、道路照明で 63,174 施設です。
- このうち、修繕等措置に着手した施設の割合は、道路標識で 36%、道路照明で 39%です。

○ 地方公共団体の点検結果



2022.3 末時点

○ 地方公共団体管理道路の小規模附属物における修繕等措置の実施状況

種別	対策が必要な施設数 (A)	修繕に着手済 の施設数 (B) (B/A)	修繕完了の 施設数 (C) (C/A)
道路標識	9,390	3,387 (36%)	2,853 (30%)
道路照明	63,174	24,341 (39%)	22,592 (36%)
合計	72,564	27,728 (38%)	25,445 (35%)

2022.3 末時点

※2017～2021 年度の 5 年間の点検により対策が必要と判定された施設。

(2) 土工構造物

1) 概要

土工構造物については、重要度が高い法面等について点検を行うこととしています。

国土交通省では、道路土工構造物点検要領（2018年6月 国土交通省 道路局 国道・技術課）に基づき、長大切土又は高盛土の区域（特定道路土工構造物）については、2018年度より5年に1回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

特定道路土工構造物の健全性の診断は、以下の通り区分します。

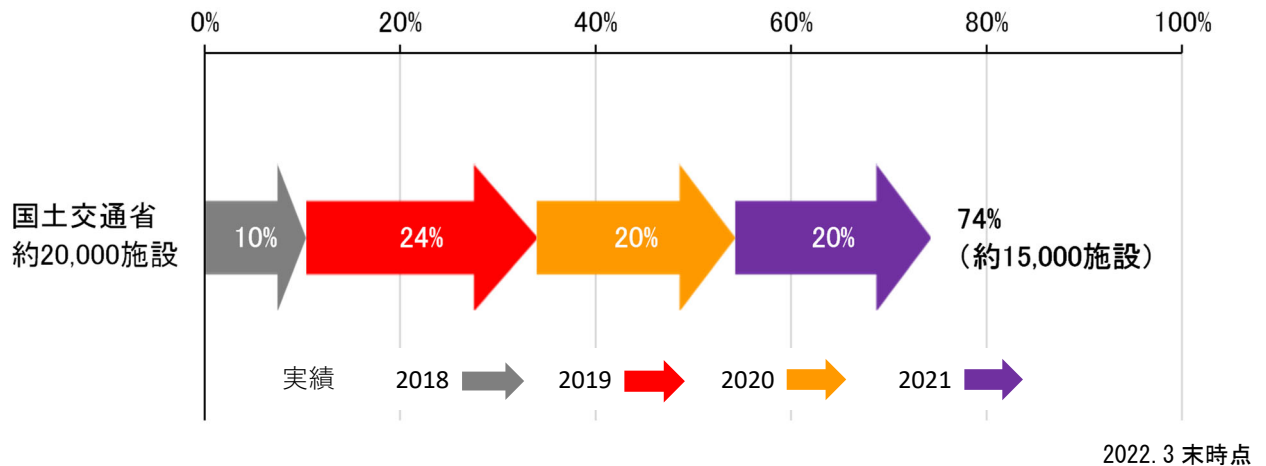
区分		状態
I	健全	変状はない、もしくは変状があっても対策が必要ない場合（道路の機能に支障が生じていない状態）
II	経過観察段階	変状が確認され、変状の進行度合いの観察が一定期間必要な場合（道路の機能に支障が生じていないが、別途、詳細な調査の実施や定期的な観察などの措置が望ましい状態）
III	早期措置段階	変状が確認され、かつ次回点検までにさらに進行すると想定されることから構造物の崩壊が予想されるため、できるだけ速やかに措置を講ずることが望ましい場合（道路の機能に支障は生じていないが、次回点検までに支障が生じる可能性があり、できるだけ速やかに措置を講ずることが望ましい状態）
IV	緊急措置段階	変状が著しく、大規模な崩壊に繋がるおそれがあると判断され、緊急的な措置が必要な場合（道路の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態）

国土交通省以外の道路管理者は、道路土工構造物点検要領（2017年8月 国土交通省 道路局）（技術的助言）等を参考に、適切に管理を行っています。

2) 点検結果(国土交通省)

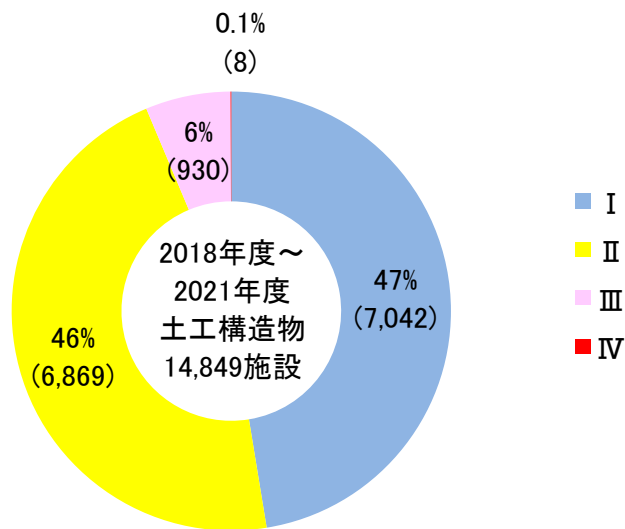
- 国土交通省では、2018 年度より特定土工構造物点検を行っており、2021 年度末時点の点検実施率は約 74%となっています。
- 国土交通省管理の土工構造物の健全性の判定区分の割合は、I 47%、II 46%、III 6%、IV 0.1%です。

○ 国土交通省の点検実施率



※()内は、2018～2021 年度に点検を実施した施設数の合計。

○ 国土交通省の判定区分の割合



3) 修繕の実施状況(国土交通省)

○ 国土交通省が管理する特定土工構造物で、健全性の判定区分Ⅲの施設の修繕着手率は19%、判定区分Ⅳの施設の修繕着手率は50%です。

判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕の実施状況(国土交通省)

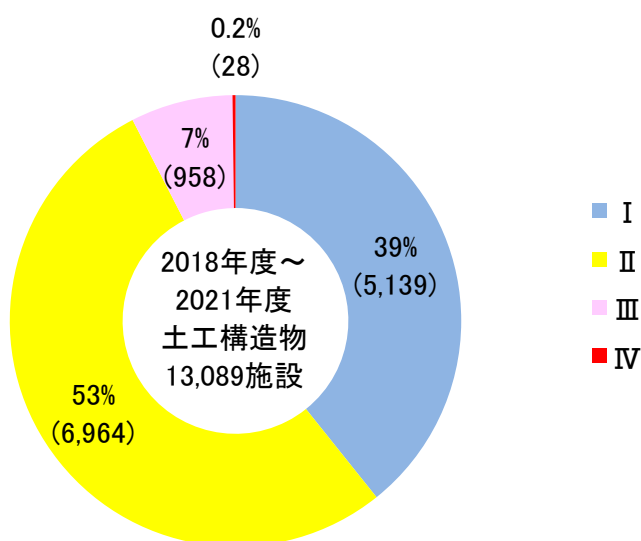
土工 構造物	修繕が 必要な 施設数 (A)	修繕に 着手済の 施設数 (B) (B/A)	修繕 完了の 施設数 (C) (C/A)	点検 実施 年度						
					0%	20%	40%	60%	80%	100%
Ⅲ	930	178 (19%)	64 (7%)	2018	13%	33%				
				2019	6%	20%				
				2020	5%	13%				
				2021	5%	14%				
Ⅳ	8	4 (50%)	1 (13%)	2018	0%	100%				
				2019	対象施設なし					
				2020	33%	100%				
				2021	0%	0%				
合計	938	182 (19%)	65 (7%)							

2022.3 末時点

4) 地方公共団体の点検・修繕の実施状況

- 国土交通省では、地方公共団体に対する技術的助言として 2017 年度に道路土工構造物点検要領を示しています。
- 2018～2021 年度に地方公共団体が点検を実施した施設数は 13,089 施設となっています。
- 判定区分Ⅲ（早期措置段階）の施設数は 958 施設、判定区分Ⅳ（緊急措置段階）の施設数は 28 施設です。
- このうち、修繕等措置に着手した施設の割合は、判定区分Ⅲの施設で 17%、判定区分Ⅳの施設で 93%です。

○ 地方公共団体の判定区分の割合



2022.3 末時点

○ 地方公共団体管理道路の特定土工構造物における修繕等措置の実施状況

判定区分	修繕が必要な施設数 (A)	修繕に着手済の施設数 (B) (B/A)	修繕完了の施設数 (C) (C/A)
Ⅲ	958	162 (17%)	90 (9%)
Ⅳ	28	26 (93%)	15 (54%)
合計	986	188 (19%)	105 (11%)

2022.3 末時点

※2018～2021 年度の 4 年間の点検により判定区分Ⅲ又はⅣと判定された施設。

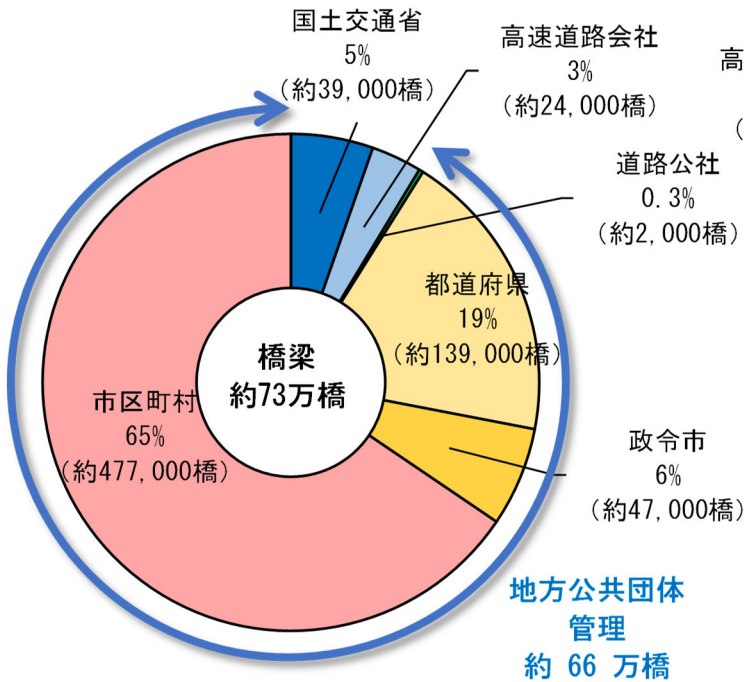
7. 橋梁・トンネルの現状

(1) 橋梁の現状

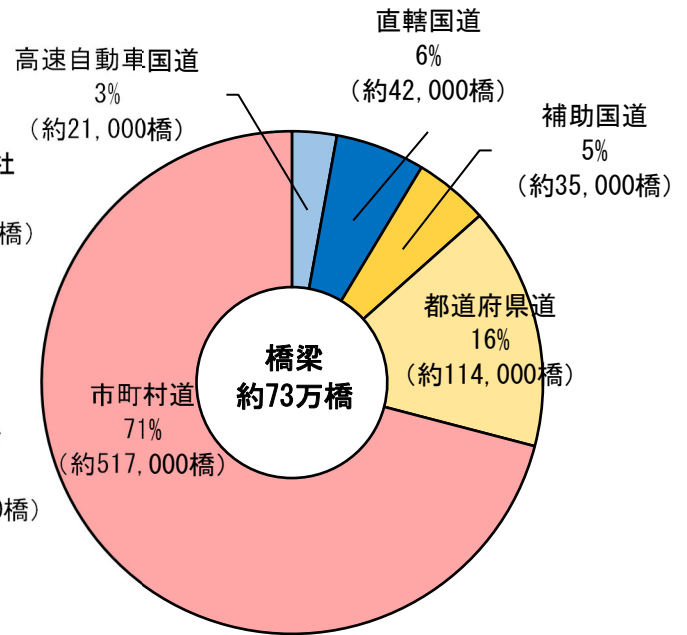
1) 管理者別の橋梁数、橋面積

○ 我が国には橋梁が約73万橋あり、このうち、地方公共団体が管理する橋梁は約66万橋と、9割以上を占めています。

○ 道路管理者別橋梁数

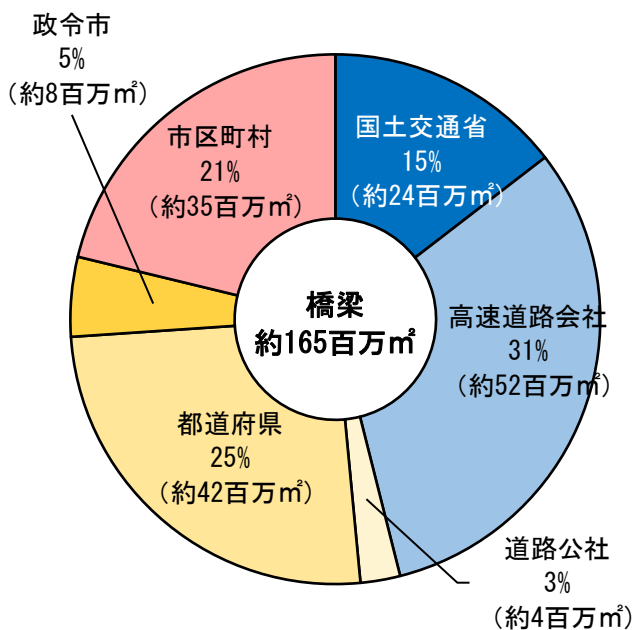


○ 道路種別橋梁数

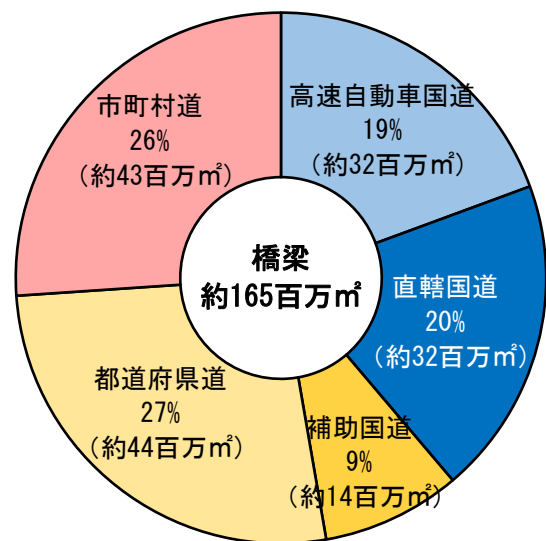


(出典)道路局調べ(2022.3末時点)

○ 道路管理者別橋面積



○ 道路種別橋面積

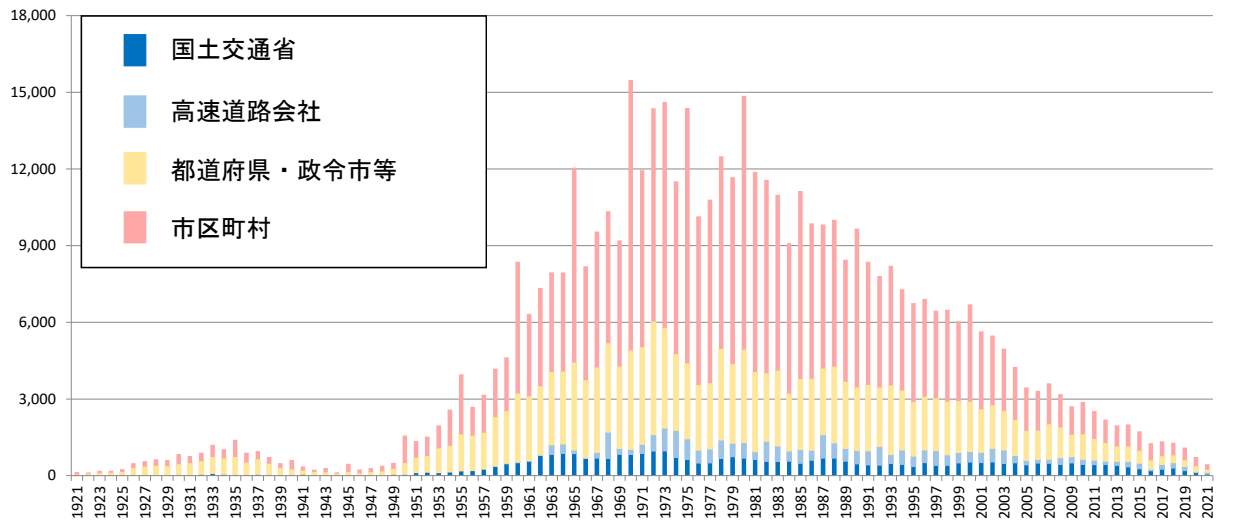


(出典)道路局調べ(2022.3末時点)

2) 建設年度別の橋梁数

- 建設後 50 年を経過した橋梁の割合は、現在は約 34%であるのに対し、10 年後には約 59%となります。建設後 50 年を経過し橋長 15m 未満の橋梁の割合は、10 年後に約 66%となります。橋長 15m 以上の橋梁の割合は、10 年後に 47%となります。
- この他に建設年度が不明の道路橋が全国で約 22.5 万橋あり、これらのお大半が市区町村管理の橋長 15m 未満の橋梁です。

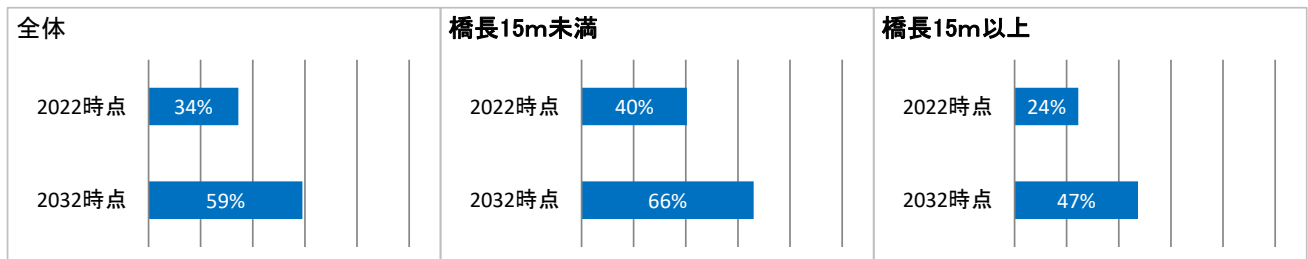
○ 建設年度別橋梁数



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約 22.5 万橋ある。

(出典)道路局調べ(2022.3 末時点)

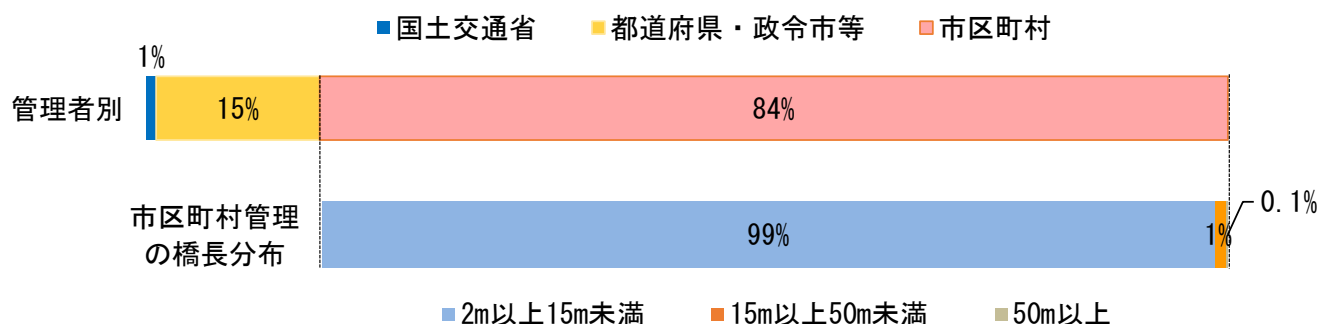
○ 建設後 50 年を経過した橋梁の割合



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約 22.5 万橋ある。

(出典)道路局調べ(2022.3 末時点)

○ 建設年度不明橋梁(約 22.5 万橋)の内訳

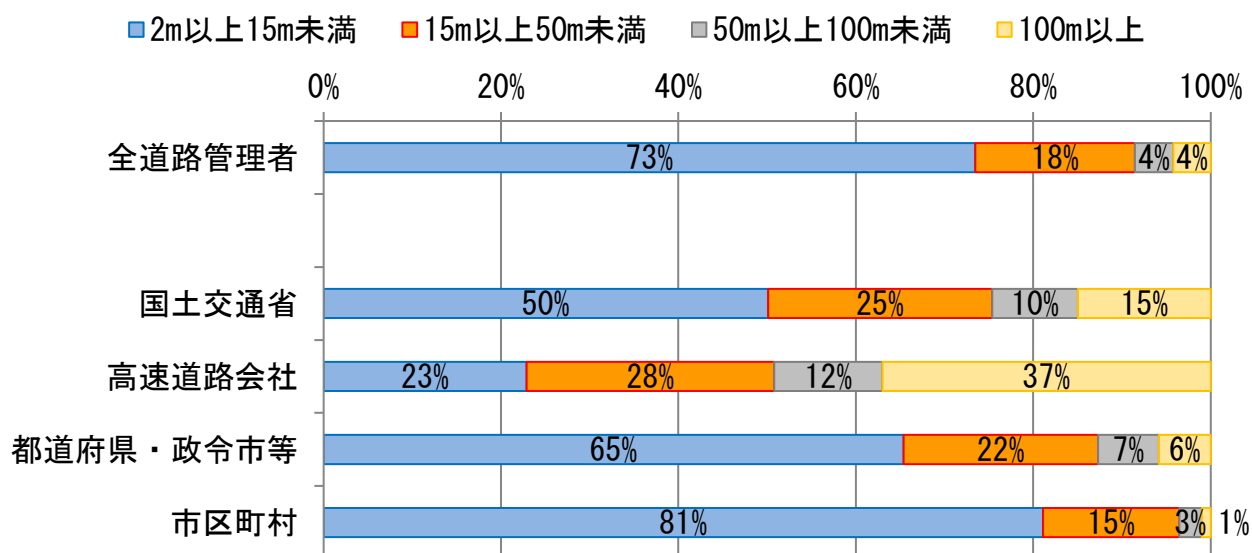


(出典)道路局調べ(2022.3 末時点)

3) 管理者別の橋長分布

- 橋長 50m 以上の橋梁は国土交通省、高速道路会社に多くなっています。
- 市区町村は管理する橋梁の 80%以上が橋長 15m 未満です。

○ 管理者別の橋長分布



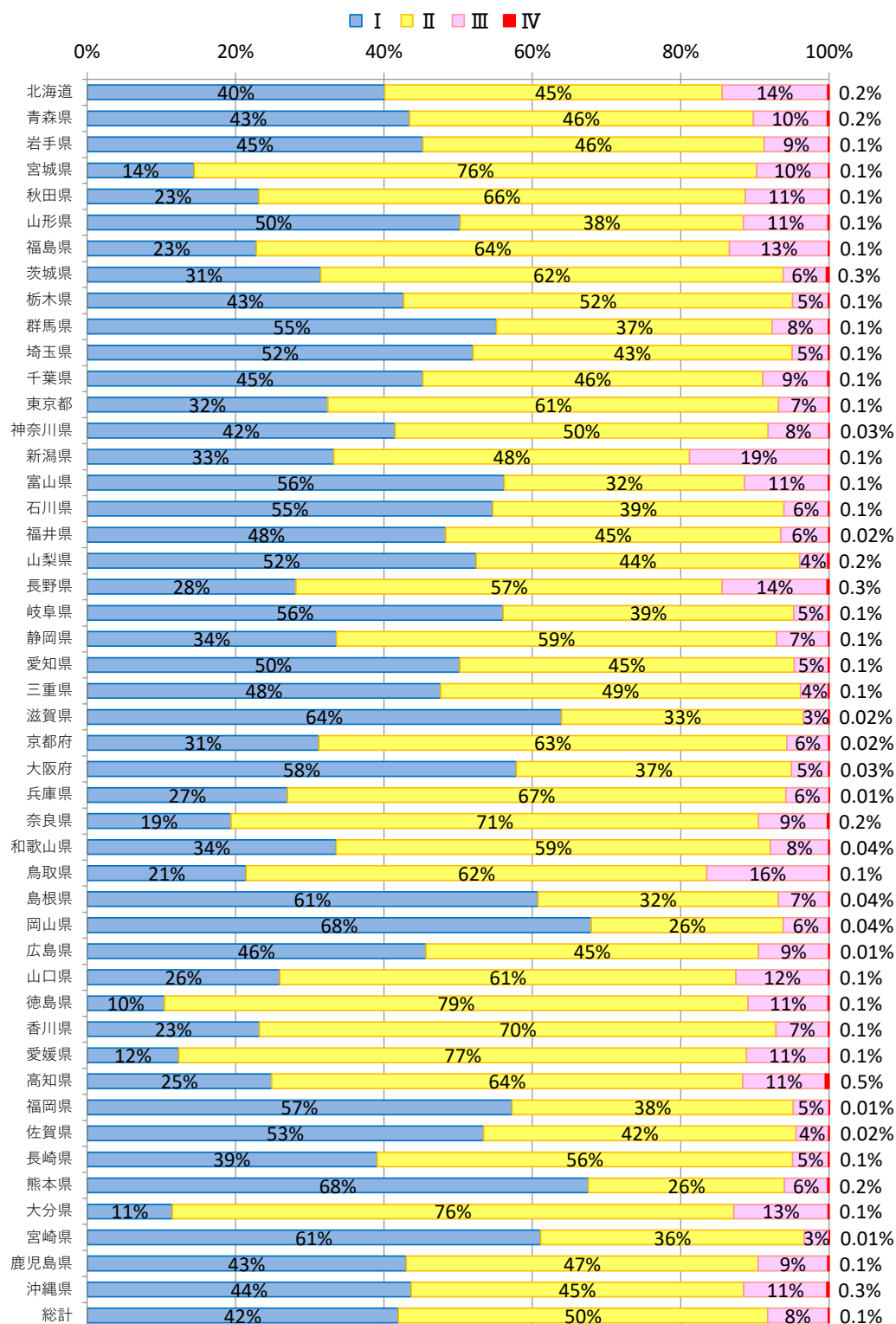
(出典) 道路局調べ(2022.3 末時点)

※ 橋長に関して情報がなかった橋梁を除く

4) 地方公共団体の 2021 年度末時点の点検結果の分布

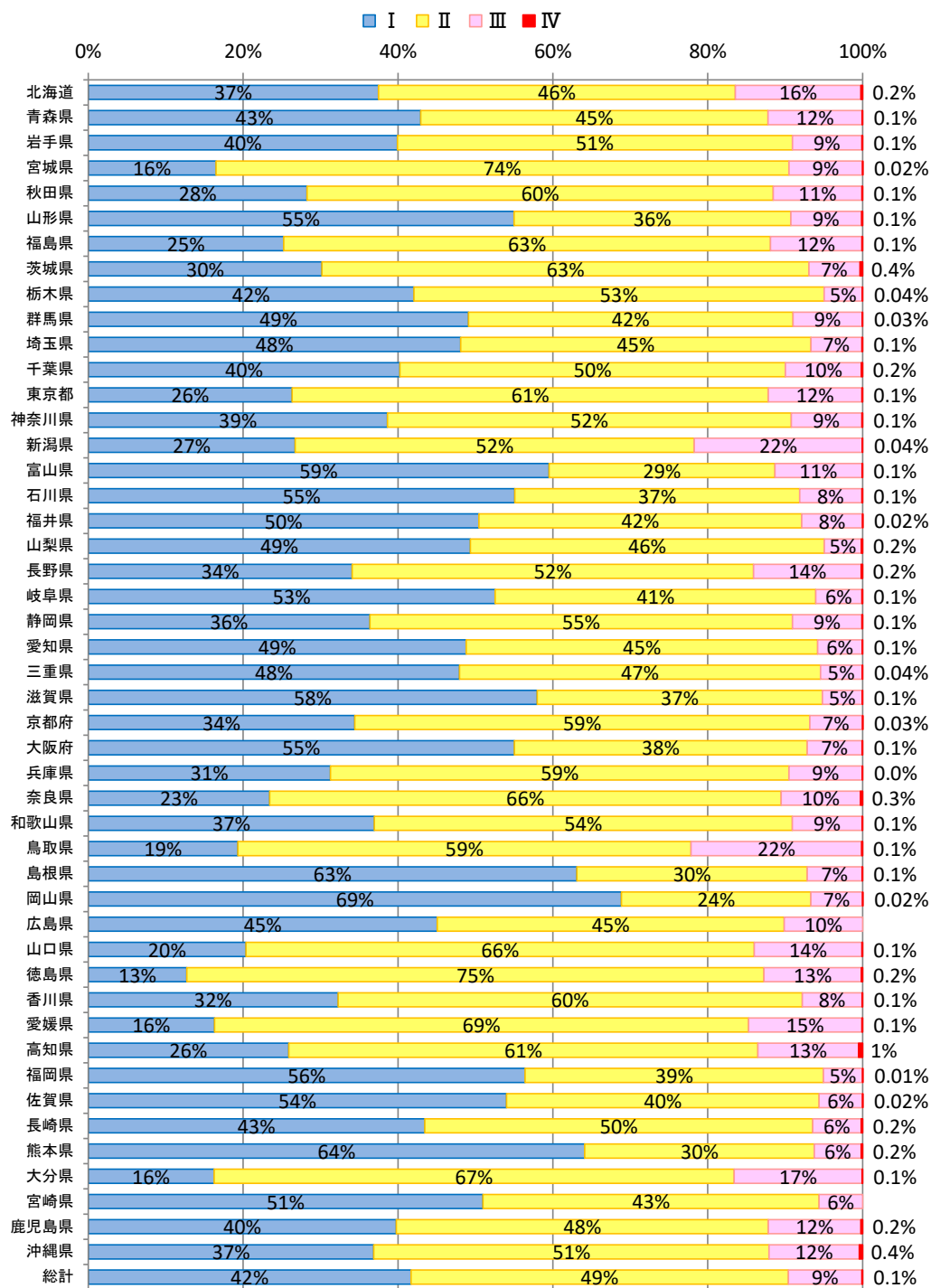
- 地方公共団体（都道府県・政令市等及び市区町村）が管理する橋梁の 2021 年度末時点の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 地方公共団体全体の判定区分の割合は、I 42%、II 50%、III 8%、IV 0.1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合（地方公共団体管理橋梁）



※2022年3月末時点の2014～2021年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検における都道府県別判定区分の割合(地方公共団体管理橋梁)

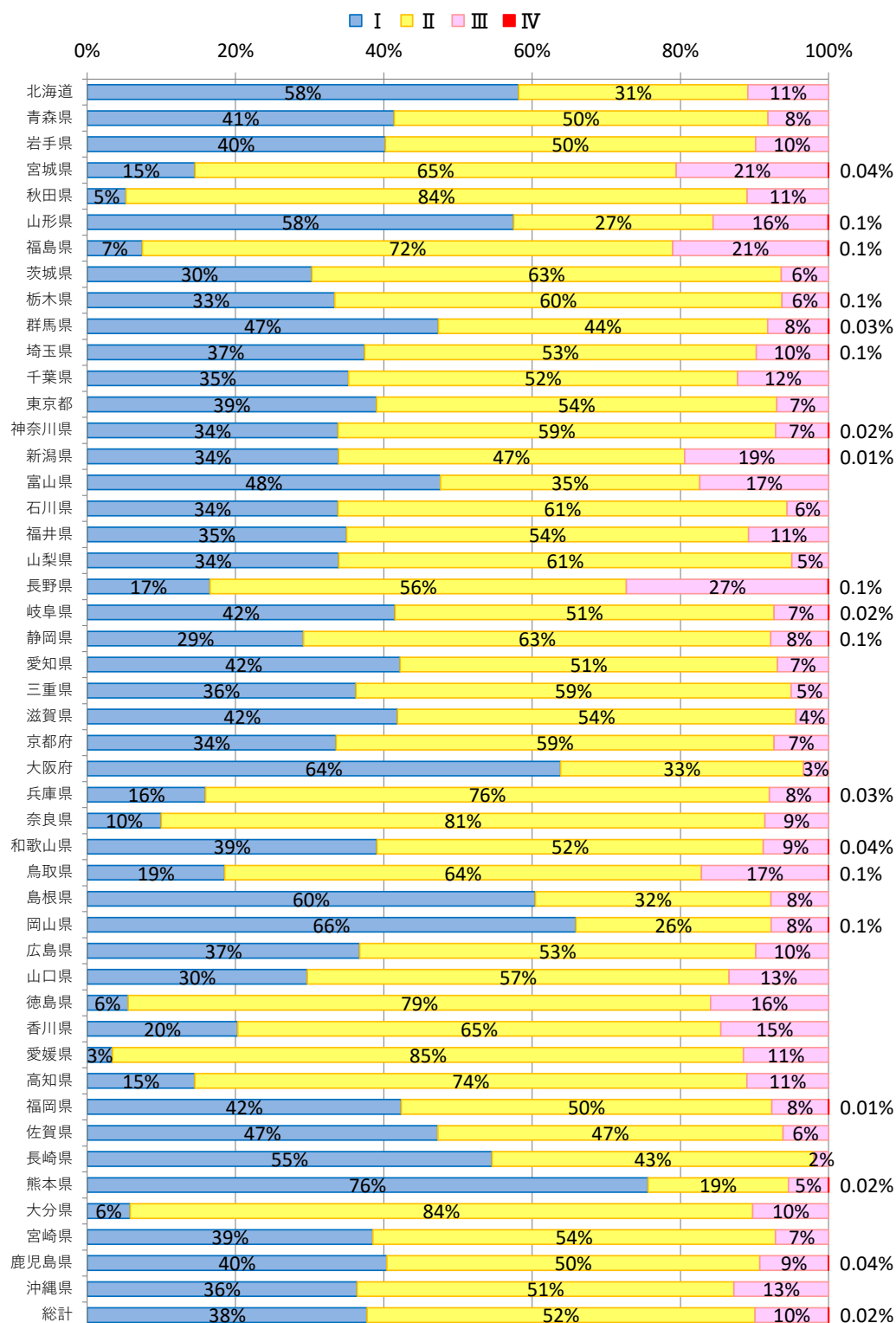


※2019年3月末時点の1巡目(2014~2018年度)点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

5) 都道府県・政令市等の 2021 年度末時点の点検結果の分布

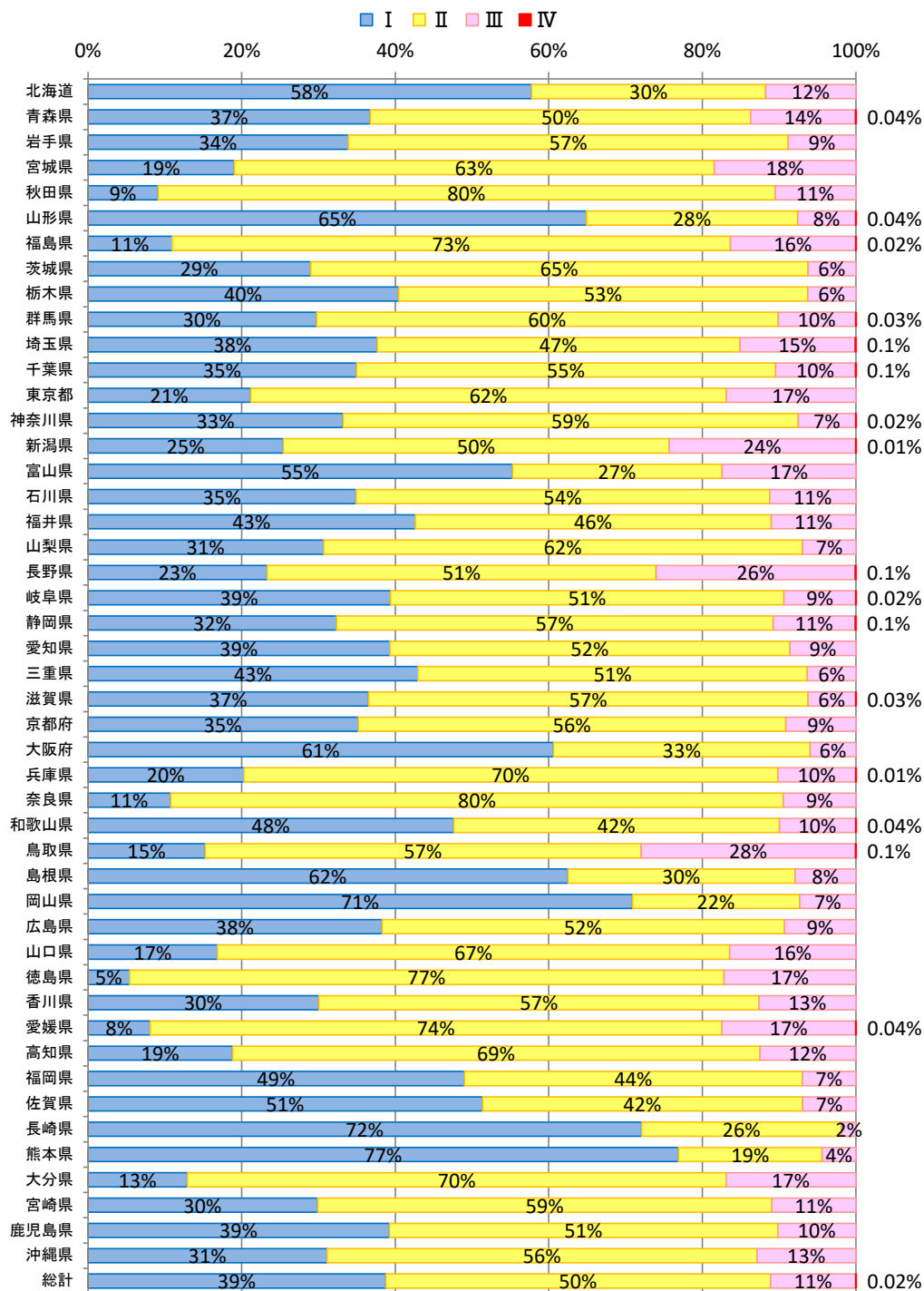
- 都道府県・政令市等が管理する橋梁の 2021 年度末時点の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 都道府県・政令市等全体の判定区分の割合は、I 38%、II 52%、III 10%、IV 0.02%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(都道府県・政令市等管理橋梁)



※2022年3月末時点の2014～2021年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検における都道府県別判定区分の割合 (都道府県・政令市等管理橋梁)

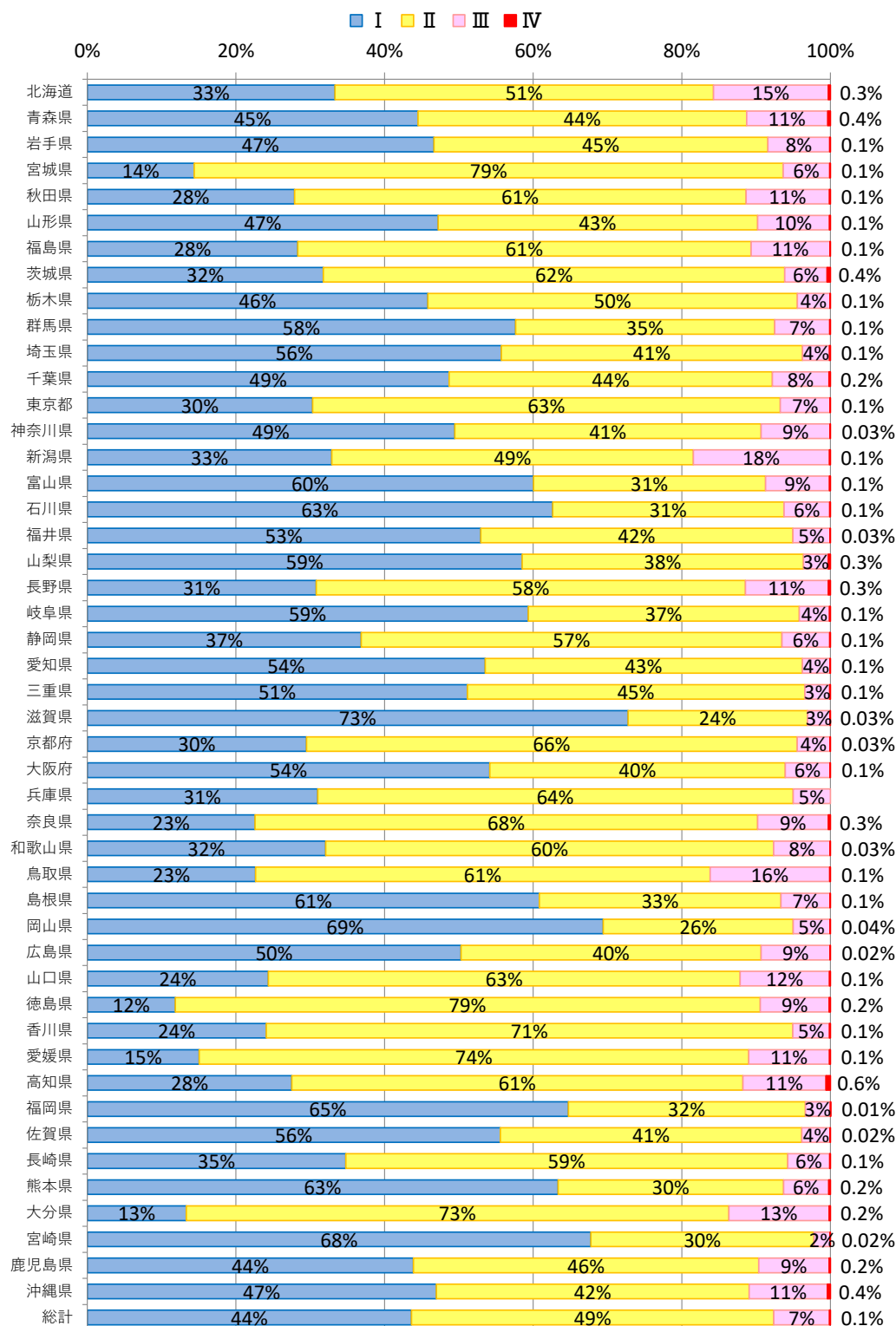


※2019年3月末時点の1巡目(2014~2018年度)点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

6) 市区町村の 2021 年度末時点の点検結果の分布

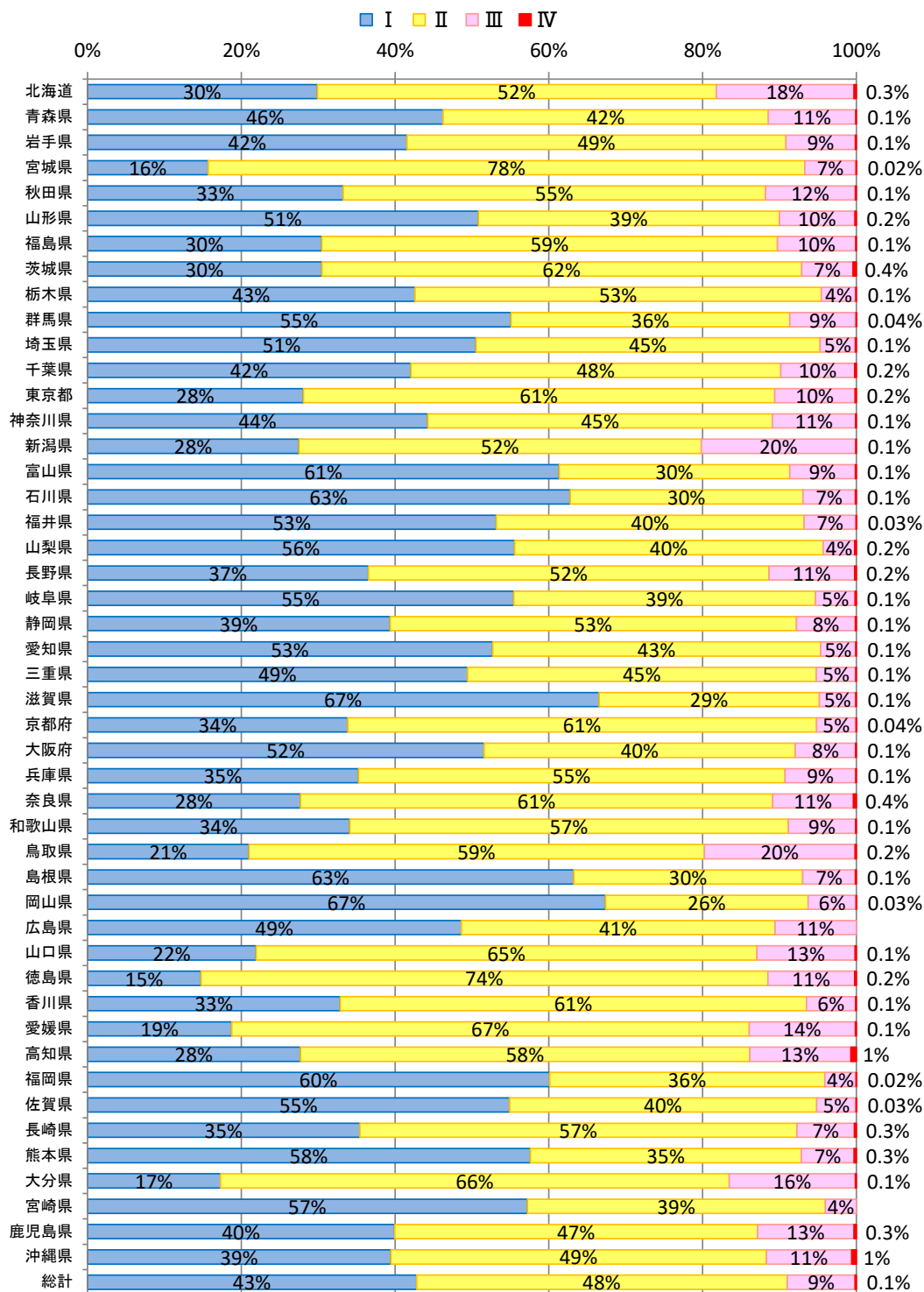
- 市区町村が管理する橋梁の 2021 年度末時点の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 市区町村全体の判定区分の割合は、I 44%、II 49%、III 7%、IV 0.1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(市区町村管理橋梁)



※2021年3月末時点の2014～2021年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検における都道府県別判定区分の割合(市区町村管理橋梁)



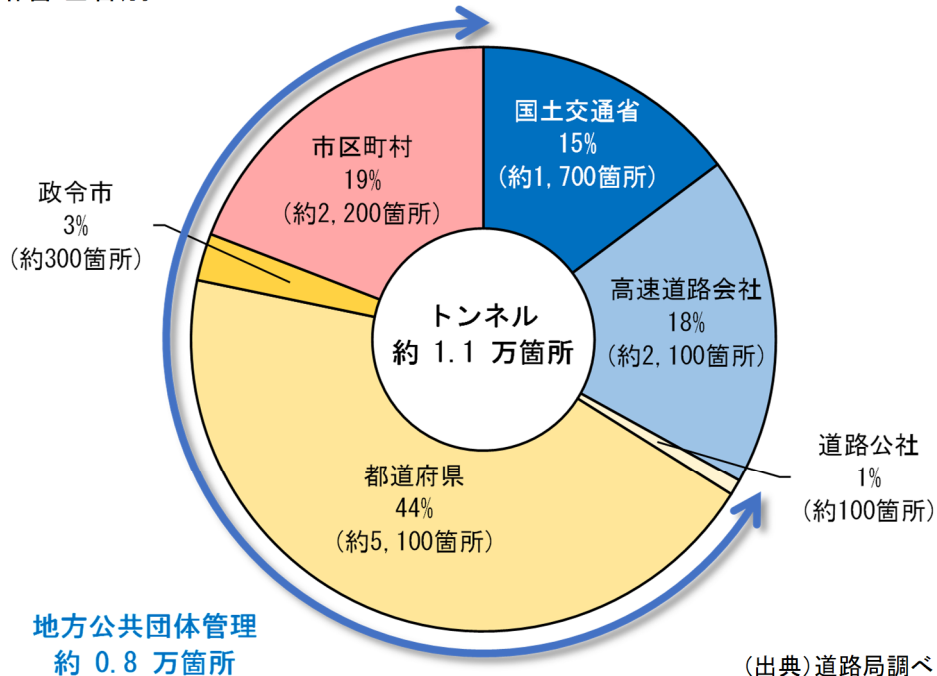
※2019年3月末時点の1巡目(2014~2018年度)点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(2)トンネルの現状

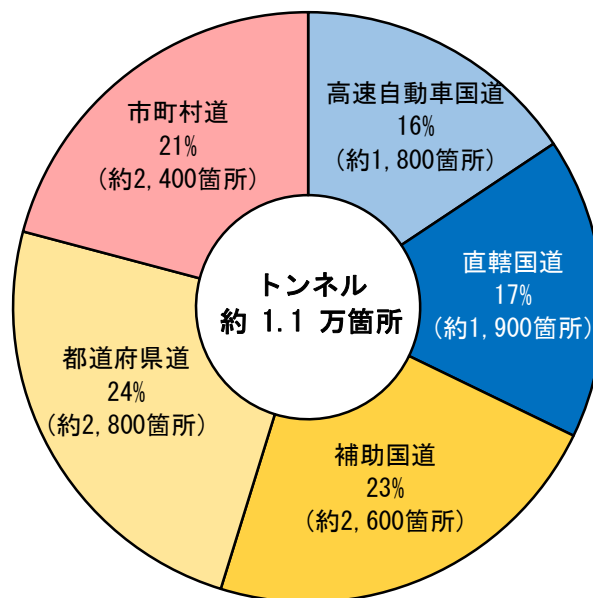
1)管理者別の箇所数

○ 我が国にはトンネルが約 1.1 万箇所あり、このうち、地方公共団体が管理するトンネルは約 0.8 万箇所と、約 7 割を占めています。

○ 道路管理者別



○ 道路種別

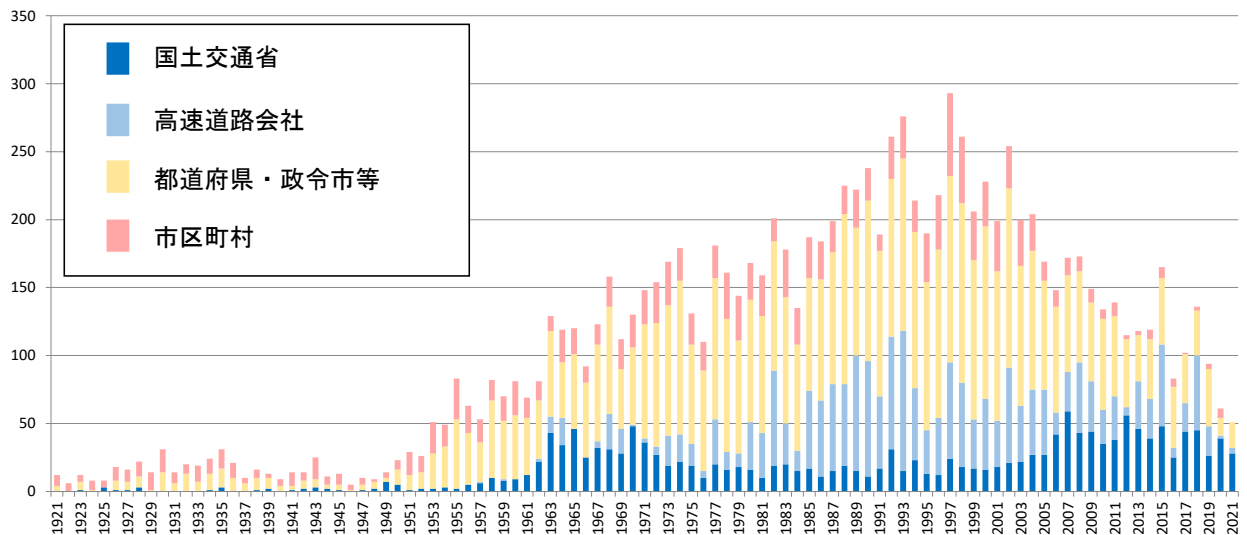


2) 建設年度別のトンネル数

○ 建設後 50 年を経過したトンネルの割合は、現在は約 24%であるのに対し、10 年後には約 38%に増加します。建設後 50 年を経過し延長 100m 未満のトンネルの割合は、10 年後に約 73%となります。

※橋梁・トンネルの建設年度別施設数は巻末資料(4)を参照。

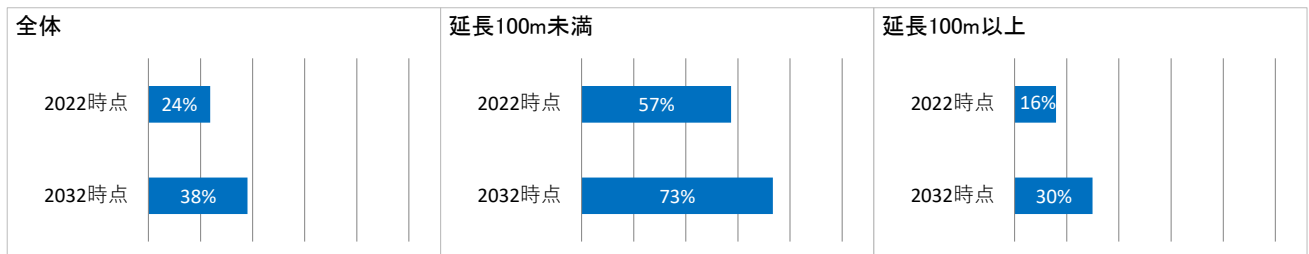
○ 建設年度別トンネル数



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが約 350 箇所ある。

(出典) 道路局調べ(2022.3 末時点)

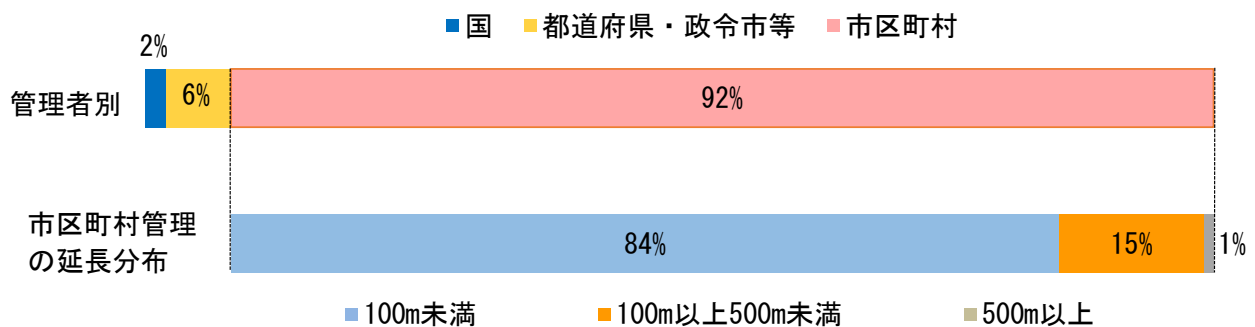
○ 建設後 50 年を経過したトンネルの割合



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが約 350 箇所ある。

(出典) 道路局調べ(2022.3 末時点)

○ 建設年度不明トンネル(約 350 箇所)の内訳

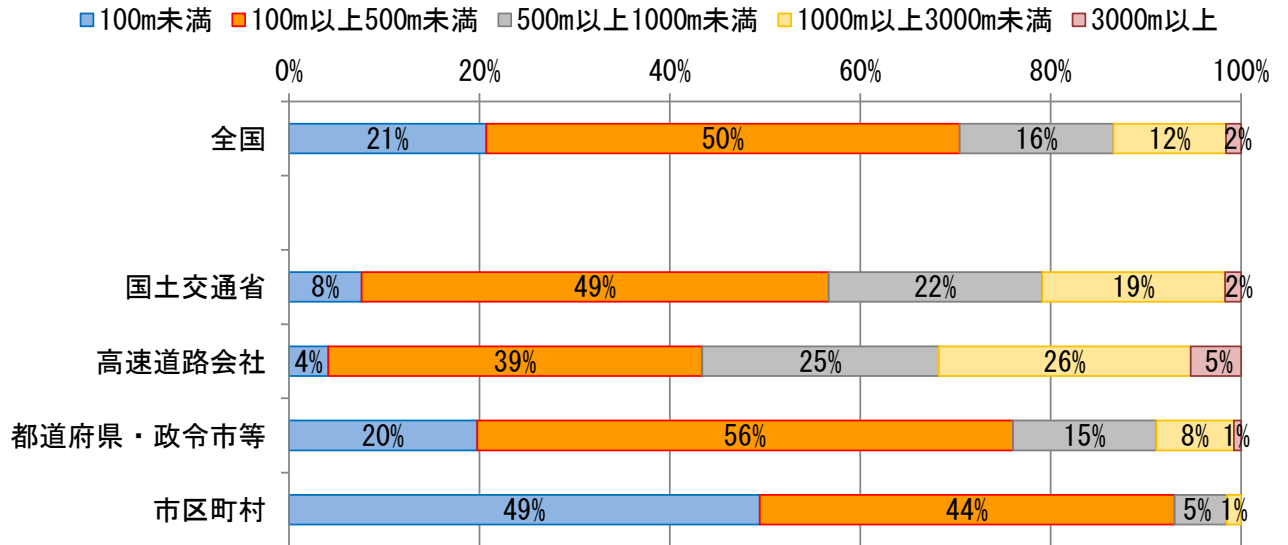


(出典) 道路局調べ(2022.3 末時点)

3) 管理者別の延長分布

- 延長 1000m 以上のトンネルは国土交通省、高速道路会社に多くなっています。
- 市区町村は管理するトンネルの約 50%が延長 100m 未満です。

○ 管理者別の延長分布

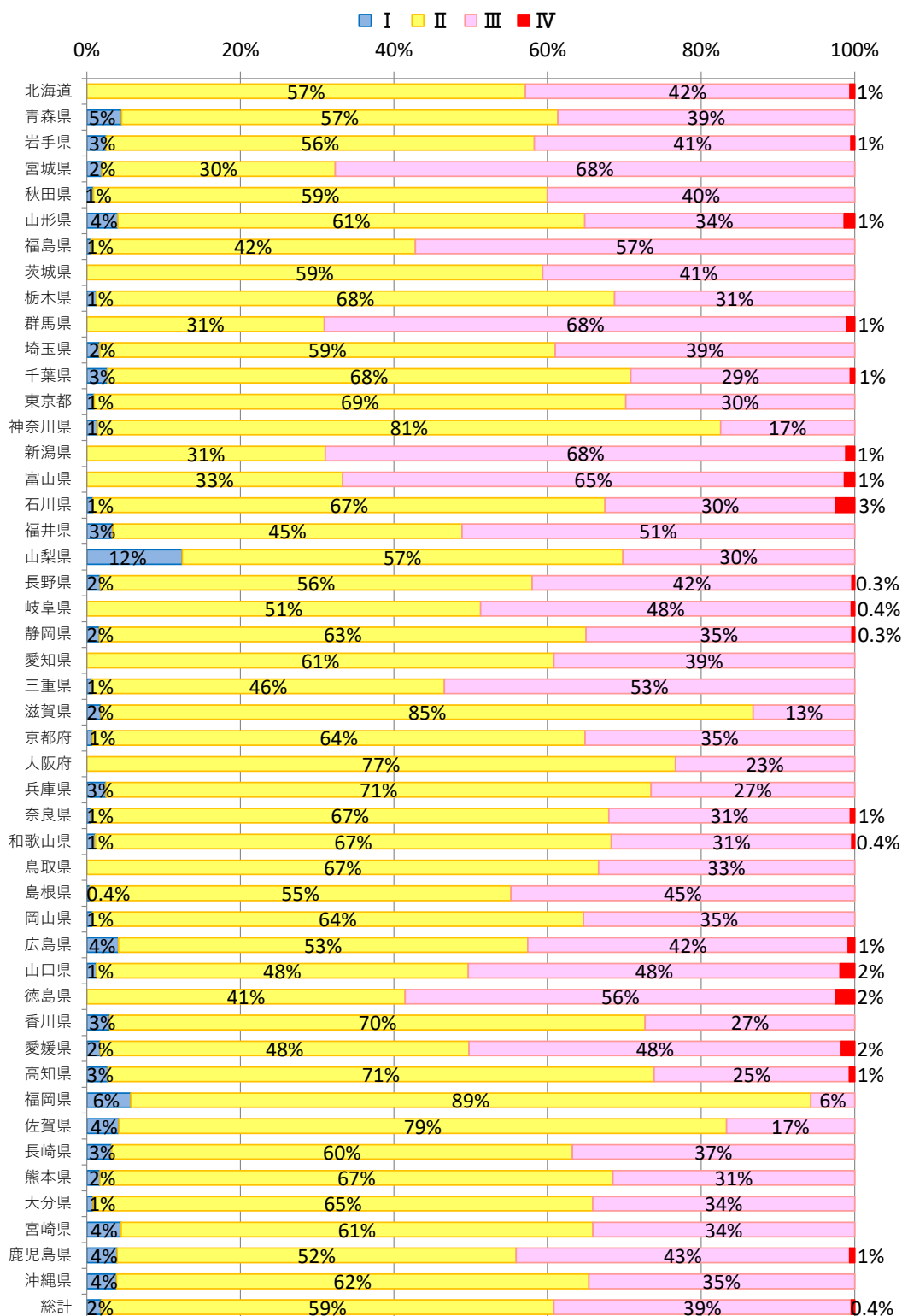


(出典)道路局調べ(2022.3 末時点)
 ※ 延長に関して情報がなかった施設を除く

4) 地方公共団体の 2021 年度末時点の点検結果の分布

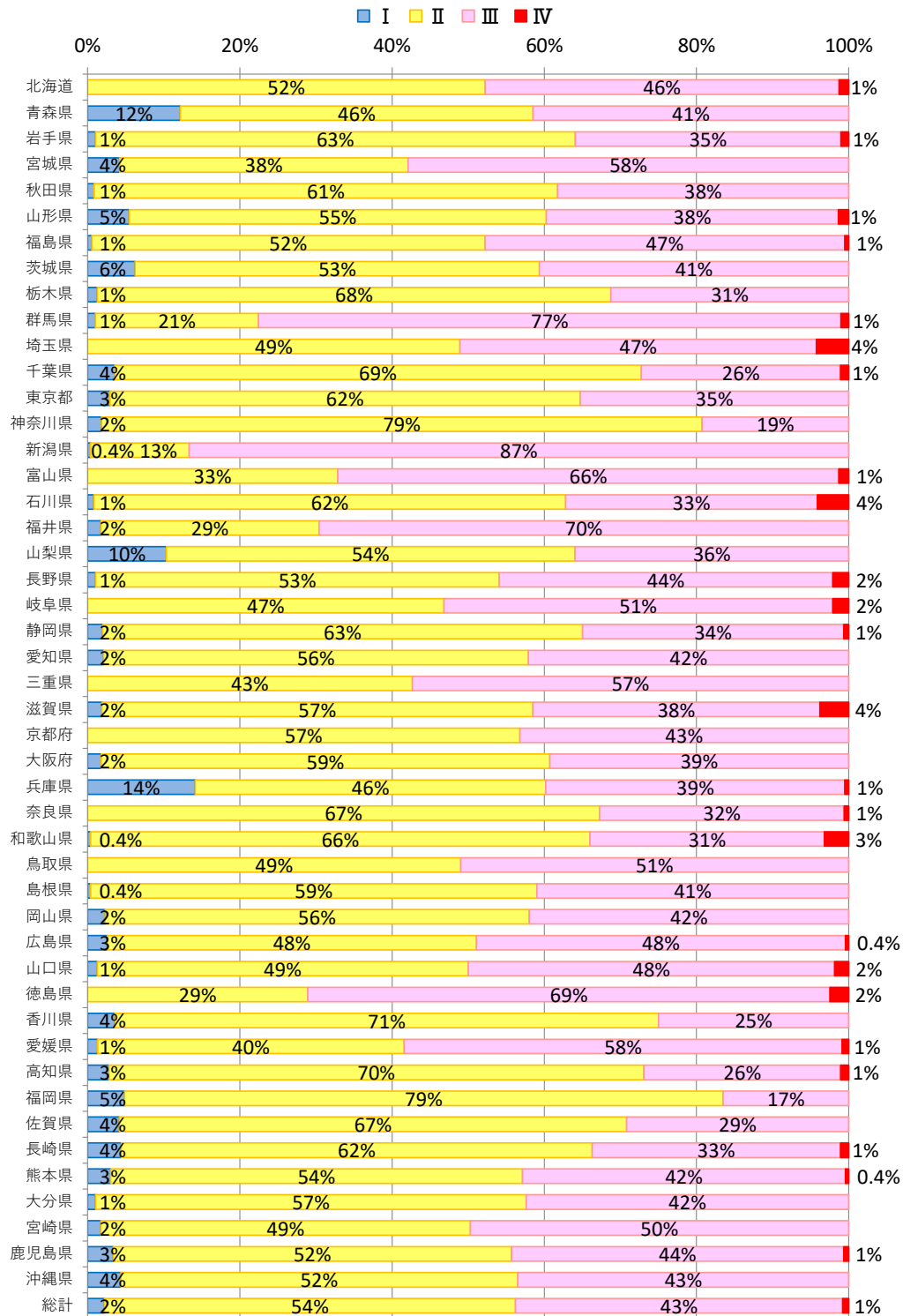
- 地方公共団体（都道府県・政令市等及び市区町村）が管理するトンネルの 2021 年度末時点の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 地方公共団体全体の判定区分の割合は、I 2%、II 59%、III 39%、IV 0.4%です。

○ 都道府県別判定区分の割合（地方公共団体管理トンネル）



※2022年3月末時点の2014～2021年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検における都道府県別判定区分の割合 (地方公共団体管理トンネル)

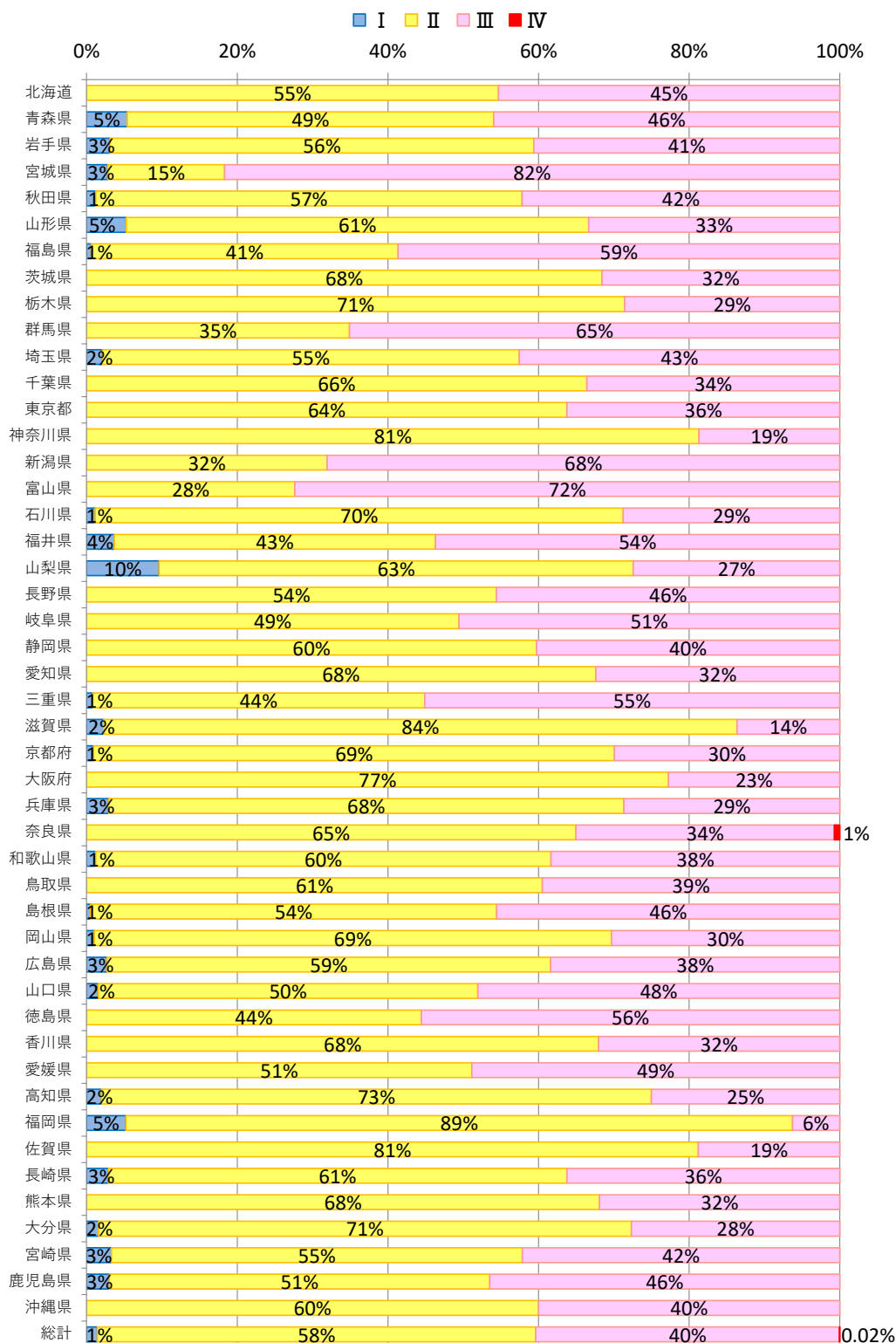


※2019年3月末時点の1巡目(2014~2018年度)点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

5) 都道府県・政令市等の 2021 年度末時点の点検結果の分布

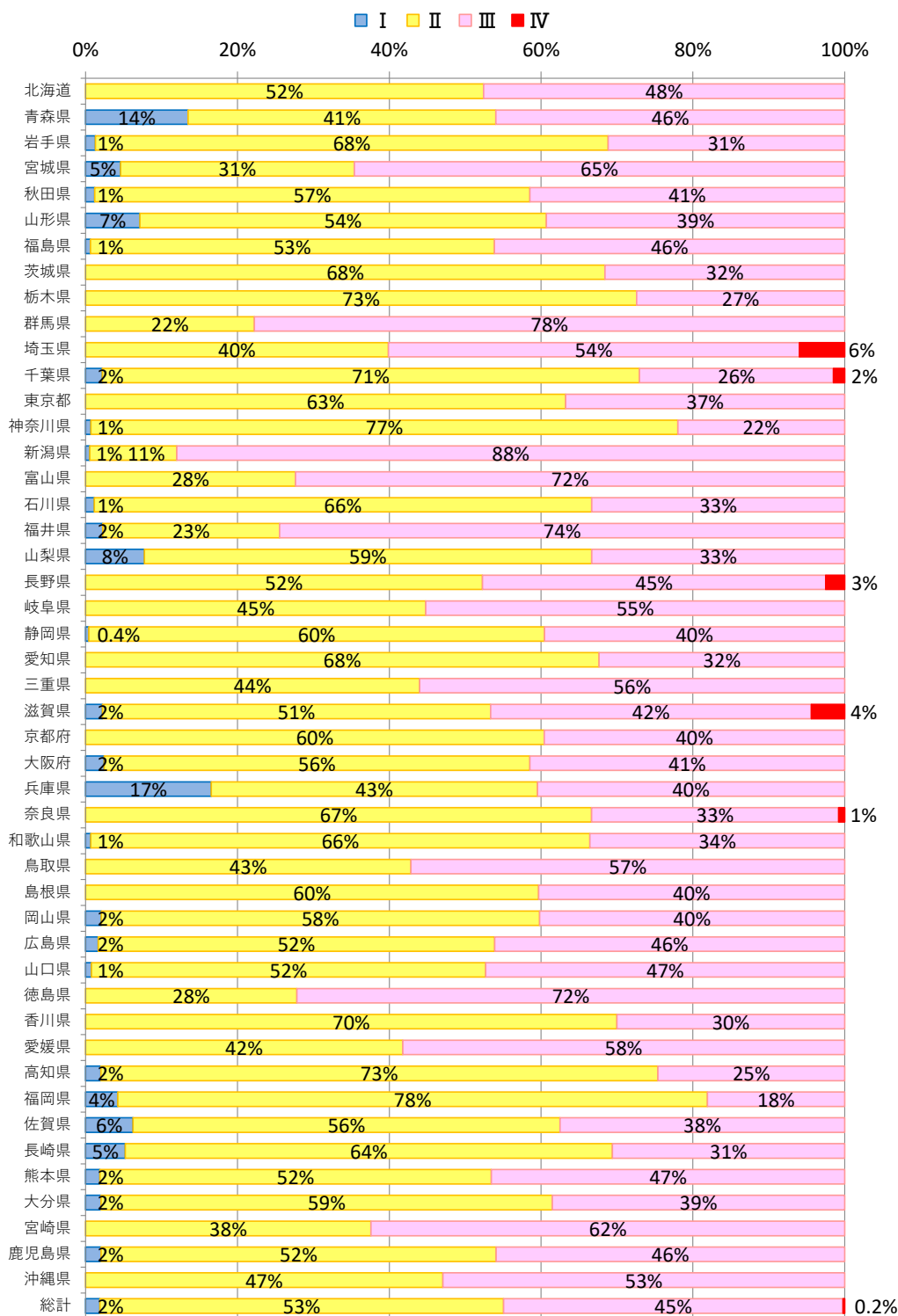
- 都道府県・政令市等が管理するトンネルの 2021 年度末時点の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 都道府県・政令市等の全体の判定区分の割合は、I 1%、II 58%、III 40%、IV 0.02%です。

○ 都道府県別判定区分の割合 (都道府県・政令市等管理トンネル)



※2022年3月末時点の2014～2021年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検における都道府県別判定区分の割合(都道府県・政令市等管理トンネル)

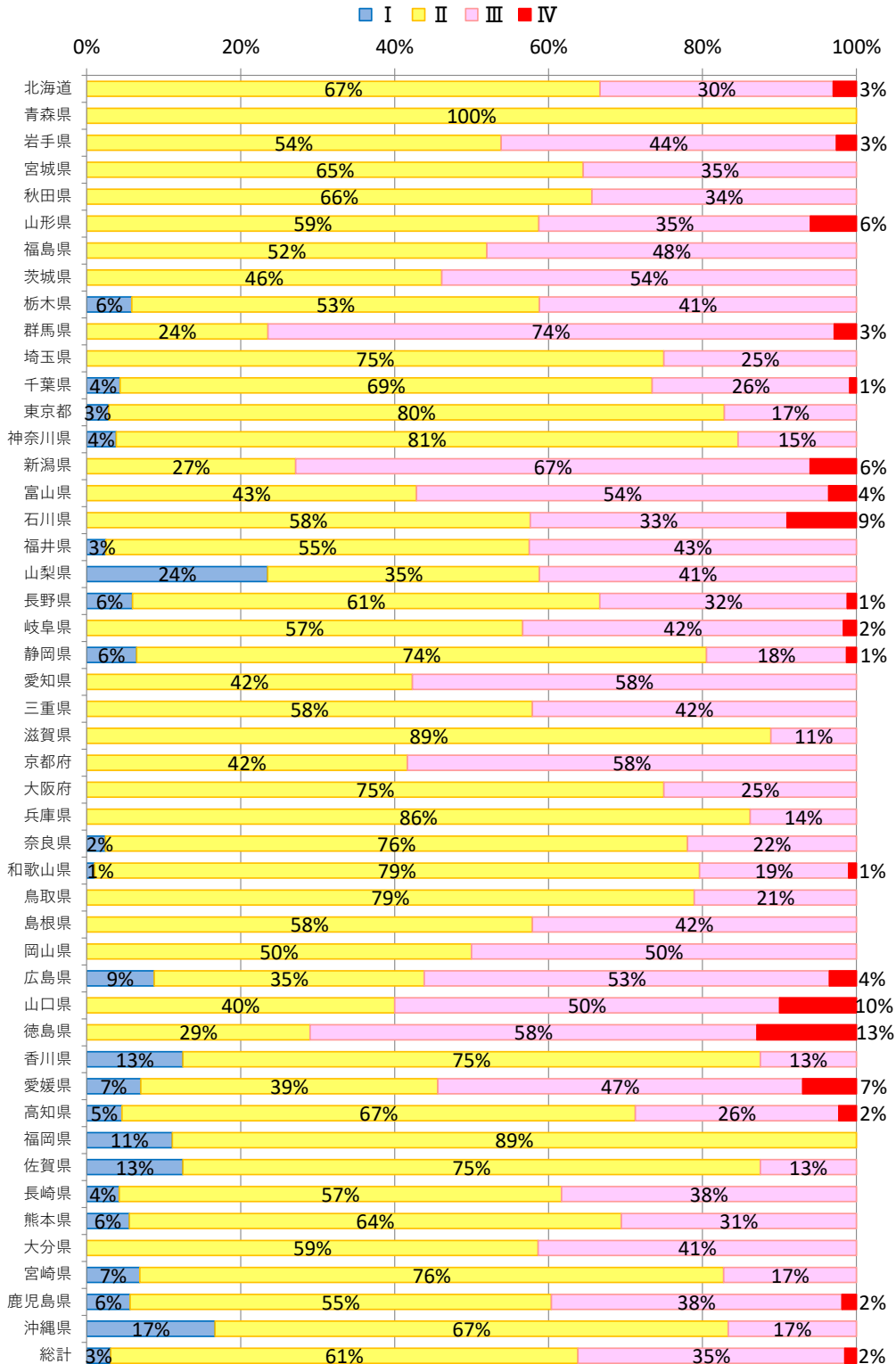


※2019年3月末時点の1巡目(2014~2018年度)点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

6) 市区町村の 2021 年度末時点の点検結果の分布

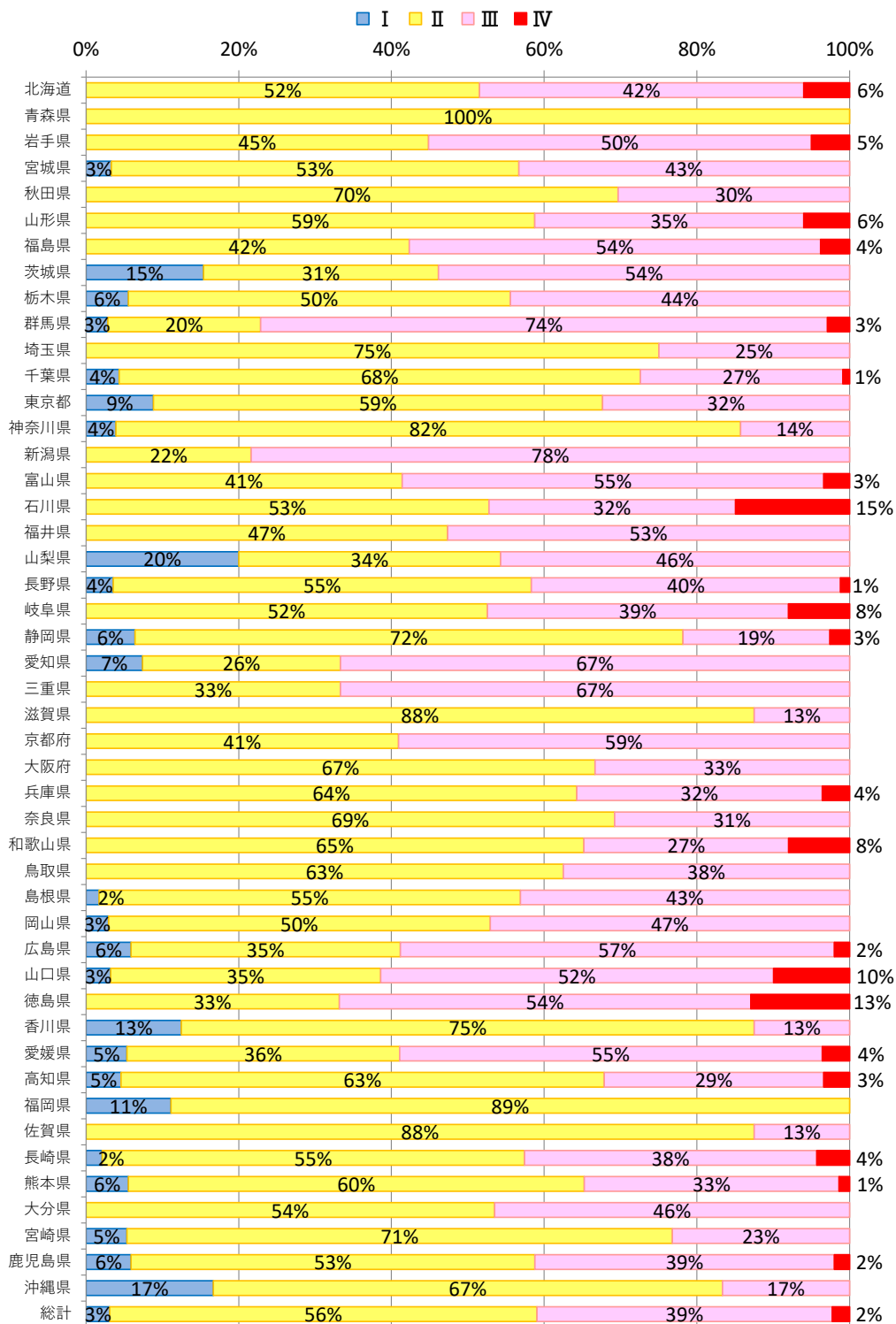
- 市区町村が管理するトンネルの 2021 年度末時点の判定区分の割合は地域によって異なっています。
- 市区町村の全体の判定区分の割合は、I 3%、II 61%、III 35%、IV 2%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(市区町村管理トンネル)



※2022年3月末時点の2014～2021年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検における都道府県別判定区分の割合(市区町村管理トンネル)



※2019年3月末時点の1巡目(2014~2018年度)点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

8. 地方公共団体におけるメンテナンスに向けた取り組み

(1) 道路メンテナンス会議の開催

- 関係機関の連携による検討体制を整え、課題の状況を継続的に把握・共有し、効果的な老朽化対策の推進を図ることを目的に、「道路メンテナンス会議」を設置しました。（2014年7月7日に全都道府県で設置済）

体制

- ・ 地方整備局（直轄事務所）
- ・ 地方公共団体（都道府県、市町村）
- ・ 高速道路会社（NEXCO・首都高速道路・阪神高速道路・本州四国連絡高速道路）
- ・ 道路公社

役割

1. 維持管理等に関する情報共有
 2. 点検、修繕等の状況把握及び対策の推進
 3. 点検業務の発注支援（地域一括発注等）
 4. 技術的な相談対応
- 等

地方公共団体の取り組み事例の共有

- 道路メンテナンス会議を通じて、地方公共団体における老朽化対策の取り組み事例を共有

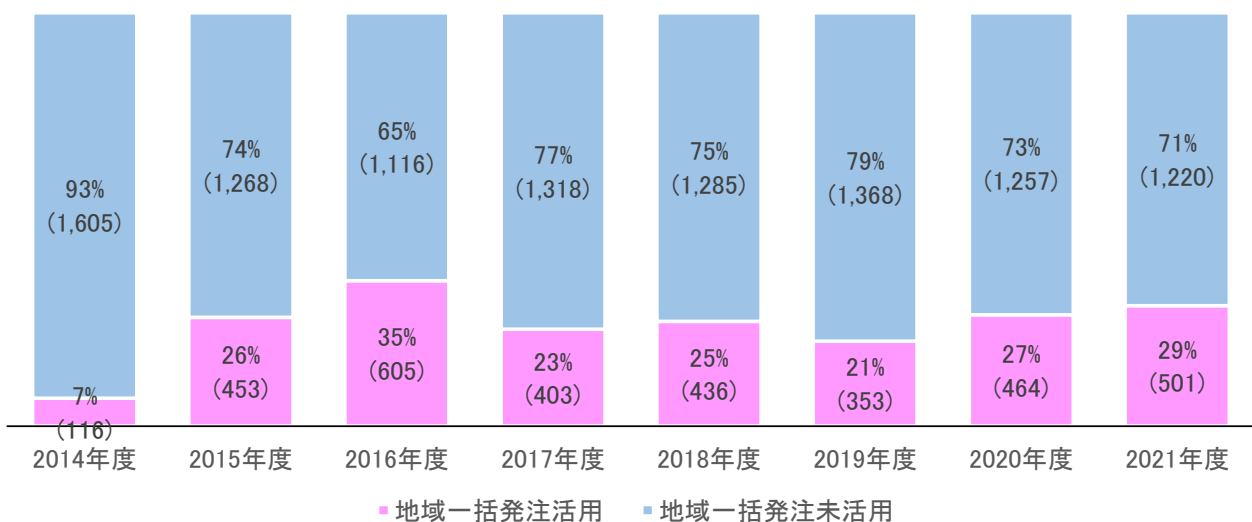
<取り組み事例>

- ・ 点検・診断の高度化・効率化、補修計画の適正化等のため、産学官の連携により、点検・診断・措置情報を効率的に記録することが出来るデータベースシステムの開発・導入
- ・ 技術力の向上、点検費用の削減のため、道路メンテナンス会議と市による合同点検（直営点検）の実施
- ・ 県による市町村への橋梁補修工法等に関する技術的助言を行う相談窓口の設置

(2) 地域一括発注の状況

- 市区町村の人不足・技術力不足を補うため、市区町村の点検・診断の発注事務を都道府県が一括して実施しています。
- 2021年度は501市区町村（33道府県）が地域一括発注を活用しています。

市区町村における地域一括発注の活用状況



※点検対象となる橋梁やトンネル等がない自治体については、未活用として整理している。

(3)直轄診断・修繕代行

- 地方公共団体への支援策の一つとして、緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い橋梁について、「直轄診断※」を実施しました。
- 直轄診断を実施した橋梁については、各道路管理者からの要請を踏まえ、修繕代行事業や補助事業に着手しています。

○ 直轄診断実施箇所と診断結果概要

実施年度	施設名	道路管理者名	延長(m)
2014	みしまおおほし 三島大橋	三島町(福島県)	131
2014	おおまえはし 大前橋	嬭恋村(群馬県)	73
2014	おおど おおほし 大渡ダム大橋	仁淀川町(高知県)	444
2015	ぬまお 沼尾シェッド	下郷町(福島県)	189
2015	さるかいばし 猿飼橋	十津川村(奈良県)	139
2015	よぶこおおほし 呼子大橋	唐津市(佐賀県)	728
2016	まんごくばし 万石橋	湯沢市(秋田県)	171
2016	みほこばし 御鉾橋	神流町(群馬県)	46
2017	おとざわはし 音沢橋	黒部市(富山県)	110
2017	おとひめおおほし 乙姫大橋	中津川市(岐阜県)	317
2018	にがたずいどう 仁方隧道	呉市(広島県)	260
2018	てんたいばし 天大橋	薩摩川内市(鹿児島県)	329
2019	ちちぶばし 秩父橋	秩父市(埼玉県)	135
2019	ふるかわばし 古川橋	吉田町(静岡県)	54
2020	しろおいはし 白老橋	白老町(北海道)	148
2020~2021	つるまいばし 鶴舞橋	奈良市(奈良県)	97



緊急性・難易度を踏まえて対応

○ 直轄修繕代行等実施状況

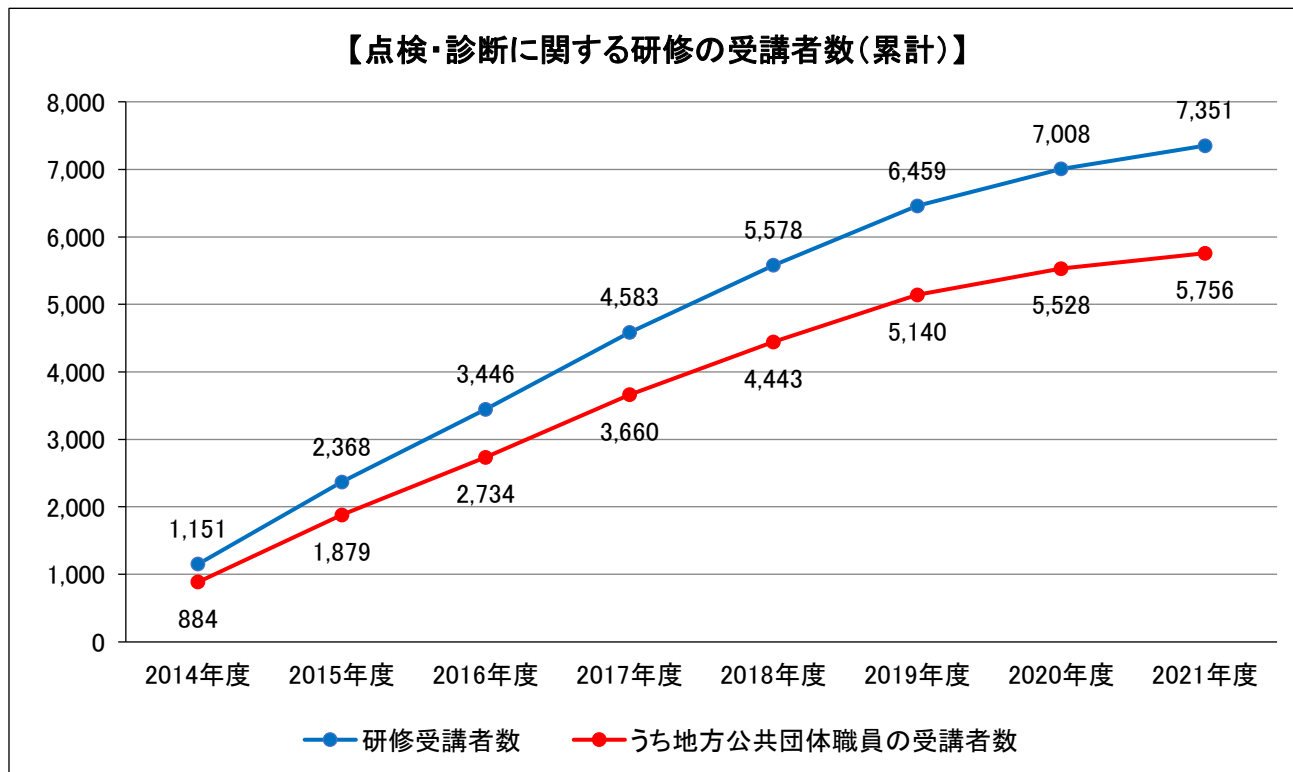
2015年度	○ 三島大橋、大渡ダム大橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
	○ 大前橋 <u>大規模修繕・更新補助事業</u> に着手
2016年度	○ 沼尾シェッド、猿飼橋、呼子大橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2017年度	○ 万石橋、御鉾橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2018年度	○ 音沢橋、乙姫大橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2019年度	○ 仁方隧道、天大橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2020年度	○ 秩父橋、古川橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2021年度	○ 白老橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2022年度	○ 鶴舞橋 <u>修繕代行事業</u> に着手

※直轄診断:「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの(複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等)に限り、国が地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立開発研究法人土木研究所の職員で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うもの。

(4) 研修の実施状況

- 2014年度より、国土交通省、地方公共団体の職員等を対象に、橋梁、トンネル等の点検に関する研修を実施しています。
- 2021年度までの受講者数は7,351人（地方公共団体：5,756人）です。

研修受講者数（累計）

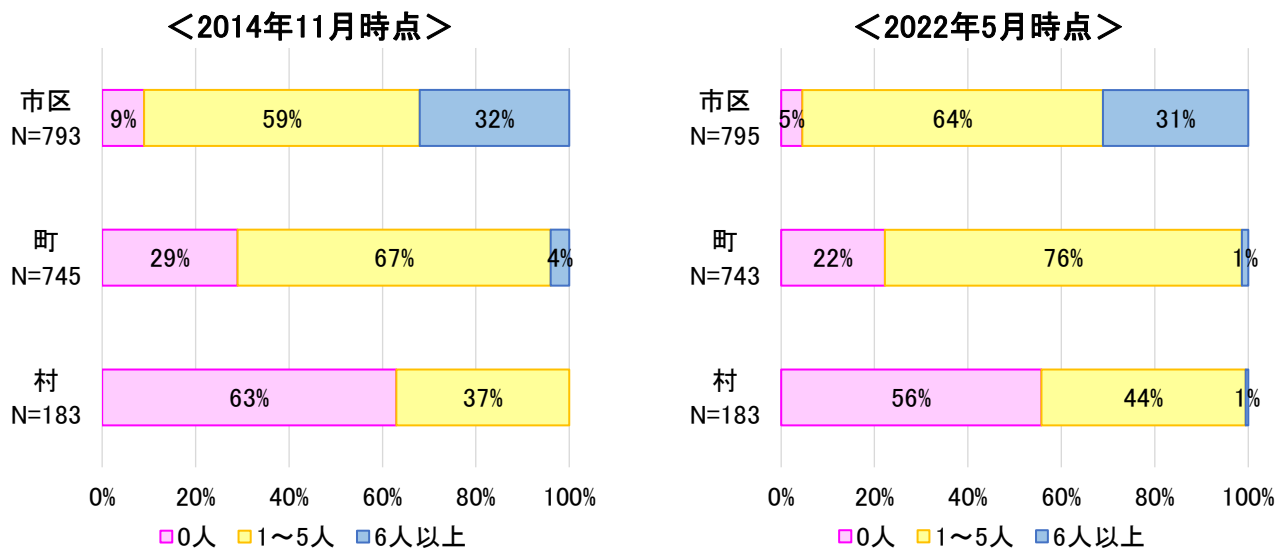


※2022年3月末時点

(5) 橋梁管理に携わる土木技術者数

- 橋梁管理に携わる土木技術者が存在しない市区町村の割合は、2014年度と2022年度を比較するといずれも減少しています。

市区町村における橋梁管理に携わる土木技術者の人数

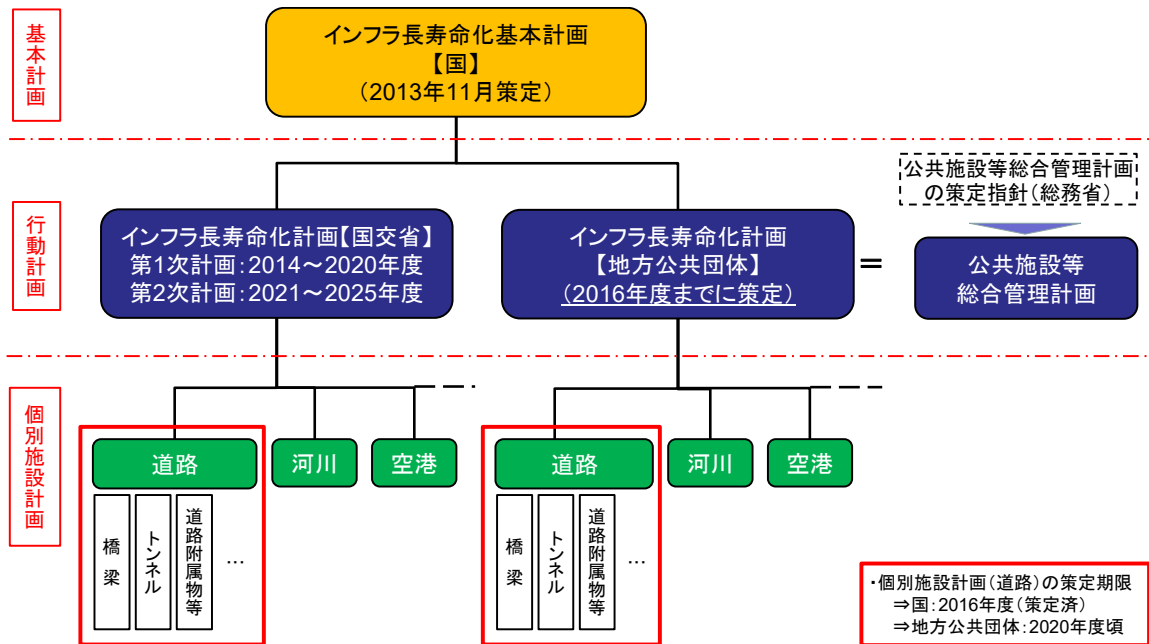


(6) 個別施設計画の策定状況(2021年度末時点)

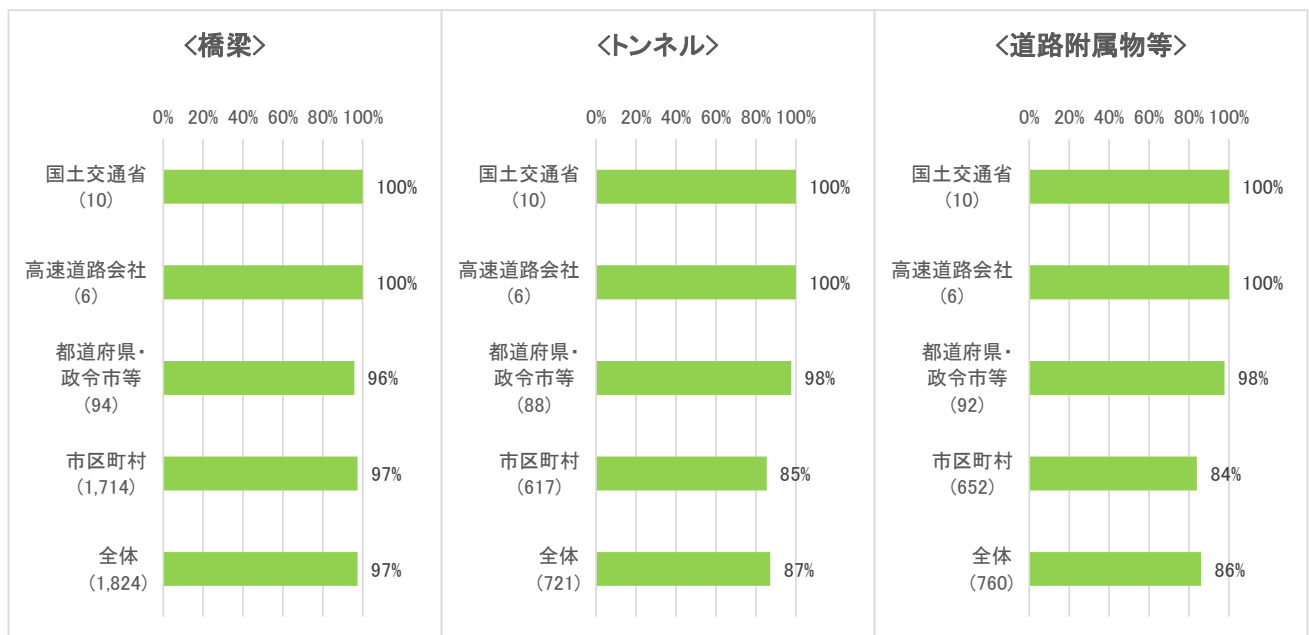
- 各道路管理者は、橋梁・トンネル・道路附属物等の定期点検の結果に基づき個別施設計画※を策定しています。
- 2021年度末時点における橋梁の個別施設計画策定率は、橋梁で97%、管理者別では、都道府県・政令市等96%、市区町村97%となっています。
- トンネル及び道路附属物等の計画策定率は、それぞれ87%、86%となっています。

※維持管理・更新等にかかるトータルコストの縮減・平準化を図る上で点検・診断等の結果を踏まえた個別施設毎の具体的な対応方針を定めた計画

○ インフラ長寿命化計画の体系



○ 個別施設計画の策定状況(2021年度末時点)



※()は団体数

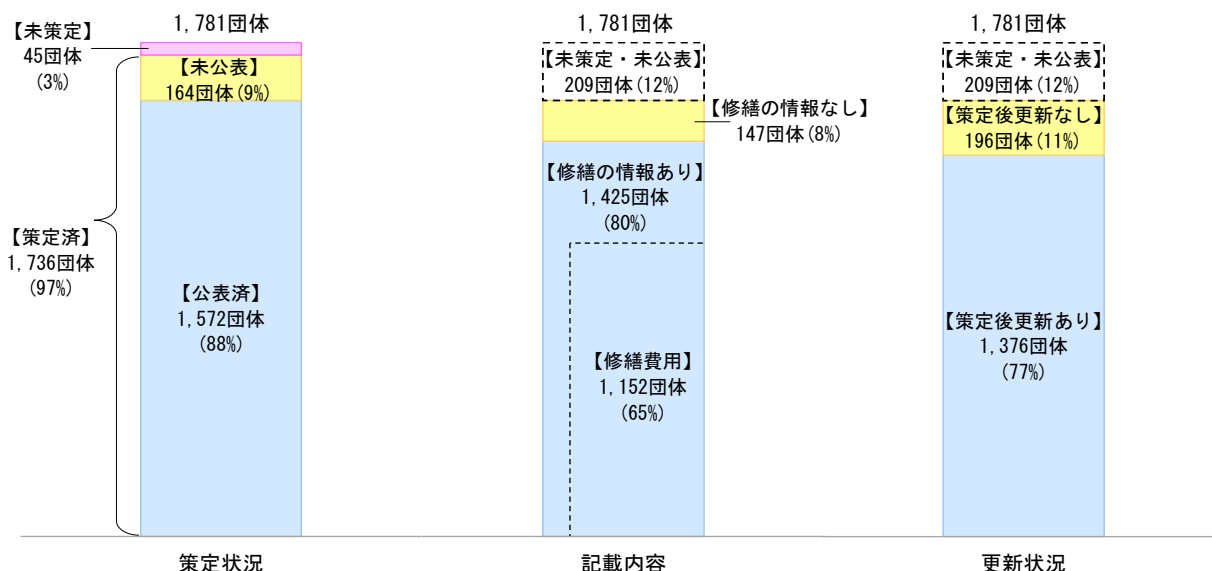
※割合は個別施設計画策定対象の施設を管理する団体数により算出

※道路附属物等は横断歩道橋、門型標識等、シェッド、大型カルバートであり、いずれかの施設の個別施設計画が策定されていれば策定済みとしている

○個別施設計画の策定状況(2021 年度末時点)

- 国のインフラ長寿命化基本計画（2013 年）では 2020 年頃までの長寿命化修繕計画（個別施設計画）の策定を目標としていますが、2021 年度末時点で計画を策定していない地方公共団体が 45 団体あり、策定済みで公表していない地方公共団体は 164 団体あります。
- 修繕の時期や内容を橋梁毎に示していない計画となっている地方公共団体は 147 団体。
- また、計画の策定後に点検結果を反映するなど計画の更新を行っていない地方公共団体は 196 団体。
- 橋梁等の老朽化対策を計画的・効率的に進めるためにも、長寿命化修繕計画を策定するとともに、点検結果を踏まえ、更新を行うことが重要です。

【橋梁(2m以上)の長寿命化修繕計画(個別施設計画)の策定、記載内容、更新の状況(地方公共団体)】



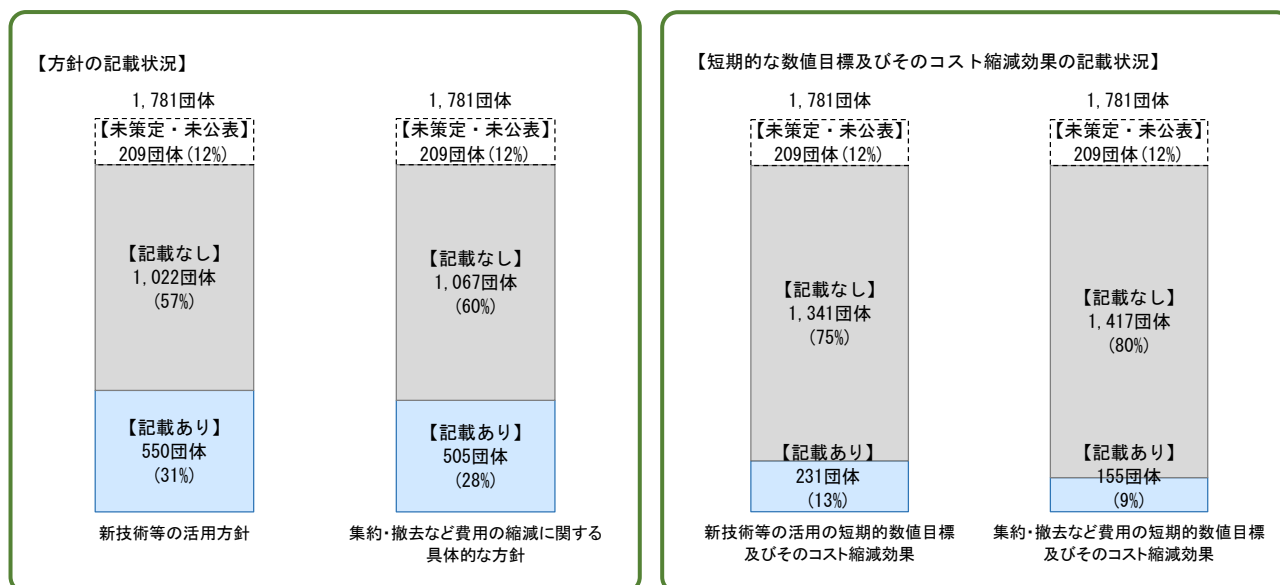
※2022 年 3 月 31 日時点(国土交通省道路局調べ)

※地方公共団体(1,781 団体)の内訳は、都道府県:47 団体、政令市:20 団体、市区町村:1,714 団体(特別区含む)

○個別施設計画の記載内容

- 2021年度末時点で、橋梁の長寿命化修繕計画（個別施設計画）に「新技術等の活用方針」を記載している地方公共団体は550団体であり、「集約・撤去など費用の縮減に関する具体的な方針」を記載している地方公共団体は505団体です。
- 「短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果」を記載している地方公共団体は、「新技術等の活用」で231団体、「集約・撤去」で155団体です。

【橋梁(2m以上)の長寿命化修繕計画(個別施設計画)における記載状況(地方公共団体)】



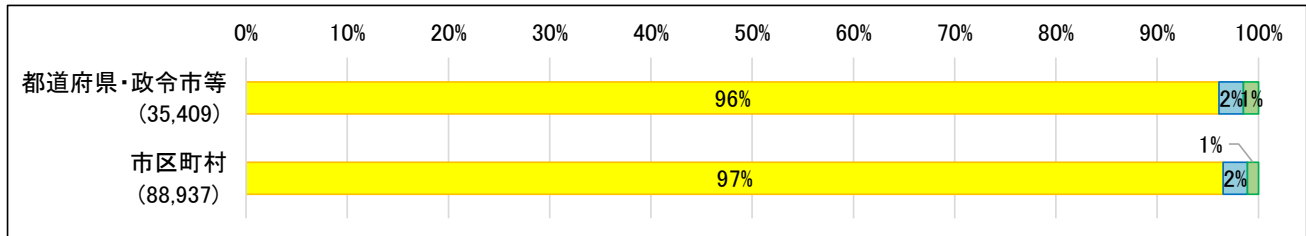
※2022年3月31日時点(国土交通省道路局調べ)

※地方公共団体(1,781団体)の内訳は、都道府県:47団体、政令市:20団体、市区町村:1,714団体(特別区含む)

(7) 道路メンテナンス事業補助の活用状況

- 地方公共団体が実施した橋梁の定期点検費用について、2020 年度に創設された道路メンテナンス事業補助制度を活用した割合は、都道府県・政令市等で 96%、市区町村では 97%です。
- 修繕費用に道路メンテナンス事業補助制度を活用した割合は、都道府県・政令市等で 87%、市区町村では 92%です。

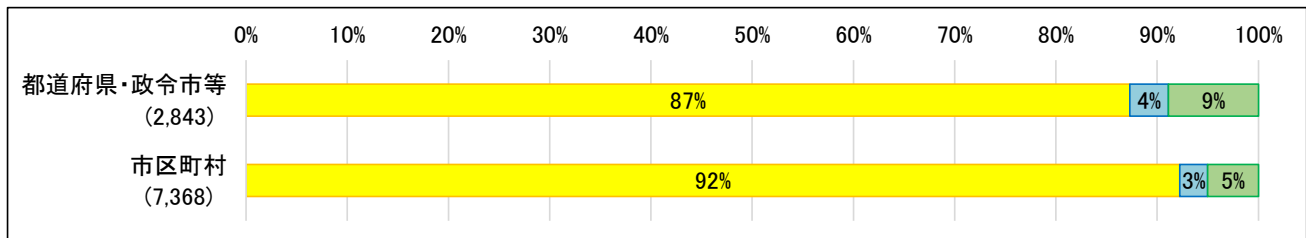
○ 地方公共団体が 2021 年度に実施した橋梁の定期点検における充当予算の状況



※2021 年度に委託点検を実施した橋梁のうち、報告があった 124,346 橋を対象に橋梁数ベースで算出。

- : 個別補助事業を充当
- : 交付金を充当
- : 地方単独費で実施

○ 地方公共団体が 2021 年度に実施した橋梁の修繕における充当予算の状況



※2021 年度に修繕を実施した橋梁のうち、報告があった 10,211 橋を対象に橋梁数ベースで算出。

- : 個別補助事業を充当
- : 交付金を充当
- : 地方単独費で実施

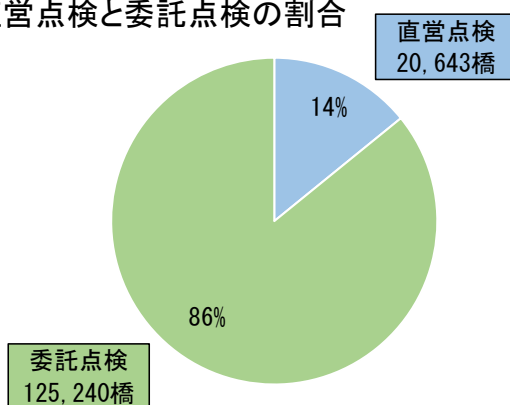
(8) 点検実施者の保有資格等

- 2021 年度に地方公共団体が実施した橋梁点検のうち、職員自らが点検（直営点検）を実施した割合は 14%となっています。
- 直営点検による点検実施者のうち、国土交通省の実施する研修^{※1}を受講又は資格^{※2}を保有している割合は 41%、研修・資格ともになしは 59%となっています。
- 委託点検による点検実施者のうち、国土交通省の実施する研修を受講又は資格を保有している割合は 95%、研修・資格ともになしは 5%となっています。
- 点検の精度向上するためには研修受講、資格の活用など点検技術の向上を図る必要があります。

※1 研修：国土交通省が実施する道路管理実務者研修又は道路橋メンテナンス技術講習

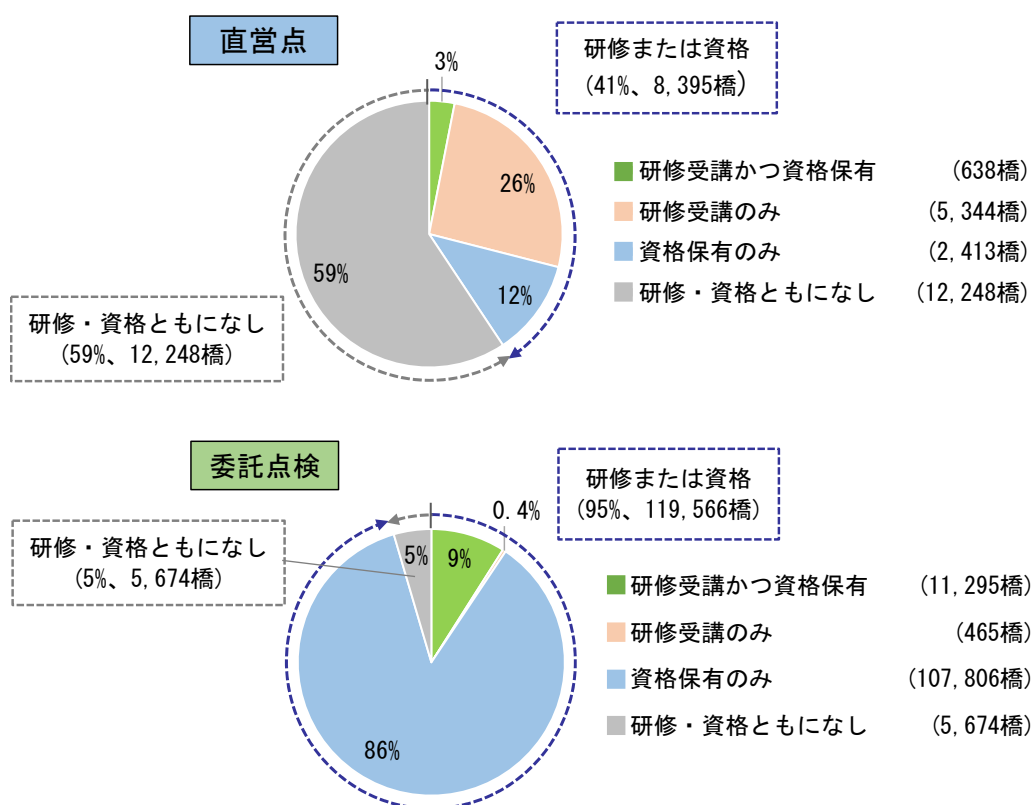
※2 資格：技術士または国土交通省登録技術資格（公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規定に基づく国土交通省登録資格）

○ 2021 点検実施橋梁の直営点検と委託点検の割合



※2021 年度に点検を実施した施設のうち、報告があった 145,883 橋を対象に橋梁数ベースで算出。（下図も同様）

○ 点検実施者の保有資格や研修受講歴

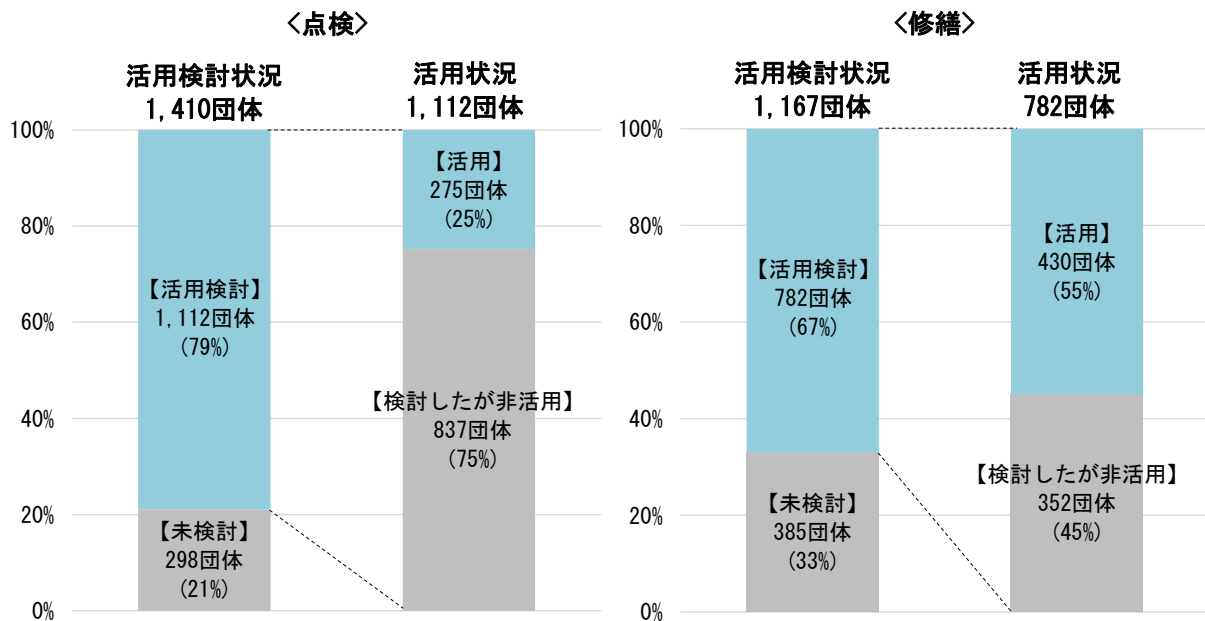


(9) 点検・修繕における新技術の活用検討・活用の状況

1) 橋梁

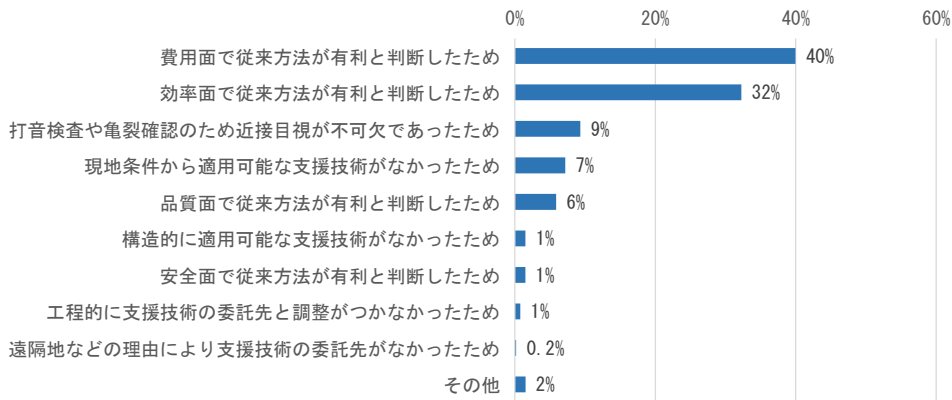
- 2021年度の橋梁点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は約8割、そのうち活用した団体は約3割です。
- 2021年度の橋梁修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は約7割、そのうち活用した団体は約6割です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況(橋梁)

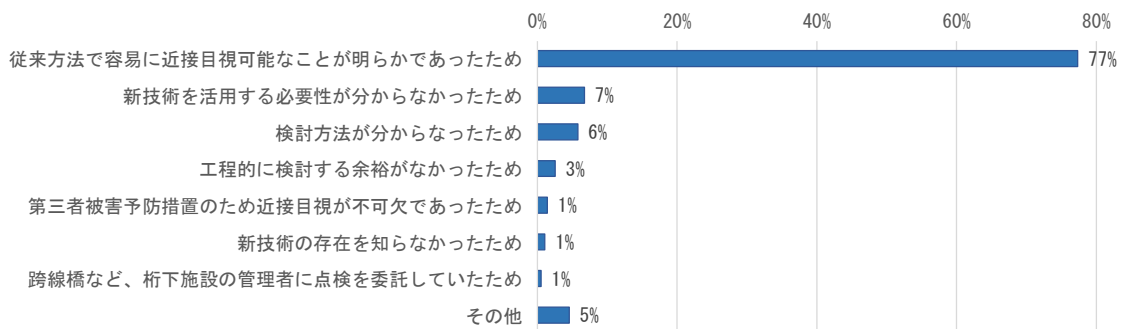


※2021年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった1,410団体と、2021年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった1,167団体を対象に算出。

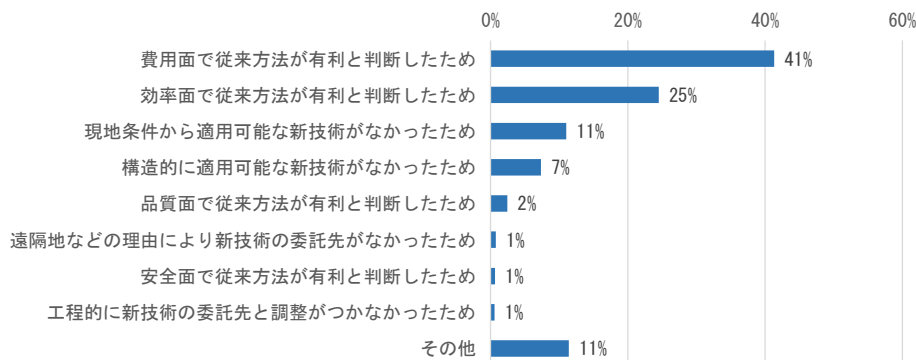
○ 新技術を活用しなかった理由(橋梁点検)



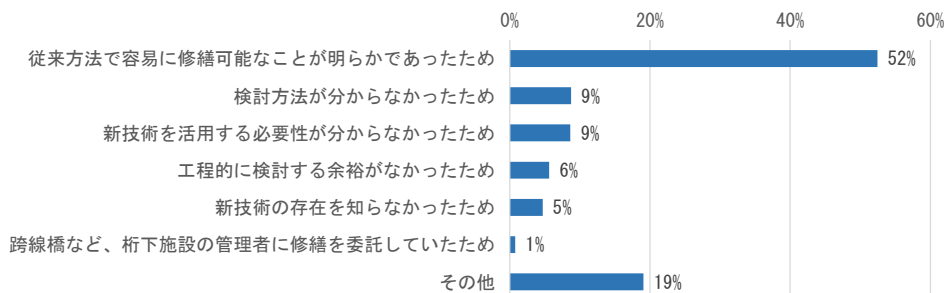
○ 新技術を検討しなかった理由(橋梁点検)



○ 新技術を活用しなかった理由(橋梁修繕)



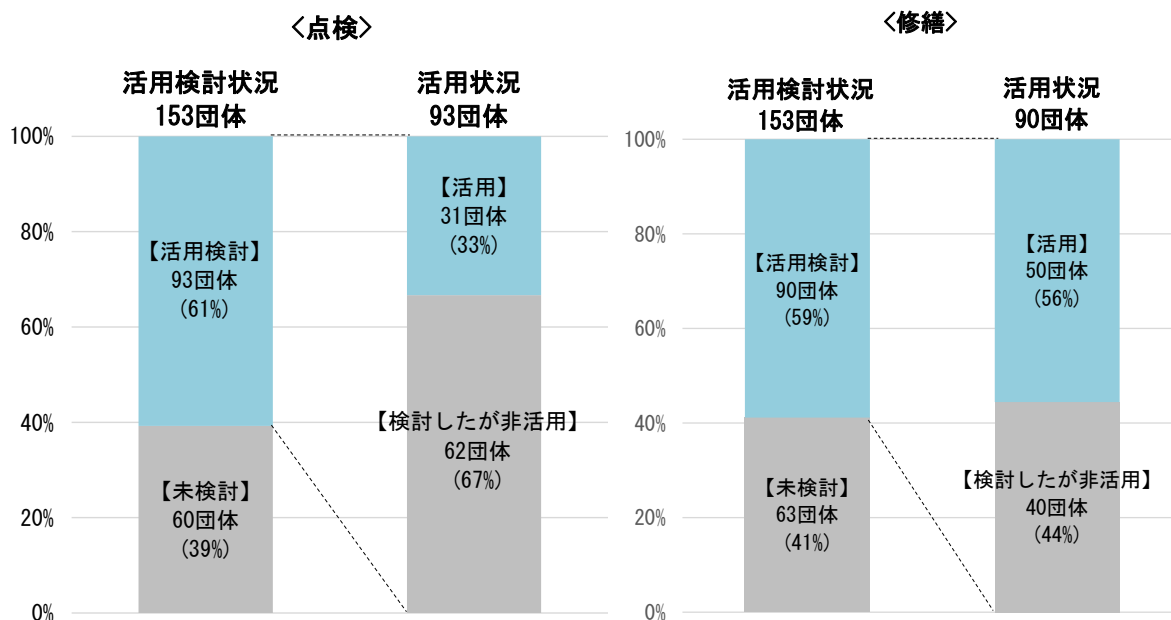
○ 新技術を検討しなかった理由(橋梁修繕)



2)トンネル

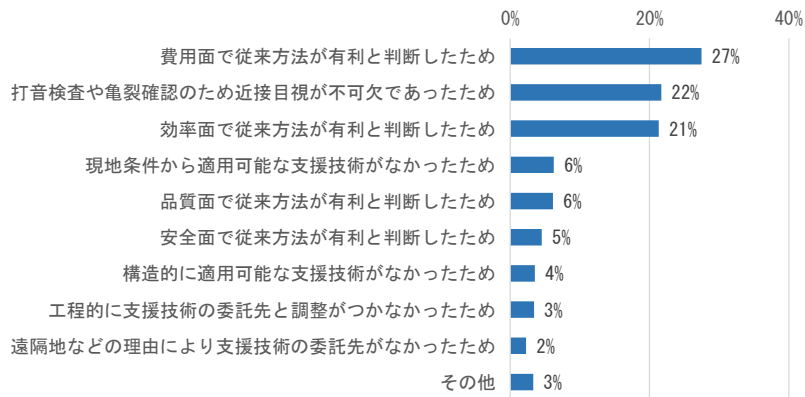
- 2021 年度のトンネル点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は約 6 割、そのうち活用した団体は約 3 割です。
- 2021 年度のトンネル修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は約 6 割、そのうち活用した団体は約 6 割です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況(トンネル)

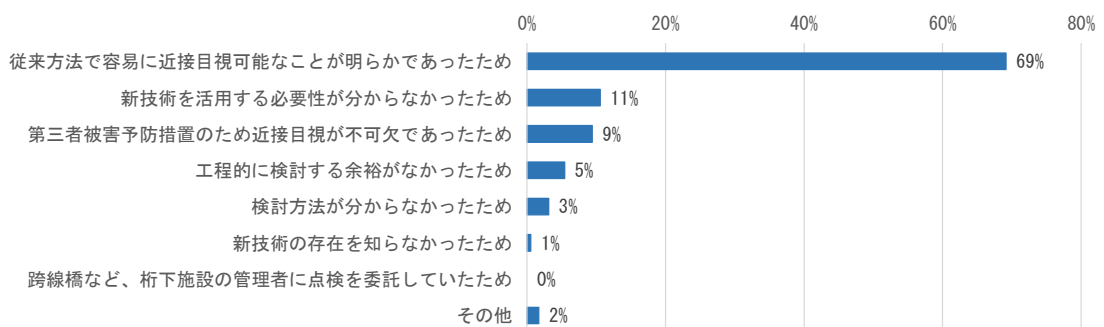


※2021 年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった 153 団体と、2021 年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった 153 団体を対象に算出。

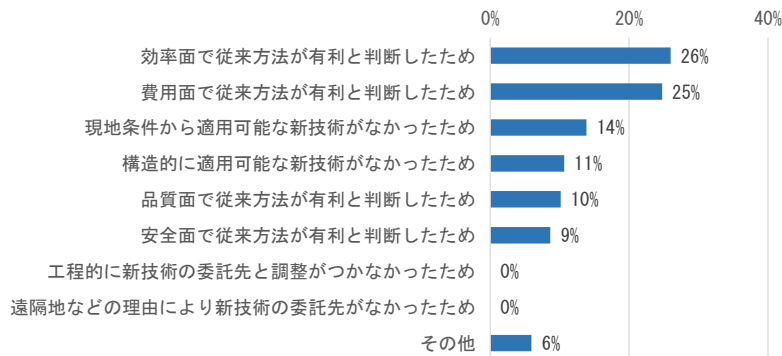
○ 新技術を活用しなかった理由(トンネル点検)



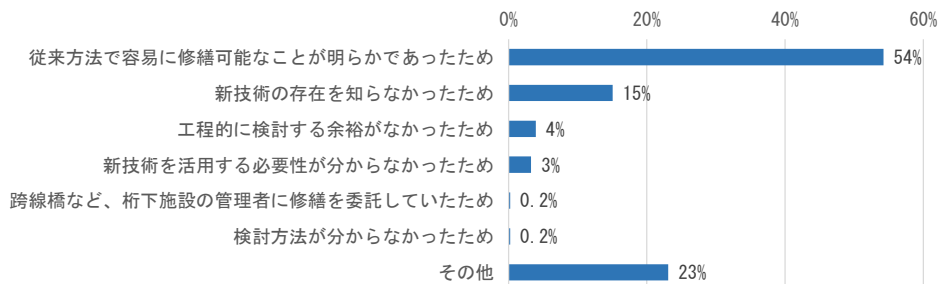
○ 新技術を検討しなかった理由(トンネル点検)



○ 新技術を活用しなかった理由(トンネル修繕)



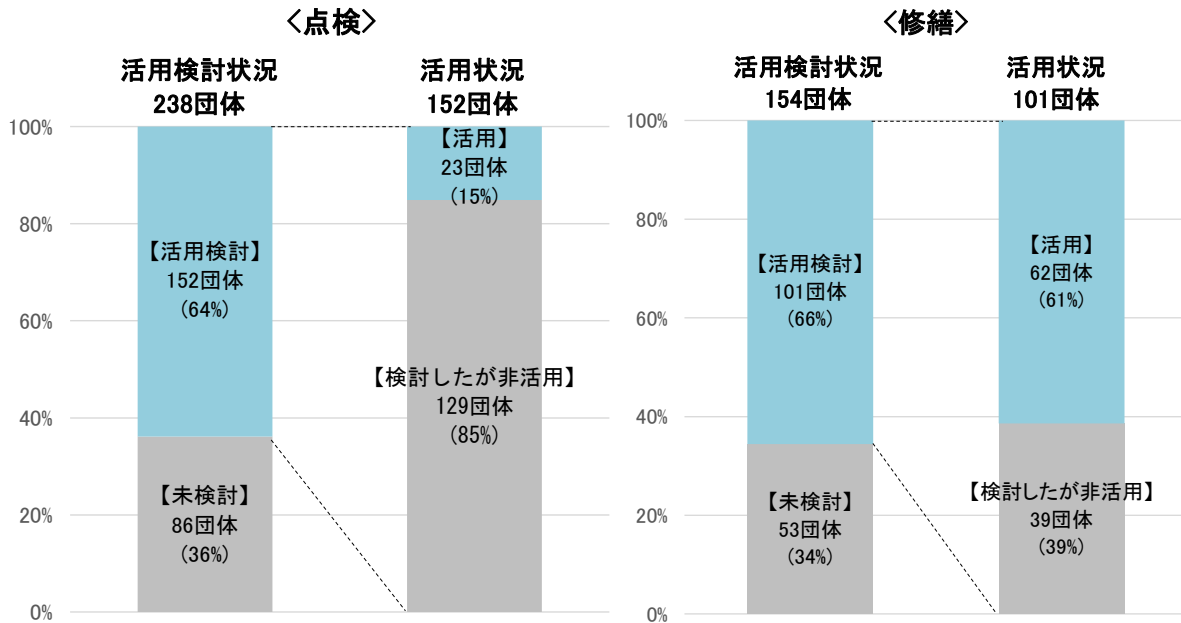
○ 新技術を検討しなかった理由(トンネル修繕)



3) 道路附属物等

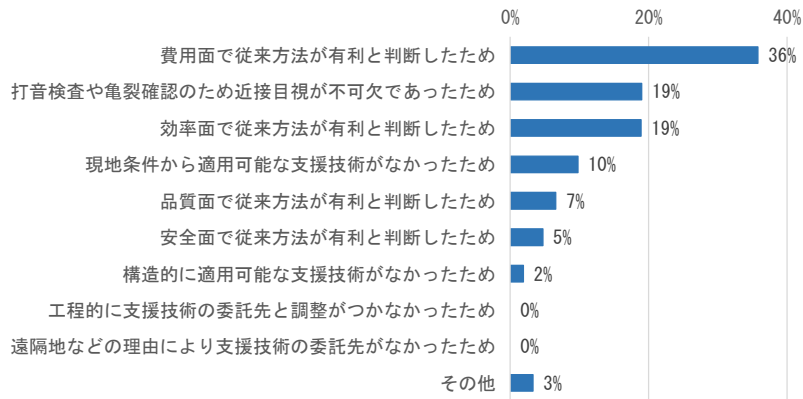
- 2021年度の道路附属物等点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は約6割、そのうち活用した団体は約2割です。
- 2021年度の道路附属物等修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は約7割、そのうち活用した団体は約6割です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況(道路附属物等)

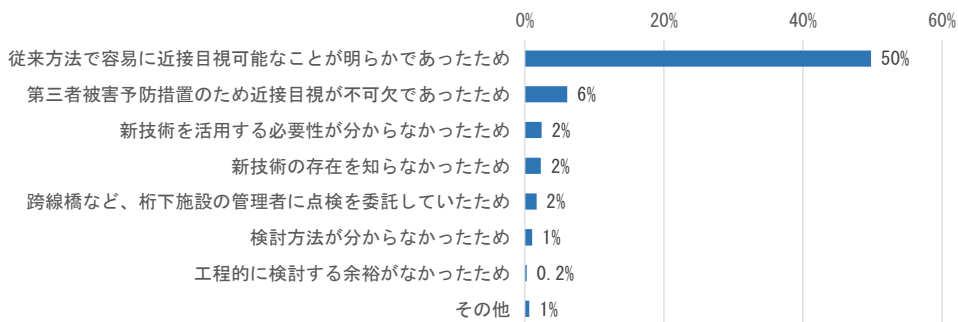


※2021年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった238団体と、2021年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった154団体を対象に算出。

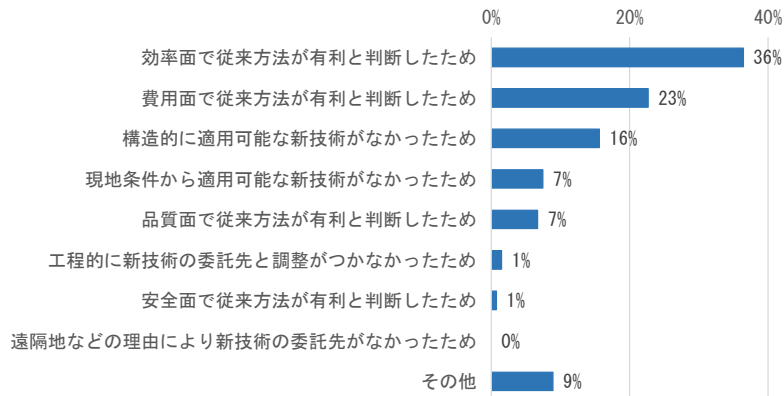
○ 新技術の活用をしなかった理由(道路附属物等点検)



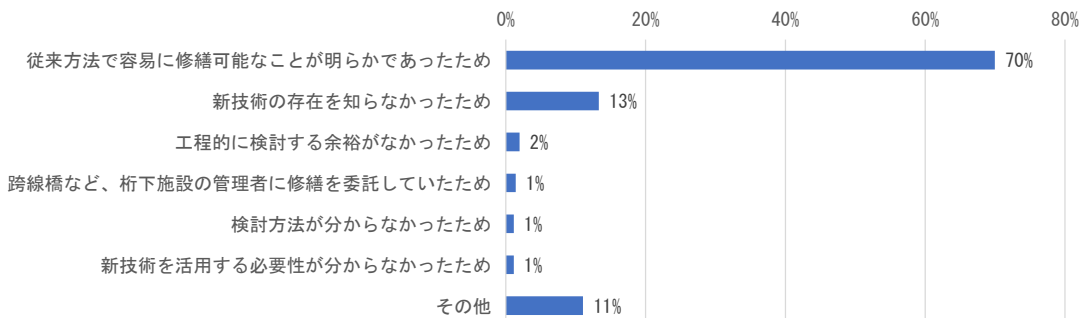
○ 新技術の検討をしなかった理由(道路附属物等点検)



○ 新技術の活用をしなかった理由(道路附属物等修繕)



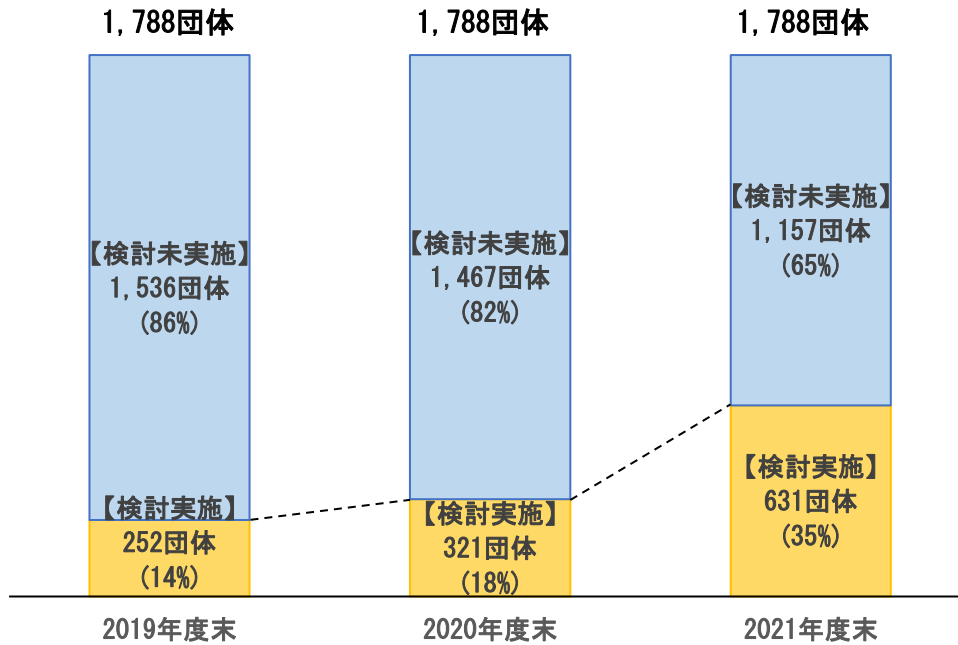
○ 新技術の検討をしなかった理由(道路附属物等修繕)



(10) 集約・撤去・機能縮小等の検討状況

○ 施設の集約・撤去等を検討した地方公共団体の割合は、2019年度末時点から増加し、2021年度末時点で約4割となっています。

○ 地方公共団体における施設の集約・撤去等の検討状況



※国土交通省道路局調べ

(11) 新技術活用事例及び集約・撤去事例集

○ 地方公共団体における取組の一助となることを目的に、新技術活用事例や道路橋の集約・撤去事例集について道路局 HP にて公開中。

○ 地方公共団体における新技術活用事例

(<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/pdf/chiho-katsuyo-jirei.pdf>)

(以下抜粋)

農免大橋における新技術活用事例(1/2) 富山県小矢部市

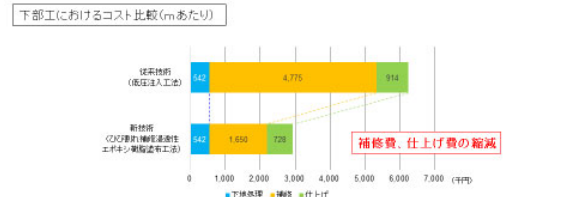
活用している新技術の施工写真や活用するメリットを掲載

■ 従来の低圧注入器具を要する

■ 浸透性に優れた、鉛筆筆の芯より細く、上向きで0.5mm以下のひび割れを、接着剤を塗布することで補修ができる

■ 低圧注入器具の費用と設置時間を省くことができ、工期の短縮、施工費の削減や、廃棄物の削減が図られる

農免大橋における新技術活用事例(2/2) 富山県小矢部市



項目	従来技術	新技術	新技術の具体的な効果や活用にあたっての課題
施工費	6,231円/m	2,920円/m	・ 注入器具の設置・撤去時間を要しない
工期	4日/100m	1日/100m	・ 注入器具を使用せず、塗布によってひび割れを補修
周辺環境への影響	注入器具が廃棄物となる	注入器具を要しない	

新技術を活用しなかった場合とのコスト比較を掲載

○ 道路橋の集約・撤去事例集

(<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/pdf/tekkyo-jirei.pdf>)

(以下抜粋)

単純撤去事例

～渡河橋における単純撤去事例～

○ 事業概要

- ・ 老朽化の進展および耐震性能が不足していた新那珂橋を撤去。
- ・ 補修設計を実施した際、費用が高額になることが判明し、通行規制を実施していた中、東日本大震災でさらなる損傷を受け補修困難と判断。
- ・ 下流側の若船大橋までの迂回距離は約1kmであり迂回可能と判断し撤去の方針を決定。

○ 撤去橋梁

- 橋梁形式: 11径間鋼管RCRC橋
- 橋長: 202.0m
- 幅員: 5.5m(車道)
- 供用年: 1935(昭和10)年
- 点検結果: 互相当

○ 集約・撤去(単純撤去)

実際に撤去を行った事例の概要や集約・撤去の経緯を掲載

集約・撤去を進めるうえでの主な検討項目 (検討事例)

検討段階	主な検討項目
計画・調整段階	利用状況の把握
	迂回距離(隣接橋梁との距離等)、迂回時間の把握
	集約・撤去対象候補の抽出
	集約・撤去実施時期の設定
利用者・住民との合意形成	概算費用及びコスト効果の算出
	長寿命化修繕計画への反映
関係機関との協議	説明会等の開催による利用者・住民との合意形成
	交差物件の管理者(鉄道事業者、道路管理者、河川管理者等)との協議
	占用物件の管理者との協議

集約・撤去を進めるうえでの検討項目や事例から得られた留意事項を掲載

○ 集約・撤去の経緯

実施年	検討内容	撤去までの残り期間	計画・調整段階	利用者・住民との合意形成	実施設計・工事
1935年	新那珂橋開通				
2007年	老朽化に伴い緊急点検を実施				
2008年	通行止め、補修工事で耐震補強を実施				
2009年	通行再開(震害制限6t、震度4以上の地震発生時の即時通行止めが条件)				
2011年	東日本大震災が発生。震度6弱を記録し、即時通行止め調査と補修工事の検討を実施した結果、撤去する方針へ町議会の全員協議会に説明 地元自治会に説明 県議会が新那珂橋の撤去工事のための補正予算を議決 着工(準備工)	撤去までの残り期間約3年			
2013年3月	撤去工事完了				

※巻末資料

(1)道路附属物等の点検実施状況と点検結果の内訳

1)2巡目(2019~2021年度)の点検実施状況(全道路管理者)

	点検対象 施設数 ※	点検実施状況				
		上段:点検実施数、下段:点検実施率				
		2019	2020	2021	2022	2023
道路附属物等	41,548	7,415 18%	9,432 23%	8,226 20%	—	—
シェッド	3,523	500 14%	831 24%	641 18%	—	—
		大型カルバート	8,867	1,706 19%	2,019 23%	1,776 20%
横断歩道橋_跨線橋以外	11,303	2,402 21%	2,145 19%	2,027 18%	—	—
		横断歩道橋_跨線橋	522	60 11%	74 14%	112 21%
門型標識等	17,333	2,747 16%	4,363 25%	3,670 21%	—	—

2022.3末時点

※2022年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計

2)2巡目(2019~2021年度)の点検結果
(全道路管理者)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		25,073	9,453 38%	12,691 51%	2,923 12%	6 0.02%
シェッド	1,972	161 8%	1,161 59%	649 33%	1 0.05%	
		大型カルバート	5,501	2,341 43%	2,932 53%	227 4%
横断歩道橋_跨線橋以外	6,574	1,229 19%	3,913 60%	1,431 22%	1 0.02%	
		横断歩道橋_跨線橋	246	48 20%	139 57%	59 24%
門型標識等	10,780	5,674 53%	4,546 42%	557 5%	3 0.03%	

2022.3末時点

(国)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		7,562	2,393 32%	3,969 52%	1,199 16%	1 0.01%
シェッド	419	65 16%	225 54%	129 31%	0 —	
		大型カルバート	1,496	452 30%	951 64%	93 6%
横断歩道橋_跨線橋以外	2,093	338 16%	1,065 51%	689 33%	1 0.05%	
		横断歩道橋_跨線橋	26	5 19%	17 65%	4 15%
門型標識等	3,528	1,533 43%	1,711 48%	284 8%	0 —	

2022.3末時点

(高速道路会社)

		点検実施数	判定区分			
			上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		7,871	4,879	2,818	174	0
			62%	36%	2%	—
シェッド	38	3	19	16	0	
		8%	50%	42%	—	
大型カルバート	3,077	1,752	1,272	53	0	
		57%	41%	2%	—	
横断歩道橋_跨線橋以外	37	7	30	0	0	
		19%	81%	—	—	
横断歩道橋_跨線橋	0	0	0	0	0	
		—	—	—	—	
門型標識等	4,719	3,117	1,497	105	0	
		66%	32%	2%	—	

2022.3 末時点

(地方公共団体)

		点検実施数	判定区分			
			上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		9,640	2,181	5,904	1,550	5
			23%	61%	16%	0.05%
シェッド	1,515	93	917	504	1	
		6%	61%	33%	0.1%	
大型カルバート	928	137	709	81	1	
		15%	76%	9%	0.1%	
横断歩道橋_跨線橋以外	4,444	884	2,818	742	0	
		20%	63%	17%	—	
横断歩道橋_跨線橋	220	43	122	55	0	
		20%	55%	25%	—	
門型標識等	2,533	1,024	1,338	168	3	
		40%	53%	7%	0.1%	

2022.3 末時点

(都道府県・政令市等)

		点検実施数	判定区分			
			上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		8,164	1,882	5,005	1,273	4
			23%	61%	16%	0.05%
シェッド	1,429	89	867	473	0	
		6%	61%	33%	—	
大型カルバート	716	102	557	56	1	
		14%	78%	8%	0.1%	
横断歩道橋_跨線橋以外	3,608	701	2,331	576	0	
		19%	65%	16%	—	
横断歩道橋_跨線橋	70	13	36	21	0	
		19%	51%	30%	—	
門型標識等	2,341	977	1,214	147	3	
		42%	52%	6%	0.1%	

2022.3 末時点

(市区町村)

		点検実施数	判定区分			
			上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		1,476	299	899	277	1
			20%	61%	19%	0.1%
シェッド	86	4	50	31	1	
		5%	58%	36%	1%	
大型カルバート	212	35	152	25	0	
		17%	72%	12%	—	
横断歩道橋_跨線橋以外	836	183	487	166	0	
		22%	58%	20%	—	
横断歩道橋_跨線橋	150	30	86	34	0	
		20%	57%	23%	—	
門型標識等	192	47	124	21	0	
		24%	65%	11%	—	

2022.3 末時点

3)2021 年度末時点の点検結果
(全道路管理者)

	点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	41,407	14,632	21,210	5,545	20
		35%	51%	13%	0.05%
シェッド	3,513	254	1,923	1,334	2
		7%	55%	38%	0.1%
大型カルバート	8,798	3,025	5,291	480	2
		34%	60%	5%	0.02%
横断歩道橋_跨線橋以外	11,281	2,299	6,358	2,621	3
		20%	56%	23%	0.03%
横断歩道橋_跨線橋	516	107	281	127	1
		21%	54%	25%	0.2%
門型標識等	17,299	8,947	7,357	983	12
		52%	43%	6%	0.1%

2022.3 末時点

(国)

	点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	12,537	4,039	6,598	1,897	3
		32%	53%	15%	0.02%
シェッド	720	84	373	263	0
		12%	52%	37%	—
大型カルバート	2,570	845	1,583	142	0
		33%	62%	6%	—
横断歩道橋_跨線橋以外	3,501	730	1,768	1,001	2
		21%	50%	29%	0.1%
横断歩道橋_跨線橋	46	11	24	11	0
		24%	52%	24%	—
門型標識等	5,700	2,369	2,850	480	1
		42%	50%	8%	0.02%

2022.3 末時点

(高速道路会社)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		11,562	6,529 56%	4,740 41%	293 3%	0 —
	シェッド	61	12 20%	31 51%	18 30%	0 —
			大型カルバート	4,397	1,867 42%	2,401 55%
	横断歩道橋_跨線橋以外	48			8 17%	39 81%
			横断歩道橋_跨線橋	0	0 —	0 —
	門型標識等	7,056			4,642 66%	2,269 32%

2022.3 末時点

(地方公共団体)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		17,308	4,064 23%	9,872 57%	3,355 19%	17 0.1%
	シェッド	2,732	158 6%	1,519 56%	1,053 39%	2 0.1%
			大型カルバート	1,831	313 17%	1,307 71%
	横断歩道橋_跨線橋以外	7,732			1,561 20%	4,551 59%
			横断歩道橋_跨線橋	470	96 20%	257 55%
	門型標識等	4,543			1,936 43%	2,238 49%

2022.3 末時点

(都道府県・政令市等)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		14,211	3,427 24%	8,028 56%	2,742 19%	14 0.1%
	シェッド	2,515	149 6%	1,394 55%	971 39%	1 0.04%
	大型カルバート	1,304	214 16%	938 72%	150 12%	2 0.2%
	横断歩道橋_跨線橋以外	6,050	1,200 20%	3,580 59%	1,270 21%	0 —
	横断歩道橋_跨線橋	160	37 23%	84 53%	39 24%	0 —
	門型標識等	4,182	1,827 44%	2,032 49%	312 7%	11 0.3%

2022.3末時点

(市区町村)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		3,097	637 21%	1,844 60%	613 20%	3 0.1%
	シェッド	217	9 4%	125 58%	82 38%	1 0.5%
	大型カルバート	527	99 19%	369 70%	59 11%	0 —
	横断歩道橋_跨線橋以外	1,682	361 21%	971 58%	349 21%	1 0.1%
	横断歩道橋_跨線橋	310	59 19%	173 56%	77 25%	1 0.3%
	門型標識等	361	109 30%	206 57%	46 13%	0 —

2022.3末時点

(2) 緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果の内訳

1) 2巡目(2019～2021年度)の点検実施状況(全道路管理者)

	管理施設数	点検対象 施設数 ※	点検実施状況				
			上段:点検実施数、下段:点検実施率				
			2019	2020	2021	2022	2023
緊急輸送道路を 跨ぐ跨道橋	16,232	15,699	3,329	3,418	3,140	—	—
			21%	22%	20%	—	—
跨線橋	9,703	9,540	1,626	1,900	2,058	—	—
			17%	20%	22%	—	—
緊急輸送道路を 構成する橋梁	127,584	125,431	27,199	29,283	27,328	—	—
			22%	23%	22%	—	—
(参考)全橋梁	728,603	723,705	122,732	155,949	166,046	—	—
			17%	22%	23%	—	—

2022.3末時点

※2022年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計

2) 2巡目(2019~2021年度)の点検結果
(全道路管理者)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	9,887	2,348	6,291	1,242	6
		24%	64%	13%	0.1%
跨線橋	5,584	944	3,348	1,284	8
		17%	60%	23%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	83,810	29,502	45,637	8,640	31
		35%	54%	10%	0.04%
(参考)全橋梁	444,727	180,511	227,265	36,592	359
		41%	51%	8%	0.1%

2022.3末時点

(国)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	1,429	575	671	179	4
		40%	47%	13%	0.3%
跨線橋	1,164	294	548	320	2
		25%	47%	27%	0.2%
緊急輸送道路を構成する橋梁	19,494	10,652	6,832	1,986	24
		55%	35%	10%	0.1%
(参考)全橋梁	22,946	12,835	7,716	2,363	32
		56%	34%	10%	0.1%

2022.3末時点

(高速道路会社)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	3,167	273	2,425	469	0
		9%	77%	15%	—
跨線橋	635	17	513	105	0
		3%	81%	17%	—
緊急輸送道路を構成する橋梁	14,636	3,034	9,962	1,640	0
		21%	68%	11%	—
(参考)全橋梁	14,741	3,053	10,025	1,663	0
		21%	68%	11%	—

2022.3末時点

(地方公共団体)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	5,291	1,500	3,195	594	2
		28%	60%	11%	0.04%
跨線橋	3,785	633	2,287	859	6
		17%	60%	23%	0.2%
緊急輸送道路を構成する橋梁	49,680	15,816	28,843	5,014	7
		32%	58%	10%	0.01%
(参考)全橋梁	407,040	164,623	209,524	32,566	327
		40%	51%	8%	0.1%

2022.3末時点

(都道府県・政令市等)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	2,160	547	1,331	282	0
		25%	62%	13%	—
跨線橋	2,060	334	1,255	470	1
		16%	61%	23%	0.05%
緊急輸送道路を構成する橋梁	46,537	14,606	27,127	4,799	5
		31%	58%	10%	0.01%
(参考)全橋梁	115,648	42,407	62,340	10,879	22
		37%	54%	9%	0.02%

2022.3末時点

(市区町村)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	3,131	953	1,864	312	2
		30%	60%	10%	0.1%
跨線橋	1,725	299	1,032	389	5
		17%	60%	23%	0.3%
緊急輸送道路を構成する橋梁	3,143	1,210	1,716	215	2
		38%	55%	7%	0.1%
(参考)全橋梁	291,392	122,216	147,184	21,687	305
		42%	51%	7%	0.1%

2022.3末時点

※2022年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計

3)2021 年度末時点の点検結果
(全道路管理者)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	15,658	3,687	9,981	1,984	6
		24%	64%	13%	0.04%
跨線橋	9,495	1,734	5,540	2,210	11
		18%	58%	23%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	125,158	44,826	66,879	13,421	32
		36%	53%	11%	0.03%
(参考)全橋梁	722,176	303,024	357,745	60,748	659
		42%	50%	8%	0.1%

2022.3 末時点

(国)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	2,255	974	1,010	267	4
		43%	45%	12%	0.2%
跨線橋	1,693	435	782	474	2
		26%	46%	28%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	32,044	18,277	10,514	3,229	24
		57%	33%	10%	0.1%
(参考)全橋梁	37,867	22,000	12,010	3,825	32
		58%	32%	10%	0.1%

2022.3 末時点

(高速道路会社)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	5,229	419	4,049	761	0
		8%	77%	15%	—
跨線橋	1,083	48	817	218	0
		4%	75%	20%	—
緊急輸送道路を構成する橋梁	23,319	3,704	16,766	2,849	0
		16%	72%	12%	—
(参考)全橋梁	23,507	3,733	16,896	2,878	0
		16%	72%	12%	—

2022.3 末時点

(地方公共団体)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	8,174	2,294	4,922	956	2
		28%	60%	12%	0.02%
跨線橋	6,719	1,244	3,941	1,525	9
		19%	59%	23%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	69,795	22,845	39,595	7,347	8
		33%	57%	11%	0.01%
(参考)全橋梁	660,802	277,291	328,839	54,045	627
		42%	50%	8%	0.1%

2022.3末時点

(都道府県・政令市等)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	3,544	933	2,157	454	0
		26%	61%	13%	—
跨線橋	3,559	666	2,067	825	1
		19%	58%	23%	0.03%
緊急輸送道路を構成する橋梁	65,500	21,134	37,324	7,037	5
		32%	57%	11%	0.01%
(参考)全橋梁	186,852	70,510	97,802	18,504	36
		38%	52%	10%	0.02%

2022.3末時点

(市区町村)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	4,630	1,361	2,765	502	2
		29%	60%	11%	0.04%
跨線橋	3,160	578	1,874	700	8
		18%	59%	22%	0.3%
緊急輸送道路を構成する橋梁	4,295	1,711	2,271	310	3
		40%	53%	7%	0.1%
(参考)全橋梁	473,950	206,781	231,037	35,541	591
		44%	49%	7%	0.1%

2022.3末時点

※2022年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計

(3) 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分Ⅳの施設リスト(2014～2021 年度)
【橋梁】

○ 判定区分Ⅳの橋梁の措置内容（予定含む）

管理者	管理中					撤去・ 廃止済 ※2	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
	計	修繕・ 架替	機能 転換 ※1	対応 未定	撤去・ 廃止			
国土交通省	37	35	0	0	2	0	37	28
都道府県・ 政令市等	51	38	0	6	7	5	56	23
市区町村	817	487	10	120	200	119	936	491
合計	905 (88%)	560 (54%)	10 (1%)	126 (12%)	209 (20%)	124 (12%)	1,029	542 (53%)

※1: 機能転換とは、既存の施設を、他の施設として利用すること。

※2: 判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※高速道路会社管理の橋梁は健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(28 橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2022.3 月末時点)
関東地方 整備局	ながいはし 永井橋	国道 17 号	1954	2019	主桁、縦桁の断 面欠損・亀裂	仮受け材の設 置(通行可能)	修繕中
関東地方 整備局	おやきはし <small>くだ</small> 親木橋(下り拡幅)	国道 1 号	1963	2019	支承の機能障害	仮受け材の設 置(通行可能)	修繕中
関東地方 整備局	おんだりの <small>ききょう</small> 恩田陸橋側道橋 <small>くだ</small> (下り)	国道 246 号	1972	2019	主桁の損傷、支 承の機能障害	仮設材(移動 防止)の設置 (通行可能)	架替中
関東地方 整備局	きりかけはし <small>そくどうきょう</small> 切掛橋側道橋 <small>くだ</small> (下り)	国道 20 号	1970	2019	横桁、縦桁の断 面の破断・欠損	反対側の側道 橋(上り)に誘 導し、通行路 を確保	架替中
関東地方 整備局	ほうらんじはし 法雲寺橋	国道 20 号	1959	2019	上部工及び橋脚 が台風被災により 沈下・傾斜	仮設橋の設置 (通行可能)	撤去予定
関東地方 整備局	ほうらんじはし <small>そくどうきょう</small> 法雲寺橋側道橋	国道 20 号	1959	2019	上部工及び橋脚 が台風被災により 沈下・傾斜	仮設橋の設置 (通行可能)	撤去予定
関東地方 整備局	しみずの <small>はし</small> 清水二之橋側道橋	国道 20 号	1960	2019	主桁、横桁の腐 食	仮受け材の設 置(通行可能)	補修予定
関東地方 整備局	むめいはし 無名橋(29)	国道 18 号	1964	2020	主桁の腐食	仮受け材の設 置	修繕中
関東地方 整備局	こゆるぎ <small>こうかきょう</small> 小余綾高架橋	国道 1 号	1966	2020	主桁の腐食、変 形・欠損、板厚減 少	仮受け材の設 置・当て板補 修(通行可能)	修繕予定
関東地方 整備局	やまとはし 大和橋	国道 20 号	1958	2020	主桁のPC鋼材の 破断、剥離・鉄筋 露出	炭素繊維貼り 付けによる応 急措置を実施	補修予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
関東地方整備局	かつしかおおはしのぼ 葛飾大橋(上り)	国道 298 号	1979	2020	支承の変形・欠損	仮受け材の設置(通行可能)	修繕予定
関東地方整備局	よばつかさくどうきょうくだ 呼塚側道橋(下り)	国道 16 号	1982	2020	床版の腐食、変形・欠損	角材を挿入し床版を補強	架替予定
関東地方整備局	みなとぼしそくどうきょう 湊橋側歩道橋(上り)	国道 127 号	1972	2020	床版・横桁の腐食	損傷箇所上面の路面にコンパネを設置	修繕予定
関東地方整備局	おおとねぼしくだ 大利根橋(下り)	国道 6 号	1972	2021	主桁の亀裂	仮受け材設置(通行可能) ストップホール及び高力ボルト設置	修繕予定
関東地方整備局	くまがやごう 熊谷2号	国道 17 号	1955	2021	床版の腐食	縞鋼板を設置	架替予定
関東地方整備局	きただいはし 北台橋(下り側道橋)	国道 357 号	1986	2021	床版の腐食、変形・欠損	仮受け材の設置(通行可能)	架替予定
関東地方整備局	ひがしやましたばし 東山下橋(きょうそくほうきょう 橋側歩道橋)	国道 20 号	1981	2021	床版の腐食	仮床版材を設置(通行可能)	修繕予定
関東地方整備局	かみすわだいばし 上諏訪第2橋	国道 20 号	1981	2021	橋台の洗堀	角材を挿入し橋台を補強	修繕予定
関東地方整備局	かみすわだいばし 上諏訪第4橋	国道 20 号	1956	2021	橋台の洗堀	仮受け材の設置(通行可能)	修繕予定
関東地方整備局	しもすわだいばし 下諏訪第1橋	国道 20 号	1969	2021	橋台の洗堀	土嚢にて橋台補強	修繕予定
関東地方整備局	さんせいじごうそくどうきょう 山清路 3 号側道橋(下り)	国道 19 号	1969	2021	床版の変形・欠損	損傷箇所上面の路面にコンパネを設置	修繕予定
関東地方整備局	さんせいじごうそくどうきょう 山清路 3 号側道橋(上り)	国道 19 号	1979	2021	床版の変形・欠損	損傷箇所上面の路面にコンパネを設置	修繕予定
関東地方整備局	さんせいじごうそくどうきょう 山清路4号側道橋	国道 19 号	1980	2021	床版の変形・欠損	損傷箇所上面の路面にコンパネを設置	修繕予定
関東地方整備局	しょうくらすわぼしそくどうきょう 小倉沢橋側道橋	国道 19 号	1982	2021	床版の変形・欠損	損傷箇所上面の路面にコンパネを設置	修繕予定
関東地方整備局	りゅうおうりつたいきょうのぼ 竜王立体橋(上り)	国道 20 号	1973	2021	主桁下フランジの亀裂	仮受け材の設置(通行可能)	修繕予定
関東地方整備局	きたまおほしくだ 幸魂大橋(下り)	国道 298 号	1992	2021	支承本体のゆるみ・脱落	仮受け材の設置(通行可能)	修繕予定
関東地方整備局	こむろぼしくだ 小室橋(下り)	国道 16 号	1974	2021	主桁下フランジの亀裂	仮受け材の設置(通行可能)	修繕予定
関東地方整備局	こむろぼしのぼ 小室橋(上り)	国道 16 号	1974	2021	主桁下フランジの亀裂	仮受け材の設置(通行可能)	修繕予定

○ 都道府県・政令市等(23 橋)

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2022.3月末時点)
仙台市	なかしほばし 仲芝橋	市道サイカチ沼線	1988	2019	橋台のひびわれ、変形・欠損、洗堀など	全面通行止	未定
山形県	ふくしまこせんきょう 福島跨線橋	県道比子八幡線	1981	2020	主桁、横桁、支承の腐食・欠損	仮受け材の設置(通行規制(車両))	修繕予定
栃木県	さんだいはし 三代橋	県道 72 号線	1934	2021	橋台のひびわれ、洗堀	支保工設置(通行可能)	未定
栃木県	あさひはし 旭橋	県道 182 号線	1923	2021	床版の鉄筋露出、うき、主桁・支承の腐食、断面欠損	桁端部補強設置(通行可能)	未定
相模原市	むめいはし つくいき 無名橋(津久井18)	市道青野原9号	1960	2021	床版の腐食	仮設を設置し全面通行止	撤去予定
新潟市	むめいきょう 無名橋(566)	市区町村道(その他)新津 1-460 号線	不明	2021	橋の機能に支障	全面通行止	撤去予定
長野県	しんからさわはし 新唐沢橋	国道 151 号	1993	2021	主桁の腐食	通行規制(路肩規制)	修繕予定
長野県	はかりまき はかりまき6号橋	国道 151 号	1990	2021	主桁の腐食、添接ボルトの腐食	通行規制(片側規制)	修繕中
長野県	ならいしんはし 奈良井新橋	県道姥神奈良井線	1977	2020	張出床版、横桁の損傷	通行規制(片側規制)	修繕中
静岡市	かわむかりはし 川向橋	市道藤代 2 号線	1965	2017	木製床版の腐朽、ずれ、割れ、欠損	全面通行止	未定
静岡市	ひさかたじてんしゃどうきょう 久方自転車道橋	県道静岡清水自転車道線	1973	2017	主桁、床版のひび割れ・うき	全面通行止	架替中
浜松市	えんがくはし エンガク沢橋	市道水窪向島第 2 号線	不明	2015	床版の腐食及び断面欠損	全面通行止	撤去予定
浜松市	ひき た 引の田7号橋	市道水窪小和田引の田線	不明	2015	主桁・防護柵の腐食及び断面欠損	全面通行止	撤去予定
浜松市	ひき た 引の田11号橋	市道水窪小和田引の田線	不明	2015	横桁の変形	全面通行止	撤去予定
和歌山県	きゅう ひおきがわおおはし (旧)日置川大橋	県道日置川すさみ線	不明	2016	主桁鉄筋の露出、ゲルバー部の遊間の異常、橋脚の変形	全面通行止	撤去中
鳥取県	ほうきはし 伯耆橋	国道 181 号	1970	2016	主桁の腐食	主桁仮受け(全面通行可)	修繕中
鳥取県	ごうながいはし 1号長石橋	県道倉吉福本線	不明	2021	床版の破損および抜け落ち	敷鉄板設置	未定
岡山市	おぐらはし 小倉橋	市道建部町小倉 3 号線	1964	2021	主桁のひびわれ	仮受材設置(通行可能)	未定
岡山市	みなみはし 観波橋	県道高梁御津線	1954	2021	主桁のひびわれ	重量規制 8t	修繕予定
岡山市	10046はし 10046橋	市道大元駅前・二日市町線	不明	2021	主鉄筋の露出	仮設材設置(通行可能)	架替予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
北九州市	あそりがわ ござきり 麻生川1号橋	市道合馬26号線	1961	2021	主桁の腐食、床版の腐食、変形・欠損、沈下	全面通行止	未定
熊本市	つばいがわぼし ござきり 坪井川橋側道橋	国道501号	1986	2021	橋脚(鋼管杭)の損傷	全面通行止、仮受け台の設置	架替中
鹿児島県	みなとほし 湊橋	伊関国上西之表港	1976	2019	主桁 PC 鋼線及び鉄筋の破断	通行規制(片側規制)	架替中

○ 市区町村(491 橋)

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2022.3 月末時点)
函館市 (北海道)	だい 2 万年橋 こせんじんどうきょう 跨線人道橋	市道亀田 7 号線	1967	2020	床版腐食(広範囲な板厚減少)	全面通行止	撤去中
釧路市 (北海道)	ポンチノミ橋	市道風連別馬主来線	1980	2014	主桁の破断・腐食、床版の抜け落ち、橋台の変形・腐食	全面通行止	廃止予定
釧路市 (北海道)	ちのみばし 乳呑橋	市道風連別馬主来線	1958	2014	防護柵の破断、橋台の鉄筋露出	全面通行止	廃止予定
釧路市 (北海道)	しじみばし 蜆橋	市道風連別馬主来線	1980	2015	主桁の断面欠損	全面通行止	廃止予定
夕張市 (北海道)	だいくばし 大黒橋	市道登川住宅線	1960	2014	上部工の剥離、鉄筋露出・腐食	全面通行止	撤去予定
苫小牧市 (北海道)	ゆうふつ ごうきょう 勇払 1 号橋	市道沼ノ端西 2 条線	1953	2020	主桁のうき・剥離・鉄筋露出	全面通行止	未定
稚内市 (北海道)	みなとこせんきょう 港跨線橋	市道港 3 条通	1964	2021	支承の沓座面の損傷による落橋の危険性	緊急措置は講じていない	修繕予定
稚内市 (北海道)	みなとほどうきょう 港歩道橋	市道港歩道橋通	1978	2021	防護柵基部の腐食(断面欠損)	防護柵へのあて板(通行可能)	修繕予定
紋別市 (北海道)	たからばし 宝橋	市道中立牛上古丹線	1965	2018	橋台の洗掘、下部工の傾斜	全面通行止	未定
士別市 (北海道)	めぐみばし 恵橋	市道学田不動公園線	1980	2018	床版(木材)の抜け落ち	全面通行止	撤去予定
名寄市 (北海道)	せんばし 18 線橋	市道 18 線	1960	2017	床版ひび割れ、橋脚のコンクリート剥落、鉄筋露出	全面通行止	未定
三笠市 (北海道)	ほんぼろない ごうきょう 奔幌内 5 号橋	市道幌内奔幌内 1 号線	1981	2016	主桁の破断	全面通行止	撤去予定
三笠市 (北海道)	ほんぼろない ごうきょう 奔幌内 6 号橋	市道幌内奔幌内 1 号線	1981	2016	下部工のひび割れ	全面通行止	撤去予定
三笠市 (北海道)	かすがだいはし 春日台橋	市道春日町 1 号線	1967	2016	下部工の洗掘	全面通行止	撤去予定
三笠市 (北海道)	きゅうかつらばし 旧桂橋	市道桂沢 6 号線	1952	2017	主桁(鋼材)腐食、床版の抜け落ち、鉄筋露出、支承腐食	全面通行止	撤去予定
三笠市 (北海道)	かすがいりばし 神居橋	市道奔別沢線	1976	2021	下部工の洗掘	全面通行止	撤去予定
深川市 (北海道)	さんごうさわせんばし 三合沢線橋	市道鷹泊三合沢線	2004	2021	A2 橋台が洗掘、枕梁が傾倒、ひびわれ	全面通行止	修繕予定
当別町 (北海道)	たんこう さわばし 炭鉱の沢橋	町道炭鉱の沢線	1976	2017	杭基礎折損、枕梁ひび割れ、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
松前町 (北海道)	おおさわ ごうきょう 大沢 1 号橋	町道松前温泉通り線	1984	2019	下部工洗掘による橋台橋脚の沈下・移動・傾斜(損傷)	全面通行止	撤去予定
木古内町 (北海道)	きめがわじんどうきょう 佐女川人道橋	町道木古内 2 線	1975	2021	全更新、または上部工更新、または廃橋を検討	通行規制(車両)	未定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2022.3月末時点)
岩内町(北海道)	おいこみさんごうきょう 老古美三号橋	町道東老古美中通り	1950	2020	木橋上部の腐朽	カラーコーン・バーにて通行止	架替予定
音威子府村(北海道)	なかしまはし 中島橋	村道中島公園線	1974	2020	主桁、横桁の変形・床版の欠損	全面通行止	修繕中
中川町(北海道)	はしもとばし 橋本橋	町道中川5号線	1979	2017	橋台基礎洗掘	全面通行止	未定
小平町(北海道)	うんせいばし 運生橋	町道親和線	1972	2018	床版(木製床版)の断面欠損	全面通行止	修繕予定
小平町(北海道)	せんすいばし 潜水橋	町道川上本流線	1962	2018	下部工基礎の洗掘	全面通行止	修繕予定
小平町(北海道)	かねじりばし 金尻橋	町道川上本流線	1967	2018	下部工基礎の洗掘	全面通行止	修繕予定
初山別村(北海道)	くれないはし 紅橋	村道風連別南線	1974	2017	橋台基礎洗掘	全面通行止	撤去予定
初山別村(北海道)	うたこしべつばし 歌越別橋	村道共成線	1963	2017	主桁(木材)腐食	全面通行止	撤去予定
浜頓別町(北海道)	クッチャロ大橋 おおほし	町道浜頓別自転車道1号線	1917	2017	主桁・横桁・支承(鋼材)腐食、橋脚洗掘	全面通行止	廃止予定
美幌町(北海道)	だいごうきょう 第106号橋	町道第871号道路	1978	2021	A1 橋台の沈下、主桁間に段差、路面の陥没	全面通行止	撤去予定
斜里町(北海道)	だいかいほうはし 第2開峰橋	町道峰浜山麓道路	1971	2021	A1 橋台翼壁が折損	全面通行止	修繕予定
置戸町(北海道)	おんせんばし 温泉橋	町道常元温泉線	1975	2016	木床版の腐朽、抜け落ち	全面通行止	撤去中
遠軽町(北海道)	きよかわおおほし 清川大橋	町道豊里若松間道路	1989	2021	P1 橋脚 G1 起点側のローラー支承に破断	全面通行止	修繕予定
遠軽町(北海道)	だいくさわごうきょう 大黒沢6号橋	町道大黒沢線	1964	2021	主桁のひびわれ、欠損	全面通行止	未定
西興部村(北海道)	ちゅうこうはし 中興橋	村道中興部六興線道路	1935	2019	橋脚底板下面の露出、横桁のひび割れ、橋台ウイングの断裂、防護柵の著しい欠損・破断	全面通行止	撤去予定
厚真町(北海道)	かんこうはし 官光橋	町道軽舞豊丘線	1971	2021	パイルバント橋台の基礎杭のせん断	仮設材による落橋防止措置(通行可能)	架替中
厚真町(北海道)	おくだかはし 奥高橋	町道高丘本線	1967	2021	桁端部の欠損 橋台下部の洗掘	全面通行止	架替予定
むかわ町(北海道)	なかほづつぎょう 中穂別橋	町道稲里西線	1954	2017	橋台断面欠損	全面通行止	撤去中
新冠町(北海道)	こうようばし 紅葉橋	町道東川2号線	1965	2017	橋台基礎の機能障害(杭頭分離)	全面通行止	廃止予定
新ひだか町(北海道)	くどうごうきょう 久遠3号橋	町道歌笛久遠沢線	1978	2021	主桁に腐食、床版に破断・変形・抜落ち、舗装にわだち掘れ	全面通行止	未定
音更町(北海道)	きょうしんばし 共進橋	町道中音更23号	1969	2019	支承の機能障害	応急補修(通行可能)	修繕予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
鹿追町 (北海道)	クテクウシ ^{はし} 橋	下鹿追美蔓線	1966	2019	橋脚基礎部の沈下	全面通行止	撤去中
新得町 (北海道)	たけうち ^{はし} 竹内橋	町道北新得東線	1990	2018	落橋	全面通行止	未定
八戸市 (青森県)	かねほまこせんきょう ^{はし} 金浜跨線橋	大渡金浜線	1968	2020	主桁下面のはく離鉄筋露出	仮設材を設置して、車線規制	架替予定
十和田市 (青森県)	さるくら ^{はし} 猿倉橋	猿倉線	不明	2018	主桁、床版の剥離や鉄筋露出、下部工のひび割れ、断面欠損	通行止、仮橋設置	架替中
三沢市 (青森県)	あまがもりいちごう ^{はし} 天ヶ森1号橋	市道天ヶ森1号線	1977	2021	コンクリート部材にはく離・鉄筋露出、支承に変形・欠損	通行規制(3t)	未定
むつ市 (青森県)	かじょう ^{はし} 霞城橋	野平2号線	1970	2021	主桁、床版にはく離・鉄筋露出、橋台胸壁にひびわれ	バリケード設置による全線通行止	未定
深浦町 (青森県)	てきまかわ ^{はし} 手岬川橋	風合瀬1号線	1995	2020	主桁の腐食、板厚減少、断面欠損	全面通行止	撤去予定
大鰐町 (青森県)	もりやまおほ ^{はし} 森山大橋	鯖石森山線	1974	2021	支承サイドブロックの損傷	仮設材の設置	修繕予定
大鰐町 (青森県)	くまざわ ^{はし} 熊沢橋	虹貝清川線	1963	2021	床版の鉄筋破断、損傷	通行止	架替予定
東北町 (青森県)	こがわらどおりこせんきょう ^{はし} 小川原通跨線橋	町道535号線	1967	2020	主桁の腐食、板厚減少、断面欠損	バリケード等の設置	架替予定
田子町 (青森県)	ごうきょう ^{はし} 1号橋	新田黒森線	不明	2020	コンクリート部材のはく離・鉄筋露出、遊離石灰	通行規制(2t)	架替中
田子町 (青森県)	ごうきょう ^{はし} 2号橋	新田黒森線	不明	2020	コンクリート部材のはく離・鉄筋露出、遊離石灰	通行規制(2t)	架替中
南部町 (青森県)	まんだばし ^{はし} 前田橋	町道向田・内川線	1988	2017	木製床版の腐朽、下部工のひび割れ	全面通行止	未定
大船渡市 (岩手県)	しろきさわ ^{はし} 白木沢橋	市道白木沢橋線	不明	2021	橋台背面が陥没	全面通行止	未定
久慈市 (岩手県)	とめたき ^{はし} 止滝橋	市道沼袋線	1969	2020	床版に剥離・鉄筋露出、格子状ひびわれ、下部工の断面欠損	全面通行止	未定
二戸市 (岩手県)	せいがん ^{はし} 青岩橋	市道青岩線	1935	2018	主桁支点部・鋼製橋脚基部の断面欠損	仮設材を設置(通行止)	廃止中
二戸市 (岩手県)	だいにしもさわ ^{はし} 第二下沢橋	市道第二下沢線	不明	2021	主桁の脱落、床版の抜け落ち	全面通行止	未定
奥州市 (岩手県)	しもがもがき ^{はし} 下鴨ヶ崎橋	市道梨ノ木線	1976	2014	床版のひびわれ、剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
奥州市 (岩手県)	あまつち ^{はし} 天土橋	市道天土線	1954	2014	橋台の変形欠損、橋脚の洗掘	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
山田町 (岩手県)	つつみばし 堤橋	町道勝山・ 山内線	不明	2014	床版の変形、欠損	全面通行止	機能変更予定
気仙沼市 (宮城県)	まごめばし 馬籠橋	市道上野旧 県道線	1963	2014	主桁、床版の剥離、鉄筋露出、下部構造の剥離	全面通行止	架替中
気仙沼市 (宮城県)	なつやきはし 夏焼橋	市道上東側 根上西側線	不明	2020	木橋上部の腐朽	全面通行止	撤去予定
気仙沼市 (宮城県)	そとはげはし 外畑橋	市道外畑 4 号線	不明	2021	主桁と橋面の腐朽	全面通行止	未定
気仙沼市 (宮城県)	6007はし 橋	市道磯草 2 号線	不明	2021	主桁の腐朽と橋台の欠損	全面通行止	未定
名取市 (宮城県)	ごしやばし 五社橋	市道笠島川 内線	1971	2021	主桁の剥離・鉄筋露出	仮設迂回路の設置し全面通行止	廃止予定
川崎町 (宮城県)	おいのさわばし 追の沢橋	町道基石・ 秋保線	不明	2021	主桁の腐食による板厚減少、桁にたわみ	通行止	架替予定
山元町 (宮城県)	くまきかはし 熊坂橋	町道浅生原 熊坂線	1973	2020	基礎部の沈下により、橋座と桁に大きな隙間が発生	仮橋の設置し通行規制(大型車以上)	架替予定
湯沢市 (秋田県)	かわいばし 川井橋	市道中山・ 小淵ヶ沢線	1966	2014	橋脚のひびわれ	通行規制(6t)	撤去予定
湯沢市 (秋田県)	おやすばし 小安橋	市道寒沢線	1962	2014	鋼部材の腐食	全面通行止	廃止予定
由利本荘市 (秋田県)	あらまち ぐうきよう 荒町2号橋	市道荒町 4 号線	1941	2020	橋台ひびわれ、欠損、床版の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
にかほ市 (秋田県)	かわじりばし 川尻橋	前川川尻 1 号線	1935	2021	道路橋の機能に支障	全面通行止	撤去予定
上小阿仁村 (秋田県)	なかやまはしほどうきよう 中山橋歩道橋	福館五反沢 線	不明	2021	道路橋の機能に支障、橋台に広範囲の洗掘	全面通行止	修繕予定
五城目町 (秋田県)	おおだいばし 大台橋	町道大台線	1969	2018	橋脚のひびわれ	車両通行止	廃止予定
寒河江市 (山形県)	しばや ぐうきよう 柴屋2号橋	幸生4号線	1961	2020	パイルベントの欠損	全面通行止	撤去中
尾花沢市 (山形県)	3-278-1 ぐうきよう 号橋	市道Ⅲ-278 号線	不明	2021	主桁のたわみ	全面通行止	撤去予定
西川町 (山形県)	おおいらまがわばし 大入間川橋	月岡入間線	1965	2019	橋脚の洗堀による沈下・傾斜	全面通行止	架替中
鮭川村 (山形県)	ふかさわ ぐうきよう 深沢1号橋	木の根坂・ 深沢線	1964	2021	主桁の変形(曲がり)、床版の直角方向変形移動	通行止 路線内の民家までを通行可	未定
川西町 (山形県)	さかみずばし 坂水橋	町道道祖神 坂水橋線	1968	2016	橋脚の鉄筋露出 支承の機能障害	全面通行止	未定
白鷹町 (山形県)	たいへいばし 大平橋	町道大平橋 線	1964	2015	高欄、床版の腐食及び断面欠損	全面通行止	撤去中
遊佐町 (山形県)	さかえはし 栄橋	町道白木宮 海線	1956	2016	主桁の腐食、鉄筋露出、うき支承の機能障害	全面通行止	撤去予定
いわき市 (福島県)	ぎきんだいらはし 頭巾平橋	市道頭巾 平・長沢	不明	2017	パイルベント橋脚の傾斜、破損	通行規制 (車両)	未定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
喜多方市 (福島県)	やちばたはし 谷地畑橋	市道大平・ 黒岩線	不明	2015	橋台の洗掘、ひびわれ	全面通行止	架替中
川俣町 (福島県)	とみやまえはし 問屋前橋	町道問屋・ 津間線	1970	2016	主桁・支承の腐食、防食機能の劣化 床版ひびわれ、鉄筋露出	全面通行止	未定
金山町 (福島県)	おきたはし 沖田橋	町道湯ノ上 線	1935	2016	床版の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
双葉町 (福島県)	のだけうち ごうきょう 野竹内3号橋	町道野竹内 2号線	1965	2018	橋台の移動・傾斜、背面の土砂の沈下洗掘、ひびわれ。	仮設材を設置し通行止	未定
浪江町 (福島県)	5084-1ごうばし 号橋	持平小和田 線	不明	2020	床版の抜け落ち	全面通行止	未定
浪江町 (福島県)	6241-1ごうばし 号橋	近江前大高 倉線	不明	2021	橋台の洗掘及び沈下・移動・傾斜	全面通行止	修繕予定
浪江町 (福島県)	7017-1ごうばし 号橋	重作下亀下 線	不明	2021	主桁木材が落下	全面通行止	未定
日立市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋5001	市道 9061 号線	不明	2018	主桁・床版の腐食	仮設材を設置し全面通行止	未定
土浦市 (茨城県)	しんかわ ごうばし 新川5号橋	真鍋二丁目 3号線	不明	2018	主桁・床版の腐食	仮設材を設置し全面通行止	架替中
土浦市 (茨城県)	びぜんがわ ごうばし 備前川19号橋	下高津二丁 目6号線	不明	2018	主桁・橋脚・橋台に腐食	仮設材を設置し全面通行止	未定
石岡市 (茨城県)	18050	市道A6747 号線	不明	2020	主桁の腐食	車両通行止め	未定
石岡市 (茨城県)	4323-1ごうばし 号橋	市道 B4323 号線	不明	2021	主桁端部にひびわれ	仮設材を設置し全面通行止	未定
結城市 (茨城県)	かみわだはし 上和田橋	市道 5075 号線	不明	2016	主桁の鉄筋露出	全面通行止	修繕予定
龍ヶ崎市 (茨城県)	1-10ごうきょう 号橋	市道第1-81 号線	不明	2017	主桁のひび割れ・剥離・鉄筋露出	全面通行止	修繕予定
龍ヶ崎市 (茨城県)	5-38ごうきょう 号橋	市道第5- 279号線	不明	2021	壁に鉄筋露出	仮受け材の設置(通行可能)	修繕予定
龍ヶ崎市 (茨城県)	5-44ごうきょう 号橋	市道第5- 292号線	不明	2021	基礎が沈下、路面に傾斜	全面通行止	未定
龍ヶ崎市 (茨城県)	5-47ごうきょう 号橋	市道第5- 300号線	不明	2021	基礎が洗堀	全面通行止	未定
龍ヶ崎市 (茨城県)	6-45ごうきょう 号橋	市道第6- 354号線	不明	2021	壁に剥離	仮受け材の設置(通行可能)	修繕予定
龍ヶ崎市 (茨城県)	6-46ごうきょう 号橋	市道第6- 355号線	不明	2021	壁に剥離	仮受け材の設置(通行可能)	修繕予定
龍ヶ崎市 (茨城県)	6-48ごうきょう 号橋	市道第6- 358号線	不明	2021	壁に剥離	仮受け材の設置(通行可能)	修繕予定
高萩市 (茨城県)	しょうぶはし 菖蒲橋	市道 105 号 線	不明	2017	橋台のひび割れ・欠損	全面通行止	撤去予定
高萩市 (茨城県)	つかまはし 塚金橋	市道 3055 号線	不明	2017	橋台のひび割れ・欠損	全面通行止	撤去中
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋5	市道 1320 号線	不明	2018	主桁・床版の腐食	仮設材を設置し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋59	市道 2051 号線	不明	2018	橋台A1にひび割れ・傾斜	仮設材を設置し全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋 135	市道 6014 号線	不明	2018	主桁・支承の腐食	仮設材を設置し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋 142	市道 6039 号線	不明	2018	主桁の腐食により断面欠損	仮設材を設置し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋 147	市道 6054 号線	不明	2018	床版の腐食	仮設材を設置し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋 149	市道 6082 号線	不明	2018	床版の腐食	仮設材を設置し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋 155	市道 6093 号線	不明	2018	主桁・床版の全体が腐食	仮設材を設置し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋 172	市道 7001 号線	不明	2018	床版の腐食	仮設材を設置し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋 173	市道 7002 号線	不明	2018	床版の腐食	仮設材を設置し全面通行止	撤去予定
取手市 (茨城県)	なかうちだい ぐうきょう 中内第8号橋	市道 2-4387 号線	不明	2017	A1 橋台の下部工が移動、主桁がたつき	全面通行止	架替予定
取手市 (茨城県)	ぐうきょう 216号橋	市道 2-5273 号線	不明	2017	A2 橋台の下部工が傾斜、主桁の傾斜	全面通行止	撤去予定
つくば市 (茨城県)	あづまばし 吾妻橋	4-2231号 線	1976	2015	下部工のひび割れ	全面通行止	架替予定
つくば市 (茨城県)	シカノマイ橋	4-3029号 線	1965	2015	主桁の鉄筋露出	敷鉄板の設置(全面通行可)	修繕予定
つくば市 (茨城県)	11372-1号橋	市道 1-13 72号線	1973	2016	主桁のひびわれ	全面通行止	架替予定
つくば市 (茨城県)	15620-1号橋	市道 1-5620 号線	1968	2017	G1,G3 主桁、A2 横桁、デッキ PL の腐食	敷鉄板の設置(通行可能)	修繕予定
つくば市 (茨城県)	32262-1号橋	3-2262号 線	1964	2018	P1 橋脚が腐食・断面欠損	仮設材を設置し全面通行止	架替予定
つくば市 (茨城県)	53032-1号橋	5-3032号 線	1962	2018	P2パイルメントがA1橋台側に傾斜	仮設材を設置し全面通行止	架替予定
つくば市 (茨城県)	53312-1号橋	5-3312号 線	1978	2018	P1, P2橋脚の洗掘。基礎木杭が露出	仮設材を設置し全面通行止	架替予定
常陸大宮市 (茨城県)	103-2号橋	上大賀・鷹 巣線	不明	2014	主桁の断面欠損	通行規制(14t)	架替中
常陸大宮市 (茨城県)	103-2号橋	上大賀・鷹 巣線	不明	2014	主桁の断面欠損	通行規制(14t)	架替中
稲敷市 (茨城県)	104号橋	市道 (新)1223号 線	不明	2016	下部工、支承の腐食	全面通行止	撤去予定
城里町 (茨城県)	1-3号橋	町道 1222 号線	1985	2018	木部材全体が腐食	仮設材を設置し全面通行止	未定
城里町 (茨城県)	1-26	町道 1462 号線	不明	2018	主桁・床版に著しい腐食	仮設材を設置し全面通行止	未定
城里町 (茨城県)	3-18	町道 3239 号線	不明	2018	床版に腐食	仮設材を設置し全面通行止	未定
城里町 (茨城県)	1068	町道 8-09 99号線	不明	2018	床版に腐食	仮設材を設置し全面通行止	未定
城里町 (茨城県)	1066	町道 8-11 00号線	不明	2018	主桁全体に腐食	仮設材を設置し全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
大子町 (茨城県)	1052号橋 ^{ごうきょう}	町道1146号線	不明	2019	主桁・床版の腐食による破損	仮設材を設置し全面通行止	未定
大子町 (茨城県)	5021号橋 ^{ごうきょう} (後沢橋) ^{うしろさわばし}	町道5010号線	不明	2019	P1 橋脚の支柱の欠落、橋脚付近の橋面の沈下	仮設材を設置し全面通行止	未定
足利市 (栃木県)	堀込町102号線 ^{ほりごめちよう} 1号橋 ^{ごうせん}	市道堀込町102号線	1937	2017	床版の土砂化(抜け落ち)	仮設材の設置	架替予定
栃木市 (栃木県)	牛落橋 ^{うしおちばし}	市道14019号線	1976	2018	橋脚基礎部の洗堀沈下に伴う床版の段差	迂回路設置し通行止	架替予定
茂木町 (栃木県)	床の沢橋 ^{とこ さわばし}	町道床の沢放線	1969	2020	橋脚に洗堀、剝離・鉄筋露出	通行止	撤去予定
茂木町 (栃木県)	大橋 ^{おおはし}	町道山崎元古沢線	1963	2020	A1 橋台の胸壁と堅壁の分離、胸壁の移動	通行止	撤去予定
前橋市 (群馬県)	無名橋1 ^{むめいきょう}	市道01-345号	不明	2019	橋脚2基洗堀	全面通行止	撤去中
前橋市 (群馬県)	粕川10号橋 ^{かすかわ ごうきょう} ささら橋 ^{はし}	市道21-4331号	1994	2019	主桁の腐食による断面欠損、横桁・横構の断面欠損・破断	全面通行止	架替中
前橋市 (群馬県)	江田橋 ^{えだはし}	市道16-017号	不明	2019	主桁の歪み、橋脚の減肉	全面通行止	撤去予定
富岡市 (群馬県)	矢沢3号橋 ^{やざわ ごうばし}	市道14157号線	不明	2021	舗装の欠損、摩耗、地覆の腐食、鉄筋露出、摩耗、伸縮装置の漏水、劣化、床版の腐食、主桁の腐食、支承の機能障害、堅壁の剝離	車両通行止	修繕予定
南牧村 (群馬県)	大千原橋 ^{おおちはらはし}	村道大千原橋線	1953	2017	支柱コンクリート上部:変形・欠損	全面通行止	撤去中
中之条町 (群馬県)	吾嬭橋 ^{あづまばし}	町道小雨生須線	1962	2020	縦桁に著しい腐朽が見られるため。	バリケードによる完全封鎖	未定
東吾妻町 (群馬県)	3-12号橋 ^{ごうきょう} (鳴瀬橋) ^{なるせはし}	町道3006号線	不明	2020	主桁のひびわれ等上部構造全体に顕著な損傷が認められる。	仮設ガードレール設置(全面通行止)	撤去予定
みなかみ町 (群馬県)	宝川橋 ^{たかがわばし}	町道大石宝川線	1958	2018	橋脚、橋台の剝離・鉄筋露出による断面減少、支承の機能障害	全面通行止	撤去予定
川越市 (埼玉県)	第25号橋 ^{だいごうきょう}	市道3035号線	不明	2019	主桁、床版、路面の腐食、橋台下部工の傾斜	仮設材の設置(全面通行止)	未定
川口市 (埼玉県)	鬼沢橋 ^{おにざわはし}	市道幹線第28号線	1958	2020	主桁の剝離・鉄筋露出、橋台の洗堀	・緊急措置に伴う実施設計(工期R3.6.9~R3.8.31) ・緊急措置工事(R3年度内実施予定)	未定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2022.3月末時点)
行田市(埼玉県)	9-27号橋 <small>ごうきょう</small>	市道第 9.3-89 号線	1933	2020	橋脚の沈下・移動・傾斜	仮設材を設置し全面通行止	未定
行田市(埼玉県)	8-16号橋 <small>ごうきょう</small>	市道第 8.2-3 号線	不明	2020	主桁の剥離・鉄筋露出	仮設材を設置し全面通行止	架替中
行田市(埼玉県)	3-9号橋 <small>ごうきょう</small>	市道第 3.3-193 号線	不明	2021	橋脚の鉄筋腐食及び破断	仮設材を設置し全面通行止	修繕予定
行田市(埼玉県)	5-21号橋 <small>ごうきょう</small>	市道第 5.3-330 号線	不明	2021	緊急に措置を講ずべき状態	仮設材を設置し全面通行止	修繕予定
行田市(埼玉県)	7-30号橋 <small>ごうきょう</small>	市道第 7.3-49 号線	不明	2021	床版の剥離・鉄筋露出・ひびわれ、鉄筋の腐食・破断認	仮設材を設置し全面通行止	修繕予定
加須市(埼玉県)	か加_4017号橋 <small>ごうきょう</small>	市道 4006 号線	不明	2016	下部工の鉄筋露出	全面通行止	修繕予定
加須市(埼玉県)	か加_4018号橋 <small>ごうきょう</small>	市道 4009 号線	1940	2016	下部工の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
加須市(埼玉県)	か加_6048号橋 <small>ごうきょう</small>	市道 6313 号線	不明	2016	下部工の変形欠損	全面通行止	撤去予定
加須市(埼玉県)	だい大_130号橋 <small>ごうきょう</small>	市道大 2117 号線	不明	2016	主桁・床版のひびわれ、鉄筋露出、うき	全面通行止	撤去予定
加須市(埼玉県)	おおろっけんばし大_六軒橋	市道大 2122 号線	不明	2017	主桁ウェブおよび下フランジに腐食による断面欠損	全面通行止	廃止予定
加須市(埼玉県)	だい大_112号橋 <small>ごうきょう</small>	市道大 2040 号線	不明	2018	堅壁に傾斜が見られる	全面通行止	撤去予定
越谷市(埼玉県)	しめきりばし切橋	市道 60831 号線	1937	2020	橋脚基礎部の浸食	バリケード設置し全面通行止	未定
伊奈町(埼玉県)	こかいとばし小貝戸橋	町道第 2185 号線	不明	2018	主桁の腐食・床版のひび割れ等	全面通行止	修繕予定
神川町(埼玉県)	12154-1号橋 <small>ごうはし</small>	町道 12154 号線	不明	2017	主桁、横桁の大部分が腐朽している	全面通行止	撤去予定
寄居町(埼玉県)	8045号橋 <small>ごうきょう</small>	町道 8518 号線	不明	2020	木橋上部の腐朽、床版の抜け落ち	全面通行止	撤去予定
市原市(千葉県)	かんたくばし干拓橋	市道イ-220 号線	1957	2020	建造物の安全性の観点から緊急対応が必要	全面通行止	未定
流山市(千葉県)	あまやばし尼谷橋	市道平方区画47号線	不明	2016	木製主桁・木製床版・木製下部工の腐朽	通行規制(車両)	未定
君津市(千葉県)	おいはらばし追原橋	市道黄和田畑、追原線	1971	2018	歩行者用の木橋の吊橋で塔柱の腐食による機能不全。	バリケード設置(全面通行止)	廃止予定
君津市(千葉県)	いずみばし泉橋	市道六手、玄蕃松線	1970	2018	鋼桁の著しい腐食による断面欠損、変形。上部工の沈降。	バリケード設置(全面通行止)	撤去予定
君津市(千葉県)	ながうらばし長浦橋	市道奥米、大鹿倉線	1955	2018	歩行者用の吊橋で鋼桁の腐食による機能不全。	バリケード設置(全面通行止)	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2022.3月末時点)
君津市(千葉県)	まさき ぐうばし 正木1号橋	市道正木・奥米線	1932	2018	RC床版や下部構造に損傷	バリケード設置(全面通行止)	廃止予定
袖ヶ浦市(千葉県)	しんかわばし うきとがわ 新川橋(浮戸川)	市道奈良輪29号線	1968	2017	主桁・支承の腐食	仮設材の設置(通行止)	撤去予定
印西市(千葉県)	しらい ぐうきょう 下井2号橋	市道下井2124号線	1971	2017	主桁・橋脚の破損	仮設材の設置(通行止)	機能変更予定
いすみ市(千葉県)	おいけおほし 小池大橋	市道 0130号線	1975	2017	主桁の損傷	仮設材の設置(通行規制(10t))	修繕中
いすみ市(千葉県)	ほそどはし 細戸橋	市道 5072号線	1955	2018	主桁及び横桁の腐食防食機能の劣化	仮設材の設置(通行規制(3t))	架替中
酒々井町(千葉県)	いづみばし 飯積橋	町道 3B-162号線	不明	2016	主桁の腐食支承の腐食、支承の機能障害	主桁仮受け材の設置(通行可能)	撤去予定
長南町(千葉県)	だいいちみやまえはし 第一宮前橋	三級町道小生田22号線	1963	2019	A1 橋台のパイルベント欠損	全面通行止	修繕中
長南町(千葉県)	まつのせきはし 松ノ関橋	三級町道佐坪37号線	1961	2019	A1 橋台のパイルベント欠損	補強サポートの設置(通行可能)	架替中
中野区(東京都)	むつみはし 睦橋	区道 25-80号	1966	2017	床版の剥離・鉄筋露出、鉄筋の一部は破断	他の部材は補修されているため供用を継続	架替予定
あきる野市(東京都)	あじろはし 網代橋	市道 I -11号線	1933	2021	P2 橋脚に洗掘、沈下・移動・傾斜、主桁が浮上	網代橋前後の交差点まで全面通行止	架替予定
大島町(東京都)	ゆ はまばし 湯の浜橋	元町漁港線	不明	2018	コンクリートの剥落・鉄筋の露出、腐食、破断・橋台裏の洗掘	洗掘部をコンクリートで補修し、主桁を覆うように仮設橋を設置した(通行可能)	架替予定
大島町(東京都)	くろ ままばし 黒まま橋	黒まま1号線	不明	2018	過去に拡幅対応を実施した状況があるが構造的に強度不足の可能性もある。外観的損傷は少ないことから用経過観察。	損傷等は少ないことから経過観察	架替予定
三浦市(神奈川県)	ぐうきょう 29号橋	市道 1108号線	不明	2018	主桁、横桁、床版及び支承の腐食	補修・補強	架替予定
長岡市(新潟県)	むめいはし 無名橋A1439	市道二和125号線	2010	2021	機能支障	仮設材を設置し通行止	撤去予定
柏崎市(新潟県)	しまだばし 島田橋2	市区町村道(その他)柏崎門出島田線	1965	2019	橋台の剥離	全面通行止	未定
新発田市(新潟県)	つのつくりばし 角造橋	市区町村道(その他)蔵光中森線	1969	2019	主桁および支承の腐食	仮受け材の設置(全面通行止)	撤去中

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
村上市 (新潟県)	かわしたこぼし 川下小橋	市区町村道 (2級) 中小 屋線	不明	2019	主桁の腐食	車両通行止	架替中
村上市 (新潟県)	かわいり ござし 川入1号橋	市区町村道 (その他) 河 内14号線	不明	2019	主桁および床版 の腐食	全面通行止	撤去予定
糸魚川市 (新潟県)	おおたにがわだいいちばし 大谷川第一橋	市道上角間 線	不明	2019	床版の腐食	全面通行止	未定
糸魚川市 (新潟県)	あらかわばし 荒沢橋	市道荒沢線	1966	2019	床版の腐食	全面通行止	未定
妙高市 (新潟県)	すぶんどうばし 寸分道橋	市区町村道 (その他) 大 濁寸分道線	不明	2021	機能支障	全面通行止	未定
魚沼市 (新潟県)	ほそのばし 細野橋	市区町村道 (その他) 守 門13号線	1962	2015	主桁の鉄筋露出	全面通行止	撤去中
魚沼市 (新潟県)	むめいきょう 無名橋1	市区町村道 (その他) 高 側3号線	不明	2019	床版の腐食	全面通行止	撤去予定
阿賀町 (新潟県)	おおおぼし 大尾橋	町道(2級) 滝首線	1970	2020	支承の機能障害	バリケードを設 置し全面通行 止	未定
阿賀町 (新潟県)	こあらいばし 小荒井橋	町道(その 他) 向小荒 線	1968	2020	床版の抜け落 ち、支承部アンカ ーボルトの折損	バリケードを設 置し全面通行 止	未定
湯沢町 (新潟県)	きめいばし 境橋	市区町村道 (その他) 貝 掛二居線	1952	2018	機能支障	全面通行止	未定
関川村 (新潟県)	おおりざわばし 大里沢橋	市区町村道 (その他) 九 ヶ谷郷2号 線	1968	2019	主桁および床版 の腐食	全面通行止	修繕予定
関川村 (新潟県)	あらたにざわばし 荒谷沢橋	市区町村道 (その他) 九 ヶ谷郷57号 線	1938	2020	主桁の腐食、防 食機能の劣化、 変形・欠損	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去予定
富山市 (富山県)	やまぶきばし 山吹橋	市道高熊八 尾線	1955	2017	主ケーブルの破 断・断面減少	全面通行止	撤去中
富山市 (富山県)	すなぐだにばし 砂藏谷橋	市道蟹寺加 賀沢線	1972	2017	主桁・対傾構の 変形	全面通行止	未定
富山市 (富山県)	かめいわばし 瓶岩橋	松ノ木横江 線	1972	2018	支承の破損、橋 台のひび割れ	バリケードを設 置し全面通行 止(H27より)	撤去予定
富山市 (富山県)	くりすばし 栗須橋	栗須中山線	不明	2021	橋脚の洗堀、支 承部の剥落・鉄 筋露出	全面通行止	未定
魚津市 (富山県)	つきがたばし 月形橋	市道有山2 号線	1966	2017	支承部の腐食、 沈下、移動、傾斜	全面通行止	未定
滑川市 (富山県)	つきがたばし 月形橋	旧県道栗山 月形橋線	1966	2017	支承部の腐食、 沈下、移動、傾斜	全面通行止	未定
砺波市 (富山県)	むめいきょう 無名橋546	市道前山線	1983	2017	床版の変形	通行規制 (損傷部)	修繕予定
上市町 (富山県)	はつさんばし 白金橋	折戸・下田 線	1950	2021	機能支障	通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
立山町 (富山県)	むめいきょう 無名橋40	町道下金剛 寺金剛新線	不明	2021	機能支障	仮受け材の設置(全面通行止)	架替予定
小松市 (石川県)	むめいきょう 無名橋7009	市道尾小屋 新丸線	不明	2015	上部工、下部工の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去中
小松市 (石川県)	さかい、ばし 橋	市道江指町 勘定線	1926	2018	主桁の腐食・欠損	バリケードを設置し全面通行止	架替中
羽咋市 (石川県)	うりやばし 瓜屋橋	市道邑知 116号線	1994	2017	主桁の腐食・欠損、床版目地部からの漏水	全面通行止	撤去予定
白山市 (石川県)	おぞうおほし 尾添大橋	中宮尾添線	1973	2018	橋台基礎における地盤崩落	バリケードを設置し全面通行止	撤去予定
白山市 (石川県)	ごみじまばし 五味島橋	ダム1号線	1979	2018	主桁の座屈	バリケードを設置し全面通行止	撤去予定
敦賀市 (福井県)	すあいはし 巢合橋	市道瀬河内 葉原線	1988	2018	主桁(丸太)の腐朽が進行し、著しい断面欠損が生じている	全面通行止	未定
小浜市 (福井県)	せざかきょう 勢坂橋	市道勢坂線	1955	2018	主桁に鉄筋破断を伴う剥離・鉄筋露出が生じている	全面通行止	未定
山梨市 (山梨県)	ほそいりさわはし 細入沢橋	円川線	1973	2021	木床版に腐朽、横桁に孔食を伴う腐食	全面通行止	撤去予定
山梨市 (山梨県)	えんがわはし、ごう 円川橋3号	31044号	不明	2021	縦桁の干割れや腐朽、木床版の腐朽や抜け落ち、主ケーブルやケーブルアンカーに腐食	全面通行止	撤去予定
山梨市 (山梨県)	あおさきはし 青笹橋	31052号線	1969	2021	縦桁・木床版の腐朽・抜け落ち、主塔にひびわれ・鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
大月市 (山梨県)	あらぐらはし 新倉橋	市道新倉橋 線	1971	2019	主要部材の断面欠損	全面通行止	撤去予定
長野市 (長野県)	50085号橋 ごうきょう	市道若穂東 458号線	1970	2017	床版の抜け落ち	全面通行止	撤去予定
長野市 (長野県)	くりやしたはし 栗屋下橋	市道信州新 町203号線	1977	2017	橋台の損傷	全面通行止	撤去予定
長野市 (長野県)	さわじりばし 沢尻橋	市道中条36 号線	1978	2017	床版の抜け落ち	全面通行止	撤去予定
長野市 (長野県)	つばかわはし 坪川橋	市道鬼無里 南128号線	1972	2017	木橋全体が腐食	全面通行止	撤去予定
長野市 (長野県)	た、いりばし 田ノ入橋	市道中条70 号線	1980	2017	木橋全体が腐食	全面通行止	撤去予定
長野市 (長野県)	うめきあらい、ごうきょう 梅木新井1号橋	市道中条 296号線	1975	2017	木橋全体が腐食	全面通行止	撤去予定
長野市 (長野県)	やせうね、ごうきょう 矢背畝1号橋	市道戸隠北 67号線	2000	2017	床版の抜け落ち	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
長野市 (長野県)	にれぎ ぐうきょう 楡木1号橋	市道戸隠北 400号線	1996	2017	木橋全体が腐食	全面通行止	撤去予定
長野市 (長野県)	しののいきた ぐうきょう 篠ノ井北47号橋	市道篠ノ井 北215号線	不明	2020	橋脚に腐朽	通行止	撤去予定
長野県 (長野県)	まごめ ばし 孫女橋	市道信州新 町127号線	1975	2020	橋台転倒および 床版崩落の恐れ あり	通行止	未定
長野市 (長野県)	おおかわばし 大川橋1	市道戸隠北 67号線	2000	2020	木床版に腐朽・ 抜け落ち	通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	おかだかわしもばし 岡田川下橋	市道東田沢 通明小線	1930	2021	木床版に抜け落 ち	通行止	撤去予定
松本市 (長野県)	やく ばし 矢久橋(20052)	市道召田旧 道1号線	1950	2014	主桁・横桁の剥 離、鉄筋露出、床 版の変色、劣化	全面通行止	未定
松本市 (長野県)	しまじまだに ぐうきょう 島々谷5号橋 (30005)	市道島々5 号線	1965	2014	上部構造の腐 食、下部構造の 変形、欠損、支承 の機能障害	全面通行止	未定
松本市 (長野県)	ゆかわ ぐうばし 湯川1号橋 (30023)	市道沢渡2 号線	1935	2014	上部構造の腐 食、支承の機能 障害	通行規制(4t)	架替予定
松本市 (長野県)	ひのきとがげばし 桧峠橋(30028)	市道大野川 1号線	不明	2018	橋全体の腐朽、 床版の一部が腐 朽により脱落	全面通行止	未定
松本市 (長野県)	なら きばし 檜の木橋(30030)	市道大野川 8号線	不明	2018	主桁の腐食、主 桁ボルトの抜け落 ち、床版の一部 に腐朽による穴	全面通行止	未定
松本市 (長野県)	まぶねかみばし 馬船上橋(20014)	市道馬船線	1971	2021	空石積み橋台、 支承部が一部崩 壊、床版、舗装に たわみ	全面通行止	未定
諏訪市 (長野県)	かまえせんばし 構線橋	市道31015 号線	不明	2021	主桁の破断	仮受け材の設 置(全面通行 規制)	撤去予定
諏訪市 (長野県)	むめいきょう 無名橋13	市道48250 号線	不明	2021	防護柵の破損、 下部工の変形・ 欠損	仮受け材の設 置(全面通行 規制)	未定
小諸市 (長野県)	おおくいばし 大杭橋	市道(1 級)0121号 線	1964	2017	床版の抜け落ち	全面通行止	未定
飯山市 (長野県)	2-30 ぐうきょう 2-30号橋	市道2-39 2号線	1962	2021	橋脚支柱基礎(コ ンクリート)の洗掘	バリケードによ る通行止	未定
茅野市 (長野県)	むめいばし 無名橋(1603)	市道 2-863 号線	不明	2020	通行止め措置と する。	全面通行止	撤去予定
佐久市 (長野県)	ぐうきょう 911号橋	市道 67-053 号線	不明	2020	下部構造の洗 掘、舗装の異常	全面通行止	修繕予定
安曇野市 (長野県)	きしたせん ぐうきょう 木下線1号橋	市道明科5 085号線	1970	2016	主桁の腐食、破 断	全面通行止	未定
安曇野市 (長野県)	やししたさわ ぐうばし 矢下沢5号橋	市道明科5 143号線	1975	2016	木製床版の抜け 落ち	全面通行止	未定
安曇野市 (長野県)	ほたか ぐうばし 穂高133号橋	市道穂高0 515号線	1982	2020	木製床版(兼舗 装)の抜け落ち	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
川上村 (長野県)	つくりおがわはし 作小川橋	村道5005 号線	1982	2020	橋台の背面土砂 流出・洗掘、取付 道路の流出	架け替え工事 中	架替中
佐久穂町 (長野県)	やしきいりひかげ ごうきやう 屋敷入日影8号橋	町道屋敷入 線支線9号	1967	2017	木橋全体が腐食	全面通行止	廃止中
立科町 (長野県)	かにほらにごうばし 蟹原二号橋	町道梨ノ木 旧道線	不明	2020	主桁のひびわれ、支間中央部 がたわんでいる	全面通行止	未定
松川町 (長野県)	はし 3-9橋(120)	町道91号 線	不明	2017	橋台の崩落	全面通行止	未定
根羽村 (長野県)	みょうじんばし 明神橋	村道(1級) 幹I-5号 線	1954	2016	主桁・下部工の ひびわれ、鉄筋 露出、うき、漏水 遊離石灰	全面通行止	撤去予定
王滝村 (長野県)	くげさわはし 崩沢橋	村道第14 号線	1923	2017	主桁の腐食	全面通行止	撤去予定
木曾町 (長野県)	おおさわはし ふくしま 大沢橋(福島)	町道大沢線	1972	2017	木橋全体が腐食	全面通行止	廃止予定
木曾町 (長野県)	やくばみなみばし 役場南橋	町道旧役場 横線	不明	2017	床版の抜け落ち	全面通行止	撤去予定
木曾町 (長野県)	みなざわ1ごうきやう 皆沢1号橋	町道(1 級)1-1号線	1958	2020	主桁の剥離・鉄 筋露出	車輛通行止	未定
木曾町 (長野県)	こんどうさわはし 近道沢橋	町道黒川線	不明	2021	下部構造が欠損 し、洗掘拡大	車輛通行止	廃止予定
生坂村 (長野県)	いくさかむら ごうばし 生坂村64号橋	村道東51 号線	1972	2017	主桁の腐食	全面通行止	未定
小谷村 (長野県)	こつがいばし 国境橋	村道湯原北 線	1937	2017	主桁(鋼)の変形	全面通行止	未定
木島平村 (長野県)	さむたねはし 寒種橋	村道木島平 429号線	1971	2017	橋台の洗掘	全面通行止	修繕予定
小川村 (長野県)	ぞうべつとうばし 蔵別当橋	村道10-1 0号線	不明	2021	橋面の土砂堆 積、木主桁に腐 朽、上流側の主 桁に異常なたわ み	バリケード及 び通行止看板 を設置し進入 規制	廃止予定
小川村 (長野県)	うえのだいばし 上之平橋	村道12-9 号線	不明	2021	木床版の欠損や 踏み抜き	バリケード及 び通行止看板 を設置し進入 規制	廃止予定
小川村 (長野県)	ももせおくばし 百瀬奥橋	村道32-1 号線	不明	2021	木床版の断面欠 損	バリケード及 び通行止看板 を設置し進入 規制	廃止予定
飯綱町 (長野県)	かまぶちばし 釜淵橋	町道釜淵線	1953	2018	基礎部分洗堀、 防護柵の著しい 損傷	歩行者のみ利 用、地域と調 整し通行止予 定	未定
高山市 (岐阜県)	とくごうばし 徳河橋	市道德河線	不明	2015	主桁の腐食、橋 台の変状	全面通行止	未定
高山市 (岐阜県)	ふなとはし 船渡橋	市道中洞2 号線	1952	2015	伸縮装置の脱 落、橋台の変状	全面通行止	未定
高山市 (岐阜県)	てんぐはし 天狗橋	市道平湯天 狗橋線	1956	2015	床版、橋脚の鉄 筋露出	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
高山市 (岐阜県)	かなやまぼし 金山橋	市道森部金山線	1973	2016	橋台・橋脚の基礎コンクリート破損、木製橋脚の腐食	全面通行止	撤去中
高山市 (岐阜県)	そふだにぼし そふ谷つり橋	市道牛丸そふ谷線	1961	2017	主塔のひび割れ、床版の傾き	全面通行止	撤去予定
高山市 (岐阜県)	むかいぼし 向橋	市道中之宿向線	1952	2017	吊桁の腐朽、床版の崩落	全面通行止	未定
関市 (岐阜県)	あゆとりぼし 鮎登里橋	幹2-3号線	1969	2018	主桁が腐食及び断面欠損	全面通行止	未定
関市 (岐阜県)	ほとじまぼし 保戸島橋	6-282号線	1937	2018	ゲルバー桁ヒンジ部において、吊桁の破断及び受桁の破断により著しく耐荷力が低下している。	全面通行止	修繕予定
関市 (岐阜県)	9-27号橋	9-87号線	不明	2018	主桁端部桁の浮き・腐食および橋面舗装崩壊。	全面通行止	未定
中津川市 (岐阜県)	ほんきわぼし 本沢橋	市道山口5号線	不明	2021	丸太の腐食、床版及び舗装の抜け落ち	単管バリケードにて通行止 迂回道路の補修	廃止予定
羽島市 (岐阜県)	すかごうきょう 須賀2号橋	市道小荒井1丁目3号線	不明	2015	主桁の腐食	通行規制(車両)	未定
羽島市 (岐阜県)	すかごうきょう 須賀6号橋	市道足近町7丁目38号線	不明	2015	主桁の腐食	全面通行止	未定
羽島市 (岐阜県)	すかごうきょう 須賀4号橋	市道小荒井1丁目5号線	不明	2020	主桁の腐食	全面通行止	未定
山口市 (岐阜県)	あなほらぼし 穴洞橋	市道51010号線	1965	2021	下弦材の塗装塗替え、橋脚の詳細調査が必要	通行止	未定
山口市 (岐阜県)	むめいぼし 無名橋	市道53018号線	不明	2021	鋼床版の部分取替え、橋台の石積み補修、鋼部材の塗装塗替え、防護柵の部分取替えが必要	通行止	撤去予定
本巣市 (岐阜県)	52-1	市道根尾0520号線	不明	2018	主桁崩落	全面通行止	撤去予定
関ヶ原町 (岐阜県)	のだぼし 野田橋	町道野田・中田線	不明	2017	主桁断面欠損	全面通行止	撤去予定
揖斐川町 (岐阜県)	おりもとぼし 折本橋	町道春日折本線	1961	2014	主桁、下部工の断面欠損	全面通行止	修繕中
揖斐川町 (岐阜県)	うじたにぼし 宇治谷橋	町道久瀬宇治谷線	不明	2021	橋台背面の埋め戻しおよび土留工、主桁および床版の断面修復、防護柵の取替えが必要	バリケードを設置し通行止	撤去予定
揖斐川町 (岐阜県)	コウソウヒラ橋	町道坂内八草峠線	不明	2021	橋台背面崩落箇所 の復旧が必要	バリケードを設置し通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
白川町 (岐阜県)	おぐらばし 小倉橋	町道小倉線	1983	2020	床版、主桁、横桁の腐食、橋台のひびわれ、橋脚基礎の洗掘	全面通行止	架替中
熱海市 (静岡県)	わだはまはし 和田浜橋	市道都松和田川線	1962	2021	機能支障	両側バリケード設置にて通行止	架替予定
島田市 (静岡県)	ひょうさかばし 兵坂橋	市道兵坂橋線	1963	2017	主桁の変形	全面通行止	撤去予定
焼津市 (静岡県)	しんかわばし 新川橋(00533)	市道水産試験場新川橋線	1954	2018	主桁の鉄筋露出	ネットフェンス設置(全面通行止)	未定
袋井市 (静岡県)	きたあけはし 北明橋	市道彦島2号線	1955	2016	主桁、床版、支承の腐食	全面通行止	架替予定
東伊豆町 (静岡県)	しらたがわばし 白田川橋	町道稲取片瀬線	1950	2021	機能支障	全面通行止	架替中
南伊豆町 (静岡県)	まえばたけはし 前島橋	町道差田区内4号線	不明	2021	主桁、床版、舗装に腐朽	全面通行止	撤去予定
西伊豆町 (静岡県)	うぐすばし 宇久須橋	町道柴松ヶ坂線	1932	2016	主桁の鉄筋露出、うき	全面通行止	撤去予定
小山町 (静岡県)	むめいきょう 無名橋	町道 1550号線	不明	2018	主桁に腐食・ゆるみ、床版に腐食	緊急措置無し(通行可能)	架替中
小山町 (静岡県)	むめいきょう 無名橋	町道 2103号線	不明	2018	主桁・横桁に腐食	緊急措置無し(通行可能)	架替中
小山町 (静岡県)	むめいきょう 無名橋	町道 1613号線	不明	2018	主桁が腐朽	緊急措置無し(迂回通行可能)	架替中
小山町 (静岡県)	むめいきょう 無名橋	町道 2130号線	不明	2018	主桁・床版に腐朽や欠損	緊急措置無し(迂回通行可能)	架替中
小山町 (静岡県)	むめいきょう 無名橋	町道 2194号線	不明	2018	主桁・床版に腐食	緊急措置無し(迂回通行可能)	撤去中
吉田町 (静岡県)	ねんぶつばし 念佛橋	町道塩谷上川原3号線	1960	2016	主桁の鉄筋露出、ひびわれ	全面通行止	撤去予定
豊田市 (愛知県)	ほろのきはし 朴橋	市道千鳥中金線	1979	2014	主桁の腐食、床版の腐食による断面欠損	全面通行止	撤去予定
豊田市 (愛知県)	ウルシゼ橋	市道稲武ウルシゼ橋線	1918	2016	床版の鉄筋露出	全面通行止	未定
豊田市 (愛知県)	ぐんかいはし 郡界橋2	市道稲武郡界線	1917	2016	主桁、床版の鉄筋露出	全面通行止	未定
新城市 (愛知県)	ごうはし 5号橋	市道巢山線	不明	2017	終点側ブロック積基礎崩落	全面通行止	未定
弥富市 (愛知県)	なべた ごうきょう 鍋田9号橋	市道鍋田17号線	1958	2016	主桁、下部工の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
弥富市 (愛知県)	すえひろはし 末広橋	市道東末広107号線	1973	2016	主桁の腐食、変形欠損、下部工の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
美浜町 (愛知県)	ふぐまき 富具崎(5)橋	町道 5328号線	不明	2018	主桁に断面欠損を伴う腐食	全面通行止	撤去予定
東栄町 (愛知県)	ときわはし 常盤橋	町道(154)アセモ立渡瀬線	1932	2018	主桁の格点腐食、欠損	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
東栄町 (愛知県)	にえぶわはし 煮淵橋	町道(100)川角名倉線	1976	2019	塔柱のうき	全面通行止	未定
東栄町 (愛知県)	むめいばし 無名橋13	町道(162)吐原線	1981	2019	主桁の鉄筋腐食	全面通行止	未定
津市 (三重県)	3068-1号橋 ごうはし	市道西藏王馬藪線	1963	2021	主桁に腐食、床版(路面)に腐食・抜け落ち	全面通行止	未定
松阪市 (三重県)	あたらぎはし 蘭橋	市道蘭線	不明	2020	橋台基礎を兼ねた護岸の崩落	全面通行止	架替中
鳥羽市 (三重県)	まつおごうはし 松尾14号橋	市道広谷口線	1975	2021	基礎に洗掘	全面通行止	架替予定
伊賀市 (三重県)	やがみはし 山神橋	市道印代山神線	1953	2019	橋脚の沈下	全面通行止	架替中
伊賀市 (三重県)	にしじょうはし 西條橋	市道山神土橋西條線	1960	2021	橋脚に洗堀、橋脚付近の主桁が変形、補強材の剥がれ、支承の変形	全面通行止	修繕中
菰野町 (三重県)	あおたきばし 蒼滝橋	町道湯の山10号線	1932	2016	主桁の腐食による断面欠損	全面通行止	架替中
大台町 (三重県)	きかせたにこごきょう 坂瀬谷2号橋	町道高奈舟木谷線	1978	2020	床版に腐食	全面通行止	修繕予定
大台町 (三重県)	きかせたにこごきょう 坂瀬谷3号橋	町道高山谷線	1975	2020	主桁、床版に腐朽、腐食	全面通行止	廃止予定
玉城町 (三重県)	いなづまはし 稲次橋	町道積良矢野線	1975	2020	橋台が傾斜、基礎の洗掘、上部工の遊間異常	バリケードによる全面通行止	架替予定
度会町 (三重県)	ごろうがせはし 五郎ヶ瀬橋	町道和井野権田線	1925	2017	地覆、高欄の欠損、主桁の鉄筋露出、基礎の洗掘	全面通行止	未定
紀北町 (三重県)	ちようしがわはし 銚子川橋	町道白倉1号線	1960	2018	主桁のPC鋼材露出、破断	全面通行止	修繕中
紀北町 (三重県)	いしまやまもとごうはし 井の島山本2号橋	町道井の島山本4号線	1970	2021	主桁に鉄筋露出・鉄筋破断、高欄支柱基部に孔食	全面通行止	修繕予定
御浜町 (三重県)	こまつはし 小松橋	町道引作線	1970	2020	橋脚の沈下	全面通行止	架替中
木津川市 (京都府)	2080号線1号橋 ごうせん1ごうきょう	市道加2080号線	1986	2020	洗堀によりA1側の根固めコンクリートと石積が沈下・崩壊	通行止	架替中
和束町 (京都府)	まるおにはし 丸尾二橋	町道童仙房支線	1968	2021	RC床版の橋軸直角方向ひびわれ、下部の洗掘	バリケードで封鎖	架替予定
能勢町 (大阪府)	くぼたばし 久保田橋	町道松ヶ下経田線	不明	2017	腐食および橋梁本体たわみ	全面通行止	未定
能勢町 (大阪府)	しろうらごうきょう 白の浦1号橋	町道白木谷宿野線	不明	2018	下部構造の洗堀により支点が沈下	車両・歩行者等の通行止	修繕予定
奈良市 (奈良県)	むめいきょう 無名橋351	東部第79号線	不明	2018	主桁・横桁の腐食	バリケードの設置(全面通行止)	修繕予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
奈良市 (奈良県)	むめいきょう 無名橋351	東部第79号線	不明	2018	主桁・横桁の腐食	バリケードの設置(全面通行止)	修繕予定
奈良市 (奈良県)	むめいきょう 無名橋355	東部第88号線	不明	2018	主桁の抜け落ち	バリケードの設置(全面通行止)	未定
奈良市 (奈良県)	むめいきょう 無名橋355	東部第88号線	不明	2018	主桁の抜け落ち	バリケードの設置(全面通行止)	修繕予定
奈良市 (奈良県)	むめいきょう 無名橋361	東部第362号線	不明	2018	主桁の抜け落ち	バリケードの設置(全面通行止)	未定
奈良市 (奈良県)	むめいきょう 無名橋361	東部第362号線	不明	2018	主桁の抜け落ち	バリケードの設置(全面通行止)	修繕予定
五條市 (奈良県)	しもだばし 下田橋	市道霊安寺8号線	1945	2016	主桁の損傷、下部工のひびわれ	通行規制(車両)	廃止予定
五條市 (奈良県)	しもだばし 下田橋	市道霊安寺8号線	1945	2016	主桁の損傷、下部工のひびわれ	通行規制(車両)	廃止予定
香芝市 (奈良県)	むめいばし 無名橋21	市道4-22号線	不明	2016	橋台根入れ部の洗掘、橋台のひびわれ	橋台の根固め、ひびわれ充填、仮受け材の設置(通行可能)	修繕予定
宇陀市 (奈良県)	おくのたに、ごうきょう 奥ノ谷3号橋	市道宮奥針道線	1955	2018	桁に用いている丸太材が腐朽	バリケードの設置(全面通行止)	未定
宇陀市 (奈良県)	ばし イタ橋	市道菟田野124号線	不明	2018	床版の木材が朽ちて一部抜け落ち	バリケードの設置(全面通行止)	未定
宇陀市 (奈良県)	ふじたばし 藤田橋	市道菟田野317号線	不明	2018	床版の腐朽によって橋面の一部に穴が開いている	バリケードの設置(全面通行止)	未定
宇陀市 (奈良県)	カマクラばし 橋	市道下笠間茶臼山線	不明	2018	主桁の破損、及び下部工の洗掘	バリケードの設置(全面通行止)	未定
山添村 (奈良県)	むめいばし 無名橋	中峰山～鳥ヶ尻線	不明	2020	橋台(護岸)の洗掘の影響による主桁の脱落。	全面通行止	廃止予定
平群町 (奈良県)	いちばら、ごうきょう 櫟原1号橋	北棟原・西向196号線	不明	2016	主桁の破断、腐食	通行規制(車両)	未定
十津川村 (奈良県)	きゅうかわつおおはし 旧川津大橋	村道川津線	1960	2015	床版の腐食	全面通行止	撤去予定
十津川村 (奈良県)	ざるかいばし 猿飼橋	村道平谷猿飼線	1945	2015	橋脚の変状、支承の機能障害	全面通行止	修繕予定
十津川村 (奈良県)	いけあなはし 池穴橋	村道池穴中原橋	1931	2015	主桁、床版の腐食	全面通行止	未定
十津川村 (奈良県)	なかいはらばし 中原橋	村道池穴中原橋	1945	2015	主桁、床版の腐食	全面通行止	未定
十津川村 (奈良県)	おおのであいばし 大野出合橋	村道高滝小川線	1960	2015	主桁の腐食	全面通行止	修繕予定
十津川村 (奈良県)	ゆのはらばし 湯之原橋	村道湯之原舟谷線	1934	2015	主桁の腐食	全面通行止	修繕予定
十津川村 (奈良県)	おおびそばし 大樽曾橋	村道大樽曾線	1963	2015	主桁、横桁の腐食	全面通行止	修繕予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
橋本市 (和歌山県)	こうぜりくきょう 河瀬陸橋	市道河瀬陸橋線	1912	2017	主桁と横梁との接合部の腐食、取付リベットの欠損、橋脚基礎部の断面欠損	全面通行止	架替中
古座川町 (和歌山県)	ひらいがわばし 平井川橋	町道平井川区内線	1963	2021	床版横桁の損傷、腐食	通行止め	未定
鳥取市 (鳥取県)	おおはし 大橋	その他市道上砂見5号線	1994	2018	主桁、床版、横桁の腐朽	全面通行止	架替中
鳥取市 (鳥取県)	ちおかばし 地岡橋	その他市道小河内新田線	不明	2018	主桁、床版の腐朽	全面通行止	未定
倉吉市 (鳥取県)	ひろせ ごうきょう 広瀬5号橋	市道広瀬2号線	1962	2018	床版の材質腐食	全面通行止	廃止予定
日南町 (鳥取県)	つうてんばし 通天橋	石霞溪線	1929	2015	主桁の腐食	全面通行止	修繕予定
益田市 (島根県)	ひらかわばし 平川橋	市道平川線	1938	2018	橋脚基礎の洗掘	全面通行止	撤去予定
吉賀町 (島根県)	だいはし 台橋	中村隠居沖線	1973	2015	主桁・横桁の腐食	全面通行止	修繕予定
吉賀町 (島根県)	とちぎはし 栃木橋	栃木線	1974	2015	主ケーブルの損傷	通行規制 (歩行者・二輪車以外)	修繕予定
吉賀町 (島根県)	やたい だいはし 谷橋	赤谷線	1986	2020	床版の孔食	全面通行止	修繕予定
隠岐の島町 (島根県)	あい はし 愛の橋	町道西郷145号線	1956	2017	主桁剥離・鉄筋露出、橋脚剥離・鉄筋露出	全面通行止	架替中
真庭市 (岡山県)	なかつらにしはし 中村西橋	市道中村西線	2000	2020	主桁の腐食・亀裂、支承の腐食、下部工の石のはらみだし	全面通行止	撤去予定
真庭市 (岡山県)	むねすえかみばし 宗末上橋	市道後谷・尾中線	不明	2020	床版(木部材)に著しい腐朽、破断・抜け落ち 横桁に鋼材断面減少を伴う腐食	全面通行止	撤去予定
矢掛町 (岡山県)	にいやはし 仁井屋橋	町道辻堂線	1964	2021	主桁の腐食、路面の陥没	通行止	架替予定
美咲町 (岡山県)	きゆうすわばし 旧諏訪橋	町道堂ノ元諏訪線	不明	2021	A2 橋台下部のブロックにはらみ出し	通行止	未定
福山市 (広島県)	ほんせん じ ばし 本泉寺橋	市道新市相方1号線	1960	2020	上部構造床版及び橋脚の損傷(流失)	仮設材の設置 (全面通行止)	撤去中
府中市 (広島県)	しぎたにはし 嶋谷橋1	市道嶋谷広谷線	1955	2019	上部構造床版の損傷(流失)	仮設材の設置 (全面通行止)	撤去予定
府中市 (広島県)	おちあいいおはし 落合大橋	市道父石8号線	1955	2019	上部構造床版の損傷(流失)	仮設材の設置 (全面通行止)	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
萩市 (山口県)	しもおのおほし 下大野橋	市道学ヶ峠 2号線	不明	2017	桁下下面全体に鉄筋露出、腐食による鉄筋の断面欠損。下部構造(橋台)のひびわれ	仮設材の設置 (全面通行止)	未定
岩国市 (山口県)	みしようばし 御庄橋	市道御庄1 号線	1953	2016	主桁ゲルバー部のひびわれ	全面通行止	撤去中
長門市 (山口県)	かみいでばし 神出橋	市道神出線	1963	2016	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
柳井市 (山口県)	かまどぎ ぎょうきょう 鎌磨1号橋	河原鎌磨線	1976	2015	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
山陽小野田市 (山口県)	だいちあたかち ほし 第一高千帆橋	市道上石井 手線	1954	2015	主桁の剥離、鉄筋露出	断面補修等、 通行規制(9t →4t)	修繕中
山陽小野田市 (山口県)	まつがせはし 松ヶ瀬橋	市道松ヶ瀬 線	1954	2015	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	修繕予定
田布施町 (山口県)	まみ ばし 上シガラ橋	法寺坊線	1958	2021	橋台の一部損傷	全面通行止	未定
田布施町 (山口県)	せんぼうばし 千坊橋	竹尾奥線	不明	2021	橋台ひびわれ・亀裂、基礎部の洗掘による欠損	全面通行止	架替予定
阿武町 (山口県)	ふじわらばし 藤原橋	町道藤原沼ノ奥線	1970	2019	主桁の腐食による欠損	全面通行止	未定
徳島市 (徳島県)	しょうひがし 庄東橋	市道庄・中島田東線	1965	2019	主桁の腐食、鉄筋露出および鉄筋の破断	仮橋の設置 (通行規制(車両))	未定
阿南市 (徳島県)	まえじまばし 前島橋	市道伊島前島線	1984	2016	主桁の鉄筋露出、PC鋼材の損傷	全面通行止	修繕中
三好市 (徳島県)	ゆみきばし 弓木橋	旧松舟線	1963	2014	主桁、支承部の腐食、鉄筋露出	全面通行止	修繕予定
三好市 (徳島県)	しらかわばし 白川橋	境谷大谷線	1933	2015	主桁、横桁の腐食	全面通行止	撤去予定
三好市 (徳島県)	どうとこばし 堂床橋	境谷大谷線	1959	2015	主桁の腐食	全面通行止	修繕予定
三好市 (徳島県)	のろうちばし 野呂内橋	市道坪尻野呂内線	1959	2017	下部構造物の剥離、洗掘、腐食	全面通行止	廃止予定
三好市 (徳島県)	きかせばし 坂瀬橋	市道窓小祖谷線	不明	2017	床版部分の腐食	全面通行止	廃止予定
三好市 (徳島県)	たにおちあいせん ぎょうきょう ツフ谷落合線3号橋	ツフ谷落合線	1972	2021	主桁に鉄筋露出・欠損、舗装の異常(土砂化)	全面通行止	廃止予定
上勝町 (徳島県)	なかすはし 中須橋	町道神明葛又線	不明	2016	木床版の腐朽、橋台の崩壊	全面通行止	撤去予定
上勝町 (徳島県)	しもうめはし 下梅木橋	町道下梅木線	不明	2016	木床版の腐朽	全面通行止	撤去予定
つるぎ町 (徳島県)	きたたにばし 吉良谷橋	町道吉良谷線	1957	2017	鉄筋露出・橋台下部洗掘	全面通行止	未定
高松市 (香川県)	よせちばし 寄地橋	市道東谷1号線	1965	2019	下部構造の洗掘	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2022.3月末時点)
観音寺市(香川県)	かんおんじごくらくぼし 観音寺極楽橋	市道上若南線	1933	2015	上下部工の剥離、鉄筋露出	通行規制(二輪・歩行者以外)	架替予定
観音寺市(香川県)	かめきんぼし 亀錦橋	市道姫浜上松線	不明	2021	床版、下部構造に鉄筋露出・腐食	通行規制(車両)	未定
まんのう町(香川県)	いなかまぼし 生間橋	町道生間線	1951	2016	主桁のひびわれ、鉄筋露出、下部工の洗掘	通行規制(車両)	修繕中
まんのう町(香川県)	つねかまぼし 常包橋	町道常包橋線	1933	2016	主桁ゲルバー部のひびわれ、床版の鉄筋露出、支承部の腐食	通行規制(車両)	撤去予定
松山市(愛媛県)	ゆやま ごうせん ごうきょう 湯山19号線1号橋	市道湯山19号線	不明	2017	木造桁橋(人道橋)。主桁4本のうち1本に腐朽・欠損が発生。床版全体にも腐朽。	全面通行止	未定
松山市(愛媛県)	かしまぼし ごうきょう 鹿島橋3号橋	市道鹿島公園線	不明	2018	主桁の鉄筋露出	全面通行止	未定
松山市(愛媛県)	かしまぼし ごうきょう 鹿島橋5号橋	市道鹿島公園線	不明	2018	主桁のコンクリート剥離、ひび割れ	全面通行止	未定
松山市(愛媛県)	かしまぼし ごうきょう 鹿島橋6号橋	市道鹿島公園線	不明	2018	主桁の鉄筋露出	全面通行止	未定
松山市(愛媛県)	かしまぼし ごうきょう 鹿島橋7号橋	市道鹿島公園線	不明	2018	主桁の鉄筋露出	全面通行止	未定
久万高原町(愛媛県)	ひらいはし 平井橋	町道平井線	1964	2017	木製縦桁・床版の腐食及び欠損	全面通行止	修繕予定
久万高原町(愛媛県)	おもいちはし 面一橋	町道面一線	1967	2018	橋台の剥離・欠損、橋脚の剥離・鉄筋露出・欠損	全面通行止	修繕予定
久万高原町(愛媛県)	こうなるはし 幸成橋	町道面一線	1981	2018	床版の剥離・鉄筋露出、支承の腐食・防食機能の劣化	全面通行止	修繕予定
久万高原町(愛媛県)	こうなかはし 幸中橋	町道面一線	1981	2018	床版の剥離・鉄筋露出、主桁の異常なたわみ	全面通行止	修繕予定
室戸市(高知県)	みなとばし 港橋	市道港橋線	1971	2015	主桁、横桁、支承の腐食	全面通行止	撤去予定
室戸市(高知県)	さきはまぼし 佐喜浜橋	市道佐喜浜本線	1929	2018	主桁、下部工に腐食、剥離・鉄筋露出 床版に剥離・鉄筋露出 支承の機能障害	車両侵入防止柵の設置(歩行者・自転車のみ通行可)	未定
室戸市(高知県)	きらがわおほし 吉良川大橋	市道本町西ノ宮線	1936	2018	主桁に腐食、うき、剥離・鉄筋露出 下部工に腐食、剥離・鉄筋露出、沈下	車両侵入防止柵の設置(歩行者・自転車のみ通行可)	未定
室戸市(高知県)	おきらがわはし 沖良川橋	市道滝山線	1961	2020	主桁の破断を伴う鉄筋露出	重量規制	修繕予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 奈比賀古井線 15号橋	市道奈比賀古井線	不明	2018	主桁に移動、床版の木材に脱落が見られる。また、土砂崩れにより埋没している。	全面通行止	未定
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 奈比賀古井線 13号橋	市道奈比賀古井線	不明	2018	落橋および橋台が崩落している。	全面通行止	未定
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 奈比賀古井線 7号橋	市道奈比賀古井線	不明	2018	床版の木材に著しい腐朽、脱落が見られる。	全面通行止	未定
安芸市 (高知県)	こうのぼし 河野橋	市道入場線	不明	2018	主桁の木材に著しい腐朽が見られる。また、橋台に洗堀が見られる。	全面通行止	未定
安芸市 (高知県)	はちやしきひがしせん 八屋敷東線1号橋	市道八屋敷東線	不明	2018	床版の木材に著しい腐朽、抜け落ちが見られる。	全面通行止	未定
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 奈比賀古井線 8号橋	市道奈比賀古井線	不明	2018	床版の木材に著しい腐朽、脱落が見られる。	全面通行止	未定
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 奈比賀古井線 16号橋	市道奈比賀古井線	不明	2018	床版の木材に著しい腐朽、脱落が見られる。また支承部に支承の機能障害が見られる。	全面通行止	未定
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 奈比賀古井線 12号橋	市道奈比賀古井線	不明	2018	床版の木材に著しい腐朽、脱落が見られる。	全面通行止	未定
安芸市 (高知県)	いわとせん 岩戸線4号橋	市道岩戸線	不明	2018	床版に板厚減少を伴う著しい腐食が見られる。	全面通行止	未定
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 奈比賀古井線 14号橋	市道奈比賀古井線	不明	2018	落橋および橋台が崩落している。	全面通行止	未定
安芸市 (高知県)	みまいやまばし 美舞山橋	市道奈比賀古井線	不明	2018	床版の木材に著しい腐朽、脱落が見られる。	全面通行止	未定
安芸市 (高知県)	おおいだにばし 大井谷橋	市道奈比賀古井線	不明	2018	床版の木材に著しい腐朽、脱落が見られる。	全面通行止	未定
須崎市 (高知県)	みやのこうち 宮ノ川内15号線 1号橋	市道宮ノ川内15号線	不明	2014	木橋の上部構造の腐朽	全面通行止	撤去予定
須崎市 (高知県)	おおaura 大浦6号線2号橋	市道大浦6号線	不明	2014	木橋の上部構造の腐朽、床版の抜け落ち、下部工の石積の崩壊	全面通行止	撤去予定
須崎市 (高知県)	おおたに 大谷6号線2号橋	市道大谷6号線	不明	2016	主桁の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
宿毛市 (高知県)	かいそ 貝礎1号橋	市道山田貝礎線	1979	2018	主桁:断面欠損・板厚減少 下部工:沈下・傾斜・亀裂	全面通行止	撤去中

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
宿毛市 (高知県)	ないわいだんち ぐうばし 内外団地1号橋	市道内外団地1号線	1986	2020	主桁の鉄筋露出、破断	幅員規制	修繕中
土佐清水市 (高知県)	だいなばたけばし 第1菜畑橋	市道川端線	1973	2016	主桁の腐食、断面欠損	全面通行止	修繕予定
土佐清水市 (高知県)	かのうざき ぐうきょう 叶崎2号橋	市道大津南線	1969	2018	主桁:剥離・鉄筋露出 横桁:剥離・鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
土佐清水市 (高知県)	かのうざき ぐうきょう 叶崎1号橋	市道大津南線	1969	2018	主桁:剥離・鉄筋露出 横桁:剥離・鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
土佐清水市 (高知県)	だいなばたけばし 第2菜畑橋	市道菜畑線	1971	2020	主桁の腐食による断面減少	通行止	修繕予定
四万十市 (高知県)	みさとほし 三里橋	市道具同三里線	1963	2017	パイルベント橋脚(鋼管)の腐食	全面通行止	修繕予定
四万十市 (高知県)	きたかわはし 北の川橋	市道中半北ノ川線	1968	2020	主桁に断面欠損・腐食	全面通行止	修繕予定
四万十市 (高知県)	かつまおほし 勝間大橋	市道手洗川勝間線	1958	2021	主桁や床版、下部工に鉄筋露出・ひびわれ等	総重量2t規制	修繕予定
香美市 (高知県)	いのたにばし 猪ノ谷橋	市道神池川ノ内線	不明	2021	橋梁の落橋	全面通行止	廃止予定
馬路村 (高知県)	のぐちばし 野口橋	村道野口橋線	1953	2017	全耐風索が破断しており、ハンガーロープにゆるみが見られる	全面通行止	未定
芸西村 (高知県)	にしたに ぐうきょう 西谷1号橋	村道西谷線	1973	2020	橋台の石積工が崩壊し背面土砂が流出。	通行止	架替予定
本山町 (高知県)	しんごろばし 新頃橋	町道上関線	1964	2019	橋台背面の取り合わせ護岸の崩落、路面陥没	全面通行止	修繕中
大豊町 (高知県)	みつごのばし 三津子野橋	町道八畝西峰蔭線	1970	2016	橋台の沈下、移動、傾斜	全面通行止	修繕予定
大豊町 (高知県)	きゅうよしのがわばし 旧吉野川橋	町道穴内尾生線	1911	2017	変形・欠損・異状なたわみ	全面通行止	未定
大豊町 (高知県)	たきのむかいばし 瀧ノ向橋	町道奥大田線	不明	2018	上部工:流失 下部工:石積み崩壊	全面通行止	撤去予定
大豊町 (高知県)	たきのしたはし 瀧ノ下橋	町道奥大田線	不明	2018	上部工:床版材腐朽	全面通行止	撤去予定
大豊町 (高知県)	なかつちだにはし 中内谷橋	町道大滝中内線	不明	2019	A1 橋台の顕著な沈下、移動、傾斜	下部工の開き部に間詰コンクリート施工	修繕中
土佐町 (高知県)	ゆのきはし 柚ノ木橋	町道柚ノ木線	1971	2015	主索の腐食	全面通行止	修繕予定
津野町 (高知県)	むめいきょう 無名橋12	町道茶屋ヶ駄場線	1951	2021	主桁及び横桁に腐食	通行規制(損傷の著しい箇所を封鎖)	撤去予定
四万十町 (高知県)	しもどうしもついで ぐうきょう 下道下津井1号橋	町道下道下津井線	1940	2016	橋台のひびわれ	全面通行止	修繕予定
四万十町 (高知県)	たいしょうばし 大正橋	町道吾川線	1928	2016	主桁、縦桁、横桁の腐食	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
四万十町 (高知県)	せりばし 瀬里橋	町道田野々 瀬里線	不明	2018	主桁の中央部の橋軸上に垂直の貫通ひびわれがある	全面通行止	修繕予定
四万十町 (高知県)	たにごうばし コヤノ谷1号橋	町道向山線	不明	2018	木でできた主桁部分が腐食し強度不足の恐れがある	全面通行止	架替中
四万十町 (高知県)	しもつさいばし 下津才橋2	町道大井川 西土佐線	1963	2018	主桁下部の広範囲浮いている状態で、主筋も断面欠損を生じる腐食がある	全面通行止	撤去予定
四万十町 (高知県)	つがかわばし 津賀の川橋	町道津賀の 鼻線	1961	2018	下部工が流水により変形・欠損し、支承付近しか残っていない	全面通行止	架替予定
黒潮町 (高知県)	こぶしのかわばし 拳ノ川橋	町道拳ノ川 北線	1935	2015	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
黒潮町 (高知県)	たちばなばし 橋橋	町道橋川ミ セマチ線	1933	2015	主桁の剥離、鉄筋露出	通行規制(2t)	撤去予定
宮若市 (福岡県)	いとだばし 糸田橋	市道 糸田・ 相手無線	1963	2020	橋脚傾き	バリケードを設置し全面通行止	撤去中
小城市 (佐賀県)	あんしんばし 安心橋	市道峰・畑 田線	1994	2020	下部構造の変形・欠損	全面通行止	架替予定
平戸市 (長崎県)	さかいばし 境橋	市道若宮線	1931	2016	主桁、床版、高欄の鉄筋露出	通行規制(車両)	廃止予定
平戸市 (長崎県)	やすまんばし 安満橋	市道旧大越 線	1959	2016	主桁の損傷	通行規制(車両)	廃止予定
対馬市 (長崎県)	しんばし 新橋1	市道尾崎郷 崎線	不明	2015	主桁の腐食、床版の剥離、鉄筋露出	通行規制(2t)	架替中
対馬市 (長崎県)	おおますばし 大增橋	市道大增本 線	1974	2015	主桁、支承の腐食	通行規制(車両)	修繕中
水俣市 (熊本県)	さいわいばし 幸橋	市道幸町・ 牧ノ内線	1965	2020	ラーメン橋脚(無筋構造)の梁下面及び柱に大きな損傷(ひび割れ、断面欠損)	重量規制(4t)	修繕予定
宇土市 (熊本県)	くろはし 黒橋	市道(9-182) 川越・宮の 後線	不明	2015	主桁、床版の腐食、下部工のひびわれ	全面通行止	修繕中
阿蘇市 (熊本県)	だいじゅういちおのたけはし 第十一斧岳橋	市道西小園 水源線	不明	2015	主桁の腐食、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
阿蘇市 (熊本県)	だいくおのたけはし 第九斧岳橋	市道西小園 水源線	不明	2015	主桁の鉄筋露出、橋台の剥離	全面通行止	撤去予定
天草市 (熊本県)	よこはまばし 横浜橋1	市道横浜 2 号線	1988	2021	主桁と横桁に腐食、支承も腐食・機能障害、下部工胸壁に剥離・沈下	全面通行止	撤去予定
天草市 (熊本県)	ながたはし 長田橋	市道軍ヶ浦 上線	1989	2021	主桁に鉄筋露出・うき、ハンチ部にうき	全面通行止	架替予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2022.3月末時点)
大津町(熊本県)	いけづるばし 池鶴橋	町道八迫線	1970	2018	橋台の欠損	全面通行止	撤去予定
小国町(熊本県)	きりとおしはし 切通橋	町道切原切通線	不明	2018	主桁コンクリート剥離、鉄筋露出、鉄筋腐食	全面通行止	廃止中
西原村(熊本県)	たつぐちはし 辰口橋	村道田中高遊線	1955	2020	下部構造のうき、補強材の破断	重量規制(10t)	修繕予定
御船町(熊本県)	よつのみやばし 四宮橋	町道落合浄光寺線	1934	2014	主桁の剥離、鉄筋露出	通行規制(3t)	架替中
甲佐町(熊本県)	じゅうたくばし 住宅橋	町道下豊内西原線	1951	2016	橋脚の倒壊	全面通行止	架替中
水上村(熊本県)	せんひらばし 千が平橋	村道片地横才線	1971	2019	主桁の欠損、鉄筋露出、変形	全面通行止	修繕中
相良村(熊本県)	しんふかみばし 新深水橋	村道新深水線	2005	2020	下部工洗堀	全面通行止	修繕予定
山江村(熊本県)	したのだんばし 下段橋	村道県道下段線	1967	2019	主桁の剥離、鉄筋露出、支障の腐食	通行規制(2t)	架替中
山江村(熊本県)	あわしまうらさんどうばし 淡島裏参道橋	村道淡島参道線	1994	2020	下部工の沈下・移動・傾斜等	全面通行止	架替中
球磨村(熊本県)	ちづばし 千津橋	村道井手線	1968	2020	主構の剥離・鉄筋露出、P2 橋脚基礎の洗堀	4t 車以上通行止め	修繕予定
球磨村(熊本県)	だいにやまのかみばし 第二山神橋	村道毎床線	1995	2020	主構遊間の異常、主構のひび割れ	全面通行止	修繕予定
球磨村(熊本県)	またぐちばし 俣口橋	村道釘原線	1966	2020	主構のひび割れ・鉄筋露出・うき、橋台基礎の洗堀	A1 橋台基礎を補修し 4t 車以上通行止	修繕予定
球磨村(熊本県)	もちはらばし 桃原橋	村道神瀬大岩線	1968	2021	RC床版の鉄筋露出・うき、橋台の洗堀	全面通行止(仮設道路設置)	修繕予定
佐伯市(大分県)	きよたきはし 清滝橋	市道河内清滝橋線	1958	2017	主桁・横桁・支承の劣化、腐食	全面通行止	廃止予定
津久見市(大分県)	ふくやまばし 福山橋	市道岩屋線	1936	2014	床版の剥離、鉄筋露出、うき	通行規制(2t)	撤去予定
津久見市(大分県)	ひじろばし 日代橋	市道福良網代1号線	1962	2014	床版の鉄筋露出、主桁の腐食	全面通行止	撤去予定
津久見市(大分県)	ひじろほどうきょう 日代歩道橋	市道福良網代1号線	1962	2014	床版、主桁の腐食	全面通行止	撤去予定
豊後大野市(大分県)	なかつむればし 中津無礼橋	市道中津無礼合川線	1965	2019	橋脚が無筋の為	通行制限(4t車以上)	未定
由布市(大分県)	はねつばし 壇坪橋	市道東行壇坪岡線	1929	2015	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
由布市(大分県)	しばはらばし 芝原橋	市道中恵宮田線	不明	2015	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
由布市(大分県)	さかいばし 堺橋	市道仁瀬小袋線	不明	2015	主桁、支承の腐食、橋台の洗堀	全面通行止	撤去予定
由布市(大分県)	かんふちばし 上瀨橋	市道下柿木線	不明	2015	主桁、橋脚の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
由布市(大分県)	かすかけばし 粕掛橋	市道梶屋挾間線	1951	2019	主桁、横桁、床版の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
国東市 (大分県)	もとみやばし 元宮橋	市道元宮線	1950	2021	支承の防食機能の劣化・腐食	地元自治会と規制等について調整中	未定
九重町 (大分県)	へいけだにばし 平家谷橋	町道平家山線	不明	2020	袖擁壁の変形・欠損	全面通行止	廃止予定
延岡市 (宮崎県)	ふかたにかわばし 深谷川橋	市道城打扇線	1971	2019	鋼製床版の腐食	通行止	未定
日置市 (鹿児島県)	あいらばし あいら橋	市道向湯田湯田原線	1924	2016	石桁のひびわれ、鋼部材の腐食	通行規制(2t)	撤去予定
奄美市 (鹿児島県)	だいきにばし 第1佐仁橋	市道佐仁35号線	1981	2019	主桁の腐食	全面通行止 (看板設置)	撤去予定
始良市 (鹿児島県)	いわせとばし 岩瀬戸橋	市道酒屋段	不明	2017	アーチ石の崩落	全面通行止	撤去予定
三島村 (鹿児島県)	たけのばし 岳ノ橋	村道硫黄岳線	1956	2016	主桁の鉄筋露出	全面通行止	架替中
屋久島町 (鹿児島県)	じょうかわばし 城の川橋	町道城之川	1962	2017	主桁の PC 鋼線の破断	通行規制(2t)	修繕中
徳之島町 (鹿児島県)	とうだばし 当田橋	町道花時名前里久線	1963	2018	上部構造(主桁)の剥離・鉄筋露出	通行規制 (看板設置)	撤去予定
徳之島町 (鹿児島県)	ほりきりばし 堀切橋	町道下久志堀切線	1932	2018	上部構造(主桁)の剥離・鉄筋露出	通行止 (看板設置)	撤去予定
天城町 (鹿児島県)	むかひがわ ござらばし 向川2号橋	町道中地前塔9号	1966	2021	橋台底面に浮き	全面通行止 (看板設置)	修繕予定
伊仙町 (鹿児島県)	かねくばし 兼久橋	町道カネク	1977	2019	主桁の腐食	全面通行止 (看板設置)	未定
名護市 (沖縄県)	な-ばし 名-127橋	市道名護43号線	不明	2016	主桁、床版の鉄筋露出、破断	通行規制 (車両)	架替中
沖縄市 (沖縄県)	うちきなばし 内喜納橋	市道東南植物楽園線	1976	2017	床版の剥離・鉄筋露出	仮受け材の設置 (通行規制 (車両))	架替予定
宜野座村 (沖縄県)	ごう 1号ボックス カルバート3	村道湧原旧国道線	1967	2017	頂版のうき・鉄筋露出	全面通行止	未定
与那国町 (沖縄県)	しまなかばし 島仲橋	町道ティンダバナ線	1963	2018	主桁・床版のたわみ、剥離、うき、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定

※判定区分Ⅳの施設リストは、2022.7 に各道路管理者に確認した内容を記載。

※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

【トンネル】

○ 判定区分Ⅳのトンネルの措置内容(予定含む)

管理者	管理中				撤去・ 廃止済 ※1	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
	計	修繕	廃止	対応 未定			
国土交通省	3	3	0	0	0	3	0
都道府県・ 政令市等	11	11	0	0	1	12	1
市区町村	39	18	18	3	17	56	27
合計	53 (75%)	32 (45%)	18 (25%)	3 (4%)	18 (25%)	71	28 (39%)

※1: 判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※高速道路会社管理のトンネルは健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(0箇所)

○ 都道府県・政令市等(1箇所)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2022.3月末時点)
奈良県	たかはら 高原トンネル	国道169号	1996	2018	覆工のひびわれ	全面通行止	修繕中

○ 市区町村(27箇所)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2022.3月末時点)
上士幌町 (北海道)	ふじかわ 不二川トンネル	町道糠平線	1955	2018	剥落・漏水・ひび われを確認	全面通行止	廃止予定
鶴岡市 (山形県)	かまやざかずいどう 釜谷坂隧道	市道温海釜 谷坂線	1954	2018	アーチ部の材質 劣化	全面通行止	修繕中
みなかみ町 (群馬県)	たからがわ 宝川トンネル	町道宝川線	1960	2018	覆工(吹付モルタル)の材質劣化	全面通行止	修繕予定
君津市 (千葉県)	おくごめ ごうずいどう 奥米3号隧道	市道奥米、 廻田線	不明	2014	激しい崩落、崩落 した岩の堆積	全面通行止	廃止予定
君津市 (千葉県)	いわ うえずいどう 岩の上隧道	市道坂畑・草 川原線	不明	2014	激しい崩落、崩落 した岩の堆積	全面通行止	廃止予定
見附市 (新潟県)	とちくぼずいどう 栃窪隧道	椿沢・栃窪線	1956	2019	坑口の崩壊	全面通行止	未定
村上市 (新潟県)	おおさきやま 大崎山トンネル	市道府屋基 石線	1955	2019	本体工の材質劣 化	全面通行止	廃止予定
村上市 (新潟県)	まのうち 間ノ内トンネル	市道府屋基 石線	1955	2019	本体工の材質劣 化	全面通行止	廃止予定
富山市 (富山県)	すなごら 砂蔵トンネル	市道蟹寺加 賀沢線	1977	2018	側壁に段差を伴 うひび割れ、坑門 ひび割れ	全面通行止	修繕中
白山市 (石川県)	かずせずいどう 数瀬隧道	市道数瀬2 号線	1959	2018	アーチ部のうき、 側面壁の欠損	全面通行止 (2004より)	廃止中

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2022.3月末時点)
白山市(石川県)	すすくりずいどう 鈴栗隧道	市道ダム1号線	1979	2018	アーチ部のうき	全面通行止(1985より)	廃止予定
白山市(石川県)	しろおきかいずいどう 白尾境隧道	市道ダム1号線	1979	2018	アーチ部の漏水、空洞	全面通行止(2014より)	廃止予定
伊那市(長野県)	みわダム1号 ^{ごう} トンネル	市道勝間赤の入線	1958	2018	アーチ部のひびわれ	全面通行止	未定
高山市(岐阜県)	ひわだ ^{ごう} 1号トンネル	市道近城線	不明	2018	坑門工左肩部にブロック化した浮きを確認。変状規模が大きく応急措置では叩き落せないためIV判定とした。	全面通行止	未定
沼津市(静岡県)	しげ ^{でら} 重寺トンネル	市道5054号線	不明	2017	左側壁に一部剥離、うきがみられる	全面通行止	廃止中
田辺市(和歌山県)	おうさか ^{ずいどう} 逢坂隧道	市道近露福定線	1945	2014 2019	覆工コンクリートのひび割れ	全面通行止	修繕中
呉市(広島県)	にがた ^{ずいどう} 仁方隧道	市道白石4丁目3号線	1938	2018	覆工コンクリートの剥落	FRPネットにより剥落防止対策工を実施(通行可能)	修繕中
北広島町(広島県)	しもやま下山トンネル	町道下山橋山線	1935	2019	覆工コンクリート、岩盤の剥落、漏水	仮設材の設置(全面通行止)	修繕予定
下関市(山口県)	みずたれ水垂トンネル	市道附野水垂線	1930	2018	壁面の崩落	全面通行止	廃止中
萩市(山口県)	えみね ^{ずいどう} 江舟隋道	市道江舟尻線	不明	2018	覆工に、うき・剥離・剥落	全面通行止	廃止予定
周防大島町(山口県)	おきうら ^{ずいどう} 沖浦隧道	出井津海木線	1921	2018	コンクリートの著しい材質劣化による骨材露出、うき	全面通行止	廃止中
宇和島市(愛媛県)	たわらつ ^{ずいどう} 俵津隧道	市道野福線	1928	2021	露岩のはく落(素掘りトンネル)	全面通行止	廃止予定
西予市(愛媛県)	たわらつ ^{ずいどう} 俵津隧道	市道旧町地区349号線	1926	2021	露岩のはく落(素掘りトンネル)	全面通行止	廃止予定
鬼北町(愛媛県)	たかどぎ ^{ずいどう} 高研隧道	町道日向谷線	1928	2014	覆工コンクリートのはく落	全面通行止	廃止予定
愛南町(愛媛県)	なかのがわ ^{ずいどう} 中ノ川隧道	町道中川満倉線	1960	2018	覆工コンクリートのはく落	全面通行止	廃止中
宿毛市(高知県)	すくも ^{ずいどう} 宿毛隧道	市道与市明野地線	1929	2017	アーチ部のうき、剥離	全面通行止	廃止予定
佐伯市(大分県)	はちめい八明トンネル	市道床木海崎線	1955	2017	覆工コンクリートの土砂化、覆工厚の減少	全面通行止	廃止予定

※判定区分Ⅳの施設リストは、2022.7に各道路管理者に確認した内容を記載。
 ※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

【道路附属物等】

○ 判定区分Ⅳの道路附属物等の措置内容(予定含む)

管理者	管理中				撤去・ 廃止済 ※1	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
	計	修繕	廃止	対応 未定			
国土交通省	4	4	0	0	4	8	2
都道府県・ 政令市等	17	17	0	0	5	22	3
市区町村	5	4	0	1	7	12	1
合計	26 (62%)	25 (60%)	0 (0%)	1 (2%)	16 (38%)	42	6 (14%)

※1: 判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※高速道路会社管理の道路附属物等は健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(2施設)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2022.3月末時点)
関東地方 整備局	かめいどなきまほほどうきょう 亀戸駅前歩道橋	国道14号	1970	2018	内部鋼材に減 肉・欠損を伴う腐 食。特に、桁端部 のゲルバーヒンジ 支承部での断面 欠損が著しい。	排水機能の改 善・追加、水 分供給経路の 遮断、桁受け 材の設置(通 行可能)	修繕中
関東地方 整備局	はつちようめほどうきょう 八丁目歩道橋	国道4号	1967	2019	デッキプレート、 横桁の腐食・孔 食等	横桁設置・孔 食部 FRPシ ート設置・間 詰コンクリート 打設・橋面防 水工・コンパ ネ、縞鋼板設 置(通行可能)	修繕中

○ 都道府県・政令市等(3施設)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2022.3月末時点)
大阪府	道路標識	国道423号	不明	2021	柱・基部境界部 の孔食	FRPシート貼 付+根巻コン クリート	修繕予定
大阪府	道路標識	国道423号	不明	2021	柱・基部境界部 の孔食	FRPシート貼 付+根巻コン クリート	修繕予定
岡山県	しりみごう 尻海1号カルバート	県道寒河本 庄岡山線	不明	2021	側壁の鉄筋露出	断面修復工 法等による補 修	修繕予定

○ 市区町村(1施設)

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2022.3月末時点)
阿賀町 (新潟県)	いがしま 五十島スノーシエツ ド	町道向山戸 線	不明	2019	頂版からの漏水 および遊離石灰	ゲートを設置 し全面通行止	未定

※判定区分Ⅳの施設リストは、2022.7に各道路管理者に確認した内容を記載。

※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

(4) 橋梁・トンネルの建設年度別施設数

① 橋梁

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1920 以前	12	1	165	580	758
1921	0	0	53	86	139
1922	4	0	66	50	120
1923	6	0	90	93	189
1924	6	0	104	80	190
1925	9	0	136	109	254
1926	46	0	248	197	491
1927	25	0	330	209	564
1928	18	0	372	255	645
1929	21	0	354	243	618
1930	18	0	434	395	847
1931	26	0	465	279	770
1932	56	0	513	326	895
1933	88	0	639	475	1,202
1934	54	0	622	359	1,035
1935	51	0	677	673	1,401
1936	47	0	472	374	893
1937	57	0	589	315	961
1938	49	0	413	266	728
1939	44	0	262	186	492
1940	35	0	214	371	620
1941	58	0	142	155	355
1942	37	0	103	93	233
1943	28	0	105	164	297
1944	8	0	65	57	130
1945	17	0	136	315	468
1946	8	0	78	155	241
1947	22	0	122	154	298
1948	11	0	156	223	390
1949	58	0	209	236	503
1950	57	0	438	1,078	1,573
1951	116	0	578	666	1,360
1952	143	0	624	758	1,525
1953	121	0	944	904	1,969
1954	146	0	1,031	1,416	2,593
1955	190	0	1,429	2,350	3,969
1956	207	0	1,359	1,123	2,689
1957	255	0	1,423	1,488	3,166
1958	381	3	1,908	1,895	4,187
1959	469	21	2,039	2,099	4,628
1960	514	19	2,682	5,156	8,371
1961	577	10	2,518	3,226	6,331
1962	795	15	2,691	3,843	7,344
1963	835	366	2,853	3,901	7,955
1964	882	361	2,834	3,873	7,950
1965	867	140	3,420	7,623	12,050
1966	692	8	3,039	4,456	8,195
1967	688	222	3,329	5,311	9,550
1968	680	1,025	3,478	5,171	10,354
1969	841	224	3,209	4,940	9,214
1970	835	202	3,861	10,588	15,486
1971	875	350	3,801	6,929	11,955

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1972	968	633	4,431	8,344	14,376
1973	977	889	3,916	8,841	14,623
1974	720	1,052	2,980	6,758	11,510
1975	646	796	2,960	9,980	14,382
1976	498	505	2,539	6,606	10,148
1977	504	550	2,567	7,177	10,798
1978	684	714	3,557	7,546	12,501
1979	747	525	3,101	7,307	11,680
1980	687	609	3,635	9,932	14,863
1981	641	301	3,111	7,838	11,891
1982	566	784	2,659	7,566	11,575
1983	557	600	2,954	6,875	10,986
1984	574	391	2,240	5,890	9,095
1985	491	536	2,752	7,355	11,134
1986	611	389	2,791	6,085	9,876
1987	688	914	2,587	5,640	9,829
1988	692	595	2,981	5,740	10,008
1989	572	494	2,611	4,772	8,449
1990	464	526	2,464	6,214	9,668
1991	430	541	2,578	4,822	8,371
1992	421	731	2,299	4,356	7,807
1993	479	350	2,708	4,673	8,210
1994	449	566	2,319	3,958	7,292
1995	356	411	2,119	3,872	6,758
1996	519	496	2,076	3,822	6,913
1997	415	570	2,041	3,427	6,453
1998	413	410	2,076	3,592	6,491
1999	506	407	2,011	3,114	6,038
2000	538	412	1,943	3,805	6,698
2001	523	397	1,680	3,049	5,649
2002	542	534	1,687	2,722	5,485
2003	478	528	1,532	2,428	4,966
2004	510	279	1,394	2,073	4,256
2005	430	170	1,151	1,703	3,454
2006	496	144	1,124	1,548	3,312
2007	491	163	1,355	1,603	3,612
2008	447	259	1,185	1,300	3,191
2009	503	237	859	1,114	2,713
2010	449	190	983	1,263	2,885
2011	432	180	823	1,090	2,525
2012	442	133	706	920	2,201
2013	408	156	583	816	1,963
2014	353	204	594	851	2,002
2015	282	208	485	761	1,736
2016	195	64	343	673	1,275
2017	255	190	313	583	1,341
2018	303	205	284	498	1,290
2019	204	165	236	488	1,093
2020	116	43	220	347	726
2021	64	69	95	220	448
不明	2,091	0	34,011	188,814	224,916
総計	38,912	24,182	188,471	477,038	728,603

②トンネル

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1920 以前	0	0	53	99	152
1921	0	0	4	8	12
1922	0	0	0	6	6
1923	1	0	6	5	12
1924	0	0	1	7	8
1925	3	0	0	5	8
1926	1	0	7	10	18
1927	1	0	6	9	16
1928	3	0	8	11	22
1929	0	0	1	13	14
1930	0	0	14	17	31
1931	0	0	6	8	14
1932	0	0	13	7	20
1933	0	0	7	12	19
1934	1	0	12	11	24
1935	3	0	14	14	31
1936	0	0	10	11	21
1937	0	0	6	4	10
1938	1	0	9	6	16
1939	2	0	8	3	13
1940	0	0	4	5	9
1941	1	0	3	10	14
1942	2	0	6	6	14
1943	3	0	6	16	25
1944	2	0	3	6	11
1945	1	0	4	8	13
1946	0	0	1	4	5
1947	1	0	4	5	10
1948	2	0	5	2	9
1949	7	0	3	4	14
1950	5	0	11	7	23
1951	1	0	11	17	29
1952	2	0	12	12	26
1953	2	0	26	23	51
1954	3	0	30	16	49
1955	2	0	51	30	83
1956	5	0	38	20	63
1957	6	1	29	17	53
1958	10	0	57	15	82
1959	8	1	43	18	70
1960	9	0	47	25	81
1961	12	0	42	15	69
1962	22	2	43	14	81
1963	43	12	63	11	129
1964	34	20	41	24	119
1965	46	0	55	19	120
1966	25	0	55	12	92
1967	32	5	71	15	123
1968	31	26	79	22	158
1969	28	18	44	22	112
1970	48	1	57	24	130
1971	36	3	84	25	148

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1972	27	6	91	30	154
1973	19	22	96	32	169
1974	22	20	113	24	179
1975	19	16	73	23	131
1976	10	5	74	21	110
1977	20	33	104	24	181
1978	16	13	98	34	161
1979	18	10	83	33	144
1980	16	35	90	27	168
1981	10	33	86	30	159
1982	19	70	95	17	201
1983	20	30	93	35	178
1984	15	15	78	27	135
1985	17	57	83	30	187
1986	11	56	89	28	184
1987	15	64	97	23	199
1988	19	60	125	21	225
1989	15	85	94	28	222
1990	11	85	118	24	238
1991	17	53	107	12	189
1992	31	83	116	31	261
1993	15	103	127	31	276
1994	23	53	115	23	214
1995	13	32	109	36	190
1996	12	42	124	40	218
1997	24	71	137	61	293
1998	18	62	132	49	261
1999	17	36	117	36	206
2000	16	52	127	33	228
2001	18	34	110	37	199
2002	21	70	132	31	254
2003	22	41	103	34	200
2004	27	48	102	27	204
2005	27	48	80	14	169
2006	42	16	78	12	148
2007	59	29	71	13	172
2008	43	52	67	11	173
2009	44	37	58	10	149
2010	35	25	67	7	134
2011	38	32	59	10	139
2012	56	6	50	3	115
2013	46	35	34	3	118
2014	39	29	44	7	119
2015	48	60	49	8	165
2016	25	7	45	6	83
2017	44	21	36	1	102
2018	45	55	33	3	136
2019	26	22	42	4	94
2020	39	2	13	7	61
2021	28	4	19	0	51
不明	7	0	21	320	348
総計	1,729	2,064	5,517	2,166	11,476

道路メンテナンス年報データ集目録（HP）

- ・ 全国道路施設点検データベース（損傷マップ）
<https://road-structures-map.mlit.go.jp/>
- ・ 全国道路施設点検データベース
<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>
- ・ 管理施設数（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 点検実施数（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 点検結果（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 施設名（国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 各都道府県における道路管理者毎の老朽化対策状況（国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）